

特記仕様書

工事名称	元ゆめきやりあセンター改修工事（建築主体工事）
工事場所	三原市館町二丁目
工事内容	元ゆめきやりあセンターを歴史民俗資料館、放課後児童クラブ及び事務所へ改修する。 【工事概要】（平成14年建築） <ul style="list-style-type: none">・内装改修工事・外装改修工事・屋上防水改修工事
準 則	公共建築工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、建築物解体工事共通仕様書（各 令和4年版 国土交通省官房官庁営繕部監修）に基づき施工する。
別途工事	<ul style="list-style-type: none">・元ゆめきやりあセンター改修工事（電気設備工事）・元ゆめきやりあセンター改修工事（機械設備工事）・元ゆめきやりあセンター改修工事（外構工事）・歴史民俗資料館展示工事
関係法令等	本工事については、次の関係法令その他の規定等に基づき施工すること。 <ul style="list-style-type: none">・建築基準法、同施行令、同施行規則・消防法、同施行令・廃棄物の処理及び清掃に関する法律、同法施行令、同法施行規則・労働安全衛生法、同法施行令、同法施行規則・建設業法、同施行令、同施行規則・建設工事公衆災害防止対策要綱・石綿障害予防規則・大気汚染防止法、振動規制法及び土壌汚染対策法・建設工事に係る再資源化等に関する法律、同法施行令・その他関係法令
疑義変更	本設計図書は、設計の概要を示すものであり、詳細部等について技術的必要事項は明記なくとも完全に施工すること。 別途工事の設計図書について、取り合いなどの整合を確認すること。 施工に際して疑義が生じた場合、または軽微な変更を必要とする場合には、速やかに監理者と協議後、監督員の指示により施工すること。ただし、これらに於いて請負金額の増減はなきものとする。 本設計図書と不整合が確認されて設計変更（増額）が必要な場合は、その変更数量が確認できる根拠としての写真などの記録が存在し、かつ監督員に承認されたもの以外は認められない。
提出書類	施工に先立ち、工事工程表、仮設計画図及び監督員の指示する書類を提出し、監督員の承認を受けること。 商品名及び製造者名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督員の承諾を受けること。 設計図書に定める品質及び性能を有することについて、証明となる資料を提出して監督員の承諾を受けること。
工 期	本工事は請負契約締結の後、令和7年2月27日をもって工期とする。 このうち検査期間として13日間を見込んでいる。（工事の完成通知予定日は令和7年2月14日。）
留意事項	<ul style="list-style-type: none">・入札に先立ち、現地調査を十分に行うこと。質疑がある場合は入札前に確認すること。・図面について、設計者からの設計意図等の説明が必要な場合は申し出ること。・図面に明示されていない事項であっても、工地上必要とされる事は工事範囲とする。

- ・作業日は、原則、月曜日から金曜日とし、土曜日及び日曜日は休工日とすること。
- ・行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）に定める行政機関の休日に工事の施工を行わない。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。
- ・本工事は「発注者指定型」による週休2日工事の対象工事であり、「三原市週休2日工事等実施要領」（令和6年4月1日制定）により工事を行うこと。
- ・工事着手前までに「週休2日工事」または「週休2日交代制工事」に取り組むことを工事打合せ簿にて提出すること。
- ・「週休2日工事」または「週休2日交代制工事」である旨を工事現場に設置すること。
- ・週休2日を達成できなくなった場合は、その達成状況に応じて労務費の補正額を減額する。
- ・本工事は居ながら工事を基本とし、必要に応じて施設使用者の通行制限を行うこととする。工事の詳細については、事前に施設管理者等への説明を行って承諾を得ること。
- ・デジタル化を積極的に推進すること。
- ・定例会議の頻度と方法は協議による。方法は現場事務所での現地開催を基本とし、一部Web会議（現場事務所と市役所を想定）併用とする。現場でのWeb会議の環境設定（受注者側がホスト。Web会議の使用料、現場の通信費等を含む。Web会議用マイク、スピーカーなどの周辺機器を含む。）は、工事に含む。
- ・紙資料の削減を目的として、電子機器の利用を主とすること。
- ・定例会の資料は、電子データとすること。
- ・受注者は各定例会の前日までに必要な資料を所定の場所に提出すること。
- ・受注者は各定例会後の5日以内に議事録を作成して、所定の場所に提出して出席者に内容を共有すること。
- ・現場事務所には、HDMI規格により出力できるモニター（50インチ以上）を設置すること。
- ・現場事務所内は、無線通信（会議にて同時接続10台以上）が可能な環境とすること。
- ・工事着手の10日より前に住民説明会を開催し、工事の概要を説明すること。日時や場所等については発注者との協議により決定する。
- ・1期工事で2階及び屋上の改修工事を行い、児童クラブ他の機能を2階に移してから2期工事として1階の工事を行うこと。施設利用者の動線には配慮すること。
- ・施設の一部を放課後児童クラブとして使用している。原則の使用時間については、小学校の長期休暇中（7月21日～8月31日、12月24日～1月6日、3月26日～4月5日）は終日、それ以外の学校課業日は14時以降、土曜は終日使用する。これ以外で学校行事等の時に使用することがある。
- ・著しい騒音・振動等の発生が予想される作業については、放課後児童クラブの使用時間を避けるなど配慮して作業をするように計画すること。
- ・着手にあたり、工事着手前の周辺道路や近隣敷地の状況を写真等により記録しておくこと。
- ・近隣住民等の安全はもとより、丁寧な説明と施工により、関係者の理解と協力を得ながら実施すること。苦情等が発生した場合には誠意をもってこれに対応すること。
- ・近隣において、その他の工事が行われている場合は、取り合い工事及び工程等の調整を行うこと。
- ・近隣住民等への支障を最小限とするため、騒音・振動・粉塵等の対策については最大限配慮した施工方法を採用すること。
- ・使用する建設機械については、原則、「低騒音型、低振動型建設機械」として国土交通省の指定を受けた機械を選定して使用すること。これが確認できる資料を施工計画書で示すこと。なお、事情により使用が難しい場合は監督員との協議を行うこと。
- ・解体工事・アンカー工事等の騒音・振動・粉じん等の発生が予想される工種については、施工時間及び施工方法を最大限配慮した計画により作業を行うこと。
- ・粉塵の発生が予想される工事は、確実に散水を行う等して、周辺環境への粉塵飛散がないように作業をすること。
- ・騒音計・振動計・デジタル粉塵計・表示盤等を設置し、常時監視をしながら作業を行うこと。
- ・騒音計・振動計の表示盤は、近隣に対して1カ所以上を掲示すること。
- ・騒音については、騒音規制法(特定建設作業)により、工事中の作業音は許容限度である85デシベルを厳守すること。工事により著しい作業音の発生が想定される期間については、騒音計による記録を行うこと。
- ・振動については、振動規制法(特定建設作業)により、工事中の作業振動は許容限度である75デシベルを厳守すること。工事により著しい作業振動の発生が想定される期間については、振動計による記録を行うこと。
- ・施工箇所周囲の備品・機器等については、粉塵対策として養生及び清掃等を確実にすること。養生や移動を行う場合は、事前に施設管理者または所有者に連絡すること。
- ・近隣家屋・敷地または周辺道路に対して、工事による汚れ・損傷・粉じん等を与えた場合は、受注者が責任をもって、速やかに清掃及び補修等を行うこと。誠意をもって対応し、原状復旧に努めること。
- ・周辺道路の保全及び清掃については常に注意を払って監視をし、定期的に清掃を行うこと。

- ・敷地境界付近には仮囲い（高さ1.8m以上）を設置すること。
- ・第三者災害防止及び飛散防止対策のために、必要に応じて監督員が指示する範囲にバリケード等を設置すること。
- ・工事期間中は、工事用出入口に交通誘導員を常時配置し、付近の交通の安全を図ること。その他、必要な場所に交通誘導員を配置し、事故及び危険防止に努めること。
- ・交通誘導員は本工事で見込んでいる。実施数量が設計数量に満たない場合は設計変更（減額）の対象とする。
- ・工事車両の通行については、近隣住民及び通学児童等の安全を最優先すること。
- ・工事車両は、幅員の広い道路の通行を基本とし、住宅地内などの狭い道を抜け道として使用しないこと。工事車両の周辺の通行経路については、工事着手前に発注者の了承を得ること。
- ・特殊車両の搬出入の有無については、工事着手前に発注者と確認すること。
- ・特殊車両の搬出入を夜間や早朝に行う必要がある場合は、発注者との協議の上で、事前に近隣住民等へ案内文のポスティング等を行うこと。
- ・工事車両は、場内を5km/h以下で徐行すること。
- ・場内に喫煙所を設ける場合は、施設使用者と近隣住民へ配慮し、設置位置と使用方法を協議してから設けること。使用方法を作業員に周知徹底すること。
- ・工事区域内の残置する設備配管・配線等については、事前に位置を確認してから作業を行うこと。事前調査記録を作成すること。
- ・記念碑等の移設が必要な場合は、事前に関係者と移設場所・方法・時期等を協議の上で実施すること。
- ・監視カメラ・仮設照明・養生用鉄板を適切に設置すること。
- ・必要に応じて、敷鉄板（下部に砕石敷）を敷き、高圧洗浄機・水中ポンプ・ノッチタンク等を適切に設置すること。工事車両のタイヤ洗浄等により、道路を汚さないように配慮すること。
- ・工事中の雨水・湧水・洗浄水等の排水については、ノッチタンクによる汚泥等の処理を行う等した上で、適切に排水すること。定期的にpHを測定し、必要に応じて中和を行うこと。
- ・受注者事務所、休憩所及び便所等は関係法令に従って設けること。
- ・仮囲い、足場、山留、型枠支保工、構台等の仮設については、施工者が計算により責任を持って決定し、計画通りに施工すること。仮設置期間は日常点検を行い、記録に残すこと。
- ・図面等に示されている仮設等についても、必ず受注者で安全性や施工性等を検証すること。受注者が責任をもって施工すること。
- ・足場設置期間中は、シート等の飛散が無いように定期的に点検を行うこと。
- ・台風等の強風等異常気象が見込まれる場合は、事前に足場等の養生シートを折りたたむなど対策を施すこと。また、必要に応じて現場巡視と災害防止対策を行うこと。
- ・足場については、交差筋交い及び外部シートとは別に、高さ15センチメートル以上の幅木を外部・内部の両側に設置すること。（※労働安全衛生法の基準以上の足場とし、安全に配慮する。）
- ・足場については、必要に応じて朝顔を設置すること。
- ・足場については「手すり先行工法等に関するガイドライン」における「手すり先行工法等に関する基準」、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する施工方法にて設置、解体をすること。（親綱は手摺とは扱わない。）
- ・外部足場等に過剰な宣伝広告はしないこと。
- ・近接する市有地を使用する場合には、仮駐車場整備及び整地を含む復旧費を本工事にて行うものとする。仮駐車場及びその周辺について、維持管理及び清掃（週1回程度）を行うこと。なお、この場合の当該敷地使用料は本工事に見込む。
- ・工事に係る電気、水道及び下水道料金等は受注者の負担とする。
- ・工事の要求に必要な仮設は、工事に含むものとする。
- ・配筋検査は、受注者による自主検査を行ったうえ、監理者及び監督員による検査を受検すること。なお、これらの検査は、種類・径・数量についての全数検査を行うこと。
- ・配筋検査前に、上記内容はもとより、継手定着長さ・位置、かぶり厚さ、鉄筋のあき寸法など、設計図書通りに施工されていることを確認してから検査に臨むこと。
- ・コンクリートの調合は、標準仕様書に基づき構造体強度補正を見込む。（原則、外構工事を含む。無筋コンクリートは除く。）
- ・コンクリート打設後の所定期間中は、散水等による湿潤養生を適切に行うこと。
- ・木工事で使用する木材の産出地は、原則、広島県産材（可能な範囲で三原市産材）とすること。
- ・雨水の浸入を防止する部分、屋根、外壁又はこれらの開口部に設ける戸、枠その他の建具周り等からの雨水の浸入に関する瑕疵については、引渡しの日の翌日から10年間責任を負うこと。
- ・機械的固定方法を行う施工箇所については、事前に引き抜き試験にて引き抜き強度を測定し、耐風圧性能の検証

を行うこと。

- ・改修した防火設備の作動状況の確認及び連動する煙感知器等の作動状況の確認については、資格者（建築基準法第12条4項）による総合試験とすること。
- ・石綿含有建材の調査（書面及び目視調査、検体採取を含む）について、工事着手前までに一般建築物石綿含有建材調査者、又は特定建築物石綿含有建材調査者が行うこと。
- ・工事着手前までに石綿含有建材の事前調査結果を書面にまとめて発注者に対し説明を行い、労働基準監督署及び所轄官庁へ報告すること。
- ・その他石綿の飛散防止等については、改正大気汚染防止法及び施行令（令和3年4月1日施行）に基づくこと。
- ・石綿含有分析調査は試料採取と分析調査費を含む。分析は定性及び定量（JIS A 1481-1及びJIS A 1481-3による。含有の場合は、含有する層の判定も行う。）について5検体を見込んでいる。
- ・石綿則に基づく事前調査のアスベスト分析マニュアル(最新版)に基づくこと。
- ・その他、工事に伴う官公庁等への手続きは、受注者により遅滞なく行うこと。この時、各種申請手数料等が発生した場合は受注者の負担とする。
- ・本工事は別途契約の工事と施工上密接に関連するため、本工事の受注者が調整を行うこと。
- ・工程計画、取り合い工事及び工事用車両の出入り等については、当該別途契約の工事関係者と互いに協力し合い、相互の工事を考慮した上で十分調整し、工事の円滑な施工に務めること。
- ・足場、交通誘導員、工事関係者駐車場用地等は、建築主体工事に見込んでいるが、別途工事業者も使用できるものとする。（維持管理上必要な費用は、各業者で協議の上分担すること。）
- ・本工事の外注資材、労務等の調達については、極力、三原市内に主たる営業所を有する業者に発注すること。困難な場合は、あらかじめ理由を添えて発注者の承認を受けること。
- ・広島県工事中情報共有システムを利用すること。なお、本工事にシステム利用料金を見込む。
- ・各工程の状況（写真、進捗率等を月2回程度）を工事中情報共有システムの連絡事項にて報告すること。
- ・工事書類については、工事中情報共有システムの決裁データ等を整理して、CD-R又はDVD-Rにて提出すること。
- ・書面での提出が必要なもの（建退共の掛金収納書、試験結果、保証書等）については、PDFを工事中情報共有システムで提出し、別に書面提出ファイルとしてまとめて提出すること。
- ・工事完了後、完成図として製本図面（A3縮小版・二つ折り）を3部提出すること。
- ・以下の設計図面は、A2判をA3判に縮小している。（縮小率約70.7%）

元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-00	表紙・図面リスト	A-33	(改修前) エントランスホール・打合せコーナー・応接コーナー 展開図	A-66	(改修前) 新風会・公明党 展開図
A-01	建築改修工事特記仕様書 (1)	A-34	(改修後) エントランスホール 平面詳細図	A-67	(改修後) 倉庫(5) 平面詳細図
A-02	建築改修工事特記仕様書 (2)	A-35	(改修後) エントランスホール 展開図	A-68	(改修後) 倉庫(5) 展開図
A-03	建築改修工事特記仕様書 (3)	A-36	(改修前) 議会事務局 平面詳細図	A-69	(改修前) 無所属 平面詳細図・展開図
A-04	建築改修工事特記仕様書 (4)	A-37	(改修前) 議会事務局 展開図	A-70	(改修後) 倉庫(6) 平面詳細図・展開図
A-05	建築改修工事特記仕様書 (5)	A-38	(改修後) 展示室(1) 平面詳細図	A-71	(改修前) 新生会・志成会・委員会室 平面詳細図
A-06	建築改修工事特記仕様書 (6)	A-39	(改修後) 展示室(1)・倉庫(4) 展開図 (1)	A-72	(改修前) 新生会・志成会・委員会室 展開図
A-07	建築改修工事特記仕様書 (7)	A-40	(改修後) 倉庫(4) 展開図 (2)	A-73	(改修後) 事務所・会議室・倉庫(7) 平面詳細図
A-08	建築改修工事特記仕様書 (8)	A-41	(改修前) 正副議長室兼議長応接室 平面詳細図	A-74	(改修後) 事務所・会議室・倉庫(7) 展開図 (1)
A-09	付近見取り図・配置図	A-42	(改修前) 正副議長室兼議長応接室 展開図	A-75	(改修後) 事務所・会議室・倉庫(7) 展開図 (2)
A-10	敷地求積図・面積表	A-43	(改修後) 展示室(2) 平面詳細図	A-76	(改修前) 委員会室・市民連合 平面詳細図
A-11	求積図・面積表・法チェック表	A-44	(改修後) 展示室(2) 展開図	A-77	(改修前) 委員会室・市民連合 展開図
A-12	外部仕上表 (1)	A-45	(改修前) 議会図書室兼理事者控室 平面詳細図	A-78	(改修後) 児童クラブ 平面詳細図
A-13	外部仕上表 (2) 間仕切壁・外壁リスト	A-46	(改修前) 議会図書室兼理事者控室 展開図	A-79	(改修後) 児童クラブ 展開図
A-14	(改修前・後) 内部仕上表 (1)	A-47	(改修後) 展示室(3) 平面詳細図	A-80	(改修前) 2階喫煙コーナー 平面詳細図・展開図
A-15	(改修前・後) 内部仕上表 (2)	A-48	(改修後) 展示室(3) 展開図	A-81	(改修後) 2階休憩スペース 平面詳細図・展開図
A-16	(改修前・後) 内部仕上表 (3)	A-49	(改修前) 議場兼全員協議会室 平面詳細図	A-82	建具表 (外部) (1)
A-17	(改修前) 1階平面図・建具指示図	A-50	(改修前) 議場兼全員協議会室 展開図 (1)	A-83	建具表 (外部) (2)
A-18	(改修後) 1階平面図・建具指示図	A-51	(改修前) 議場兼全員協議会室 展開図 (2)	A-84	建具表 (外・内部) (3)
A-19	(改修前) 2階平面図・建具指示図	A-52	(改修後) 多目的ホール 平面詳細図	A-85	建具表 (内部) (4)
A-20	(改修後) 2階平面図・建具指示図	A-53	(改修後) 多目的ホール 展開図 (1)	A-86	(参考図) 家具配置図・詳細図
A-21	(改修前) R階・PHR階平面図・建具指示図	A-54	(改修後) 多目的ホール 展開図 (2)	A-87	部分詳細図 (1)
A-22	(改修後) R階・PHR階平面図・建具指示図	A-55	(改修前) 1階 廊下 平面詳細図	A-88	部分詳細図 (2)
A-23	(改修後) サイン詳細図	A-56	(改修前) 1階 廊下 展開図	A-89	部分詳細図 (3)
A-24	(改修前) 1階天井伏図	A-57	(改修後) 1階 廊下 平面詳細図	A-90	部分詳細図 (4)
A-25	(改修後) 1階天井伏図	A-58	(改修後) 1階 廊下 展開図	A-91	1階消火設備・避難設備配置図
A-26	(改修前) 2階・R階 天井伏図	A-59	(改修前) 西側階段 展開図	A-92	2階消火設備・避難設備配置図
A-27	(改修後) 2階・R階 天井伏図	A-60	(改修後) 西側階段 展開図	A-93	仮設計画図 (1)
A-28	(改修前) 立面図	A-61	(改修前) 1階・2階トイレ 平面詳細図・部分詳細図	A-94	仮設計画図 (1期)
A-29	(改修後) 立面図	A-62	(改修後) 1階・2階トイレ 平面詳細図・部分詳細図	A-95	仮設計画図 (2期)
A-30	(改修前) 断面図	A-63	(改修前) 創志会 平面詳細図・展開図		
A-31	(改修後) 断面図	A-64	(改修後) 書庫 平面詳細図・展開図		
A-32	(改修前) エントランスホール・打合せコーナー・応接コーナー 平面詳細図	A-65	(改修前) 新風会・公明党 平面詳細図		

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	表紙・図面リスト		

3 防水改修工事	① 降雨等に対する養生方法	※ 改修標準仕様書3.1.3(5) (7)～(9)による。 [3.1.3]
	② 既存防水の処理	既存保護層の撤去 ・ 行う (範囲 ※ 図示 ・) [3.1.4] [3.2.3, 4, 6] ○ 行わない 既存防水層の撤去 ・ 行う (範囲 ※ 図示 ・) ○ 行わない 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・ 行う (M4AS ・ M4AS1 ・ M4C ・ M4D1 ・ L4X) ○ 行わない
	③ 既存下地の処理	既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ※ 図示 [3.2.6] POS工法及びPOS1工法 (機械的固定工法) の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理 ※ 改修標準仕様書3.2.6(4) (9) (a) ①～③による ・ 設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり・丸理の取付け部、塔置出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理 ※ 図示。ただし、図示が無いものは監督職員と協議する

屋根保護防水 [3.3.2～5]		防水層の種類	工法	種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護																																																
・ P2A	・ A-1 ※ A-2 ・ A-3	※ポリエチレンフィルム 厚さ 0.15mm以上 又はフラット ヤーンクロス 70/㎡程度	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護	・ 乾式保護材 ・ コンクリート ・ れんが押入 ※ JIS R 1250	・ P2A1 ・ A1-1 ※ A1-2 ・ A1-3	※フラット ヤーンクロス 70/㎡程度																																																
・ P1B	・ B-1 ※ B-2								・ P1B1 ・ B1-1 ※ B1-2	(材質) JIS A 9521に基づく押出断熱材3種 bA (スキ層付き) (厚さ) (mm) ※25 ・ 50																																														
改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ		※ 改修標準仕様書3.3.5から表3.3.6による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)																																																						
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ		※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.4による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)																																																						
平場の保護コンクリートの厚さ		平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※ 水下 80mm以上 床タイル張り ※ 水下 60mm以上																																																						
乾式保護材		産業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ養生したもの。 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したものと。																																																						
(品質・性能)		<table border="1"> <tr> <td>分類・規格</td> <td>・ 産業系パネル I 類 (寒地仕様)</td> <td>・ 産業系パネル II 類 (一般地仕様)</td> <td>・ 金属複合板</td> </tr> <tr> <td>寸法 (mm)</td> <td>長さ (mm)</td> <td>幅 (mm)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>寸法の許容差</td> <td colspan="3">厚さ：+10%、-5%、幅：±1%</td> </tr> <tr> <td>出荷時の含水率</td> <td colspan="3">出荷時において10%以下</td> </tr> <tr> <td>曲げ強さ・曲げモーメント (N・cm)</td> <td>標準時</td> <td>550以上</td> <td>450以上</td> </tr> <tr> <td>凍結融解完了時 (試験サイクル数)</td> <td>400以上 (300)</td> <td>320以上 (200)</td> <td>250以上 (300)</td> </tr> <tr> <td>吸水率 (%)</td> <td>20以下</td> <td>20以下</td> <td>1以下</td> </tr> <tr> <td>吸水による長さ変化率 (%)</td> <td>0.07以下</td> <td>0.07以下</td> <td>0.01以下</td> </tr> <tr> <td>難燃性</td> <td>不燃</td> <td>不燃</td> <td>表面材は不燃</td> </tr> <tr> <td>耐凍結融解性能</td> <td>300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。</td> <td>200サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。</td> <td>300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。明らかに吸水しないと認められるものは耐凍結融解試験を省略できる。</td> </tr> <tr> <td>耐衝撃性能</td> <td>質量500 (産業系パネル I 類は 1,000) のなす形おもりを高さ 1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、裏面に連する穴があかないこと。</td> <td>質量500 (産業系パネル II 類は 1,000) のなす形おもりを高さ 1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、裏面に連する穴があかないこと。残留変形量1/100以下。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>剛性 (E×1)</td> <td>(スパン40cm幅30cmの中央曲げ時に荷重720Nの時、たわみ4mm以下となる剛性)</td> <td></td> <td>80,000N・cm²以上</td> </tr> </table>							分類・規格	・ 産業系パネル I 類 (寒地仕様)	・ 産業系パネル II 類 (一般地仕様)	・ 金属複合板	寸法 (mm)	長さ (mm)	幅 (mm)		寸法の許容差	厚さ：+10%、-5%、幅：±1%			出荷時の含水率	出荷時において10%以下			曲げ強さ・曲げモーメント (N・cm)	標準時	550以上	450以上	凍結融解完了時 (試験サイクル数)	400以上 (300)	320以上 (200)	250以上 (300)	吸水率 (%)	20以下	20以下	1以下	吸水による長さ変化率 (%)	0.07以下	0.07以下	0.01以下	難燃性	不燃	不燃	表面材は不燃	耐凍結融解性能	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。	200サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。明らかに吸水しないと認められるものは耐凍結融解試験を省略できる。	耐衝撃性能	質量500 (産業系パネル I 類は 1,000) のなす形おもりを高さ 1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、裏面に連する穴があかないこと。	質量500 (産業系パネル II 類は 1,000) のなす形おもりを高さ 1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、裏面に連する穴があかないこと。残留変形量1/100以下。		剛性 (E×1)	(スパン40cm幅30cmの中央曲げ時に荷重720Nの時、たわみ4mm以下となる剛性)		80,000N・cm ² 以上
分類・規格	・ 産業系パネル I 類 (寒地仕様)	・ 産業系パネル II 類 (一般地仕様)	・ 金属複合板																																																					
寸法 (mm)	長さ (mm)	幅 (mm)																																																						
寸法の許容差	厚さ：+10%、-5%、幅：±1%																																																							
出荷時の含水率	出荷時において10%以下																																																							
曲げ強さ・曲げモーメント (N・cm)	標準時	550以上	450以上																																																					
凍結融解完了時 (試験サイクル数)	400以上 (300)	320以上 (200)	250以上 (300)																																																					
吸水率 (%)	20以下	20以下	1以下																																																					
吸水による長さ変化率 (%)	0.07以下	0.07以下	0.01以下																																																					
難燃性	不燃	不燃	表面材は不燃																																																					
耐凍結融解性能	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。	200サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。明らかに吸水しないと認められるものは耐凍結融解試験を省略できる。																																																					
耐衝撃性能	質量500 (産業系パネル I 類は 1,000) のなす形おもりを高さ 1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、裏面に連する穴があかないこと。	質量500 (産業系パネル II 類は 1,000) のなす形おもりを高さ 1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、裏面に連する穴があかないこと。残留変形量1/100以下。																																																						
剛性 (E×1)	(スパン40cm幅30cmの中央曲げ時に荷重720Nの時、たわみ4mm以下となる剛性)		80,000N・cm ² 以上																																																					

改質アスファルトルーフィングシート		屋根露出防水 防水層の種類		[3.4.2、3]	
工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反 射率防水
・ M4AS	・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-J2	断熱材	仕上塗料	種類	使用量
・ M3AS	・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ AS-J1 ・ AS-J3				
・ M3AS1	・ AS1-T1	JIS A 9521 (建築用断熱材) に基づく発泡プラスチック断熱材 (種類) ※硬質ウレタンフォーム断熱材 2種 2号	高日射反 射率防水	種類	使用量
・ M4AS1	・ AS1-J1				
・ POAS1					
改質アスファルトシートの種類及び厚さ		※ 改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)			
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ		※ 改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)			
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ		※ 改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)			
脱気装置の種類		※ 改質アスファルトシートの製造所の指定 脱気装置の設置数量 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定 (個)			
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法		※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度			
絶縁断熱工法の防水湿シート		・ 設置しない			
合成高分子ルーフィングシート		防水層の種類		[3.5.2～4] [表3.5.1～3]	
工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反 射率防水
・ POS	・ S-F1	断熱材	仕上塗料	種類	使用量
・ SAS	・ S-F2 ・ S-M1				
・ SSS	・ S-F1	改質標準仕様書3.5.2 (3) (a) (b) による (種類) ※硬質ウレタンフォーム断熱材 2種 2号	仕上塗料	種類	使用量
・ M4S	・ S-F2 ・ S-M1				
・ POS1	・ SI-F1	改質標準仕様書3.5.2 (3) (a) による (種類) ※硬質ウレタンフォーム断熱材 2種 2号	仕上塗料	種類	使用量
・ S3S1	・ SI-F2				
・ S4S1	・ SI-M1	改質標準仕様書3.5.2 (3) (a) による (種類) ※硬質ウレタンフォーム断熱材 2種 2号	仕上塗料	種類	使用量
・ M4S1	・ SI-M2				
S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様		※ 非歩行用 ○ 終歩行用 S1-F1、S1-F2、S1-M1及びS1-M2における防湿用フィルムの設置 ※ 設置しない ・ 設置する S1-M2の絶縁用シートの材質 ※ 発泡ポリエチレンシート S-M2及びS1-M2の立上り部の工法 ※ 接着工法 (立ち上がり面のシートの厚さ ※ 1.5mm) ・ 機械的固定工法			

屋内防水 防水層の種類		保護層		[3.6.2、3]									
種別	施工箇所	平場のモルタル塗り		立上り部の保護モルタルの塗厚									
・ S-C1		塗厚	工法	※ 7mm以下									
屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合の厚さ		合成高分子ルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 改修標準仕様書3.5.1から表3.5.3による ・ JIS A 6008に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm以上)											
固定金具の材質及び寸法形状		※ 防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもので、厚さ0.4mm以上のもの											
脱気装置の種類及び設置数量		接着工法の場合の脱気装置の種類 ※ ルーフィングシートの製造所の仕様 接着工法の場合の脱気装置の設置数量 ※ ルーフィングシートの製造所の仕様 (個) プレキャストコンクリート部材下地の目地処理 (接着工法の場合) ・ 行う (図示) ・ 行わない プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り (種別S-F1、SI-F1の場合) ・ 行う (図示) ・ 行わない											
機械的固定工法の場合のルーフィングシートの張付け		1章 17 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法											
防水層の種類		[3.6.2、3]											
工法	種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反 射率防水	備考								
・ POX	※ X-1 ・ X-2 ・ X-1H ・ X-2H	断熱材	仕上塗料	高日射反 射率防水	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない								
・ L4X	※ X-1 ・ X-2 ・ X-1H ・ X-2H					※2成分形アクリル樹脂系 ・ ふっ素樹脂系 ・ アクリルシリコン樹脂系	※主材料の製造所の仕様	・ 適用する					
・ P1Y	※ Y-2	断熱材	仕上塗料	高日射反 射率防水	保護層 ・ 設ける ・ 設けない								
・ P2Y	※ Y-2					コン樹脂系	※主材料の製造所の仕様	・ 適用する					
X-1 (絶縁工法) の脱気装置の種類		※ 主材料の製造所の仕様											
X-1 (絶縁工法) の脱気装置の設置数量		※ 主材料の製造所の仕様 (個)											
シーリング		[3.7.2.3.3.7.7]											
シーリング改修工法の種類		・ シーリング充填工法 ・ シーリング再充填工法 ・ 拡幅シーリング再充填工法 ・ フリッジ工法 ボンドプレーカー張り ・ 適用する ・ 適用しない エッジング材張り ・ 適用する ・ 適用しない											
シーリング材の種類、施工箇所		下表以外は、改修標準仕様書3.7.1による											
・ 外壁		シーリング材の種類 (記号) ・ 変性シリコン系 (MS-2)											
仕上げを行わない施工箇所		・ 図示による ・ 打掃目地 シーリング材の目地寸法 ※ 改修標準仕様書3.7.3(1)による 接着性試験 ※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験											
といの材質		[3.8.2.3] ・ 配管用鋼管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 ・ ルーフドレン ・ 表面処理鋼板 (表面及び裏面の塗膜の種類)											
ルーフトレン		<table border="1"> <tr> <td>種別</td> <td>施工箇所</td> </tr> <tr> <td>・ ろく屋根用 (・ 縦型 ・ 横型)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ バルコニー用</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ バルコニー中継用</td> <td></td> </tr> </table>				種別	施工箇所	・ ろく屋根用 (・ 縦型 ・ 横型)		・ バルコニー用		・ バルコニー中継用	
種別	施工箇所												
・ ろく屋根用 (・ 縦型 ・ 横型)													
・ バルコニー用													
・ バルコニー中継用													

<p>4-1 外壁改修工事 共通事項</p>	<p>4-1 外壁改修工事</p>	<p>と受け金物及び足金の材種、形状及び取付け間隔 ※ 改修標準仕様書表3.8.2により、溶融亜鉛めっきを行ったもの</p> <p>多雪地域 ・ 適用する ・ 適用しない 防露材のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆</p> <p>既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ※ 図示 鋼管製といの防露巻き ※ 改修標準仕様書表3.8.4による たてどい安全金の取付け ※ 図示</p> <p>種類 ・ オープン形式 (・ 押出250形 ・ 押出300形 ・ 押出350形) ・ 板折曲付形 (・ オープン形式 ・ シール形式) 本体幅 () mm 板厚 (※ 2.0mm) mm 表面処理 種別 () 種 色合等 ・ 標準色 () ・ 特注色 () 既存笠木等の撤去 ・ 行う (範囲 ※ 図示 ・) ・ 行わない</p> <p>下地補修の工法 ※ 図示 ・ 板折曲付形の笠木の取付方法 ※ 図示 ・ 笠木の固定金具の工法等 1章 17 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法</p>	<p>(外のり寸法約300mm×300mm) 」を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿気養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) JIS A 6909 「建築用仕上塗材」の7.10付着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、樹脂接着剤で鋼製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さエポキシ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び取り取る。(全てが0.6N/mm2以上を確保していること) また、試験後の部材破断位置の表示を下記の中から再び明記する。 T : タイルの母材破断 TM : 既設合モルタルとタイルの界面破断 M : 既設合モルタルの母材破断 MG : 既設合モルタルと下地板の界面破断 G : 下地板の母材破断</p> <p>ロ) 適用タイルが「小口タイル・二丁掛タイル」の場合 (試験体の作製) JIS A 5371 「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ7mmになるように塗付ける。直ちに JIS A 5209 「セラミックタイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による施す「小口タイル108mm×60mm×12mm」を4枚2列、計8枚を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿気養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) 「モザイクタイル」の場合と同様に行う。</p> <p>(5) 接着強さ (温冷縮後) の試験方法 (試験体の作製) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々(4)接着強さ (標準時) の試験方法の「試験体」と同様とする。 (温冷縮後試験) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A6909 「建築用仕上塗材」に規定する7.11温冷縮後試験に準じて行う。 試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちに-20±2℃の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温器中で3時間加熱し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び膨れの有無を自視によって調べる。 (温冷縮後試験後の接着強さ試験方法) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々温冷縮後試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。(全てが0.4N/mm2以上を確保していること)</p> <p>(6) 長さ変化率の試験方法 JIS A 6203 「セメント混和用ポリマーディスペーション及び再乳化形粉末樹脂」9.9 長さ変化率に準ずる。</p> <p>(7) 曲げ強さの試験方法 JIS A 6916 「建築用下地調整塗材」の7.11 曲げ強さ試験に準ずる。 試験室の状態：試験室は温度20±2℃、湿度65±10%とする。</p>	<p>アンカーピン材 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの 注入口付アンカーピン材 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm</p> <p>・ モルタルを撤去して改修 モルタルの材料 ※ 現場調査材料 ・ 既設合材料 ・ 充填工法 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル ・ モルタル塗替え工法 既設目地材 ・ 使用する (形状) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※ 図示</p> <p>平成7年度建設省告示第1860号による「外壁複合改修構工法の開発」において、建設大臣の技術評価を取得した工法とする</p>	<p>① 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整</p> <p>② 下地調整材</p> <p>③ 仕上塗材仕上げ</p> <p>[4. 5. 4] 下地の補修 4-2 外壁改修工事 (コンクリート打放し仕上げ外壁)、 4-3 外壁改修工事 (モルタル塗仕上げ外壁) による</p> <p>[4. 5. 2] ※ 下地調整塗材 ・ ポリマーセメントモルタル</p> <p>[4. 1. 5] [4. 5. 2] [表 4. 5. 1] 建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 仕上塗材の種類 ・ 薄付仕上塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>防火材料</th> </tr> <tr> <td>※ 外装薄塗材 E</td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> </table> <p>・ 厚付仕上塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>上塗り材</th> <th>防火材料</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 適用する</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 適用する</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>・ 層厚仕上塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>上塗り材の種類</th> <th>耐水性</th> <th>防火材料</th> </tr> <tr> <td>※ 複層塗材 E</td> <td></td> <td></td> <td>溶媒 ※ 水系 樹脂 ※ アクリル系 外観 ※ つやあり</td> <td>・ 耐水性3種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>軽量骨材仕上塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状</th> <th>防火材料</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>-</td> </tr> </table>	呼び名	仕上げの形状	工法	防火材料	※ 外装薄塗材 E			-				-	呼び名	仕上げの形状	工法	上塗り材	防火材料				・ 適用する	-				・ 適用する	-	呼び名	仕上げの形状	工法	上塗り材の種類	耐水性	防火材料	※ 複層塗材 E			溶媒 ※ 水系 樹脂 ※ アクリル系 外観 ※ つやあり	・ 耐水性3種	-							呼び名	仕上げの形状	防火材料			-			-	<p>4-2 外壁改修工事</p> <p>4-3 外壁改修工事</p> <p>4-4 外壁改修工事</p> <p>4-5 外壁改修工事</p> <p>4-6 外壁改修工事</p> <p>4-7 外壁改修工事</p> <p>4-8 外壁改修工事</p> <p>4-9 外壁改修工事</p> <p>4-10 外壁改修工事</p> <p>4-11 外壁改修工事</p> <p>4-12 外壁改修工事</p> <p>4-13 外壁改修工事</p> <p>4-14 外壁改修工事</p> <p>4-15 外壁改修工事</p> <p>4-16 外壁改修工事</p> <p>4-17 外壁改修工事</p> <p>4-18 外壁改修工事</p> <p>4-19 外壁改修工事</p> <p>4-20 外壁改修工事</p> <p>4-21 外壁改修工事</p> <p>4-22 外壁改修工事</p> <p>4-23 外壁改修工事</p> <p>4-24 外壁改修工事</p> <p>4-25 外壁改修工事</p> <p>4-26 外壁改修工事</p> <p>4-27 外壁改修工事</p> <p>4-28 外壁改修工事</p> <p>4-29 外壁改修工事</p> <p>4-30 外壁改修工事</p> <p>4-31 外壁改修工事</p> <p>4-32 外壁改修工事</p> <p>4-33 外壁改修工事</p> <p>4-34 外壁改修工事</p> <p>4-35 外壁改修工事</p> <p>4-36 外壁改修工事</p> <p>4-37 外壁改修工事</p> <p>4-38 外壁改修工事</p> <p>4-39 外壁改修工事</p> <p>4-40 外壁改修工事</p> <p>4-41 外壁改修工事</p> <p>4-42 外壁改修工事</p> <p>4-43 外壁改修工事</p> <p>4-44 外壁改修工事</p> <p>4-45 外壁改修工事</p> <p>4-46 外壁改修工事</p> <p>4-47 外壁改修工事</p> <p>4-48 外壁改修工事</p> <p>4-49 外壁改修工事</p> <p>4-50 外壁改修工事</p> <p>4-51 外壁改修工事</p> <p>4-52 外壁改修工事</p> <p>4-53 外壁改修工事</p> <p>4-54 外壁改修工事</p> <p>4-55 外壁改修工事</p> <p>4-56 外壁改修工事</p> <p>4-57 外壁改修工事</p> <p>4-58 外壁改修工事</p> <p>4-59 外壁改修工事</p> <p>4-60 外壁改修工事</p> <p>4-61 外壁改修工事</p> <p>4-62 外壁改修工事</p> <p>4-63 外壁改修工事</p> <p>4-64 外壁改修工事</p> <p>4-65 外壁改修工事</p> <p>4-66 外壁改修工事</p> <p>4-67 外壁改修工事</p> <p>4-68 外壁改修工事</p> <p>4-69 外壁改修工事</p> <p>4-70 外壁改修工事</p> <p>4-71 外壁改修工事</p> <p>4-72 外壁改修工事</p> <p>4-73 外壁改修工事</p> <p>4-74 外壁改修工事</p> <p>4-75 外壁改修工事</p> <p>4-76 外壁改修工事</p> <p>4-77 外壁改修工事</p> <p>4-78 外壁改修工事</p> <p>4-79 外壁改修工事</p> <p>4-80 外壁改修工事</p> <p>4-81 外壁改修工事</p> <p>4-82 外壁改修工事</p> <p>4-83 外壁改修工事</p> <p>4-84 外壁改修工事</p> <p>4-85 外壁改修工事</p> <p>4-86 外壁改修工事</p> <p>4-87 外壁改修工事</p> <p>4-88 外壁改修工事</p> <p>4-89 外壁改修工事</p> <p>4-90 外壁改修工事</p> <p>4-91 外壁改修工事</p> <p>4-92 外壁改修工事</p> <p>4-93 外壁改修工事</p> <p>4-94 外壁改修工事</p> <p>4-95 外壁改修工事</p> <p>4-96 外壁改修工事</p> <p>4-97 外壁改修工事</p> <p>4-98 外壁改修工事</p> <p>4-99 外壁改修工事</p> <p>4-100 外壁改修工事</p>	<p>4-1 外壁改修工事</p> <p>4-2 外壁改修工事</p> <p>4-3 外壁改修工事</p> <p>4-4 外壁改修工事</p> <p>4-5 外壁改修工事</p> <p>4-6 外壁改修工事</p> <p>4-7 外壁改修工事</p> <p>4-8 外壁改修工事</p> <p>4-9 外壁改修工事</p> <p>4-10 外壁改修工事</p> <p>4-11 外壁改修工事</p> <p>4-12 外壁改修工事</p> <p>4-13 外壁改修工事</p> <p>4-14 外壁改修工事</p> <p>4-15 外壁改修工事</p> <p>4-16 外壁改修工事</p> <p>4-17 外壁改修工事</p> <p>4-18 外壁改修工事</p> <p>4-19 外壁改修工事</p> <p>4-20 外壁改修工事</p> <p>4-21 外壁改修工事</p> <p>4-22 外壁改修工事</p> <p>4-23 外壁改修工事</p> <p>4-24 外壁改修工事</p> <p>4-25 外壁改修工事</p> <p>4-26 外壁改修工事</p> <p>4-27 外壁改修工事</p> <p>4-28 外壁改修工事</p> <p>4-29 外壁改修工事</p> <p>4-30 外壁改修工事</p> <p>4-31 外壁改修工事</p> <p>4-32 外壁改修工事</p> <p>4-33 外壁改修工事</p> <p>4-34 外壁改修工事</p> <p>4-35 外壁改修工事</p> <p>4-36 外壁改修工事</p> <p>4-37 外壁改修工事</p> <p>4-38 外壁改修工事</p> <p>4-39 外壁改修工事</p> <p>4-40 外壁改修工事</p> <p>4-41 外壁改修工事</p> <p>4-42 外壁改修工事</p> <p>4-43 外壁改修工事</p> <p>4-44 外壁改修工事</p> <p>4-45 外壁改修工事</p> <p>4-46 外壁改修工事</p> <p>4-47 外壁改修工事</p> <p>4-48 外壁改修工事</p> <p>4-49 外壁改修工事</p> <p>4-50 外壁改修工事</p> <p>4-51 外壁改修工事</p> <p>4-52 外壁改修工事</p> <p>4-53 外壁改修工事</p> <p>4-54 外壁改修工事</p> <p>4-55 外壁改修工事</p> <p>4-56 外壁改修工事</p> <p>4-57 外壁改修工事</p> <p>4-58 外壁改修工事</p> <p>4-59 外壁改修工事</p> <p>4-60 外壁改修工事</p> <p>4-61 外壁改修工事</p> <p>4-62 外壁改修工事</p> <p>4-63 外壁改修工事</p> <p>4-64 外壁改修工事</p> <p>4-65 外壁改修工事</p> <p>4-66 外壁改修工事</p> <p>4-67 外壁改修工事</p> <p>4-68 外壁改修工事</p> <p>4-69 外壁改修工事</p> <p>4-70 外壁改修工事</p> <p>4-71 外壁改修工事</p> <p>4-72 外壁改修工事</p> <p>4-73 外壁改修工事</p> <p>4-74 外壁改修工事</p> <p>4-75 外壁改修工事</p> <p>4-76 外壁改修工事</p> <p>4-77 外壁改修工事</p> <p>4-78 外壁改修工事</p> <p>4-79 外壁改修工事</p> <p>4-80 外壁改修工事</p> <p>4-81 外壁改修工事</p> <p>4-82 外壁改修工事</p> <p>4-83 外壁改修工事</p> <p>4-84 外壁改修工事</p> <p>4-85 外壁改修工事</p> <p>4-86 外壁改修工事</p> <p>4-87 外壁改修工事</p> <p>4-88 外壁改修工事</p> <p>4-89 外壁改修工事</p> <p>4-90 外壁改修工事</p> <p>4-91 外壁改修工事</p> <p>4-92 外壁改修工事</p> <p>4-93 外壁改修工事</p> <p>4-94 外壁改修工事</p> <p>4-95 外壁改修工事</p> <p>4-96 外壁改修工事</p> <p>4-97 外壁改修工事</p> <p>4-98 外壁改修工事</p> <p>4-99 外壁改修工事</p> <p>4-100 外壁改修工事</p>	<p>4-1 外壁改修工事</p> <p>4-2 外壁改修工事</p> <p>4-3 外壁改修工事</p> <p>4-4 外壁改修工事</p> <p>4-5 外壁改修工事</p> <p>4-6 外壁改修工事</p> <p>4-7 外壁改修工事</p> <p>4-8 外壁改修工事</p> <p>4-9 外壁改修工事</p> <p>4-10 外壁改修工事</p> <p>4-11 外壁改修工事</p> <p>4-12 外壁改修工事</p> <p>4-13 外壁改修工事</p> <p>4-14 外壁改修工事</p> <p>4-15 外壁改修工事</p> <p>4-16 外壁改修工事</p> <p>4-17 外壁改修工事</p> <p>4-18 外壁改修工事</p> <p>4-19 外壁改修工事</p> <p>4-20 外壁改修工事</p> <p>4-21 外壁改修工事</p> <p>4-22 外壁改修工事</p> <p>4-23 外壁改修工事</p> <p>4-24 外壁改修工事</p> <p>4-25 外壁改修工事</p> <p>4-26 外壁改修工事</p> <p>4-27 外壁改修工事</p> <p>4-28 外壁改修工事</p> <p>4-29 外壁改修工事</p> <p>4-30 外壁改修工事</p> <p>4-31 外壁改修工事</p> <p>4-32 外壁改修工事</p> <p>4-33 外壁改修工事</p> <p>4-34 外壁改修工事</p> <p>4-35 外壁改修工事</p> <p>4-36 外壁改修工事</p> <p>4-37 外壁改修工事</p> <p>4-38 外壁改修工事</p> <p>4-39 外壁改修工事</p> <p>4-40 外壁改修工事</p> <p>4-41 外壁改修工事</p> <p>4-42 外壁改修工事</p> <p>4-43 外壁改修工事</p> <p>4-44 外壁改修工事</p> <p>4-45 外壁改修工事</p> <p>4-46 外壁改修工事</p> <p>4-47 外壁改修工事</p> <p>4-48 外壁改修工事</p> <p>4-49 外壁改修工事</p> <p>4-50 外壁改修工事</p> <p>4-51 外壁改修工事</p> <p>4-52 外壁改修工事</p> <p>4-53 外壁改修工事</p> <p>4-54 外壁改修工事</p> <p>4-55 外壁改修工事</p> <p>4-56 外壁改修工事</p> <p>4-57 外壁改修工事</p> <p>4-58 外壁改修工事</p> <p>4-59 外壁改修工事</p> <p>4-60 外壁改修工事</p> <p>4-61 外壁改修工事</p> <p>4-62 外壁改修工事</p> <p>4-63 外壁改修工事</p> <p>4-64 外壁改修工事</p> <p>4-65 外壁改修工事</p> <p>4-66 外壁改修工事</p> <p>4-67 外壁改修工事</p> <p>4-68 外壁改修工事</p> <p>4-69 外壁改修工事</p> <p>4-70 外壁改修工事</p> <p>4-71 外壁改修工事</p> <p>4-72 外壁改修工事</p> <p>4-73 外壁改修工事</p> <p>4-74 外壁改修工事</p> <p>4-75 外壁改修工事</p> <p>4-76 外壁改修工事</p> <p>4-77 外壁改修工事</p> <p>4-78 外壁改修工事</p> <p>4-79 外壁改修工事</p> <p>4-80 外壁改修工事</p> <p>4-81 外壁改修工事</p> <p>4-82 外壁改修工事</p> <p>4-83 外壁改修工事</p> <p>4-84 外壁改修工事</p> <p>4-85 外壁改修工事</p> <p>4-86 外壁改修工事</p> <p>4-87 外壁改修工事</p> <p>4-88 外壁改修工事</p> <p>4-89 外壁改修工事</p> <p>4-90 外壁改修工事</p> <p>4-91 外壁改修工事</p> <p>4-92 外壁改修工事</p> <p>4-93 外壁改修工事</p> <p>4-94 外壁改修工事</p> <p>4-95 外壁改修工事</p> <p>4-96 外壁改修工事</p> <p>4-97 外壁改修工事</p> <p>4-98 外壁改修工事</p> <p>4-99 外壁改修工事</p> <p>4-100 外壁改修工事</p>
		呼び名	仕上げの形状	工法	防火材料																																																									
※ 外装薄塗材 E			-																																																											
			-																																																											
呼び名	仕上げの形状	工法	上塗り材	防火材料																																																										
			・ 適用する	-																																																										
			・ 適用する	-																																																										
呼び名	仕上げの形状	工法	上塗り材の種類	耐水性	防火材料																																																									
※ 複層塗材 E			溶媒 ※ 水系 樹脂 ※ アクリル系 外観 ※ つやあり	・ 耐水性3種	-																																																									
呼び名	仕上げの形状	防火材料																																																												
		-																																																												
		-																																																												
<p>4-1 外壁改修工事</p>	<p>4-1 外壁改修工事</p>	<p>4-1 外壁改修工事</p>	<p>4-1 外壁改修工事</p>	<p>4-1 外壁改修工事</p>	<p>4-1 外壁改修工事</p>																																																									

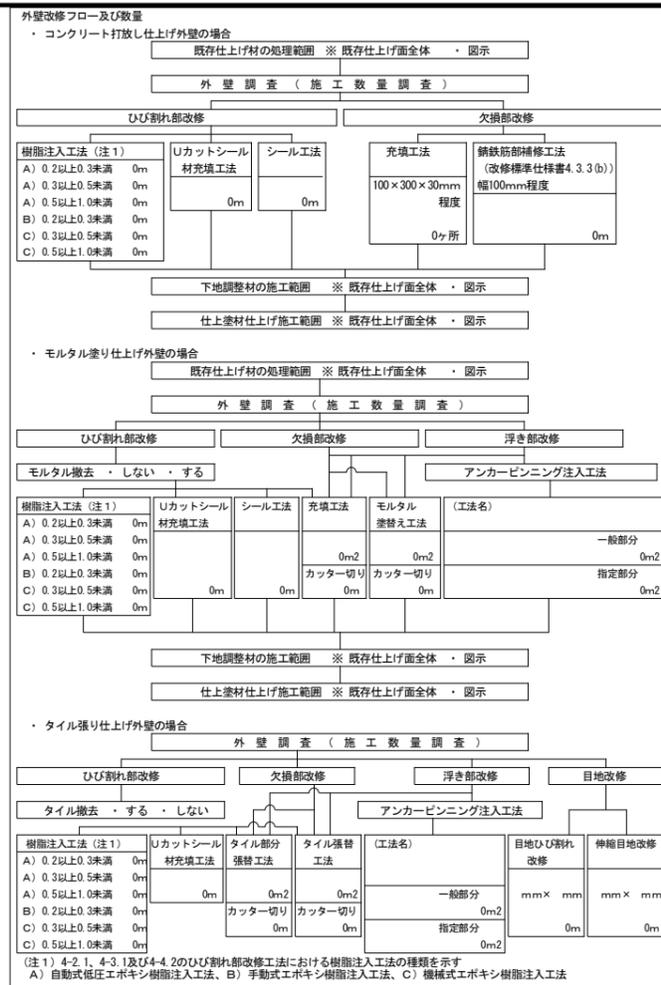


Table with 2 columns: Item Name (e.g., 5 建築改修工事) and Specifications/Requirements. Includes details on repair methods, fire doors, and building materials.

Table with 2 columns: Item Name (e.g., 11 建具用金物) and Specifications/Requirements. Lists hardware items like door handles, hinges, and fasteners with material and performance details.

Table with 2 columns: Item Name (e.g., 12 鍵, 13 自動ドア開閉装置) and Specifications/Requirements. Details door hardware, including keys and automatic door systems, with performance and safety requirements.

Table with 2 columns: Item Name (e.g., 14 自閉式上吊り引戸装置) and Specifications/Requirements. Lists various door and window hardware systems like automatic doors and shutters with detailed technical specifications.

Project summary block containing: 事業年度 (Fiscal Year), 設計 (Design), 大中小地域 (Area), 施設種類 (Facility Type), 工事名 (Project Name), 事務所名 (Firm Name), 図番 (Drawing No.).

18	ガラス	<p>・ふすま 張りの種類 (・ I型 ・ II型) 上張り (押入等の裏側以外) ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度 縁仕上げ ・塗り縁 ・生地縁 (素地) ・生地縁 (ウレタンクイヤー塗装) 見込み寸法 ※ 建具表による</p> <p>・戸ぶすま 見込み寸法 ※ 建具表による</p> <p>・紙張り障子 見込み寸法 ※ 建具表による</p> <p>枠の材料 ・木製枠 (6章内装改修工事による)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・銅製枠 (※至密めつき銅板 ・ビニル被覆銅板 ・カラー銅板 ・ステンレス鋼板) ・木製枠 (3. 7. 5. 1. 3. 2~4) (図5. 14. 1) <p>下記のガラス以外の品種、厚さの呼びによる種類等</p> <p>※ 建具表による</p> <p>合わせガラスの材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ及び特性による種類</p> <p>※ 下記以外は建具表による</p> <table border="1"> <tr> <th>材料板ガラスの種類、組合せ</th> <th>層間接着剤の種類並びにショットバック衝撃特性による種類</th> </tr> <tr> <td>・フロート板、フロート板合わせガラス</td> <td>・ I類 ・ II-1類 ・ II-2類 ・ III類</td> </tr> </table> <p>強化ガラスの形状による種類、材料板ガラスの種類による名称及び特性による種類</p> <p>※ 下記以外は建具表による</p> <table border="1"> <tr> <th>材料板ガラスによる種類</th> <th>材料板ガラス</th> <th>破片の形状及びショットバック衝撃特性による種類</th> </tr> <tr> <td>・フロート強化ガラス</td> <td>・フロート板ガラス</td> <td>・ I類 ・ III類</td> </tr> </table> <p>熱線吸収ガラスの板ガラスによる種類、厚さによる種類及び性能による種類</p> <p>※ 下記以外は建具表による</p> <table border="1"> <tr> <th>材料板ガラスによる種類</th> <th>性能による種類</th> <th>色調</th> </tr> <tr> <td>・熱線吸収フロート板ガラス</td> <td>・ 1種 ・ 2種</td> <td>・ グリーン</td> </tr> <tr> <td>・熱線吸収入り磨き板ガラス</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>複層ガラスの材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ</p> <p>※ 下記以外は建具表による</p> <table border="1"> <tr> <th>断熱性による区分</th> <th>乾燥気体の種類</th> </tr> <tr> <td>・ T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5 ・ T6</td> <td>・ 空気 ・ アルゴン</td> </tr> </table> <p>日射取得性、日射遮蔽性による区分</p> <table border="1"> <tr> <th>乾燥気体の種類</th> </tr> <tr> <td>・ G ・ S</td> </tr> </table> <p>熱線反射ガラスの材料板ガラスの種類及び厚さによる種類</p> <p>※ 下記以外は建具表による</p> <table border="1"> <tr> <th>材料板ガラスによる種類</th> <th>日射熱遮蔽性による区分</th> <th>耐久性による区分</th> </tr> <tr> <td>・色調 (・ブルー ・ グレー)</td> <td>・ 1種</td> <td>A類</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 2種</td> <td>・ A類 ・ B類</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 3種</td> <td>B類</td> </tr> </table> <p>反射皮膜面 ・ 内面 ・ 外面 映像調整 ・ 行わない ・ 行う</p> <p>ガラスの留め材及び溝の大きさ</p> <table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>ガラス留め材</th> <th>ガラス溝の大きさ (mm)</th> </tr> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>※ シーリング材 ・ ガスケット ・ グレージングチャンネル形</td> <td>※ 建具の製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>鋼製及び鋼製軽量</td> <td>※ シーリング材</td> <td>※ 建具の製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>※ シーリング材</td> <td>※ 建具の製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>樹脂製</td> <td>※ シーリング材 ・ ガスケット ・ グレージングチャンネル形</td> <td>※ 建具の製造所の仕様による</td> </tr> </table> <p>耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <table border="1"> <tr> <th>表面形状</th> <th>呼び寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>色調</th> <th>目地幅 (mm)</th> <th>伸縮調整目地位置 (mm)</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td>・正方形</td> <td>・160×160</td> <td>・95</td> <td>・クリア</td> <td>・乳白</td> <td>・平積み ※8~15</td> <td>・無し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・200×200</td> <td>・95</td> <td>・クリア</td> <td>・乳白</td> <td>・平積み ※8~15</td> <td>・無し</td> </tr> </table> <p>外側 ※標準仕様書5. 14. 5(2) (イ) (a) ②</p> <p>内側 ※標準仕様書5. 14. 5(2) (イ) (a) ②</p> <p>壁用金属枠及び補強材の材質・形状 ※ 図示</p> <p>力骨 材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 寸法 ※ 径5. 5mm 形状 ※ はしご形状複筋及び単筋</p> <p>化粧目地モルタルの色 ()</p> <p>シーリングの種類 ()</p> <p>金属製化粧カバー 材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製 寸法 ※ 図示 形状 ※ 図示</p> <p>工法 1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による ・ 図示</p>	材料板ガラスの種類、組合せ	層間接着剤の種類並びにショットバック衝撃特性による種類	・フロート板、フロート板合わせガラス	・ I類 ・ II-1類 ・ II-2類 ・ III類	材料板ガラスによる種類	材料板ガラス	破片の形状及びショットバック衝撃特性による種類	・フロート強化ガラス	・フロート板ガラス	・ I類 ・ III類	材料板ガラスによる種類	性能による種類	色調	・熱線吸収フロート板ガラス	・ 1種 ・ 2種	・ グリーン	・熱線吸収入り磨き板ガラス			断熱性による区分	乾燥気体の種類	・ T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5 ・ T6	・ 空気 ・ アルゴン	乾燥気体の種類	・ G ・ S	材料板ガラスによる種類	日射熱遮蔽性による区分	耐久性による区分	・色調 (・ブルー ・ グレー)	・ 1種	A類		・ 2種	・ A類 ・ B類		・ 3種	B類	建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)	アルミニウム製	※ シーリング材 ・ ガスケット ・ グレージングチャンネル形	※ 建具の製造所の仕様による	鋼製及び鋼製軽量	※ シーリング材	※ 建具の製造所の仕様による	ステンレス製	※ シーリング材	※ 建具の製造所の仕様による	樹脂製	※ シーリング材 ・ ガスケット ・ グレージングチャンネル形	※ 建具の製造所の仕様による	表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整目地位置 (mm)	防火性能	・正方形	・160×160	・95	・クリア	・乳白	・平積み ※8~15	・無し		・200×200	・95	・クリア	・乳白	・平積み ※8~15	・無し	6	①	<p>他の部位との取り合い等 [6. 1. 3]</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※ 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○ 図示 ※ 既存のまま ○ 図示 	②	<p>既存床の撤去及び下地補修 [6. 2. 2]</p> <ul style="list-style-type: none"> ビニル床シート等の撤去 ※ 仕上材のみ (接着剤とも) (・ 図示の範囲 ・ 撤去範囲全て) 合成樹脂塗床材の除去工法 ・ 機械的除去工法 ・ 目貫し工法 既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外装改修工事による。 	③	<p>既存壁の撤去及び下地補修 [6. 3. 2]</p> <p>間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 改修標準仕様書4. 3. 10によるモルタル塗り (仕上げ厚又は全塗厚25mmを超える場合の処置 ※ 図示) 	④	<p>製材</p> <p>ホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆又は標準仕様書6. 5. 2(1) (イ) (b) による</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JAS 1083-5 製材 - 第5部に基づく下地用製材 [6. 5. 2] <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ 2級</td> <td>※ A種 ・ B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ 2級</td> <td>※ A種 ・ B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ JAS 1083-2 製材 - 第2部に基づく造作用製材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td>見え掛り面</td> <td></td> <td>※ 上小節</td> <td>※ A種 ・ B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>見え掛り面以外</td> <td></td> <td>※ 小節以上</td> <td>※ A種 ・ B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ JAS 1083-6 製材 - 第6部に基づく広葉樹製材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ 1等</td> <td>※ 10%以下 ・ A種 ・ B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ 1等</td> <td>※ 10%以下 ・ A種 ・ B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ JAS 1083 (製材) 以外の製材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>材面の品質</th> <th>防火処理</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>()</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> <td>※ A種 ・ B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>造作材の場合 (※ A種 ・ B種)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>「集材材の日本農林規格」による造作用集成材 [6. 5. 2]</p> <p>ホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆又は標準仕様書6. 5. 2(1) (イ) (b) による</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「集材材の日本農林規格」による造作用集成材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ 1等 ・ 2等</td> <td></td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「集材材の日本農林規格」による化粧仕上げ造作用集成材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ 1等 ・ 2等</td> <td></td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「集材材の日本農林規格」以外の造作用集成材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ 15%以下</td> <td></td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「集材材の日本農林規格」以外の化粧仕上げ造作用集成材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ 15%以下</td> <td></td> </tr> </table> <p>化粧薄板： 芯材：</p>	施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用			※ 2級	※ A種 ・ B種					※ 2級	※ A種 ・ B種			施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用	見え掛り面		※ 上小節	※ A種 ・ B種			見え掛り面以外		※ 小節以上	※ A種 ・ B種			施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用			※ 1等	※ 10%以下 ・ A種 ・ B種					※ 1等	※ 10%以下 ・ A種 ・ B種			施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	防火処理	含水率	間伐材等の適用			()	・ 適用する ・ 適用しない	※ A種 ・ B種				造作材の場合 (※ A種 ・ B種)				施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用						※ 1等 ・ 2等		施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	見付け材面の品質	間伐材等の適用							※ 1等 ・ 2等		施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用					※ 15%以下		施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用						※ 15%以下		7	①	<p>造作用集成材 [6. 5. 2]</p> <p>ホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆又は標準仕様書6. 5. 2(1) (イ) (b) による</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JAS 1083-5 製材 - 第5部に基づく下地用製材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>防火処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※ 5. 5</td> <td></td> <td>※ 1類 ・ 2類</td> <td>広葉樹 ※ 2等以上 針葉樹 ※ 0-D以上</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> <td></td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ JAS 3079に基づく直交集積板 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>強度等級</th> <th>種別</th> <th>接着性能 (使用環境)</th> <th>樹種名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>「合板の日本農林規格」による化粧仕上げ構造用合板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>防火処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ 1類 ・ 2類</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> <td></td> </tr> </table> <p>「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>防火処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ 1類 ・ 2類</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> <td></td> </tr> </table> <p>「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>防火処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※ 1類 ・ 2類</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ パーティクルボード</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>表面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>耐水性による区分</th> <th>難燃性による区分</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ 13タイプ</td> <td>※ P又はM</td> <td></td> <td>※ 15</td> </tr> </table> <p>・ JAS 0360に基づく構造用パネル</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>等級</th> <th>寸法 (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 ・ 4級</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ ミディアムデンシティファイバーボード (MDF)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>接着剤による区分</th> <th>難燃性による区分</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防火処理	間伐材等の適用		※ 5. 5		※ 1類 ・ 2類	広葉樹 ※ 2等以上 針葉樹 ※ 0-D以上	・ 適用する ・ 適用しない		施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能 (使用環境)	樹種名	寸法 (mm)	間伐材等の適用									施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防火処理	間伐材等の適用				※ 1類 ・ 2類	・ 適用する ・ 適用しない		施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防火処理	間伐材等の適用				※ 1類 ・ 2類	・ 適用する ・ 適用しない		施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防火処理	間伐材等の適用				※ 1類 ・ 2類	・ 適用する ・ 適用しない		施工箇所	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)			※ 13タイプ	※ P又はM		※ 15	施工箇所	等級	寸法 (mm)		・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 ・ 4級		施工箇所	厚さ (mm)	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	間伐材等の適用								②	<p>接合具等 [6. 5. 3]</p> <p>造作材の化粧面の釘打ち</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし釘打ち ・ 釘頭現し 隠し釘 ※ かしがい、座金、箱金物、短冊金物 (標準仕様書 表6. 5. 3~5に示す程度の市販品 表8. 20. 1のF種程度) ・ (形状： 寸法： 材質：) <p>・ 薬剤の加圧注入による防蟻防蝕処理 [6. 5. 5]</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>処理の方法</th> <th>薬剤の種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ JIS K 15711に適合又は同等品</td> </tr> </table> <p>・ 薬剤の塗布等による防蟻、防蝕処理</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>処理の方法</th> <th>薬剤の種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ JIS K 15711に適合又は同等品</td> </tr> </table> <p>・ 薬剤の接着剤への混入による防蟻、防蝕処理</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部位</th> <th>処理の方法</th> <th>薬剤の種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ JIS K 15711に適合又は同等品</td> </tr> </table>	適用部材	処理の方法	薬剤の種類			※ JIS K 15711に適合又は同等品	適用部材	処理の方法	薬剤の種類			※ JIS K 15711に適合又は同等品	適用部位	処理の方法	薬剤の種類			※ JIS K 15711に適合又は同等品	③	<p>内部開仕切材の接合 [6. 5. 6]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 間仕切輪廻に用いる木材の樹木名 (製材を用いる場合) ※ 杉又は松 ・ 床組みに用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) 	④	<p>窓、出入口その他 [6. 5. 7]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 窓、出入口その他に用いる木材の樹木名 (製材を用いる場合) ※ 杉元幹、水掛りの下幹及び数居はひのき、その他は杉又は松 	⑤	<p>床板張り [6. 5. 8]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 床板及び上りこまちに用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※ ひのき 	⑥	<p>壁及び天井下地 [6. 5. 9]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 壁間隙、野線受縁、野線及び吊木に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合) ※ 杉又は松 	⑦	<p>重量鉄骨天井下地 [6. 6. 2~4]</p> <p>野線等の種類 [6. 6. 2~4]</p> <ul style="list-style-type: none"> 屋外 (※ 25形) 屋内 (※ 19形 ・ 25形) ・ 屋外の軒天井、ピロチ天井等 <p>工法</p> <p>1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法</p> <p>野線受、つりボルト及び引線サートの間隔 ・ 図示</p> <p>風圧部の隙からの間隔 ・ 図示</p> <p>野線の間隔 ・ 図示</p> <p>既存の埋込み引線サート ・ 使用する ・ 使用しない</p> <p>あと施工アンカーの施工後の確認試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行う (試験箇所数 ※ 室内の場合、当該階において3箇所 (確認強度 ※ 改修標準仕様書6. 6. 4(1) (イ) による)) ・ 行わない <p>・ つりボルトの間隔が900mmを超える場合</p> <p>補強方法 ※ 図示</p> <p>・ 天井のふところが3. 0mを超える場合</p> <p>補強方法 ※ 図示</p> <p>・ 天井の地下地における耐震性を考慮した補強</p> <p>補強箇所 ※ 高さが6mを超える天井 ・ 図示</p> <p>補強方法 ※ 「特定天井及び特定天井の構造耐力上安全な構造方法を定める件」 (平成25年国土交通省告示第711号) 第3第2項第二号に適合させる。</p> <p>・ 図示</p> <p>耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p>
		材料板ガラスの種類、組合せ	層間接着剤の種類並びにショットバック衝撃特性による種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・フロート板、フロート板合わせガラス	・ I類 ・ II-1類 ・ II-2類 ・ III類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
材料板ガラスによる種類	材料板ガラス	破片の形状及びショットバック衝撃特性による種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・フロート強化ガラス	・フロート板ガラス	・ I類 ・ III類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
材料板ガラスによる種類	性能による種類	色調																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・熱線吸収フロート板ガラス	・ 1種 ・ 2種	・ グリーン																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・熱線吸収入り磨き板ガラス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
断熱性による区分	乾燥気体の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・ T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5 ・ T6	・ 空気 ・ アルゴン																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
乾燥気体の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ G ・ S																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
材料板ガラスによる種類	日射熱遮蔽性による区分	耐久性による区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・色調 (・ブルー ・ グレー)	・ 1種	A類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	・ 2種	・ A類 ・ B類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	・ 3種	B類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
アルミニウム製	※ シーリング材 ・ ガスケット ・ グレージングチャンネル形	※ 建具の製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
鋼製及び鋼製軽量	※ シーリング材	※ 建具の製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
ステンレス製	※ シーリング材	※ 建具の製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
樹脂製	※ シーリング材 ・ ガスケット ・ グレージングチャンネル形	※ 建具の製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整目地位置 (mm)	防火性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・正方形	・160×160	・95	・クリア	・乳白	・平積み ※8~15	・無し																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	・200×200	・95	・クリア	・乳白	・平積み ※8~15	・無し																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		※ 2級	※ A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		※ 2級	※ A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
見え掛り面		※ 上小節	※ A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
見え掛り面以外		※ 小節以上	※ A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		※ 1等	※ 10%以下 ・ A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		※ 1等	※ 10%以下 ・ A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	防火処理	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		()	・ 適用する ・ 適用しない	※ A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		造作材の場合 (※ A種 ・ B種)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
					※ 1等 ・ 2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
						※ 1等 ・ 2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
				※ 15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
					※ 15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防火処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	※ 5. 5		※ 1類 ・ 2類	広葉樹 ※ 2等以上 針葉樹 ※ 0-D以上	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能 (使用環境)	樹種名	寸法 (mm)	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防火処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
			※ 1類 ・ 2類	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防火処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
			※ 1類 ・ 2類	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防火処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
			※ 1類 ・ 2類	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
施工箇所	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		※ 13タイプ	※ P又はM		※ 15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	等級	寸法 (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 ・ 4級																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
施工箇所	厚さ (mm)	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
適用部材	処理の方法	薬剤の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		※ JIS K 15711に適合又は同等品																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
適用部材	処理の方法	薬剤の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		※ JIS K 15711に適合又は同等品																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
適用部位	処理の方法	薬剤の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		※ JIS K 15711に適合又は同等品																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
19	ガラスフィルム	<p>耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>記号</th> <th>その他性能等</th> </tr> <tr> <td>○ 日射調整フィルム</td> <td>○ SC-1 ・ SC-2</td> <td>日射遮へい性能による区分 ・ A ・ ⑥ ・ C ・ D ・ E</td> </tr> <tr> <td>・ 低放射フィルム</td> <td>LE</td> <td>熱遮断率による区分 ・ A ・ B ・ C ・ D</td> </tr> <tr> <td>○ 衝撃破壊対応ガラス 飛散防止フィルム</td> <td>○ G1-1 ・ G1-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 相関変位破壊対応ガラス 飛散防止フィルム</td> <td>○ GD-1 ・ GD-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ガラス貫通防止フィルム</td> <td>SF</td> <td>ガラスの貫通防止性能による区分 ・ A ・ B</td> </tr> </table> <p>品質 JIS A 5759による</p>	種類	記号	その他性能等	○ 日射調整フィルム	○ SC-1 ・ SC-2	日射遮へい性能による区分 ・ A ・ ⑥ ・ C ・ D ・ E	・ 低放射フィルム	LE	熱遮断率による区分 ・ A ・ B ・ C ・ D	○ 衝撃破壊対応ガラス 飛散防止フィルム	○ G1-1 ・ G1-2		○ 相関変位破壊対応ガラス 飛散防止フィルム	○ GD-1 ・ GD-2		・ ガラス貫通防止フィルム	SF	ガラスの貫通防止性能による区分 ・ A ・ B	20	ガラスブロック積み	<p>耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <table border="1"> <tr> <th>表面形状</th> <th>呼び寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>色調</th> <th>目地幅 (mm)</th> <th>伸縮調整目地位置 (mm)</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td>・正方形</td> <td>・160×160</td> <td>・95</td> <td>・クリア</td> <td>・乳白</td> <td>・平積み ※8~15</td> <td>・無し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・200×200</td> <td>・95</td> <td>・クリア</td> <td>・乳白</td> <td>・平積み ※8~15</td> <td>・無し</td> </tr> </table> <p>外側 ※標準仕様書5. 14. 5(2) (イ) (a) ②</p> <p>内側 ※標準仕様書5. 14. 5(2) (イ) (a) ②</p>	表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整目地位置 (mm)	防火性能	・正方形	・160×160	・95	・クリア	・乳白	・平積み ※8~15	・無し		・200×200	・95	・クリア	・乳白	・平積み ※8~15	・無し	21	カーペット敷き	<p>種類 ・ 単層品 ・ 複層品</p> <p>色調 ()</p> <p>厚さ (mm) ・ 3. 0 ・ 4. 5 ・ 6. 0 ・ 9. 0</p> <p>寸法 (mm) ()</p> <p>[6. 9. 2. 3] [表 6. 9. 1]</p> <table border="1"> <tr> <th>織り方</th> <th>バイルの形状</th> <th>帯電性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ ウィルトンカーペット</td> <td>・ カットバイル</td> <td>・ 適用する</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ダブルフェースカーペット</td> <td>・ ルーフバイル</td> <td>・ 適用しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ アクシミンターカーペット</td> <td>・ カット、ループ併用</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>色調 ※ 模様のない無地 バイル糸の織経等 ※ 無地の織りじゅうたんの種類 (・ A種 ・ B種 ・ C種) 織じゅうたんの接合方法 ※ ヒートボンド工法 ・ つづり縫い</p> <p>・ タフテッドカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>バイルの形状</th> <th>バイルの長さ (mm)</th> <th>工法</th> <th>帯電性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ カットバイル</td> <td>・ 5~7</td> <td>※ 全面接着工法</td> <td>・ 適用する</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ルーフバイル</td> <td>・ 4~6</td> <td>・ グリッパー工法</td> <td>・ 適用しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ カット、ループ併用</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆</p> <table border="1"> <tr> <th>バイルの形状</th> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>総厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ ルーフバイル</td> <td>※ 第一種 ・ 第二種</td> <td></td> <td>※ 500×500</td> <td>※ 6. 5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ カットバイル</td> <td>・ 第一種 ・ 第二種</td> <td></td> <td>※ 500×500</td> <td>※ 6. 5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ カット、ループ併用</td> <td>・ 第一種 ・ 第二種</td> <td></td> <td>※ 500×500</td> <td>※ 6. 5</td> <td></td> </tr> </table> <p>タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆</p> <p>タイルカーペットの敷き方 平場 ※ 市松敷き ・ 横棹流し ・ 階段部分 ※ 横棹流し ・ 市松敷き</p> <p>見切り、押え金物の材質、種類及び形状 ※ 図示</p> <p>下敷き材 ※ 反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm</p>	織り方	バイルの形状	帯電性	備考	・ ウィルトンカーペット	・ カットバイル	・ 適用する		・ ダブルフェースカーペット	・ ルーフバイル	・ 適用しない		・ アクシミンターカーペット	・ カット、ループ併用			バイルの形状	バイルの長さ (mm)	工法	帯電性	備考	・ カットバイル	・ 5~7	※ 全面接着工法	・ 適用する		・ ルーフバイル	・ 4~6	・ グリッパー工法	・ 適用しない		・ カット、ループ併用					バイルの形状	種類	施工箇所	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	備考	※ ルーフバイル	※ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500	※ 6. 5		・ カットバイル	・ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500	※ 6. 5		・ カット、ループ併用	・ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500	※ 6. 5																																																																																																																																																																																																																																													
種類	記号	その他性能等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
○ 日射調整フィルム	○ SC-1 ・ SC-2	日射遮へい性能による区分 ・ A ・ ⑥ ・ C ・ D ・ E																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・ 低放射フィルム	LE	熱遮断率による区分 ・ A ・ B ・ C ・ D																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
○ 衝撃破壊対応ガラス 飛散防止フィルム	○ G1-1 ・ G1-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
○ 相関変位破壊対応ガラス 飛散防止フィルム	○ GD-1 ・ GD-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
・ ガラス貫通防止フィルム	SF	ガラスの貫通防止性能による区分 ・ A ・ B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整目地位置 (mm)	防火性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・正方形	・160×160	・95	・クリア	・乳白	・平積み ※8~15	・無し																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	・200×200	・95	・クリア	・乳白	・平積み ※8~15	・無し																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
織り方	バイルの形状	帯電性	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ ウィルトンカーペット	・ カットバイル	・ 適用する																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・ ダブルフェースカーペット	・ ルーフバイル	・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・ アクシミンターカーペット	・ カット、ループ併用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
バイルの形状	バイルの長さ (mm)	工法	帯電性	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ カットバイル	・ 5~7	※ 全面接着工法	・ 適用する																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ ルーフバイル	・ 4~6	・ グリッパー工法	・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ カット、ループ併用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
バイルの形状	種類	施工箇所	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
※ ルーフバイル	※ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500	※ 6. 5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ カットバイル	・ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500	※ 6. 5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ カット、ループ併用	・ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500	※ 6. 5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年度	令和							建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	建築改修工事特記仕様書 (5)		A-05

22	ガラス用フィルム	<p>耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>記号</th> <th>その他性能等</th> </tr> <tr> <td>○ 日射調整フィルム</td> <td>○ SC-1 ・ SC-2</td> <td>日射遮へい性能による区分 ・ A ・ ⑥ ・ C ・ D ・ E</td> </tr> <tr> <td>・ 低放射フィルム</td> <td>LE</td> <td>熱遮断率による区分 ・ A ・ B ・ C ・ D</td> </tr> <tr> <td>○ 衝撃破壊対応ガラス 飛散防止フィルム</td> <td>○ G1-1 ・ G1-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 相関変位破壊対応ガラス 飛散防止フィルム</td> <td>○ GD-1 ・ GD-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ガラス貫通防止フィルム</td> <td>SF</td> <td>ガラスの貫通防止性能による区分 ・ A ・ B</td> </tr> </table> <p>品質 JIS A 5759による</p>	種類	記号	その他性能等	○ 日射調整フィルム	○ SC-1 ・ SC-2	日射遮へい性能による区分 ・ A ・ ⑥ ・ C ・ D ・ E	・ 低放射フィルム	LE	熱遮断率による区分 ・ A ・ B ・ C ・ D	○ 衝撃破壊対応ガラス 飛散防止フィルム	○ G1-1 ・ G1-2		○ 相関変位破壊対応ガラス 飛散防止フィルム	○ GD-1 ・ GD-2		・ ガラス貫通防止フィルム	SF	ガラスの貫通防止性能による区分 ・ A ・ B	23	ガラスブロック積み	<p>耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</p> <table border="1"> <tr> <th>表面形状</th> <th>呼び寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>色調</th> <th>目地幅 (mm)</th> <th>伸縮調整目地位置 (mm)</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td>・正方形</td> <td>・160×160</td> <td>・95</td> <td>・クリア</td> <td>・乳白</td> <td>・平積み ※8~15</td> <td>・無し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・200×200</td> <td>・95</td> <td>・クリア</td> <td>・乳白</td> <td>・平積み ※8~15</td> <td>・無し</td> </tr> </table> <p>外側 ※標準仕様書5. 14. 5(2) (イ) (a) ②</p> <p>内側 ※標準仕様書5. 14. 5(2) (イ) (a) ②</p>	表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整目地位置 (mm)	防火性能	・正方形	・160×160	・95	・クリア	・乳白	・平積み ※8~15	・無し		・200×200	・95	・クリア	・乳白	・平積み ※8~15	・無し	24	カーペット敷き	<p>種類 ・ 単層品 ・ 複層品</p> <p>色調 ()</p> <p>厚さ (mm) ・ 3. 0 ・ 4. 5 ・ 6. 0 ・ 9. 0</p> <p>寸法 (mm) ()</p> <p>[6. 9. 2. 3] [表 6. 9. 1]</p> <table border="1"> <tr> <th>織り方</th> <th>バイルの形状</th> <th>帯電性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ ウィルトンカーペット</td> <td>・ カットバイル</td> <td>・ 適用する</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ダブルフェースカーペット</td> <td>・ ルーフバイル</td> <td>・ 適用しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ アクシミンターカーペット</td> <td>・ カット、ループ併用</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>色調 ※ 模様のない無地 バイル糸の織経等 ※ 無地の織りじゅうたんの種類 (・ A種 ・ B種 ・ C種) 織じゅうたんの接合方法 ※ ヒートボンド工法 ・ つづり縫い</p> <p>・ タフテッドカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>バイルの形状</th> <th>バイルの長さ (mm)</th> <th>工法</th> <th>帯電性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ カットバイル</td> <td>・ 5~7</td> <td>※ 全面接着工法</td> <td>・ 適用する</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ルーフバイル</td> <td>・ 4~6</td> <td>・ グリッパー工法</td> <td>・ 適用しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ カット、ループ併用</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆</p> <table border="1"> <tr> <th>バイルの形状</th> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>総厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ ルーフバイル</td> <td>※ 第一種 ・ 第二種</td> <td></td> <td>※ 500×500</td> <td>※ 6. 5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ カットバイル</td> <td>・ 第一種 ・ 第二種</td> <td></td> <td>※ 500×500</td> <td>※ 6. 5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ カット、ループ併用</td> <td>・ 第一種 ・ 第二種</td> <td></td> <td>※ 500×500</td> <td>※ 6. 5</td> <td></td> </tr> </table> <p>タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※ F☆☆☆☆</p> <p>タイルカーペットの敷き方 平場 ※ 市松敷き ・ 横棹流し ・ 階段部分 ※ 横棹流し ・ 市松敷き</p> <p>見切り、押え金物の材質、種類及び形状 ※ 図示</p> <p>下敷き材 ※ 反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm</p>	織り方	バイルの形状	帯電性	備考	・ ウィルトンカーペット	・ カットバイル	・ 適用する		・ ダブルフェースカーペット	・ ルーフバイル	・ 適用しない		・ アクシミンターカーペット	・ カット、ループ併用			バイルの形状	バイルの長さ (mm)	工法	帯電性	備考	・ カットバイル	・ 5~7	※ 全面接着工法	・ 適用する		・ ルーフバイル	・ 4~6	・ グリッパー工法	・ 適用しない		・ カット、ループ併用					バイルの形状	種類	施工箇所	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	備考	※ ルーフバイル	※ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500	※ 6. 5		・ カットバイル	・ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500	※ 6. 5		・ カット、ループ併用	・ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500	※ 6. 5	
種類	記号	その他性能等																																																																																																									
○ 日射調整フィルム	○ SC-1 ・ SC-2	日射遮へい性能による区分 ・ A ・ ⑥ ・ C ・ D ・ E																																																																																																									
・ 低放射フィルム	LE	熱遮断率による区分 ・ A ・ B ・ C ・ D																																																																																																									
○ 衝撃破壊対応ガラス 飛散防止フィルム	○ G1-1 ・ G1-2																																																																																																										
○ 相関変位破壊対応ガラス 飛散防止フィルム	○ GD-1 ・ GD-2																																																																																																										
・ ガラス貫通防止フィルム	SF	ガラスの貫通防止性能による区分 ・ A ・ B																																																																																																									
表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整目地位置 (mm)	防火性能																																																																																																					
・正方形	・160×160	・95	・クリア	・乳白	・平積み ※8~15	・無し																																																																																																					
	・200×200	・95	・クリア	・乳白	・平積み ※8~15	・無し																																																																																																					
織り方	バイルの形状	帯電性	備考																																																																																																								
・ ウィルトンカーペット	・ カットバイル	・ 適用する																																																																																																									
・ ダブルフェースカーペット	・ ルーフバイル	・ 適用しない																																																																																																									
・ アクシミンターカーペット	・ カット、ループ併用																																																																																																										
バイルの形状	バイルの長さ (mm)	工法	帯電性	備考																																																																																																							
・ カットバイル	・ 5~7	※ 全面接着工法	・ 適用する																																																																																																								
・ ルーフバイル	・ 4~6	・ グリッパー工法	・ 適用しない																																																																																																								
・ カット、ループ併用																																																																																																											
バイルの形状	種類	施工箇所	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	備考																																																																																																						
※ ルーフバイル	※ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500	※ 6. 5																																																																																																							
・ カットバイル	・ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500	※ 6. 5																																																																																																							
・ カット、ループ併用	・ 第一種 ・ 第二種		※ 500×500	※ 6. 5																																																																																																							

22 合衆樹脂塗床 [6. 1. 0. 2、3]
種別 施工箇所 工法 仕上げの種類
厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床 ※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ
薄膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床 薄膜塗しのペ工法 ・ 平滑仕上げ
厚膜塗しのペ工法 ・ 防汚仕上げ
薄膜塗しのペ工法 ・ 平滑仕上げ
塗料のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆

23 物せり用塗床
材料 水性アクリル樹脂塗料と、製造所の指定する製品とする
工法 製造所の指定する工法とする
なお、上塗りは2回塗りとし、総塗布量は0. 25k/m2以上とする
仕上げの種類 (※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ) (※ 標準色)
JIS K 5970に基づく塗料のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆

24 フローリング張り [6. 1. 1. 2~6]
単層フローリング
種類 工法 樹種 厚さ (mm) 間伐材等の適用
フローリングボード1等 釘留め工法 (根太張り) ※ なら ・ 15
釘留め工法 (直張り) ※ なら ・ 12
接着工法 ※ なら ・ 8
フローリングブロック1等 接着工法 ※ なら ・ 15

25 敷設工 [6. 1. 2. 2]
種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ※D種 (畳床: ・ KT-I ・ KT-II ※KT-III ・ KT-K ・ KT-N)
下地の種類 ・ 標準仕様書表12. 6. 1による床組
ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロム)
畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びビステレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
衝撃緩和装置 (畳表: ・ C1 ・ C2)
26 セッコウボードその他ボード及び合板張り [6. 1. 3. 2、3]
MD F、パーティクルボード及び接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆
合板のホルムアルデヒド放数量 ※標準仕様書19. 7. 2. 2 (4) (a)~(d)のいずれか

事業年度 年度
工事完成 年度
設計 令和 年月
三原市都市部建築課

大 中 小 地域 施設 種類 工事名
建築 元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)

(4) 接着強さ (標準時) の試験方法
イ) 適用タイルが「モザイクタイル」の場合
(試験体の作製) JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板 N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付け。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押し出し又はプレス成形による施すの150角ユニットタイル(外のり寸法約300mm×300mm)を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿養生を行い、これを試験体とする。
(試験方法) JIS A 6909「建築用仕上塗材」の7. 10付着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、樹脂接着剤で鋼製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さエポキ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び抜き取る。(全てが0. 6N/mm2以上を確保していること)
また、試験後の部材破断位置の表示を下記の中から選び明記する。
T : タイルの母材破断 M : 既調合モルタルと下地板の界面破断
TM : 既調合モルタルとタイルの界面破断 S : 下地板の母材破断
M : 既調合モルタルの母材破断
ロ) 適用タイルが「小ロタイル・二丁掛タイル」の場合
(試験体の作製) JIS A 5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板 N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ7mmになるように塗付け。直ちに JIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押し出し又はプレス成形による施すの「小ロタイル108mm×60mm×12mm」を4枚2列、計8枚を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿養生を行い、これを試験体とする。
(試験方法) 「モザイクタイル」の場合と同様に行う。
(5) 接着強さ (温冷繰返し) の試験方法
(試験体の作製) 「モザイクタイル」及び「小ロタイル・二丁掛タイル」とも、各々(4)接着強さ (標準時) の試験方法の「試験体」と同様とする。
(温冷繰返し試験) 「モザイクタイル」及び「小ロタイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A 6909「建築用仕上塗材」に規定する7. 11温冷繰返し試験に準じて行う。
試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せしめた後、直ちに-20±2℃の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温器中で3時間加熱し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び崩れの有無を目視によって調べる。
(温冷繰返し後の接着強さ試験方法) 「モザイクタイル」及び「小ロタイル・二丁掛タイル」とも、各々温冷繰返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験法と同様に行う。(全てが0. 4N/mm2以上を確保していること)
(6) 長さ変化率の試験方法
JIS A 6203「セメント混和用ポリマーディスペーション及び再乳化形粉末樹脂」9. 9長さ変化率に準ずる。
(7) 曲げ強さの試験方法
JIS A 6916「建築用下地調整塗材」の7. 11 曲げ強さ試験に準ずる。
試験室の状態: 試験室は温度20±2℃、湿度65±10%とする。
既調合目地材 (品質・性能)

27 壁紙張り
ホルムアルデヒド放数量 ※F☆☆☆☆ [6. 1. 4. 2、3]
施工箇所 壁紙の種類 防火性能 備考
紙 繊維 プラス 無機質 その他 チック
・ ・ ・ ・ ・ ・ ○不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃
モルタル・セッコウプaster面の素地ごしらの種類 ※B種
コンクリート面の素地ごしらの種類 ※B種
セッコウボード面及びその他ボード面の素地ごしらの種類 ※B種
6. 1. 5. 3、5、6
モルタル ※ 現場調合材料 ・ 既調合材料 (材料)
既製目地材 ・ 設ける 施工箇所 () 形状 (※ 図示)
・ 設けない
床の目地 ・ 設ける (目地割り) ※ 2m程度 (最大目地間隔3m程度)
(種類 ※ 押し目地)
・ 設けない
外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整材塗りの接着力試験
・ 適用する ・ 適用しない
壁面の仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の下地処理
・ 図示による
建具回り等の充填モルタルに使用する防水剤 (品質・性能)
(試験方法) JIS A1404「建築用セメント防水剤の試験方法」による
項目 品質・性能
防水剤の種類 建築用のモルタルに用いるセメント防水剤
混合割合 セメント重量の5%以下
凝結及び安定性 (凝結時間) 始発: 1時間以上 終結: 10時間以内
(安定性) 収縮性、膨張性のひび割れ及びそりの有無について確認する。
曲げ及び圧縮強度比 防水剤を混入したもの、しないものの曲げ強度比及び圧縮強度比: 70%以上
吸水比 防水剤を混入したもの、しないものの吸水比: 95%以下
透水比 防水剤を混入したもの、しないものの透水比: 80%以下
ただし、透水試験における水圧は、3. 0×10⁵ Paとし1時間行う
[6. 1. 6. 2~4]
伸縮調整目地の位置 床タイル (※ 縦、横とも4m以内ごと ・ 図示)
床タイル以外 (※ 図示)
・ セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り
施工箇所 形状/寸法 再生材料 吸水率による区分 かわくすり 役物 色 耐凍害性 耐沖 備考
(mm) の適用 I類 II類 III類 Ⅳ類 Ⅴ類 Ⅵ類 Ⅶ類 Ⅷ類 Ⅷ類 Ⅷ類 Ⅷ類
耐滑り性: JIS A 1509-12 (セラミックタイル試験方法-第12部: 耐滑り性試験方法) で規定する
C. S. R値は0. 4~1. 0とする。
標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験体張り ・ 行う ※ 行わない
見本焼き ・ 行う ・ 行わない
既調合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
(品質・性能)
項目 品質・性能 項目 品質・性能
保水率 70. 0%以上 長さ変化率 0. 20%以下
単位容積質量 1. 80k/L以上 曲げ強さ 4. 0N/mm2以上
接着強さ 標準時 0. 60N/mm2以上
温冷繰返し後 0. 40N/mm2以上
(試験方法)
(1) 試料の調製
製造業者の定める、正味質量と標準練り上がり量より換算して、所定量の試料を練り上げるのに要する材料と練り混ぜ水を計算して用意する。
練り混ぜは、JIS R5201「セメントの物理試験方法」の10. 21に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちを用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜて試料とする。
(2) 保水率の試験方法
JIS R3202「フロー-ト板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス (縦150mm、横150mm、厚さ5mm) の上にJIS P3801「ろ紙 (化学分析用)」に規定する5 Aろ紙 (直径11cm) をのせ、その中央部に真鍮リング型わく (内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm) を設置し、(1)で調製した試料を平滑に詰込む。
その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。60分後にろ紙へじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直交方向の長さノギスを用いて、1mmの単位まで測定する。
試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。
保水率=50/平均値×100 (注) 50: リング型わくの直径 mm
(3) 単位容積質量の試験方法
JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。
7 塗装改修工事
① 材料
② 下地調整 素地ごしらす

事務所名・建築士登録番号・氏名
有限会社 MasMas
一級建築士登録 第325897号
小松木 靖之
図面名称・縮尺 (A3版-71%縮小)
建築改修工事特記仕様書(6)
A-06

測定方法 ・自動測定器による測定			
測定名称		測定方法	
・測定4 ・測定5 ・測定()	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定		
・JIS K 3850-1に基づいた測定			
測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量(l/min)	試料の吸引時間(min)
・測定4 ・測定5 ・測定()	25	5	30
・測定()	47	10	120
・測定()	47	10	240
・測定()			

石綿含有建材の処理
・石綿含有吹付け材の除去
除去対象範囲 ※ 図示
除去工法 ※ 改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化・固形化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有保温材等の除去
除去対象範囲 ※ 図示
除去工法 ※ 原形のまま、手ばらし・破砕して除去
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化・固形化
除去した石綿含有保温材等の処分
・埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有成形板(石綿含有けい酸カルシウム板第1種以外)の除去
除去対象範囲 ※ 図示
除去した石綿含有成形板の処分
・石綿含有石こうボード
※ 埋立処分(管理型最終処分場)
・石綿含有せっこうボードを除くアスベスト含有成形板
・埋立処分(安定型最終処分場)
・ 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有成形板(石綿含有けい酸カルシウム板第1種)の除去
除去対象範囲 ※ 図示
養生方法
除去した石綿含有けい酸カルシウム板第1種の処分
・埋立処分(安定型最終処分場)
・ 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板(下地調整材)の除去
下記以外は、改修標準仕様書9.1.1及9.1.2による
除去工法
※ 石綿障害予防規則(平成十七年二月二十四日厚生労働省令第二十一号) 第6条による措置と同等以上の効果を有する措置とされる工法
・集じん装置併用手工具ケレン工法
・集じん装置付き高圧水洗工法(15MPa以下、30~50MPa程度)
・集じん装置付き超高圧水洗工法(100MPa以上)
・超音波ケレン工法(H E P A フィルター付き掃除機併用)
・剥離剤併用手工具ケレン工法
・剥離剤併用高圧水洗工法(30~50MPa程度)
・剥離剤併用超高圧水洗工法(100MPa以上)
・剥離剤併用超音波ケレン工法
・集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法
除去対象範囲 ※ 図示
作業場の隔離 ※ 行わない ・ 行う
試験施工 ※ 行わない ・ 行う
除去した石綿含有仕上塗材の処分
・埋立処分(安定型最終処分場) ・ 埋立処分(管理型最終処分場)
・ 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)
除去した石綿含有仕上塗材の保管、運搬及び処分
※ 改修標準仕様書9.1.3(3)による
確認及び後片付け ※ 改修標準仕様書9.1.3(4)(7)、(9)、(h)及び(ハ)による

石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ※ 図示

断熱材 [9.2.1~4]		
断熱材の種類()	断熱材の厚さ(mm)	
施工箇所	図示	
ホルムアルデヒド放散量	※ F☆☆☆☆	

外装材	種類	防火性能	備考

既存外壁の処置
既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし
下地の清掃 ・ 行う ・ 行わない
欠損部がある場合の改修工法 ※ 4章外壁改修工事による

工法
1章適用区分による風圧力(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法
不陸等の下地調整 ※ 図示
通気層の有無 ・ あり (mm) ・ なし
断熱材、外装材の施工及び外装材の外壁への取付け
※ 断熱材及び外装材製造所の仕様による

⑨ 断熱・防音改修工事 [9.3.2~4]

フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ・断熱材打込み工法			
種類	厚さ(mm)	施工箇所	
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・25	・	
※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキン層なし)	※ 2種 b A ・ ※ 3種 b A	※ 25	※ 外壁 ・ ※ スラブ
・硬質ウレタンフォーム断熱材	・25	・	
・フェノールフォーム断熱材	・25	・	

施工箇所の詳細は、仕上表及び図示による
・断熱材現場発泡工法
断熱材の種類 ※ A種1 ・ A種1H
吹付け厚さ(mm) ・ 25 ・ 30
施工箇所 ※ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所
・ 図示

現場発泡断熱材(品質・性能)	
項目	品質・性能
難燃性	下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験(コーンカロリ-試験)に適合していること。
発熱性	準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は45分において次の(1)~(3)に適合していること。 (1) 総発熱量が8MJ/m ² 以下であること。 (2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及びびくがないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW/m ² を超えないこと。

(試験方法)
(1) 原液試験(原液粘度試験)
JIS K 7117-1「プラスチック-液状、乳濁状又は分散状の樹脂-ブルックフィールド形回転粘度計による見掛け粘度の測定方法」による。
(2) 発泡品試験
1) 試料の作製は、JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」の6.2.1による。
2) 試料の状態調節は、JIS A 9526の6.2.2による。また、試験片の作製はJIS A 9526の6.2.3による。
3) 試験場所は、JIS A 9526の6.2.4による。
4) 圧縮強さ試験は、JIS A 9526の6.2.5による。
5) 熱伝導率試験は、JIS A 9526の6.2.6による。
6) 接着強さ試験は、JIS A 9526の6.2.7による。
7) 透湿率試験は、JIS A 9526の6.2.8による。
(3) 難燃性の試験は、下記のJIS A 1321に規定する表面試験及び発熱性試験による。
1) 難燃性の試験については、JIS A 1321に規定する試験方法に準じる。
2) 発熱性試験は、建築基準法に基づく指定性能評価機関が準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している試験方法に準じる。

・断熱材後張り工法
断熱材の種類()
断熱材の厚さ(mm)
・断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル(材質 厚さ mm)
・張り付け工法
断熱材の張り付け工法
断熱材へのボードの張り付け工法

植栽基盤及び材料 [9.4.2~4]
屋上緑化軽量システム ・ 適用する ・ 適用しない
芝及び地被類の種類等 ※ 図示
見切り材、舗装材、排水穴、マルチング材等 ※ 図示

(品質・性能等)	
項目	品質・性能
透水、排水層等構成材の主要材質	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。(保水層を有する場合は、保水層共)
透水路	目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、補え込み用土を流出させない構造であること。
排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び補え込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。
排水層の鉛直方向の排水性能	240L/m ² ・h以上
耐荷重性能(排水層の許容圧縮強度)	一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。 3×10 ⁶ N/m ² 以上の載荷重で破壊・有害な変形がないこと。
耐根腐	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。
耐根腐保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根腐を保護するものであること。ただし、耐根腐を保護コンクリート(絶縁シートも含む)の下に設ける場合は省略することができるものとする。

(試験方法)
(1) 排水基盤の耐荷重性能
(イ) 3×10⁶ N/m²の等分布荷重による加圧試験を行ない、排水層及び耐根腐等に有害な変形・破壊の起きないことを確認する。また、その時の圧縮応力に対する歪み(%)を測定する。(保水層を有する場合は保水層も対象とする。)
(ロ) 試験体は耐根腐から透水路までを通常使用状態にセットした3体とする。加圧速度は10mm/min以下とする。

1章 適用区分による風圧力(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法
かん水装置 ・ 設置する(種類)
既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない

新植した芝及び地被類の枯補償の期間 ※ 引き渡しの日から1年

下記以外は、10章その他による
既存舗装の撤去及び再利用 ※ 図示

10 その他

⑩ フリーアクセス [20.2.2]

構造	・置敷式 ・支柱調整式
所定荷重	※ 3,000N ・ 5,000N ※ 3,000N ・ 5,000N
耐震性能	・ 1.0 ・ 0.6 ・ 1.0 ・ 0.6
パネル寸法(mm)	
高さ(mm)	
表面仕上材	※ タイルカーペット ・ 帯電防止床タイル
施工箇所	※ 図示 ※ 図示

寸法精度
※ 標準仕様書20.2.2(2)(b)~(c)による
スロープ及びボーダー ※ 製造所の仕様による ・ 図示
配線用取り出しパネル
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※ 製造所の仕様による ・ 20~30パーセント
配線取り出し開口 ※ 製造所の仕様による
・ パネル枚につき、40mm×80mm程度の開口1箇所以上

空調用吹き出し(吸い込み)パネル ・ なし ・ あり(形式、施工箇所: ※ 図示)
(性能)
(1) 耐荷重性能 変形5.0mm以下 残留変形3.0mm以下
(2) 耐衝撃性能 残留変形3.0mm以下及び損傷がないこと
(3) ローリングロード性能
所定荷重1,000N(5,000Nの積載荷重は1,000N以上で任意)による繰り返し試験後、残留変形3.0mm以下
(4) 耐震性能

イ) 固定台試験による耐震性能	
項目	性能
① ベースプレート又はアンカーが耐力に達したとき又はコンクリート接着面が剥離したとき	水平荷重の1/2が下記の適用地震時水平力>以上
② 上記①以外の部分が耐力に達したとき	水平荷重の1/1.5が下記の適用地震時水平力>以上
③ 適用地震時水平力を加力した時の支柱頂部の変位	構造床面からの高さの1/50以下

<適用地震時水平力>
3,000N 0.6タイプ 支柱一本が負担する床加重
[(m2当り自重+3,000N) / m2当りの支柱本数] × 0.6
3,000N 1.0タイプ 支柱一本が負担する床加重
[(m2当り自重+3,000N) / m2当りの支柱本数] × 1.0
5,000N 0.6タイプ 支柱一本が負担する床加重
[(m2当り自重+5,000N) / m2当りの支柱本数] × 0.6
5,000N 1.0タイプ 支柱一本が負担する床加重
[(m2当り自重+5,000N) / m2当りの支柱本数] × 1.0
ロ) 振動台試験による耐震性能(設計床高さ≤300mmの場合のみ)
振動台試験において、パネルの脱落や使用上支障をきたす損傷、せり上がり、隙間及び水平移動がない。
(5) 耐燃焼性能
建築基準法第2条第9号の規定に基づく不燃材料又は燃焼終了後の残炎時間が90秒
(6) 帯電防止性能評価値(U)
0.6以上
(7) 感電防止性能
漏えい抵抗(R) ≧ 1×10⁶ Ω
(8) 歩行感
通常の歩行において空洞音やがたつきがなく、歩行時に違和感がない
(9) メンテナンス性
交換が必要な部品については交換できるように設計されている。
(試験方法)
(1) 耐震性能
1) 設計床高さ≤300mmの場合
試験体ユニット1000mm×2500mm程度
所定の重りの質量 3000N:200k 5000N:350k
加振 0.6:所定加速度600cm/S² 1.0:所定加速度1000cm/S²
2) 300mm<設計床高さ≤600mmの場合
① 固定台による耐震性能試験
イ、支柱調整式-支柱分体型・支柱固定タイプの全てのタイプ共、下記の試験方法-1又は、試験方法-2による。
ロ、原則として、試験方法-1はパネル単体設置(Aタイプ)に適用し、試験方法-2はパネル連結設置(Bタイプ)に適用するものとする。
② 試験方法-1
イ、試験は、コンクリート(JIS A 5371プレキャスト無筋コンクリート製品 種類:N300)に接着した支柱の頂部に対し、水平方向に数ユニット分相当の適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。
ロ、加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。試験体数は、3個とする。
③ 試験方法-2
イ、試験は、コンクリート(JIS A 5371プレキャスト無筋コンクリート製品 種類:N300)に接着した数ユニットの支柱の頂部に対し、水平方向に数ユニット分相当の適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。
ロ、最終的に水平力を支持する支柱の本数で除した値を、支柱1本当たりの水平力とする。又、800mm×800mmに荷重板1,900N(3,000N/1m²相当)を1箇所設ける。試験体数は、1セットとする。
④ 零点補正及び測定記録
試験体と試験機の隙間等を除去するため、始めに適用地震時水平力の1/2程度の水平力を加力した後、速やかに除荷して"0"にした状態を零点とする。又、水平力による各測定点の荷重及び変形曲線を測定し記録する。

3) 共通事項
試験に使用する表面仕上げ材
種類: タイルカーペット 繊維系材: ナイロン100 %
バイル携帯: ルーフバイル
バイル長: 3.0mm~4.0mm パッキング素材: 塩化ビニル樹脂
全厚: 6.0mm~7.0mm 単位質量: 4.0k/m²~6.0k/m²
人体耐電圧: 2kV以下

⑪ 表示 [20.2.11]

案内用記号はJIS Z 8210による。
誘導標識、非常用進入口等の表示 ※ 消防法に適合する市販品
室名札、ビクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等
※ 図示

(20.2.14)						
形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅(mm)	ボックスレールの材質	幅・高さ取付箇所
・横形	※ 手動	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式 ・電動	※アルミニウム合金製 □	※ 25	※鋼製	※図示
・縦形	※ 手動	※ 2本操作コード式 ・ 1本操作コード式	※アルミスラット ・クロススラット	・ 80 ・ 100	アルミニウム合金製	※図示
	・電動	-	-	-	-	-

アルミスラットの材質 狭付け差壁仕上げ
クロススラットの材質 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工

(20.2.15)					
材種	操作方式	遮光性能	寸法(mm)	取付箇所	備考
・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製	・電動式 ・スプリング式 ※ チェーン式	・1級 ・2級 ・3級	※ 図示	※ 図示	
巻取りパイプ、ウエイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料 ※ 製造所の仕様					

(20.2.16)					
形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類、品質、特殊加工等	取付箇所	備考
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・つまみひだ ・箱ひだ、片ひだ ・ブレーンひだ		※図示	(暗幕)

暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※ 300mm以上

⑫ カーテンレール [20.2.16]
材料による区分 ※ アルミニウム又はアルミニウム合金の押し出し成型材
・ステンレス製
強さによる区分 ※ 10-90
仕上げ ※ アルマイト
形状 ※ 角形

⑬ ドラインドボックス及びカーテンボックス [20.2.16]
溝幅×深さ(mm) ・ 90×150 ・ 120×80 ・ 120×150 ・ 150×80 ・ 図示
材質 ・ 集成材(仕上げ:)
・ アルミニウム製 押し出し型材(市販品)
表面処理 ・ BC-1 ・ BC-2(※標準色()) ・ 特注色())
・ 鋼製(仕上げ:)

材種	寸法(mm)	形式	外枠	内枠
※ アルミニウム製	※ 450×450 ・ 600×600	※ 一般形	・ 屋内外用 ※ 屋内用	※ 縁線タイプ ※ 目地タイプ

(品質・性能)
内外枠の材質 アルミニウム製
JIS H 4100 A6063S-5又は同等の性能を有するもの
表面処理 陽極酸化皮膜JIS H 8601(AA6)又は同等の性能を有するもの
(外部に用いる場合は、JIS H 8602のB種又は同等以上の性能を有するもの)
内枠及び外枠のコーナースペース
鋼板に垂れめつき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの
外枠の取付け金物
鋼板に垂れめつき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの
内枠の仕上げ材留付金物
アルミニウム及びアルミニウム合金押し出し型材、垂れめつき鋼板又は同等の性能を有するもの
耐久性(繰り返し開閉試験)
(1) 50回、100回、300回の内巻の垂れ下がりが、0.5mm以内。
(2) 開閉試験後、使用上支障をきたす異常がないこと。
枠の寸法許容差 ±0.5mm以内
外枠と内枠のクリアランス 片側2.0mm以内
(試験方法)
内巻(内枠)の繰り返し開閉試験
(1) 試験体は、枠見込み40mm程度のものとする。
吊り金物、外枠を天井地下取付用補強材に直接留付ける方式(天井ボードなどの仕上材を挟んで固定しない方式)とする。標準仕様書14章4節により製作した試験体固定天井地下地開口補強に試験体の天井点検口450mm×450mmを吊り金具4箇所にて各メーカー仕様に従って取付ける。なお、野線の種類は、19番とし仕上げ材は、せっこうボード厚さ9.5mm(JIS A 6901「せっこうボード製品」のGB-Rの難燃2級又は発熱性2級以上)二重張りとする。
(2) 試験は、内巻を閉じた状態から自由開放状態にする動作を繰り返し行う。
(3) 測定は、上記繰り返し試験において、各50回、100回、300回毎に内巻の垂れ下がりが状態を測定する。

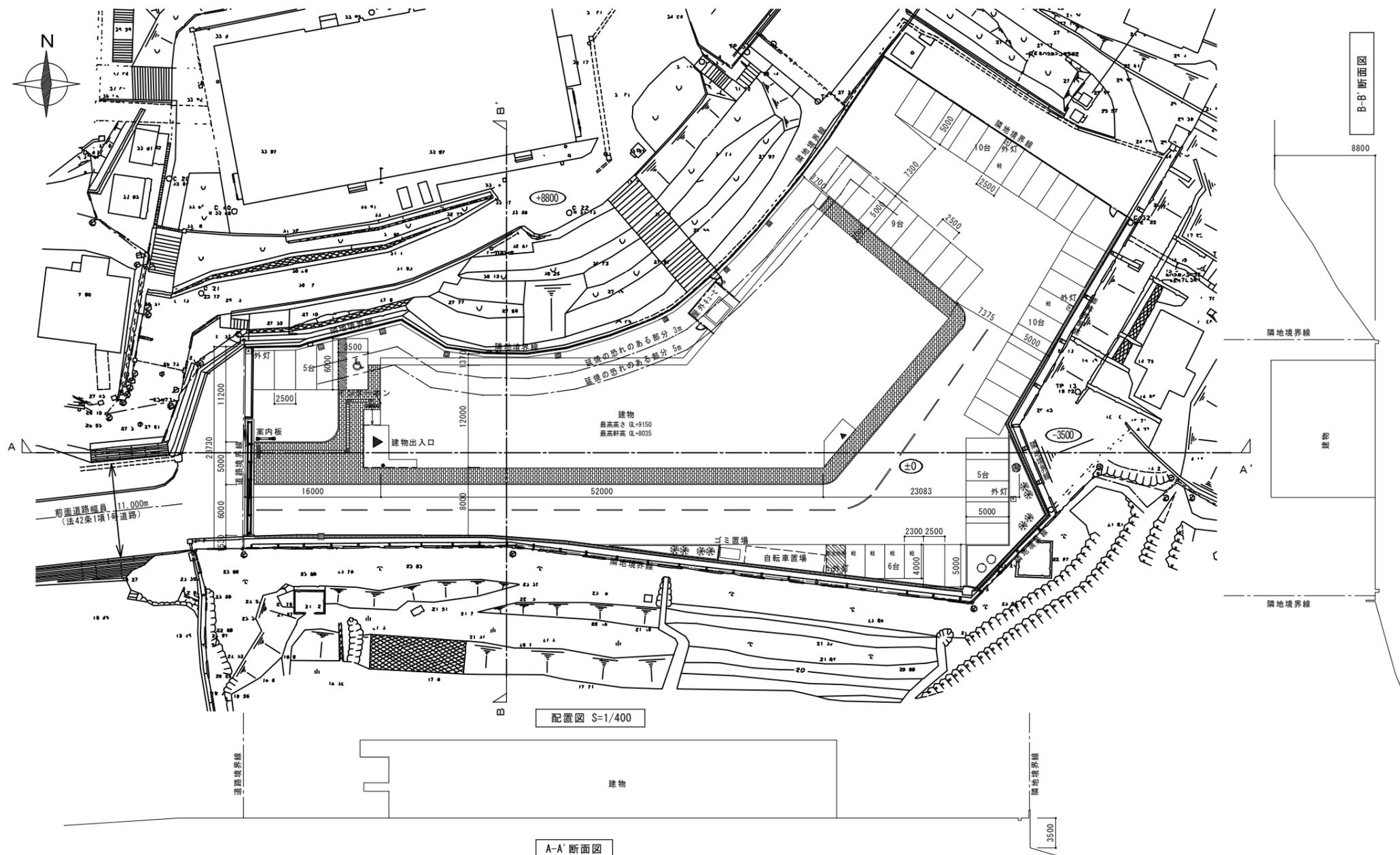
9-1	表点検口	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製</td> <td>・450×450 ※600×600</td> <td>・一般形 ・密閉形</td> <td>・屋内外用 ・屋内用</td> </tr> <tr> <td colspan="4">密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものである。 (品質・性能)</td> </tr> <tr> <th>部材名</th> <th>材質</th> <th>屋内外用</th> <th>屋内用</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">受枠材 蓋枠材</td> <td>アルミニウム及びアルミニウム合金押出形材</td> <td>JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B 仕上げ程度</td> <td>JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B 仕上げ程度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鋼製</td> <td>—</td> <td>標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの</td> </tr> <tr> <td>二重蓋の中蓋</td> <td>鋼鉄</td> <td>JIS G 5501のFC150、FC200</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td>塩化ビニル樹脂製等</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">目地材</td> <td>黄銅</td> <td>JIS H 3100のC2600、C2720、C2801 JIS H 3250のC3602、C3604</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ステンレス</td> <td>JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 JIS G 4308のSUS304</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">底板材コーナーステンレス鋼板</td> <td>ステンレス鋼板</td> <td>JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308のSUS304</td> <td>JIS G 4305のSUS430</td> </tr> <tr> <td>アルミニウム板</td> <td>JIS H 4000(A1100P H24) 表面処理:陽極酸化塗装被 合被膜 JIS H 8601(AA15) JIS H 8602(B)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鋼材</td> <td>—</td> <td>鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの</td> </tr> <tr> <td>パッキン材</td> <td></td> <td>塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジパパー、エチレンプロピレン等軟の材質、形状に適した弾力性、密着性を有するもの</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アンカー材</td> <td></td> <td>鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの</td> <td></td> </tr> <tr> <td>取手</td> <td></td> <td>黄銅鋼鉄製、黄銅製、アルミニウム押出形材・合金鋼鉄製、ステンレス鋼製品、ステンレス製等ステンレス鋼材、アルミニウム押出形材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鍵</td> <td></td> <td>黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする 施錠・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする</td> <td></td> </tr> <tr> <td>蓋の耐荷重性能</td> <td></td> <td>蓋中央部が荷重Pn=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の有孔径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPnの2倍以上であること。</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>受け枠寸法の許容差 ±0.5mm以下 蓋付寸法の許容差 ±0.5mm以下 受け枠と蓋枠のクリアランス 片側2.0mm以内 (試験方法) 耐荷重試験 試験体は、張物用とし、600mm角程度、枠見込みは、40mm以下とする。 試験は、蓋枠の四角を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返した後に、その後試験体が破壊する(終局荷重)まで加圧する。 測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返す。</td> <td></td> </tr> </table>	材種	寸法 (mm)	形式	備考	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ※600×600	・一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用	密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものである。 (品質・性能)				部材名	材質	屋内外用	屋内用	受枠材 蓋枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出形材	JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15		ステンレス製	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B 仕上げ程度	JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B 仕上げ程度		鋼製	—	標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの	二重蓋の中蓋	鋼鉄	JIS G 5501のFC150、FC200			その他	塩化ビニル樹脂製等		目地材	黄銅	JIS H 3100のC2600、C2720、C2801 JIS H 3250のC3602、C3604		ステンレス	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 JIS G 4308のSUS304		底板材コーナーステンレス鋼板	ステンレス鋼板	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308のSUS304	JIS G 4305のSUS430	アルミニウム板	JIS H 4000(A1100P H24) 表面処理:陽極酸化塗装被 合被膜 JIS H 8601(AA15) JIS H 8602(B)	—		鋼材	—	鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの	パッキン材		塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジパパー、エチレンプロピレン等軟の材質、形状に適した弾力性、密着性を有するもの		アンカー材		鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの		取手		黄銅鋼鉄製、黄銅製、アルミニウム押出形材・合金鋼鉄製、ステンレス鋼製品、ステンレス製等ステンレス鋼材、アルミニウム押出形材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする		鍵		黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする 施錠・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする		蓋の耐荷重性能		蓋中央部が荷重Pn=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の有孔径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPnの2倍以上であること。				受け枠寸法の許容差 ±0.5mm以下 蓋付寸法の許容差 ±0.5mm以下 受け枠と蓋枠のクリアランス 片側2.0mm以内 (試験方法) 耐荷重試験 試験体は、張物用とし、600mm角程度、枠見込みは、40mm以下とする。 試験は、蓋枠の四角を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返した後に、その後試験体が破壊する(終局荷重)まで加圧する。 測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返す。		<p>10 手すり</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径 (mm)</th> <th>取付箇所</th> </tr> <tr> <td>・集成材 ・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ ・ビニル製ハンドレール</td> <td>・クリアラッカー ・HL程度 ・SOP ・EP-G</td> <td>・35 ・45</td> <td></td> </tr> </table> <p>11 天井見切り縁等</p> <p>12 視覚障害者用床 タイル (視覚障害者誘導用ブロック)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">屋内</td> <td>・塩化ビニル製</td> <td>※300×300</td> <td>・7.0</td> </tr> <tr> <td>・セラミックタイル</td> <td>※300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・レジンコンクリート製</td> <td>※300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">屋外</td> <td>・コンクリート製</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・セラミックタイル</td> <td>※300×300</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・レジンコンクリート製</td> <td>※300×300</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>突起の形状、配列及び寸法は JIS T 9251による</p> <p>13 鉄筋</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="4">8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.1)(表5.2.1)</th> </tr> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び名</th> <th colspan="2">備考</th> </tr> <tr> <td>※SD295A</td> <td>※D16以下</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>※SD345</td> <td>※D19以上</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>14 溶接金網</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="3">8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.2)</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>網目寸法、鉄線の径 (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※溶接金網</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>15 鉄筋の継手及び定着</p> <p>8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.3.4)</p> <p>鉄筋の継手の方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> ※重ね継ぎ手 鉄筋の重ね継ぎ手の長さ ※40dと標準仕様書表5.3.2の重ね継ぎ手の長さのうち大きい値とする 鉄筋の定着長さ ※柱に取り付ける梁の引張鉄筋の直線定着長さは40d以上とし、それ以外は標準仕様書表5.3.4による 機械式定着工法 <ul style="list-style-type: none"> ・適用する ・適用箇所 ・図示による <p>種類 ・摩擦圧接接合 ・結合グラウト固定 ・嵌合グラウト固定</p>	材質	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	・集成材 ・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ ・ビニル製ハンドレール	・クリアラッカー ・HL程度 ・SOP ・EP-G	・35 ・45		施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	屋内	・塩化ビニル製	※300×300	・7.0	・セラミックタイル	※300×300	・	・レジンコンクリート製	※300×300	・	屋外	・コンクリート製			・セラミックタイル	※300×300	・	・レジンコンクリート製	※300×300	・	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.1)(表5.2.1)				種類の記号	呼び名	備考		※SD295A	※D16以下			※SD345	※D19以上			8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.2)			種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	備考	※溶接金網			・鉄筋格子			<p>16 コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 (F_c) [N/mm²]</th> <th>スランプ (cm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>※24</td> <td>※標準仕様書表6.2.21による</td> <td>※コンクリート全て (無筋コンクリートを除く)</td> </tr> </table> <p>17 セメント</p> <p>種類</p> <p>※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 <p>18 型枠</p> <p>8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.8.2)</p> <p>せき板の材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ※合板 厚さ(※12mm) ・メッシュ型枠 ・断熱材を兼用した型枠 厚さ25mm以下かつ熱抵抗値1m²℃/kCa以上 <p>19 無筋コンクリート</p> <p>8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.14.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>設計基準強度 (F_c) [N/mm²]</th> <th>スランプ (mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>※普通コンクリート</td> <td>※18</td> <td>※15</td> <td>※標準仕様書0.14.1(7)~(9)による</td> </tr> </table> <p>種類</p> <p>※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 <p>仕上げの平たんさは、図示以外は下記による (8.1.4)(表8.1.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>改修標準仕様書表8.1.5による平たんさの種類</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>a種</td> <td>合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア(蓋敷式)</td> </tr> <tr> <td>b種</td> <td>カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り</td> </tr> <tr> <td>c種</td> <td>タイル張り、モルタル塗り、フリーアクセスフロア(支柱調整式)</td> </tr> </table> <p>6章内装改修工事 軽量鉄骨天井下地及び8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による あと施工アンカー施工後の確認試験 ※行う ・行わない (14.1.3)</p> <p>20 直均し仕上げ</p> <p>21 表と地工アンカー</p> <p>22 トイレブース</p> <table border="1"> <tr> <th>表面材の材料</th> <th>脚部</th> <th>ドアエッジ</th> </tr> <tr> <td>※メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td>※幅木タイプ ・</td> <td>※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材</td> </tr> </table> <p>(品質・性能)</p> <p>(1) パネル</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>表面材</td> <td>メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。</td> </tr> <tr> <td>裏打材</td> <td>JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。</td> </tr> <tr> <td>心材</td> <td>JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。</td> </tr> <tr> <td>枠材</td> <td>JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっき</td> </tr> <tr> <td>エッジ材</td> <td>処理を施した材料とする。</td> </tr> <tr> <td>小口</td> <td>防水処理を施す。</td> </tr> </table> <p>(2) 構造金物</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>脚部</td> <td>JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L(脚具、幅木) SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。</td> </tr> </table> <p>(3) 付属金物</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>ヒンジ</td> <td>耐蝕性のあるものとする。</td> </tr> <tr> <td>ラッチセット</td> <td></td> </tr> <tr> <td>戸当り</td> <td>腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。 戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。</td> </tr> </table> <p>(4) 外観は、JIS A 6512「可動間仕切」の5.b)による。</p> <p>(5) パネル表面材の耐薬品性・耐汚染性・耐ひっかき性・開閉耐久性</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">品質・性能</th> </tr> <tr> <td></td> <th>耐薬品性及び耐汚染性</th> <th>耐引ひっかき性</th> </tr> <tr> <td>メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材</td> <td>JIS K 6903(2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性(B法)の規定を満足していること。</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>低圧メラミン樹脂系化粧板</td> <td>ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧MD F、ポリエステル樹脂系化粧バーティクルボードのいずれかの品質に適合していること。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ポリエステル樹脂系加工化粧板</td> <td>JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性B試験において、試験片の表面に色が残らないこと。</td> <td>特殊加工化粧板に示された耐引ひっかき性B試験において、きずの深さの平均値が10μm以内であること。</td> </tr> <tr> <td>ポリエステル樹脂系化粧MD F</td> <td>JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ポリエステル樹脂系化粧バーティクルボード</td> <td>JIS A 5908「パーティクルボード」の表11の規定に適合していること。</td> <td></td> </tr> </table> <p>(試験方法)</p> <p>(1) ヒンジは、JIS A 1510-2「建築用ドア金物の試験方法—第2部：ドア用金物」に規定する試験による。</p> <p>(2) 戸当りの衝撃試験は、JIS A 1510-2に規定する試験による。</p> <p>パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※ JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上</p>	設計基準強度 (F _c) [N/mm ²]	スランプ (cm)	適用箇所	※24	※標準仕様書表6.2.21による	※コンクリート全て (無筋コンクリートを除く)	種類	設計基準強度 (F _c) [N/mm ²]	スランプ (mm)	施工箇所	※普通コンクリート	※18	※15	※標準仕様書0.14.1(7)~(9)による	改修標準仕様書表8.1.5による平たんさの種類	施工箇所	a種	合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア(蓋敷式)	b種	カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り	c種	タイル張り、モルタル塗り、フリーアクセスフロア(支柱調整式)	表面材の材料	脚部	ドアエッジ	※メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ ・	※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材	項目	品質・性能	表面材	メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。	裏打材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。	心材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。	枠材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっき	エッジ材	処理を施した材料とする。	小口	防水処理を施す。	項目	品質・性能	脚部	JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L(脚具、幅木) SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。	項目	品質・性能	ヒンジ	耐蝕性のあるものとする。	ラッチセット		戸当り	腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。 戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。	項目	品質・性能			耐薬品性及び耐汚染性	耐引ひっかき性	メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材	JIS K 6903(2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性(B法)の規定を満足していること。	—	低圧メラミン樹脂系化粧板	ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧MD F、ポリエステル樹脂系化粧バーティクルボードのいずれかの品質に適合していること。		ポリエステル樹脂系加工化粧板	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性B試験において、試験片の表面に色が残らないこと。	特殊加工化粧板に示された耐引ひっかき性B試験において、きずの深さの平均値が10μm以内であること。	ポリエステル樹脂系化粧MD F	JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。		ポリエステル樹脂系化粧バーティクルボード	JIS A 5908「パーティクルボード」の表11の規定に適合していること。		<p>事業年度 年度</p> <p>工事完成 年度</p> <p>設計</p> <p>令和 年月</p> <p>三原市都市部建築課</p> <p>大 中 小</p> <p>地域</p> <p>施設</p> <p>種類</p> <p>建築</p> <p>工事名</p> <p>元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)</p> <p>事務所名・建築士登録番号・氏名</p> <p>有限会社 MasMas</p> <p>一級建築士登録 第325897号</p> <p>小松本 靖之</p> <p>図面名称・縮尺</p> <p>建築改修工事特記仕様書(8)</p> <p>(A3版-71%縮小)</p> <p>図番</p> <p>A-08</p>
		材種	寸法 (mm)	形式	備考																																																																																																																																																																																																																				
・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ※600×600	・一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用																																																																																																																																																																																																																						
密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものである。 (品質・性能)																																																																																																																																																																																																																									
部材名	材質	屋内外用	屋内用																																																																																																																																																																																																																						
受枠材 蓋枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出形材	JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15																																																																																																																																																																																																																							
	ステンレス製	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B 仕上げ程度	JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B 仕上げ程度																																																																																																																																																																																																																						
	鋼製	—	標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの																																																																																																																																																																																																																						
二重蓋の中蓋	鋼鉄	JIS G 5501のFC150、FC200																																																																																																																																																																																																																							
	その他	塩化ビニル樹脂製等																																																																																																																																																																																																																							
目地材	黄銅	JIS H 3100のC2600、C2720、C2801 JIS H 3250のC3602、C3604																																																																																																																																																																																																																							
	ステンレス	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 JIS G 4308のSUS304																																																																																																																																																																																																																							
底板材コーナーステンレス鋼板	ステンレス鋼板	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308のSUS304	JIS G 4305のSUS430																																																																																																																																																																																																																						
	アルミニウム板	JIS H 4000(A1100P H24) 表面処理:陽極酸化塗装被 合被膜 JIS H 8601(AA15) JIS H 8602(B)	—																																																																																																																																																																																																																						
	鋼材	—	鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの																																																																																																																																																																																																																						
パッキン材		塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジパパー、エチレンプロピレン等軟の材質、形状に適した弾力性、密着性を有するもの																																																																																																																																																																																																																							
アンカー材		鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの																																																																																																																																																																																																																							
取手		黄銅鋼鉄製、黄銅製、アルミニウム押出形材・合金鋼鉄製、ステンレス鋼製品、ステンレス製等ステンレス鋼材、アルミニウム押出形材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする																																																																																																																																																																																																																							
鍵		黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする 施錠・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする																																																																																																																																																																																																																							
蓋の耐荷重性能		蓋中央部が荷重Pn=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の有孔径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPnの2倍以上であること。																																																																																																																																																																																																																							
		受け枠寸法の許容差 ±0.5mm以下 蓋付寸法の許容差 ±0.5mm以下 受け枠と蓋枠のクリアランス 片側2.0mm以内 (試験方法) 耐荷重試験 試験体は、張物用とし、600mm角程度、枠見込みは、40mm以下とする。 試験は、蓋枠の四角を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返した後に、その後試験体が破壊する(終局荷重)まで加圧する。 測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返す。																																																																																																																																																																																																																							
材質	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所																																																																																																																																																																																																																						
・集成材 ・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ ・ビニル製ハンドレール	・クリアラッカー ・HL程度 ・SOP ・EP-G	・35 ・45																																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																						
屋内	・塩化ビニル製	※300×300	・7.0																																																																																																																																																																																																																						
	・セラミックタイル	※300×300	・																																																																																																																																																																																																																						
	・レジンコンクリート製	※300×300	・																																																																																																																																																																																																																						
屋外	・コンクリート製																																																																																																																																																																																																																								
	・セラミックタイル	※300×300	・																																																																																																																																																																																																																						
	・レジンコンクリート製	※300×300	・																																																																																																																																																																																																																						
8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.1)(表5.2.1)																																																																																																																																																																																																																									
種類の記号	呼び名	備考																																																																																																																																																																																																																							
※SD295A	※D16以下																																																																																																																																																																																																																								
※SD345	※D19以上																																																																																																																																																																																																																								
8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.2)																																																																																																																																																																																																																									
種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																							
※溶接金網																																																																																																																																																																																																																									
・鉄筋格子																																																																																																																																																																																																																									
設計基準強度 (F _c) [N/mm ²]	スランプ (cm)	適用箇所																																																																																																																																																																																																																							
※24	※標準仕様書表6.2.21による	※コンクリート全て (無筋コンクリートを除く)																																																																																																																																																																																																																							
種類	設計基準強度 (F _c) [N/mm ²]	スランプ (mm)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																						
※普通コンクリート	※18	※15	※標準仕様書0.14.1(7)~(9)による																																																																																																																																																																																																																						
改修標準仕様書表8.1.5による平たんさの種類	施工箇所																																																																																																																																																																																																																								
a種	合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア(蓋敷式)																																																																																																																																																																																																																								
b種	カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り																																																																																																																																																																																																																								
c種	タイル張り、モルタル塗り、フリーアクセスフロア(支柱調整式)																																																																																																																																																																																																																								
表面材の材料	脚部	ドアエッジ																																																																																																																																																																																																																							
※メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ ・	※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材																																																																																																																																																																																																																							
項目	品質・性能																																																																																																																																																																																																																								
表面材	メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。																																																																																																																																																																																																																								
裏打材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。																																																																																																																																																																																																																								
心材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。																																																																																																																																																																																																																								
枠材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっき																																																																																																																																																																																																																								
エッジ材	処理を施した材料とする。																																																																																																																																																																																																																								
小口	防水処理を施す。																																																																																																																																																																																																																								
項目	品質・性能																																																																																																																																																																																																																								
脚部	JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L(脚具、幅木) SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。																																																																																																																																																																																																																								
項目	品質・性能																																																																																																																																																																																																																								
ヒンジ	耐蝕性のあるものとする。																																																																																																																																																																																																																								
ラッチセット																																																																																																																																																																																																																									
戸当り	腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。 戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。																																																																																																																																																																																																																								
項目	品質・性能																																																																																																																																																																																																																								
	耐薬品性及び耐汚染性	耐引ひっかき性																																																																																																																																																																																																																							
メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材	JIS K 6903(2008)「熱硬化性樹脂高圧化粧板」の表8品質による耐汚染性(B法)の規定を満足していること。	—																																																																																																																																																																																																																							
低圧メラミン樹脂系化粧板	ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧MD F、ポリエステル樹脂系化粧バーティクルボードのいずれかの品質に適合していること。																																																																																																																																																																																																																								
ポリエステル樹脂系加工化粧板	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊加工化粧板に示された耐汚染性B試験において、試験片の表面に色が残らないこと。	特殊加工化粧板に示された耐引ひっかき性B試験において、きずの深さの平均値が10μm以内であること。																																																																																																																																																																																																																							
ポリエステル樹脂系化粧MD F	JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。																																																																																																																																																																																																																								
ポリエステル樹脂系化粧バーティクルボード	JIS A 5908「パーティクルボード」の表11の規定に適合していること。																																																																																																																																																																																																																								

01 建築物、敷地に関する事項

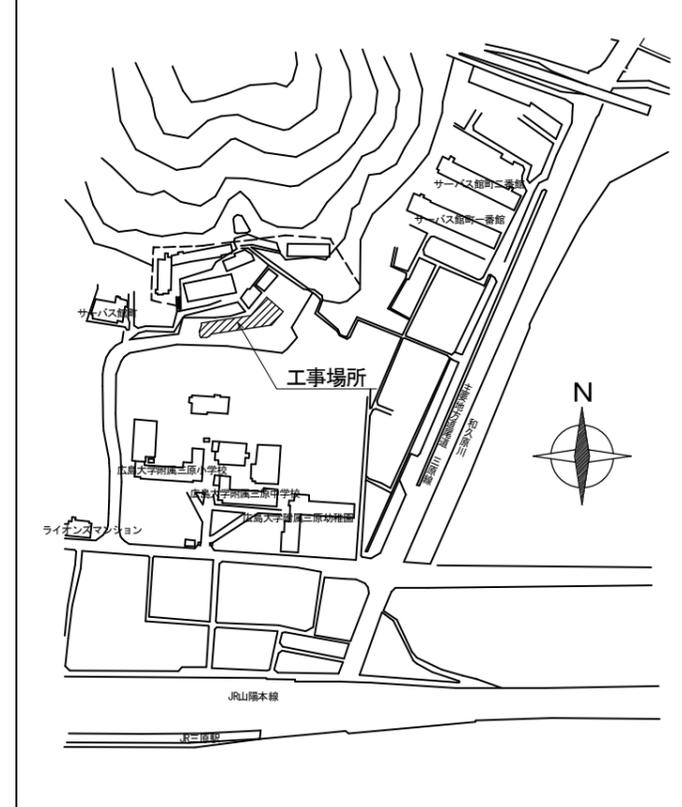
1 工事名称	元ゆめきやりあセンター改修工事（建築主体工事）	9 面積規制	法定許容建ぺい率	%	法53条3項の適用[有 (10%, 20%) . 無]		
2 工事場所	(住居表示) 広島県三原市館町2丁目5-2		指定建ぺい率	60 %			
3 工事種別	新築 増築, 改築, 移転, 大規模の修繕, 大規模の模様替, 用途変更		法定許容容積率	%			
			指定容積率	200 %			
4 主要用途	(用途の区分08150) 博物館・(用途の区分08220) 児童福祉施設等・(用途の区分08470) 事務所 (消防法令による防火対象物の用途区分) (16) 項 口	10 敷地面積	敷地全体(実測) 3,530.00 m ²				
5 都市計画区域	内: [市街化区域, 市街化調整区域, 指定なし] 外	11 主要面積	建築基準法上の面積	(申請部分)	(申請以外の部分)	(合計)	
6 用途地域	第一種低層住居専用地域, 第一種中高層住居専用地域, 第一種住居地域, 準住居地域, 近隣商業地域, 商業地域, 準工業地域, 工業地域, 工業専用地域, 指定なし		建築面積	1,008.96 m ²	22.57 m ²	1,031.53 m ²	(建ぺい率) 29.23 %
7 防火地域	防火地域, 準防火地域, 法22条地域, 指定なし		延べ面積	1,495.01 m ²	194.54 m ²	1,689.55 m ²	(容積率) 47.59 %
8 道路	幅員 11m 市道(館町9号線)		容積算定時延べ床	m ²	m ²	m ²	(容積率) 47.59 %

02 配置図・断面図

1/400



03 附近見取図



04 工事内容

事務所から歴史民俗資料館 放課後児童クラブに用途変更	
1	内部改修
2	外部改修
3	屋上防水改修
4	電気設備改修(別途)
5	空調設備改修(別途)
6	給排水衛生設備改修(別途)
7	外構改修(別途)

境界線略図
 (○) コンクリート
 (●) 鉄プレート
 (◎) 鉄製

測点	Xn	Yn	(Xn+1 - Xn) Yn	距離
①	177021.142	84713.192	19205.7488021	10.033
②	177012.311	84712.308	2396987.905164	35.584
③	176992.859	84692.522	1396174.872192	3.786
④	177006.029	84684.452	-284173.097161	4.919
⑤	176999.753	84693.901	-806751.254550	7.043
⑥	177005.273	84678.933	-900194.487126	5.248
⑦	177010.387	84674.962	-620291.421650	3.245
⑧	177012.400	84673.936	-209377.882356	31.641
⑨	177035.123	84676.350	-698067.989130	21.918
閉鎖値			1941.521274	
距離			670.7667470	
面積			970.76 m ²	

測点	Xn	Yn	(Xn+1 - Xn) Yn	距離
①	177021.142	84713.192	19205.7488021	23.736
②	177027.093	84613.251	-1994079.775304	31.277
③	177030.429	84613.251	-192473.436864	37.819
④	177030.381	84645.080	336175.676890	21.748
⑤	177024.400	84677.884	-257453.092172	19.239
⑥	177026.504	84688.991	-449791.970261	7.057
⑦	177016.736	84708.987	111709.892518	2.000
⑧	177039.850	84706.003	-74245.782177	3.164
⑨	177039.000	84699.250	-395297.186400	1.102
⑩	177035.133	84690.366	815795.326000	2.052
⑪	177032.905	84673.578	-112484.45368	2.037
⑫	177018.100	84668.966	-417507.472914	2.447
⑬	177021.279	84665.075	-370489.818021	3.103
⑭	177025.277	84653.750	-202897.939240	4.408
⑮	177026.098	84661.018	-237430.370427	3.868
⑯	177025.854	84656.702	-70222.652704	4.563
⑰	177027.231	84651.374	-61068.444708	5.000
⑱	177027.993	84646.464	-56703.231836	4.408
⑲	177027.750	84641.713	-70245.810959	3.868
⑳	177026.078	84638.457	357792.074902	1.674
㉑	177023.518	84631.881	40951.830404	0.533
㉒	177026.594	84620.517	-249122.802043	6.770
㉓	177018.862	84610.998	-42226.374012	
閉鎖値			1941.521274	
距離			2473.0713135	
面積			2473.07 m ²	

測点	Xn	Yn	(Xn+1 - Xn) Yn	距離
①	177032.300	84609.897		
②	177035.171	84609.600		
③	177030.849	84607.333		
④	177012.583	84673.593		
⑤	177027.393	84607.316		
⑥	177035.133	84656.350		
⑦	177020.721	84654.354		
⑧	177022.228	84654.354		
⑨	177023.059	84650.710		
⑩	177025.410	84656.014		
⑪	177026.794	84651.290		
⑫	177027.526	84646.426		
⑬	177027.539	84641.010		
⑭	177026.637	84636.978		
⑮	177024.888	84634.257		
⑯	177025.851	84621.172		
⑰	177022.948	84620.406		
⑱	177026.172	84613.200		
⑳	177026.677	84607.875		
㉑	177021.278	84611.832		
㉒	177030.589	84613.253		
㉓	177035.399	84646.561		
㉔	177013.071	84653.126		
㉕	177038.243	84677.254		
㉖	177036.793	84643.087		
㉗	177035.091	84643.037		
㉘	177036.438	84645.428		
㉙	177012.802	84656.030		
㉚	177035.267	84644.832		
㉛	175931.615	84659.218		
㉜	175974.446	84656.083		
㉝	175915.357	84654.583		
㉞	175917.594	84674.907		
㉟	176087.449	84667.251		
㊱	176090.698	84669.301		
㊲	176095.789	84673.218		
㊳	176090.011	84676.299		
㊴	176011.889	84672.836		
㊵	176017.187	84667.934		
㊶	176039.227	84674.020		
㊷	176091.872	84669.020		
㊸	176067.590	84668.280		
㊹	176078.355	84675.417		
㊺	176076.223	84689.400		
㊻	176074.850	84684.955		
㊼	176074.254	84687.665		
㊽	176072.225	84689.919		
㊾	176088.057	84705.885		
㊿	176095.385	84716.854		
1	176090.085	84725.173		
2	176072.436	84723.670		
3	176018.534	84722.874		
4	176068.011	84727.056		
5	176035.953	84741.833		
6	176024.673	84729.013		
7	176040.820	84749.528		
8	176033.326	84744.493		
9	176028.088	84737.522		
10	176018.117	84735.833		
11	176059.577	84729.133		
12	176054.615	84717.325		
13	177033.274	84739.485		
14	177032.142	84731.142		
15	177038.050	84695.300		
16	177031.367	84707.216		
17	177039.850	84708.703		
18	177020.829	84613.253		
19	177037.093	84613.251		
20	177025.818	84651.800		
21	177025.854	84656.212		
22	177017.900	84673.898		
23	177024.806	84677.504		
24	177024.639	84684.022		
25	177012.511	84718.388		
26	177039.471	84744.766		
27	177044.128	84724.372		
28	177022.756	84723.142		
29	177044.078	84721.376		
30	177041.970	84713.532		
31	177027.125	84699.234		
32	177026.245	84645.065		
33	177050.593	84650.315		
34	177026.892	84619.988		
35	177026.084	84620.517		
36	177027.076	84639.850		
37	177027.850	84641.441		
38	177035.981	84646.464		
39	177027.291	84651.372		
40	177024.059	84661.011		
41	177024.577	84663.738		
42	177027.073	84658.673		
43	177018.100	84658.998		
44	177005.575	84679.935		
45	175995.787	84683.000		
46	175986.023	84686.445		
47	177012.387	84712.387		
48	177025.412	84710.661		
49	177016.397	84679.962		
50	177036.289	84704.461		
51	177016.739	84708.932		
52	177036.984	84693.811		
53	177030.381	84645.280		

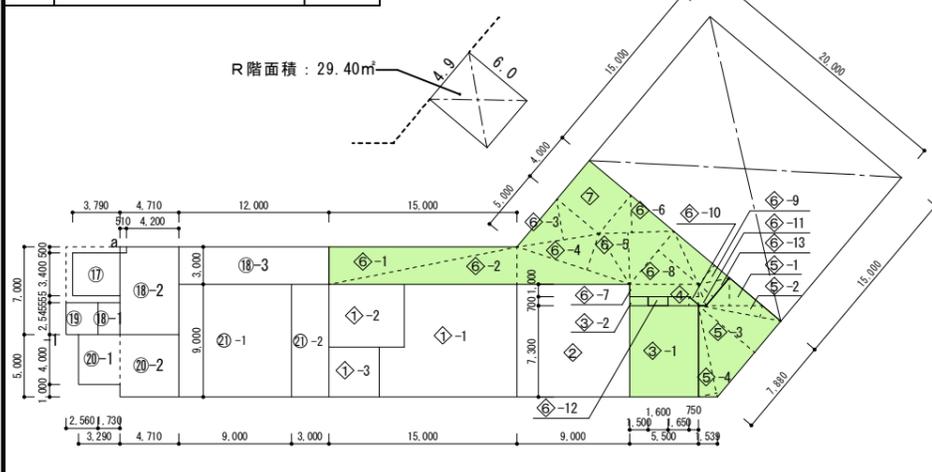
測点	Xn	Yn	(Xn+1 - Xn) Yn	距離
①	177031.367	84717.285	1066295.064408	6.854
②	177025.412	84710.681	856166.593720	4.963
③	177021.142	84713.192	-827732.593032	21.919
④	177035.183	84686.350	-1427811.235840	4.000
⑤	177038.086	84698.200	323212.147200	10.443
閉鎖値			125.084421	
距離			64.9422105	
面積			64.94 m ²	

測点	Xn	Yn	(Xn+1 - Xn) Yn	距離
①	177035.050	84706.003	144931.97133	3.880
②	177035.269	84704.451	218547.942163	5.665
③	177031.367	84707.285	-144974.130126	10.443
④	177038.000	84699.279	-716503.313600	7.050
閉鎖値			42.438790	
距離			34.2340350	
面積			21.23 m ²	

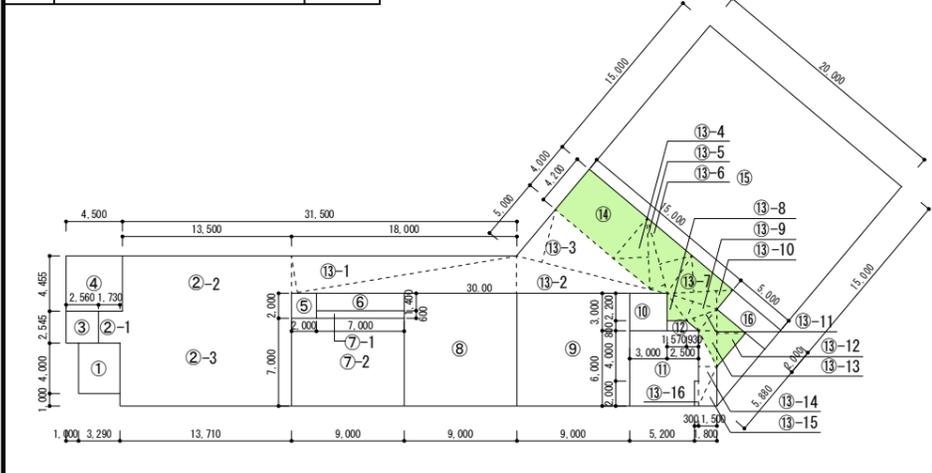
敷地求積図 1:400

符号	地番	面積
①	1625-6	2,473.07 m ²
②	1679-19	970.76 m ²
③	1678-2	64.94 m ²
④	1678-3	21.23 m ²
合計		3,530.00 m ²

O1 2階 各室求積図・R階求積図 1/400



O2 1階 各室求積図 1/400

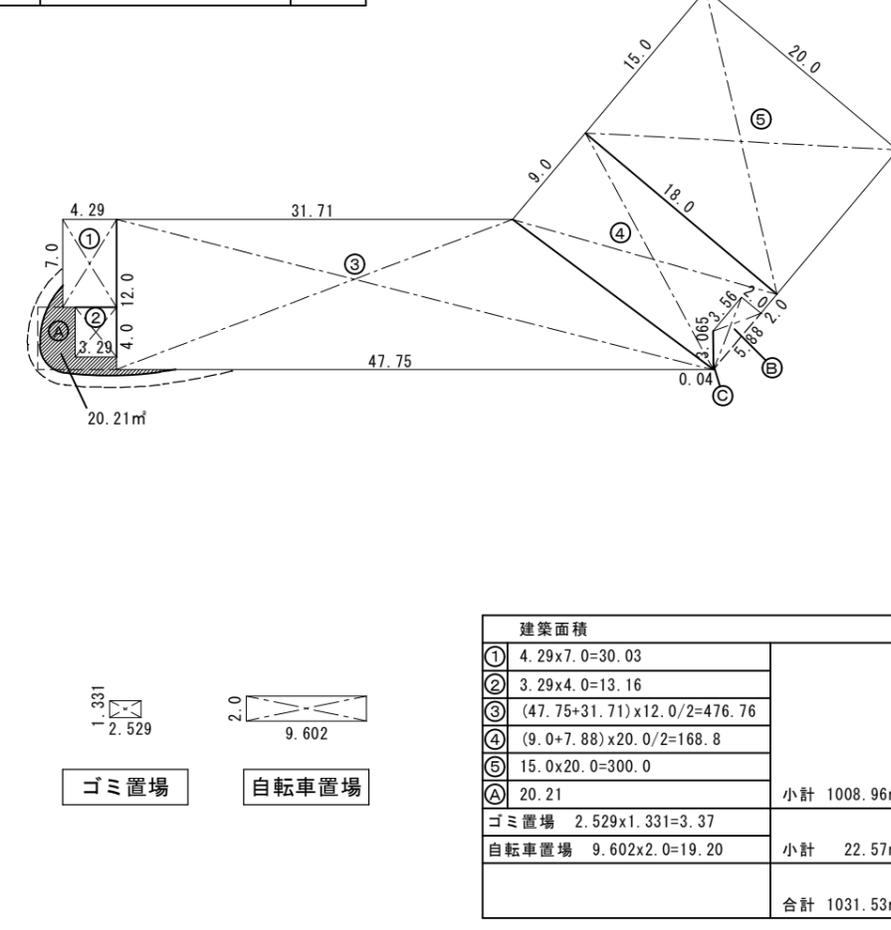


O4 面積算出表

民俗資料館エリア (1階)				共用エリア (2階)			
記号	室名	計算式	計	記号	室名	計算式	計
①	風除室	4.00 × 3.29	13.16m²	⑬-9	廊下	4.17 × 1.62 ÷ 2	3.3777
②-1	エントランスホール	2.545 × 1.73	4.40285	⑬-10	廊下	2.70 × 1.28 ÷ 2	1.728
②-2		4.455 × 13.5	60.1425	⑬-11		2.59 × 1.08 ÷ 2	1.3986
②-3		7.545 × 13.71	103.44195	⑬-12		4.58 × 1.48 ÷ 2	3.3892
③	EV	2.545 × 2.56	6.5152m²	⑬-13	4.58 × 2.26 ÷ 2	5.1754	
④	階段(1)・倉庫(3)	4.455 × 4.50	20.0475m²	⑬-14	6.00 × 1.50 ÷ 2	4.50	
⑤	給湯室	2.00 × 2.00	4.00m²	⑬-15	3.49 × 1.35 ÷ 2	2.35575	
⑥	倉庫	1.40 × 7.00	9.80m²	⑬-16	2.00 × 0.30	0.60	
⑦-1	展示室(1)	0.60 × 7.00	4.20	⑭	階段(2)防煙垂壁部	4.20 × 6.05	25.41m²
⑦-2		7.00 × 9.00	63.00	⑮	多目的ホール	20.00 × 15.00	300.00m²
⑧	展示室(2)	9.00 × 9.00	81.00m²	⑯	倉庫	2.00 × 5.00	10.00m²
⑨	展示室(3)	9.00 × 9.00	81.00m²		1階(民俗資料館エリア)床面積合計		906.94695m²
⑩	身障者トイレ	3.00 × 3.00	9.00m²		1階(共用エリア)床面積合計		72.3123m²
⑪	男子トイレ・女子トイレ	6.00 × 5.50 - 2.00 × 0.30	32.40m²		民俗資料館エリア (2階)		
⑫	PS	0.80 × 1.57	1.256	⑰	階段	3.79 × 3.40	12.886m²
		0.80 × 0.93 ÷ 2	0.372	⑱-1	ホール・廊下	1.73 × 2.545	4.40285
⑬-1	廊下	18.21 × 2.96 ÷ 2	26.9508	⑱-2		7.00 × 4.50	31.50
⑬-2		30.00 × 3.00 ÷ 2	45.00	⑱-3		12.00 × 3.00	36.00
⑬-3		10.99 × 4.33 ÷ 2	23.79335	a	0.50 × 0.51	0.255	
⑬-4	廊下	2.84 × 5.695 ÷ 2	8.0869	⑲	EV	2.545 × 2.56	6.5152m²
⑬-5		6.22 × 1.25 ÷ 2	3.8875	⑳-1	書庫	3.29 × 4.00	13.16
⑬-6		6.22 × 2.69 ÷ 2	8.3659	⑳-2	書庫	4.71 × 5.00	23.55
⑬-7		5.26 × 2.90 ÷ 2	7.627	㉑-1	倉庫	9.00 × 9.00	81.00
⑬-8	5.26 × 1.47 ÷ 2	3.8661	㉑-2	倉庫	3.00 × 9.00	27.00	
			235.75905m²		2階(民俗資料館エリア)床面積合計		235.75905m²

用途別専用面積	割合	1階		2階		用途別床面積	申請面積 (用途変更部分)		
		専用	共用部	専用	共用部		1階	2階	合計
博物館	84%	906.94m²	60.81m²	235.75m²	192.71m²	1396.21m²	967.75m²	428.46m²	1396.21m²
事務所	10%		7.19m²	135.00m²	22.78m²	164.97m²			
児童クラブ	6%		4.31m²	81.00m²	13.66m²	98.97m²	4.31m²	94.66m²	98.97m²
共用2F		906.94m²	72.31m²	451.75m²	229.15m²				
合計		1660.15m²		979.25m²	680.90m²	1660.15m²	972.06m²	523.12m²	1495.18m²

O0 建築面積求積図・求積表 1/400



O3 排煙・換気・採光チェック

窓記号	窓の種類	窓面積	有効換気	階数	室名	第一種住居地域の算定式 (D/H×6-1.4)
AW2 AW2a	引違い窓 FIX窓	W1.76×H1.40×2=4.92m² W1.76×H0.37×2=1.30m² 6.22m²	4.92×1/2=2.46m²	2階	児童クラブ	(11.975/3.25)×6-1.4=20.7 →3.0(算定値)
AW3 AW3a	引違い窓 外倒し窓	W1.76×H1.40×2=4.92m² W0.87×H0.37×4=1.28m² 6.20m²	4.92×1/2=2.46m² 1.28×1=1.28m² 3.74m²			
AW4	引違い窓 FIX窓	W1.80×H1.40×2=5.22m² W1.80×H0.37×2=1.38m² 6.60m²	2.52×1/2=1.26m²			
AW6	縦滑り出し窓 FIX窓	W0.89×H1.87×3=4.98m² W1.09×H1.87×4=8.12m² 13.10m²	4.98×1=4.98m²			
CW3	引違い窓	W1.82×H0.98=1.78m² W1.95×H0.98=1.91m² W1.91×H0.98×2=3.74m² W1.88×H0.98×2=3.68m² 11.11m²	11.11×1/2=5.55m² 5.55+4.11=9.66m²			
CW4	外倒し窓 FIX窓	W0.96×H0.89×2=1.71m² W0.90×H0.89×3=2.40m² 4.11m²	4.02m²			
AD3	片開戸	W0.80×H2.00=1.60m²	1.60m²			

【換気計算】

番号	室名	床面積	必要換気面積	換気
⑦	展示室(1)	67.20m²		機械換気
⑧	展示室(2)	81.00m²		機械換気
⑨	展示室(3)	81.00m²		機械換気
⑭	多目的ホール	300.00m²	15.00m²	《CW3+CW4+AD3》9.66+4.02+1.6=15.28m²>15.00m² ∴OK
◇	事務所	89.00m²	4.45m²	《AW2+AW3》2.46+3.74=6.20m²>4.45m² ∴OK
◇	児童クラブ	81.00m²	4.05m²	《AW3+AW4》3.74+1.26=5.00m²>4.05m² ∴OK
◇	理事者控室	36.93m²	1.85m²	《AW6》4.98m²>1.85m² ∴OK

【採光計算】

番号	室名	床面積	必要採光面積	採光
◇	児童クラブ	81.00m²	11.57m²	《AW3+AW4》(6.20+3.18)×3=28.14m²>11.57m² ∴OK

【排煙計算】

階	番号	室名	床面積	必要排煙面積	排煙
1階	②, ③	エントランス・廊下	318.08m²	6.36m²	《AW3a×3+AW3×3》1.28×3+1.28×3=7.68m²>6.36m² ∴OK
	③	EV	6.52m²		令126条の2第1項ただし書 3号
	④	階段(1)・倉庫(3)	20.05m²		令126条の2第1項ただし書 3号
	⑤	給湯室	4.00m²		告示1436号4-2(2) (防煙垂れ壁100m以内)
	⑥	倉庫(4)	9.80m²		告示1436号4-2(2) (防煙垂れ壁100m以内)
	⑦	展示室(1)	67.20m²		告示1436号4-2(4) (下地仕上燃焼100m以内)
	⑧	展示室(2)	81.00m²		告示1436号4-2(4) (下地仕上燃焼100m以内)
	⑨	展示室(3)	81.00m²		告示1436号4-2(4) (下地仕上燃焼100m以内)
	⑩	身障者トイレ	9.00m²		告示1436号4-2(2) (防煙垂れ壁100m以内)
	⑪	男子トイレ・女子トイレ	32.4m²		告示1436号4-2(2) (防煙垂れ壁100m以内)
	⑫	PS	1.63m²		令126条の2第1項ただし書 3号
2階	⑭	階段(2)	25.41m²		令126条の2第1項ただし書 3号
	⑮	多目的ホール	300.00m²	6.00m²	《CW4×2》3.47×2=6.94m²>6.00m² ∴OK
	⑯	倉庫(2)	10.00m²		告示1436号4-2(1) (防火区画)
	⑰	階段	12.89m²		令126条の2第1項ただし書 3号
	⑱, ⑲, ㉑	ホール・廊下	221.23m²	4.42m²	《AW3a×4+AW3×2》1.28×4+1.28×2=7.68m²>4.42m² ∴OK
	⑳	EV	6.52m²		令126条の2第1項ただし書 3号
	㉑	書庫	36.71m²		告示1436号4-2(4) (下地仕上燃焼100m以内)
	㉒	倉庫(5)	81.00m²		告示1436号4-2(2) (防煙垂れ壁100m以内)
	㉓	倉庫(6)	27.00m²		告示1436号4-2(2) (防煙垂れ壁100m以内)
	㉔-1	事務所	89.00m²		告示1436号4-2(4) (下地仕上燃焼100m以内)
	㉔-2	会議室	30.00m²		告示1436号4-2(4) (下地仕上燃焼100m以内)
㉔-3	倉庫(7)	16.00m²		告示1436号4-2(2) (防煙垂れ壁100m以内)	
㉕	児童クラブ	81.00m²		告示1436号4-2(4) (下地仕上燃焼100m以内)	
㉖	男子トイレ・女子トイレ	41.20m²		告示1436号4-2(2) (防煙垂れ壁100m以内)	
㉗	PS	1.42m²		令126条の2第1項ただし書 3号	
㉘	理事者控室	36.93m²	0.74m²	《AW6》2.06m²>0.74m² ∴OK	

O4 消防 無窓階判定のチェック

1階		2階			
使用建具	計算式	面積	使用建具		
AW-2a	1.76x1/2x1.4x2	2.46	AW-2	1.76x1.4x2	4.92
AW-3a	1.76x1/2x1.4x2	2.46	AW-2	1.76x1.4	2.46
AD-2	(0.80x3+0.93)x0.85	3.19	AW-3	1.76x1.4x2	4.92
	(0.80x3+0.93)x1.37	3.67	AW-6	(1.93x4+0.89x3)×1.87	12.71
CW-3	(1.82+1.95+0.86)×0.98	4.61			
	(0.87x2+0.94x2+0.86)×0.89	4.38			
	(1.91x2+1.88x2+0.85+0.95)×0.98	9.36			
	(0.85+0.91x4+0.90x4+0.95)×0.89	8.94			
合計		39.07 m²			25.01 m²

※AW-2a, AW-3aはガラスにポリリテックス748(PET)製 50μm張り

外部仕上げ表			改修前													改修後												
符号	場所・部位	下地	仕上げ	下地補修													既存塗膜等の除去			下地調整						符号	仕上げ	備考
				タイル張り仕上げ													(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(イ)	(ロ)	(ハ)			
				ひび割れ部			欠損部		浮き部					目地														
				(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)												
樹脂注入工法	Uカットシーリング材充填工法	Uカットシーリング材充填工法	撤去部	撤去部	撤去部	撤去部	撤去部	撤去部	撤去部	撤去部	撤去部	撤去部	撤去部	撤去部	撤去部	撤去部	撤去部	撤去部	撤去部									
①	根回り	C	タイル金押し	(既存のまま)																				①	—			
②	外壁(1)	GL+1.150	C	45丁掛磁器質施釉タイル張	(既存のまま)																					②	—	
③	外壁(2)		S	成形セメント板 t=60 (認定番号: FP060NE-9036) 【●】 シーリング	(一部撤去) (撤去)																					③	成形セメント板 t=60 (認定番号: FP060NE-9036) (一部新設) 球芯系シーラーの上DP塗装・シーリング	(新設)
④	外壁(3)		S	50角磁器質施釉タイル張	(既存のまま)																					④	—	
⑤	外壁(4)		S	角波サイディング t=0.4	(既存のまま)																					⑤	—	
⑥	外部支柱			ケレン塗装	(既存のまま)																					⑥	—	
⑦	庇		S	7mmタイル	(既存のまま)																					⑦	—	
⑧	庇上		C	シート防水 コンクリート直押し	(既存のまま)																					⑧	—	
⑨	庇裏		S	7mmタイル t=1.0	(既存のまま)																					⑨	—	
⑩	屋根(1)	(屋上)	C	7mm防水絶縁断熱工法 [A1-2]	(既存のまま)																					⑩	塩ビシート防水機械固定 [S-M2] (POS) (新設)	脱気筒 8箇所 (新設)
⑪	屋根(1) (ハケッ立上①)		S	繊維混入スレート t=15 【●】 7mm製水切り	(撤去)																					⑪	サンドイッチパネルの上、塩ビシート防水 [S-M2] (POS) (新設)	水切金物 (新設)
⑫	屋根(1) (ハケッ立上②)		S	成形セメント板 t=15	(撤去)																					⑫	サンドイッチパネルの上、塩ビシート防水 [S-M2] (POS) (新設)	
⑬	屋根(1) (ハケッ立上③)		S	笠木タイル 7mm t=2.0 フッ素樹脂焼付塗装	(既存のまま)																					⑬	既存笠木の上、塩ビシート防水	(新設)
⑭	屋根(2)	(風除室)	C	シート防水 コンクリート直押し	(既存のまま)																					⑭	クリーニング	
⑮	屋根(3)	(機械室上部)		折板	(既存のまま)																					⑮	—	
⑯	屋根(4)	(機械室下部)		折板	(既存のまま)																					⑯	—	
⑰	ルーフドレン(屋根1)			横型ドレンφ100	(既存のまま)																					⑰	改修用横型ドレン	(新設)
⑱	ルーフドレン(屋根2)			横型ドレンφ100	(既存のまま)																					⑱	改修用横型ドレン	(新設)
⑲	軒樋(屋根3)			塩ビ	(既存のまま)																					⑲	—	
⑳	ルーフドレン(屋根4)			自在ドレン	(既存のまま)																					㉑	—	
㉑	縦樋			塩ビ製縦樋φ100 ｶﾞｰVP	(既存のまま)																					㉑	—	
㉒	縦樋(風除室底)			塩ビ製縦樋φ75 ｶﾞｰVP	(既存のまま)																					㉒	—	
㉓	玄関床	M		自然石張	(既存のまま)																					㉓	クリーニング	点字ブロック (新設)

参考数量

略号 C : コンクリート
M : モルタル塗り
S : 軽量鉄骨
SOP : 合成樹脂調合ペイント
複層塗材E : 合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材
複層塗材RE : 水性エポキシ樹脂エマルジョン系複層仕上塗材

特記事項

1 外壁改修については、設計時の全数調査報告書に基づき、下地補修の前にひび割れ、 コンクリートの剥落、タイルひび割れ・浮き及び仕上塗材の劣化部分等の不良箇所を 十分に調査して、施工数量調査報告書及び工事施工計画書を作成し、監督員の承諾を 受けた後、改修に着手すること。	3 本工事に支障となるものは、一時取外し、支障のないよう復旧すること。 既設配管等により、取外できない場合は監督員と協議すること。	7 屋外既設 防水層(立上り共)は、撤去とする。脱気テープはφ3.0m程度とする。 8 既存塗膜壁面で脆弱と思われる箇所については、付着強度が1.0 Nmm以上であることを 各面3ヶ所以上であることを確認すること
2 外部建具周囲・打継目地等のシーリングは既存シーリング材を除去後打替えとする。 ※ シーリングの打替えを行う場合は、既存シーリング材及びバックアップ材を除去し、 下地及び除去したシーリング材について監督員の確認を受けた後に施工すること。 また、除去したシーリング材は重量を測り、全量の写真撮影を行うこと。	4 水洗い工法は、高圧水洗機(9MPa以上)を使用して、粉化物・付着物等の除去、清掃 を行う。 5 クリーニングは、金属、建具及びガラスに適合する洗剤での水洗い程度とする。 6 外壁塗材の除去 (1) 改修範囲内の塗材除去を行うこと。 (2) 除去作業については、平らな面を兼業装置付ディスクグライダーケレン工法で行い、 建具取合い・出隅・入隅等を超音波ケレン工法で行うこと。	9 外壁のひび割れから常時漏水が認められた場合は、別途漏水防止工事を行う必要がある ため、監督員と協議すること。 10 硬質塩化ビニル製雨樋のSOP塗りは、C-2種を適用する。下地調整は、研磨紙すりによる 目荒しの上、溶剤ぶきにより油類の除去を行う。 11 【●】は7mmス含有建材(下地調整材)を示す。

外部仕上げ表	改修前	下地補修												既存塗膜等の除去			下地調整								改修後					
		タイル張り仕上げ															塗装面下地調整													
		ひび割れ部			欠損部			浮き部			目地																			
		(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(イ)	(ロ)	(ハ)	(1)	(2)	(3)	(イ)	(ロ)	(ハ)					
符号	場所・部位	下地	仕上げ	樹脂注入工法	Uカット (0.2mm~1.0mm)	Uカット (1.0mm超)	Uカット (1.0mm超)	Uカット (1.0mm超)	Uカット (1.0mm超)	Uカット (1.0mm超)	Uカット (1.0mm超)	Uカット (1.0mm超)	Uカット (1.0mm超)	Uカット (1.0mm超)	Uカット (1.0mm超)	Uカット (1.0mm超)	符号	仕上げ	備考											
28	ルーフレイン(屋根4)		自在ドレ (既存のまま)	○		○																				28	下地調整塗材C-2	(新設)		
29	壁樋		塩ビ製壁樋φ100 ｶｰｰVP (既存のまま)																											
30	壁樋(風除室庇)		塩ビ製壁樋φ75 ｶｰｰVP (既存のまま)																											
31	玄関床	M	自然石張 (既存のまま)																											
参考数量				3.155			2.145.4																							
特記事項				<p>1. 外壁改修については、設計時の全数調査報告書を基に、下地補修の前にひび割れ、コンクリートの剥落、タイルひび割れ、浮き及び仕上塗材の劣化部分等の不良箇所を十分に調査して、施工数量調査報告書及び工事施工計画書を作成し、監督員の承諾を受けた後、改修に着手すること。</p> <p>2. 外部建具周囲・打継目地等のシーリングは既存シーリング材を除去後打替えとする。 ※ シーリングの打替えを行う場合は、既存シーリング材及びバックアップ材を除去し、下地及び除去したシーリング材について監督員の確認を受けた後に施工すること。また、除去したシーリング材は重量を測り、全量の写真撮影を行うこと。</p> <p>3. 本工事に支障となるものは、一時取外し、支障のないよう復旧すること。</p> <p>4. 水洗い工法は、高圧水洗機(9MPa以上)を使用して、粉化物・付着物等の除去、清掃を行う。</p> <p>5. クリーニングは、金属、建具及びガラスに適合する洗剤での水洗い程度とする。</p> <p>6. 外壁塗材の除去 (イ) 改修範囲内の塗材除去を行うこと。 (ロ) 除去作業については、平らな面を集塵装置付ディスクグライダーでケレン工法で行い、建具取合い・出隅・入隅等を超音波ケレン工法で行うこと。</p> <p>7. 屋外既設防水層(立上り共)は、撤去とする。脱気テープは約3.0m程度とする。</p> <p>8. 既存塗膜壁面で脆弱と思われる箇所については、付着強度が1.0Nmm以上であることを各面3ヶ所以上であることを確認すること</p> <p>9. 外壁のひび割れから常時漏水が認められた場合は、別途漏水防止工事を行う必要があるため、監督員と協議すること。</p> <p>10. 硬質塩化ビニル製雨樋のSOP塗りは、C-2種を適用する。下地調整は、研磨紙すりによる目荒しの上、溶剤がきにより油類の除去を行う。</p>												<p>略号</p> <p>C : コンクリート M : モルタル塗り S : 軽量鉄骨</p> <p>SOP : 合成樹脂調整ペイント 複層塗材E : 合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材 複層塗材RE : 水性エポキシ樹脂エマルジョン系複層仕上塗材</p>														

間仕切壁・外壁リスト

1/10

特記事項	
<p>1. 本リストは間仕切壁の仕上り下地の仕様を示し、仕上材の仕様は、仕上表または、部分詳細図による。</p> <p>2. 一般間仕切壁は特記なき限り W2とする。また、壁は特記なき限り床スラブより天井スラブ及び、梁下までとする。</p> <p>3. 特記なき限りUB、USの片面壁仕上下地は W2aとする。</p> <p>4. 耐火間仕切壁は全て床スラブより天井スラブ及び梁下までとする。また、取合部設備等貫通部は適切な区画処理を行う。</p>	<p>5. RC外壁及び外壁の柱のボード張下地、内部独立柱は特記なき限りN2とする。</p> <p>6. 機械室の鉄筋コンクリート壁、ALCパネルに明記してある -GIは、GWマット張り厚50を示す。間仕切壁内に充填するGWは厚50とする。</p> <p>7. ◀は、シーリング(メーカー指定) 10×10とする。</p>

符号	FW1	FW1	WG1	WG1	WG2	WG2	WG3	WG3	WG4	WG4	W1	W1	W2	W2	W3	W3	防火区画壁 (1時間耐火) 押出成形セメント板 t=60
断面	<p>1時間耐火 (耐火 FPO60NP-0233)</p>		<p>準耐火構造 告1358号 第1第1号ハ(1)・(2)</p>														
注記	<p>・児童クラブ(A・B面)</p>		<p>・児童クラブ(D面)</p>		<p>・展示室(1)(2)(3) ・倉庫(5)(6)(7) ・会議室</p>		<p>・書庫(A面)</p>		<p>・展示室(3)</p>		<p>・新設する壁</p>		<p>・展示室(3)</p>		<p>・給湯室</p>		

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	元ゆめきやりあセンター改修改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第198542号 美野 健治	外部仕上表(2) 間仕切壁・外壁リスト		A-13

内部仕上表																									
階	室名		床			巾木・腰			壁			天井					備考								
			下地	仕上	床レベル	下地	仕上	塗装	下地	仕上	塗装	下地	仕上	塗装	廻り縁	天井高(CH)		梁型							
1	議会議務局 給湯室 (撤去)	改修前	C	フリアクレスフロア t=50 タイルカベット敷	(撤去)	±0	LGS	ビニル巾木 H=60	(撤去)	—	LGS	GB-R t=12.5 2重張 ビニルクロス張(不燃)	(撤去)	—	LGS (撤去)	GB-R t=12.5張 DR t=9.5張	(撤去)	(撤去)	—	塩ビ (撤去)	3.000	—	自動扉 アライント ミニキッチン 流し台 自動ドア上看板	(撤去・移設) (撤去)	
			C	給湯室:ビニル床シート直張 t=2.5																					
	新設 展示室(1) 倉庫(4) 給湯室	改修後	C (既存のまま)	フリアクレスフロア t=50 ビニル床タイル(木目調)t=5.0	(既存のまま) (新設)	±0	LGS (一部新設)	ビニル巾木 H=60	(新設)	—	LGS (一部新設)	GB-R t=12.5 2重張 ビニルクロス張(不燃)	(既存のまま) (新設)	—	LGS (新設)	GB-R t=12.5張 ビニルクロス張(不燃)	(新設) (新設)	(新設)	(新設)	—	塩ビ (新設)	3.000	—	自動扉 アライント 誘導標識 サイン	(既存のまま) (既存のまま) (新設) (新設)
			C	給湯室:ビニル床シート直張 t=2.5(流し台下補修)																					
	正・副議長室兼議長応接室 (撤去)	改修前	C	フリアクレスフロア t=50 タイルカベット敷	(撤去)	±0	LGS	ビニル巾木 H=60	(撤去)	—	LGS	GB-R t=12.5 2重張 ビニルクロス張(不燃)	(撤去)	—	LGS (撤去)	GB-R t=12.5張 DR t=9.5張	(撤去)	(撤去)	—	塩ビ (撤去)	3.000	—	OHPスクリーン アライント サイン	(撤去) (撤去) (新設)	
			C (既存のまま)	フリアクレスフロア t=50 ビニル床タイル(木目調)張 t=5.0	(既存のまま) (新設)	±0	LGS (既存のまま)	ビニル巾木 H=60	(新設)	—	LGS (既存のまま)	GB-R t=12.5 2重張 ビニルクロス張(不燃) 化粧フィルム張(不燃)	(既存のまま) (新設)	—	LGS (新設)	GB-R t=12.5張 ビニルクロス張(不燃)	(新設) (新設)	(新設)	(新設)	—	塩ビ (新設)	3.000	—	誘導標識	(新設)
	議会図書室兼理事者控室 (撤去)	改修前	C	フリアクレスフロア t=50 タイルカベット敷	(撤去)	±0	LGS	ビニル巾木 H=60	(撤去)	—	LGS	GB-R t=12.5 2重張 ビニルクロス張(不燃)	(撤去)	—	LGS (撤去)	GB-R t=12.5張 DR t=9.5張	(撤去)	(撤去)	—	塩ビ (撤去)	3.000	—	OHPスクリーン アライント 書庫(チャール)	(撤去) (撤去) (撤去)	
			C (既存のまま)	フリアクレスフロア t=50 ビニル床タイル(木目調)張 t=5.0	(既存のまま) (新設)	±0	LGS (一部新設)	ビニル巾木 H=60	(新設)	—	LGS (一部新設)	GB-R t=12.5 2重張 ビニルクロス張(不燃) <展示壁> GB-R t=12.5 ビニルクロス張(不燃) 化粧フィルム張(不燃)	(一部新設) (新設) (新設) (新設)	—	LGS (新設)	GB-R t=12.5張 ビニルクロス張(不燃)	(新設) (新設)	(新設)	(新設)	—	塩ビ (新設)	3.000	—	誘導標識 サイン	(新設) (新設)
	議場兼全員協議会室 (撤去)	改修前	C	タイルカベット敷 230㎡ コンクリート金釘押え 防塵塗装	(撤去)	±0	LGS	防塵塗装 H=60		—	LGS	ケイカル板 t=8張		VE塗	LGS	GB-R t=9.5張 DR t=9.5張	(一部撤去) (一部撤去)	—	塩ビ (既存のまま)	6.000	—	議長席 手摺 室名札 カーテン	(撤去) (撤去) (撤去) (撤去)		
			C (既存のまま)	ビニル床タイル(木目調)直張 t=5.0	(新設)	±0	LGS (既存のまま)	硬質塩ビ巾木 H=60	(新設)	—	LGS (既存のまま)	ケイカル板 t=8張	(既存のまま)	VE塗 (既存のまま)	LGS (既存のまま)	GB-R t=9.5張 DR t=9.5張	(一部新設) (一部新設)	—	塩ビ (既存のまま)	6.000	—	サイン 誘導標識 カーテン(遮光)	(新設) (新設) (新設)		
	打合せコーナー 応接コーナー エントランスホール	改修前	C	フリアクレスフロア t=50 タイルカベット敷	(撤去)	±0	LGS	硬質塩ビ巾木 H=60	(撤去)	—	LGS	GB-R t=12.5張	(一部撤去)	MP・II塗 (撤去)	LGS	GB-R t=9.5張 DR t=9.5張	(一部撤去)	—	塩ビ	3.000	—	黒板 床見切	(撤去)		
			C (既存のまま)	フリアクレスフロア t=50 ビニル床タイル(木目調)張 t=5.0	(既存のまま) (新設)	±0	LGS (既存のまま)	硬質塩ビ巾木 H=60	(新設)	—	LGS (既存のまま)	GB-R t=12.5張	(一部新設)	MP・II塗 (塗替)	LGS (既存のまま)	GB-R t=9.5張 DR t=9.5張	(既存のまま) (一部新設)	—	塩ビ (既存のまま)	3.000	—	パーテーション ロールスクリーン カウンター 点字ブロック 床見切	(新設) (新設) (新設) (新設) (既存のまま)		
	西側階段 倉庫(3)	改修前	C	踏面:ビニル床シート直張 t=2.5 ビニル床シート直張 t=2.5		±0	LGS	硬質塩ビ巾木 H=60	(倉庫(3)一部撤去)	—	LGS	GB-D t=12.5張	(倉庫(3)一部撤去)	MP・II塗 (撤去)	LGS	階段踊り場上げ裏表しのまま		—	—	—	—	—	—		
			C (既存のまま)	踏面:ビニル床シート直張 t=2.5 ビニル床シート直張 t=2.0	(既存のまま) (既存のまま)	±0	LGS (既存のまま)	硬質塩ビ巾木 H=60	(倉庫(3)一部新設)	—	LGS (既存のまま)	GB-D t=12.5張	(倉庫(3)一部新設)	MP・II塗 (塗替)	LGS	階段踊り場上げ裏表しのまま (既存のまま)		—	—	—	—	—	—	—	
	廊下	改修前	C	ビニル床シート直張 t=2.5	(撤去)	±0	LGS	硬質塩ビ巾木 H=60	(撤去)	—	LGS	GB-R t=12.5張		MP・II塗 (撤去)	LGS	GB-R t=12.5張 ビニルクロス張(準不燃)	(一部撤去)	—	塩ビ	3.000	—	床見切			
			C (既存のまま)	ビニル床タイル(木目調)直張 t=5.0	(新設)	±0	LGS (既存のまま)	硬質塩ビ巾木 H=60	(新設)	—	LGS (既存のまま)	GB-R t=12.5張	(既存のまま)	MP・II塗 (塗替)	LGS	GB-R t=12.5張 ビニルクロス張(準不燃)	(既存のまま) (一部新設)	—	塩ビ (既存のまま)	3.000	—	床見切	(既存のまま)		
	障害者用トイレ	改修前	C	ビニル床シート直張 t=2.5		±0	LGS	ビニル巾木 H=60		—	LGS	ケイカル板 t=8張		VE塗	LGS	ケイカル板 t=6張		VE塗	塩ビ	2.550	—	手摺(樹脂被覆タイプ)			
			C (既存のまま)	ビニル床シート直張 t=2.5	(既存のまま)	±0	LGS (既存のまま)	ビニル巾木 H=60	(既存のまま)	—	LGS (既存のまま)	ケイカル板 t=8張	(既存のまま)	VE塗 (既存のまま)	LGS (既存のまま)	ケイカル板 t=6張	(既存のまま)	VE塗 (既存のまま)	塩ビ (既存のまま)	2.550	—	手摺(樹脂被覆タイプ)	(既存のまま)		
男子・女子トイレ	改修前	C	ビニル床シート直張 t=2.5 150角せつ器質無軸タイル張 天然石張(磨き仕上げ)	(一部撤去) (一部撤去) (一部撤去)		LGS	—		CB積 LGS	150角陶器質施軸タイル張 GB-S t=12.5 GB-S t=12.5 150角陶器質施軸タイル張		MP・II塗	LGS	ケイカル板 t=6張	(一部撤去)	VE塗 (一部撤去)	塩ビ (一部撤去)	2.530 2.550	—	手摺(樹脂被覆タイプ) トイレース	(一部撤去)				
		C (既存のまま)	ビニル床シート直張 t=2.5 150角せつ器質無軸タイル張 天然石張(磨き仕上げ)	(一部新設) (一部新設) (一部新設)		LGS (既存のまま)	—		CB積 LGS	150角陶器質施軸タイル張 GB-S t=12.5 GB-S t=12.5 150角陶器質施軸タイル張	(既存のまま) (既存のまま) (既存のまま) (既存のまま)	MP・II塗 (既存のまま)	LGS (既存のまま)	ケイカル板 t=6張	(一部新設)	EP-G塗 (一部新設)	塩ビ (一部新設)	2.530 2.550	—	手摺(樹脂被覆タイプ) トイレース	(既存のまま) (一部新設)				

凡 例 (使用材料と記号)												〈特記事項〉 ・鋼製床組は、耐荷重5,000Nとする。 ・タイルカベットは、第一種L-パイルとする。			・ビニル床シートは、F4とする。 ・せつこうボードは、ベベル 下地処理共とする。 ・トイレースは、メラミン化粧板とする。								
C	コンクリート	LGS	軽量鉄骨下地	GB-S	ジーンク'せつこうボード'	GB-R	せつこうボード'	GB-D	化粧せつこうボード'	GB-F	強化せつこうボード'	DR	ロクケル吸音板										

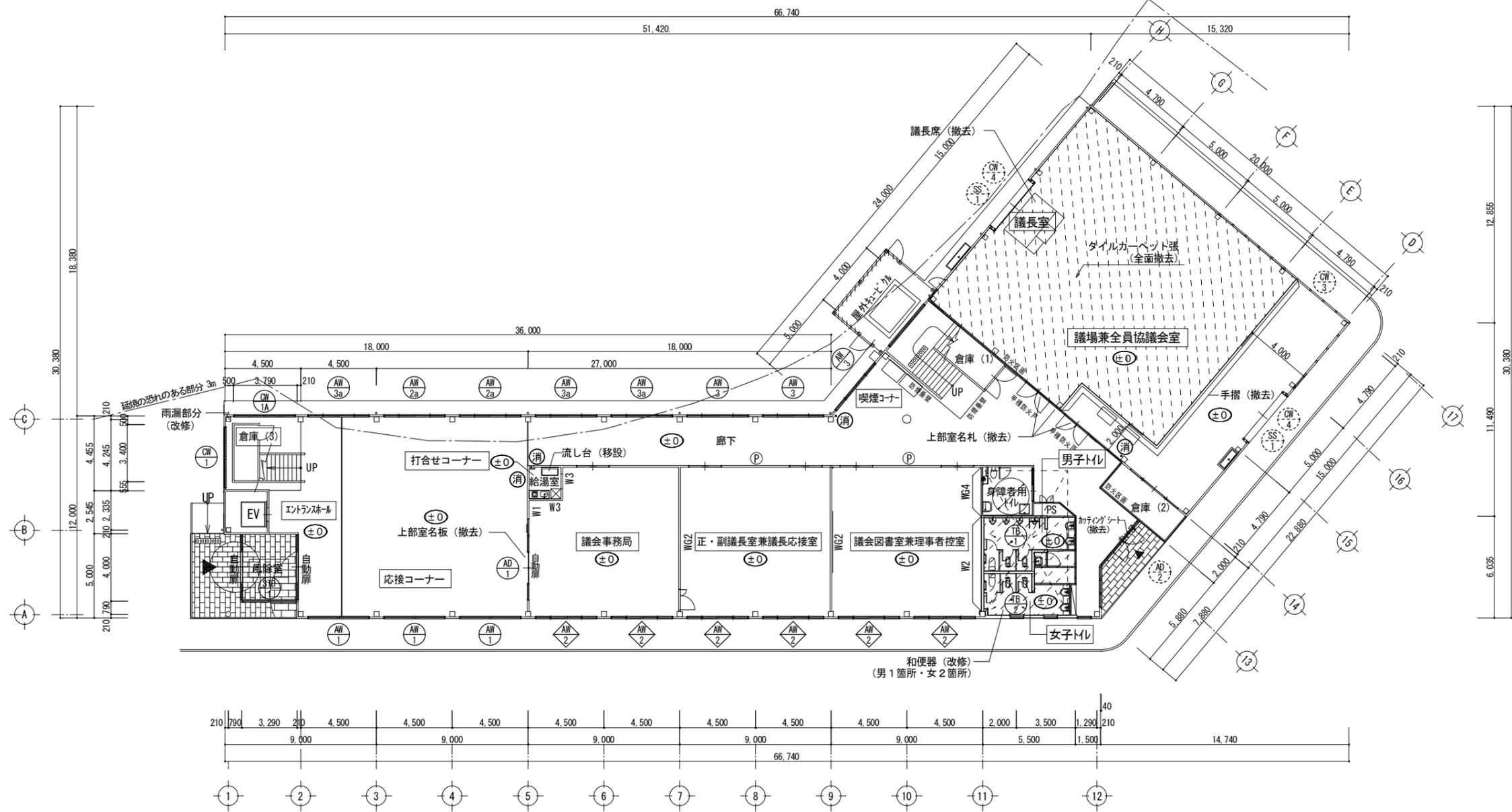
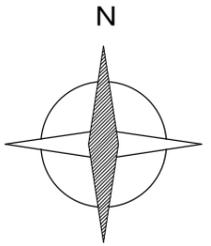
内部仕上表																	
階	室名	床			巾木・腰			壁			天井					備考	
		下地	仕上	床いへ	下地	仕上	塗装	下地	仕上	塗装	下地	仕上	塗装	廻り縁	天井高(CH)		梁型
1	東側階段倉庫(1)	改修前	C	踏面：ビニル床シート直張 t=2.5 蹴上：ビニル床シート直張 t=2.5	±0	LGS	硬質塩ビ巾木 H=60	—	LGS	GB-D t=12.5張	MP・II塗 (撤去) (踏面から2m)	LGS	GB-R t=12.5張 ビニルクロス張 (準不燃)	—	塩ビ	—	
		改修後	C (既存のまま)	踏面：ビニル床シート直張 t=2.5 (既存のまま) 蹴上：ビニル床シート直張 t=2.0 (既存のまま)	±0	LGS (既存のまま)	硬質塩ビ巾木 H=60 (既存のまま)	—	LGS (既存のまま)	GB-D t=12.5張 (既存のまま)	MP・II塗 (塗替) (踏面から2m)	LGS	GB-R t=12.5張 ビニルクロス張 (準不燃) (既存のまま)	—	塩ビ (既存のまま)	—	
	倉庫(2)	改修前	C	防塵塗装	±0	LGS	ビニル巾木 H=60	—	LGS	GB-R t=12.5張 ビニルクロス張 (準不燃)	—	LGS	GB-D t=9.5張 (準不燃)	—	塩ビ	3,000	
		改修後	C (既存のまま)	防塵塗装 (既存のまま)	±0	LGS (既存のまま)	ビニル巾木 H=60 (既存のまま)	—	LGS (既存のまま)	GB-R t=12.5張 ビニルクロス張 (準不燃) (既存のまま)	—	LGS	GB-D t=9.5張 (準不燃) (既存のまま)	—	塩ビ (既存のまま)	3,000	

<p>特記</p> <ul style="list-style-type: none"> 壁、床、天井、建具仕上りに用いる建築材料はすべてF☆☆☆☆、または規制対象外の材料を使用する。 天井裏などへの措置については、天井裏・床裏・壁・収納に用いる建築材料はF☆☆☆☆以上を使用する。 クロルビリス添加の建材は不使用、接着剤は非ホルムアルデヒドのものを使用する。 天井、壁仕上材の仕様は難燃材以上を使用する。 カーテン、じゅうたん等は防災製品を使用する。 <p>・天井、壁仕上に使用する塗料は基材同等。</p>															<p>〈特記事項〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 鋼製床組は、耐荷重5,000Nとする。 せつこうボードは、べベル 下地処理共とする。 タイルベットの、第一種Lパイルとする。 			<ul style="list-style-type: none"> ビニル床シートは、F4とする。 せつこうボードは、べベル 下地処理共とする。 トイレは、メラミン化粧板とする。 		
凡例	コンクリート	LGS	軽量鉄骨下地	GB-S	ジージョウせつこうボード	GB-R	せつこうボード	GB-D	化粧せつこうボード	GB-F	強化せつこうボード	DR	ロックール吸音板							
事業年度	年度	設計			大	中	小	地域	施設	種類	工事名		事務所名・建築士登録番号・氏名			図面名称・縮尺		図番		
令和	年月	三原市都市部建築課								建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)		有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印			内部仕上表(2)		A-15		

内部仕上表																		
階	室名	改修前	床			巾木・腰			壁			天井					備考	
			下地	仕上	床レベル	下地	仕上	塗装	下地	仕上	塗装	下地	仕上	塗装	廻り縁	天井高(CH)		梁型
2	創志会 (撤去)	改修前	C	ビニル床シート直張 t=2.5 (撤去)	±0	LGS	硬質塩ビ巾木 H=60 (撤去)	—	LGS	GB-R t=12.5 2重張 GB-R t=12.5張 ガラスケール t=50 ビニルクロス張(準不燃) (撤去)	MP・II塗 (撤去)	LGS	GB-R t=12.5張 ビニルクロス張 (撤去)	—	塩ビ	3.000		ブライント 室名札 木付ボード (撤去) (撤去)
	新設 書庫	改修後	C (既存のまま)	ビニル床シート直張 t=2.0 (新設)	±0	LGS (既存のまま)	硬質塩ビ巾木 H=60 (新設)	—	LGS (既存のまま)	<A・B面> GB-R t=12.5張 (既存のまま) ガラスケール t=50 (既存のまま) ビニルクロス張(不燃) (新設) <C・D面> GB-R t=12.5張 (既存のまま) ビニルクロス張(不燃) (新設)	—	LGS (既存のまま)	GB-R t=12.5張 ビニルクロス張(不燃) (既存のまま) (新設)	—	塩ビ (新設)	3.000		ブライント サイン (既存のまま) (新設)
	新風会・公明党 無所属 (撤去)	改修前	C	フリアクセスフロア t=50 タイルカベット敷 (撤去)	±0	LGS (一部撤去)	ビニル巾木 H=60 (撤去)	—	LGS (一部撤去)	GB-R t=12.5張 ビニルクロス張(準不燃) (撤去)	—	LGS	GB-R t=12.5張 DR t=9.5張(不燃) (一部撤去)	—	塩ビ	3.000		ブライント 室名札 木付ボード プロジェクター OHPスクリーン (撤去) (撤去) (撤去) (撤去)
	新設 倉庫(5)(6)	改修後	C (既存のまま)	フリアクセスフロア t=50 ビニル床シート張 t=2.0 (既存のまま) (新設)	±0	LGS (一部新設)	ビニル巾木 H=60 (新設)	—	LGS (一部新設)	GB-R t=12.5張 ビニルクロス張(不燃) (既存のまま) (新設)	—	LGS (既存のまま)	GB-R t=12.5張 DR t=9.5張(不燃) (一部新設) (一部新設)	—	塩ビ (一部新設)	3.000		ブライント サイン (既存のまま) (新設)
	新生会 志成会・委員会室 (撤去)	改修前	C	フリアクセスフロア t=50 タイルカベット敷 (一部撤去)	±0	LGS	ビニル巾木 H=60 (撤去)	—	LGS (一部撤去)	GB-R t=12.5張 ビニルクロス張(準不燃) (撤去)	—	LGS	GB-R t=12.5張 DR t=9.5張(不燃) (一部撤去) (一部撤去)	—	塩ビ (一部撤去)	3.000		ブライント 室名札 木付ボード プロジェクター OHPスクリーン (撤去) (撤去) (撤去) (撤去)
	新設 事務所・会議室 倉庫(7)	改修後	C (既存のまま)	フリアクセスフロア t=50 タイルカベット敷 (既存のまま) (一部新設)	±0	LGS (既存のまま)	ビニル巾木 H=60 (新設)	—	LGS (一部新設)	<会議室・倉庫(7)・事務所A・C・D面> GB-R t=12.5張 (既存のまま) ビニルクロス張(不燃) (新設) <事務所B面のみ> GB-R t=12.5張 (既存のまま) GB-R t=9.5張 (新設) ビニルクロス張(不燃) (新設)	—	LGS (既存のまま)	GB-R t=12.5張 DR t=9.5張(不燃) (一部新設) (一部新設)	—	塩ビ (一部新設)	3.000		ブライント サイン 誘導標識 ミニキッチン (既存のまま) (新設) (新設) (新設)
	委員会室 市民連合 (撤去)	改修前	C	フリアクセスフロア t=50 タイルカベット敷 ビニル床シート張 t=2.5 (一部撤去) (撤去)	±0	LGS (一部撤去)	ビニル巾木 H=60 (撤去)	—	LGS (一部撤去)	GB-R t=12.5張 ビニルクロス張(準不燃) (一部撤去) (撤去)	—	LGS (撤去)	GB-R t=12.5張 DR t=9.5張(不燃) (撤去) GB-D t=12.5張 (撤去)	—	塩ビ (撤去)	3.000		ブライント 室名札 OHPスクリーン スピーカー 書庫(椅子) (撤去) (撤去) (撤去) (撤去)
	新設 児童クラブ	改修後	C (既存のまま)	フリアクセスフロア t=50 タイルカベット敷 (既存のまま) (新設)	±0	LGS (一部新設)	ビニル巾木 H=60 (新設)	—	LGS (一部新設)	<A・B面> GB-F t=21張 (新設) GB-F t=21張 (新設) ビニルクロス張(不燃) (新設) <D面> GB-R t=12.5張 (既存のまま) GB-R t=9.5張 (新設) ビニルクロス張(不燃) (新設) <C面> GB-R t=12.5張 (新設) ビニルクロス張(不燃) (新設)	—	LGS (新設)	GB-R t=12.5張 DR t=9.5張(不燃) (新設) (新設)	—	塩ビ (新設)	3.000		ブライント サイン 誘導標識 ミニキッチン 流し台 (既存のまま) (新設) (新設) (新設) (1階給湯室より移設)
	ホール・廊下	改修前	C	ビニル床シート直張 t=2.5	±0	LGS	硬質塩ビ巾木 H=60	—	LGS	GB-R t=12.5張	MP・II塗 (撤去)	LGS	GB-R t=12.5張 ビニルクロス張	—	塩ビ	3.000		
		改修後	C (既存のまま)	ビニル床シート直張 t=2.0 (既存のまま)	±0	LGS (既存のまま)	硬質塩ビ巾木 H=60 (既存のまま)	—	LGS (既存のまま)	GB-R t=12.5張 (既存のまま)	MP・II塗 (新設)	LGS (既存のまま)	GB-R t=12.5張 ビニルクロス張(準不燃) (既存のまま) (既存のまま)	—	塩ビ (既存のまま)	3.000		
	休憩コーナー	改修前	C	ビニル床シート直張 t=2.5	±0	LGS	硬質塩ビ巾木 H=60	—	LGS	GB-R t=12.5張	MP・II塗 (撤去)	LGS	GB-R t=12.5張 ビニルクロス張 (撤去) (撤去)	—	塩ビ	3.000		
		改修後	C (既存のまま)	ビニル床シート直張 t=2.5 (既存のまま)	±0	LGS (既存のまま)	硬質塩ビ巾木 H=60 (既存のまま)	—	LGS (既存のまま)	GB-R t=12.5張	MP・II塗 (新設)	LGS (既存のまま)	GB-R t=12.5張 ビニルクロス張(不燃) (新設) (新設)	—	塩ビ (既存のまま)	3.000		
	男子・女子トイレ	改修前	C	ビニル床シート直張 t=2.5 150角せっ器質無軸タイル張 天然石張(磨き仕上げ) (一部撤去) (一部撤去) (一部撤去)	±0	LGS	—	—	CB積 LGS	150角陶器質施軸タイル張 GB-S t=12.5 GB-S t=12.5 150角陶器質施軸タイル張	MP・II塗	LGS	タイル板 t=6張(不燃)	VE塗	塩ビ	2.530 と 2.550		手摺(樹脂被覆タイプ)
		改修後	C (既存のまま)	ビニル床シート直張 t=2.5 150角せっ器質無軸タイル張 天然石張(磨き仕上げ) (一部新設) (一部新設) (一部新設)	±0	LGS (既存のまま)	—	—	CB積 LGS	150角陶器質施軸タイル張 GB-S t=12.5 GB-S t=12.5 150角陶器質施軸タイル張 (既存のまま) (既存のまま) (既存のまま)	MP・II塗 (既存のまま)	LGS (既存のまま)	タイル板 t=6張(不燃) (既存のまま)	VE塗 (既存のまま)	塩ビ (既存のまま)	2.530 と 2.550		手摺(樹脂被覆タイプ) トイレース (既存のまま) (一部新設)

凡例(使用材料と記号)												〈特記事項〉 ・鋼製床組は、耐荷重5,000Nとする。 ・せっこうボードは、F4とする。 ・タイルカベットは、第一種LPバルとする。		・ビニル床シートは、F4とする。 ・せっこうボードは、レベル 下地処理共とする。 ・トイレースは、タリシ化粧板とする。			
C	コンクリート	LGS	軽量鉄骨下地	GB-S	シージンクせっこうボード	GB-R	せっこうボード	GB-D	化粧せっこうボード	GB-F	強化せっこうボード	DR	ロックール吸音板				

事業年度	年度	設計	三原市都市部建築課				大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名		図面名称・縮尺	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月										建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之		内部仕上表(3)		A-16

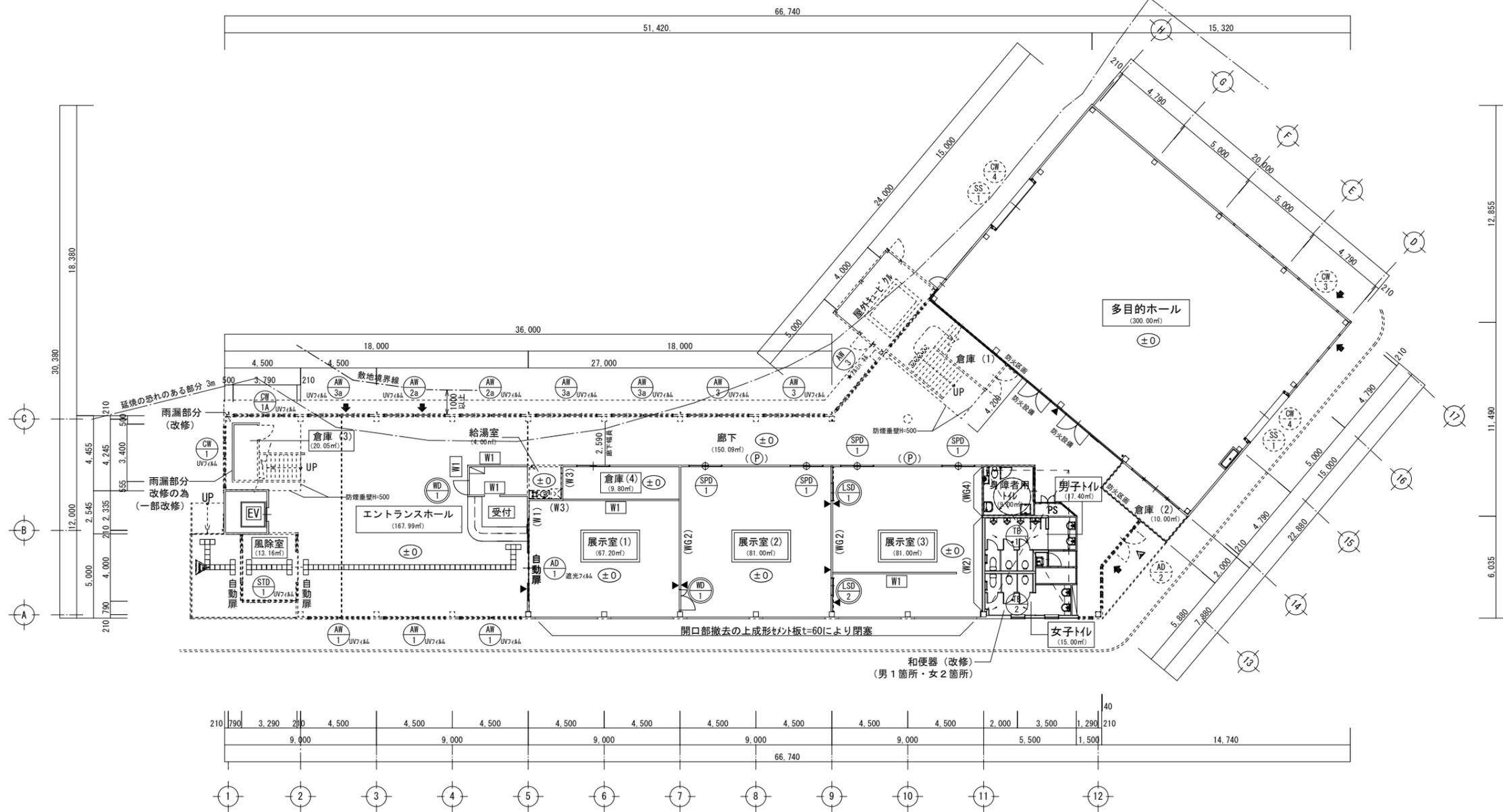
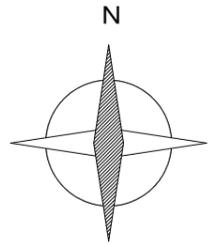


1階 平面図 S=1/200

凡例

室名	工事対象室を示す。		工事範囲を示す。		工事対象建具を示す。	符号	既存壁下地を示す。
室名	工事対象外室を示す。		工事対象建具(撤去)を示す。		工事対象外建具を示す。		消火器(撤去)

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/200	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	(改修前) 1階平面図		A-17

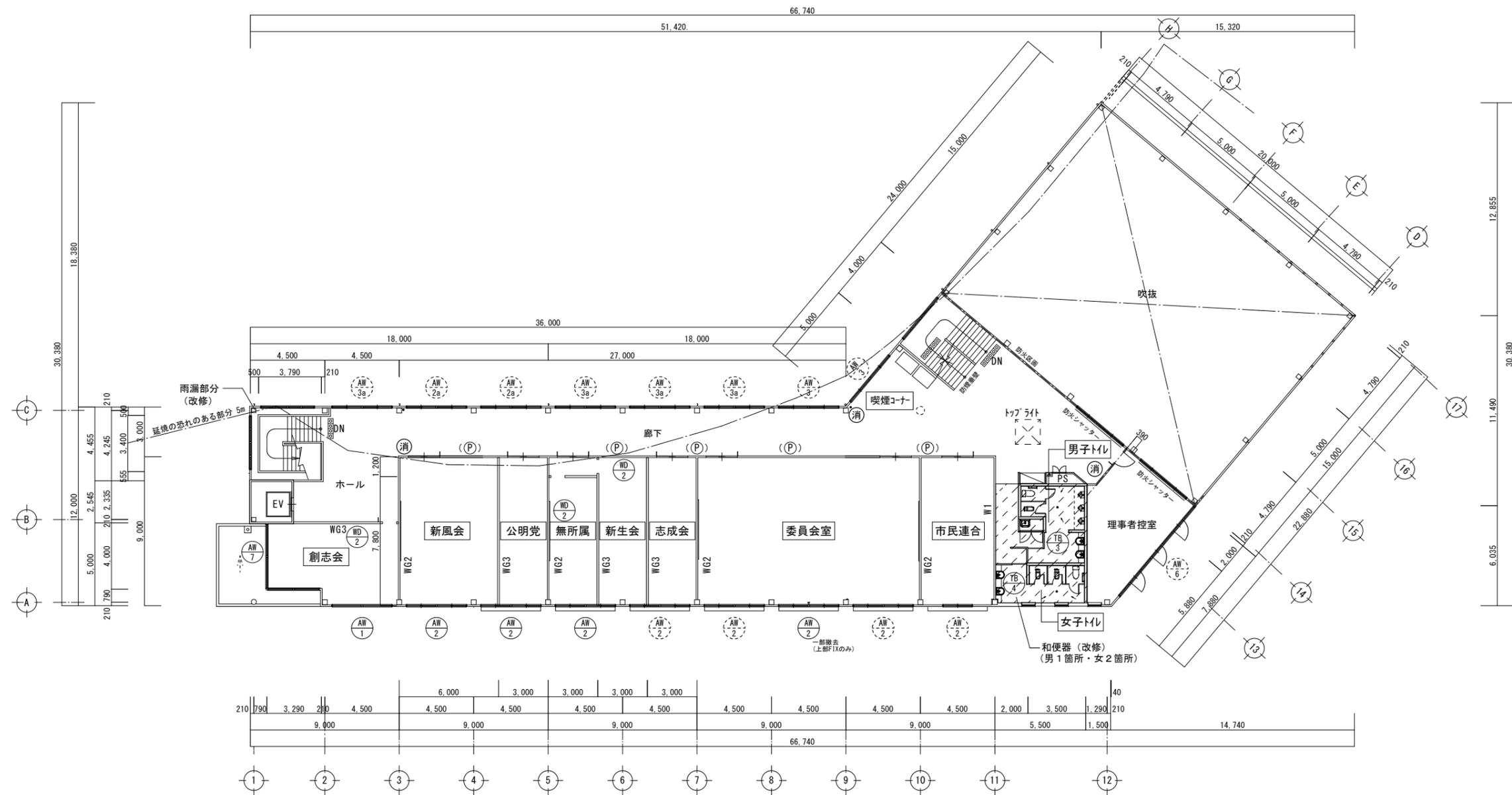
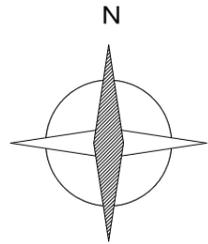


1階 平面図 S=1/200

凡例

	工事対象室を示す。	室名	工事対象外室を示す。		工事範囲を示す。		工事対象建具を示す。		新設		改修後壁下地を示す。		室名札・室名板		消防用有窓検討窓を示す。
	工事対象室を示す。 科学物質の濃度測定室を示す。		工事対象外室を示す。				工事対象外建具を示す。	(符号)			既存壁下地を示す。		鍵交換箇所(内:ソリダ、外:ソリダ) ※施錠種類については工事前に要確認		

事業年度	年度	設計	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	S=1/200	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和	年月						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	(改修後) 1階平面図			A-18

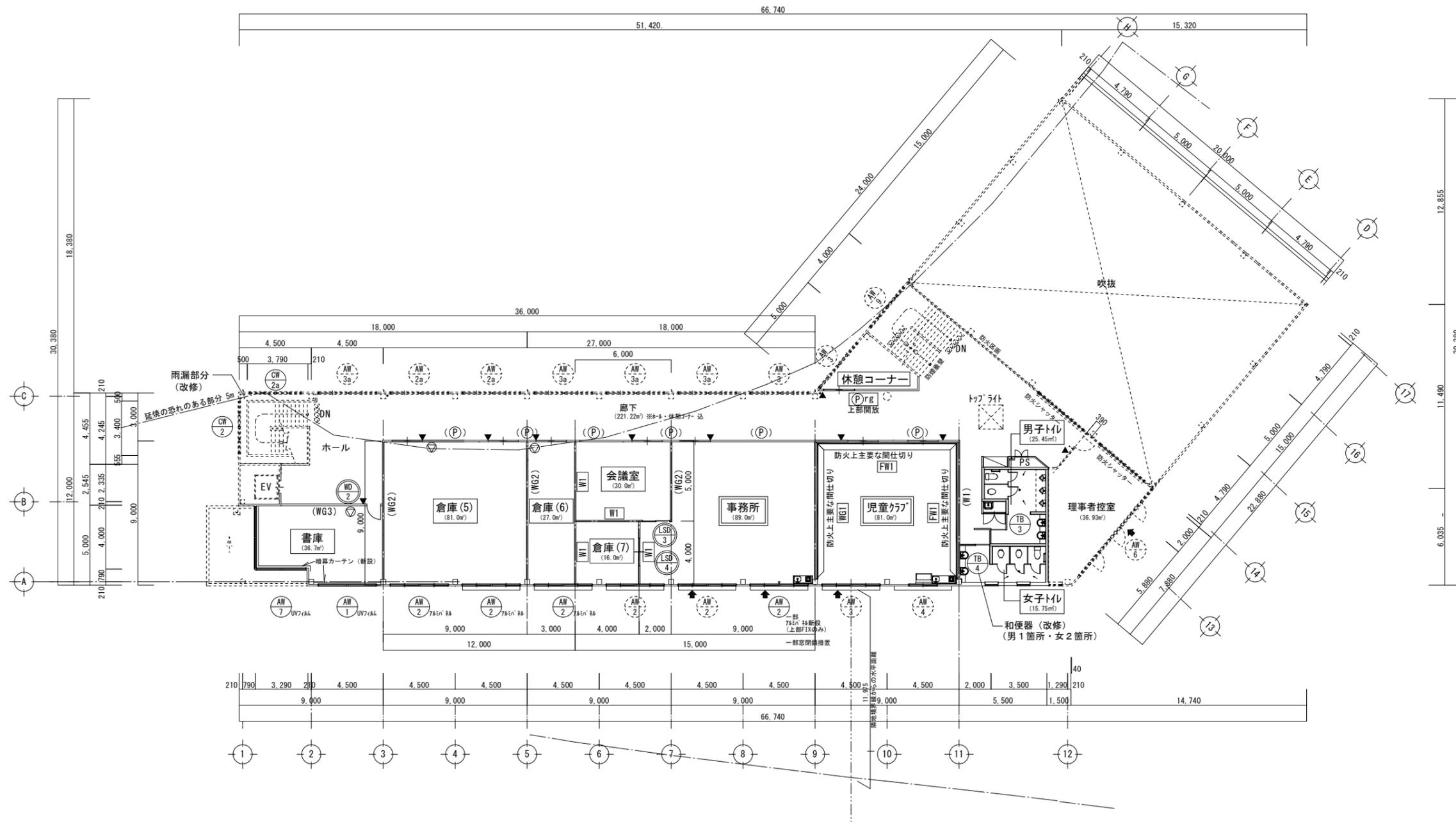
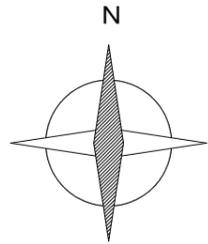


2階 平面図 S=1/200

凡例

室名	工事対象室を示す。		工事範囲を示す。		工事対象建具を示す。	符号	既存壁下地を示す。
室名	工事対象外室を示す。				工事対象外建具を示す。		消火器 (撤去)

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/200	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	(改修前) 2階平面図		A-19



2階 平面図 S=1/200

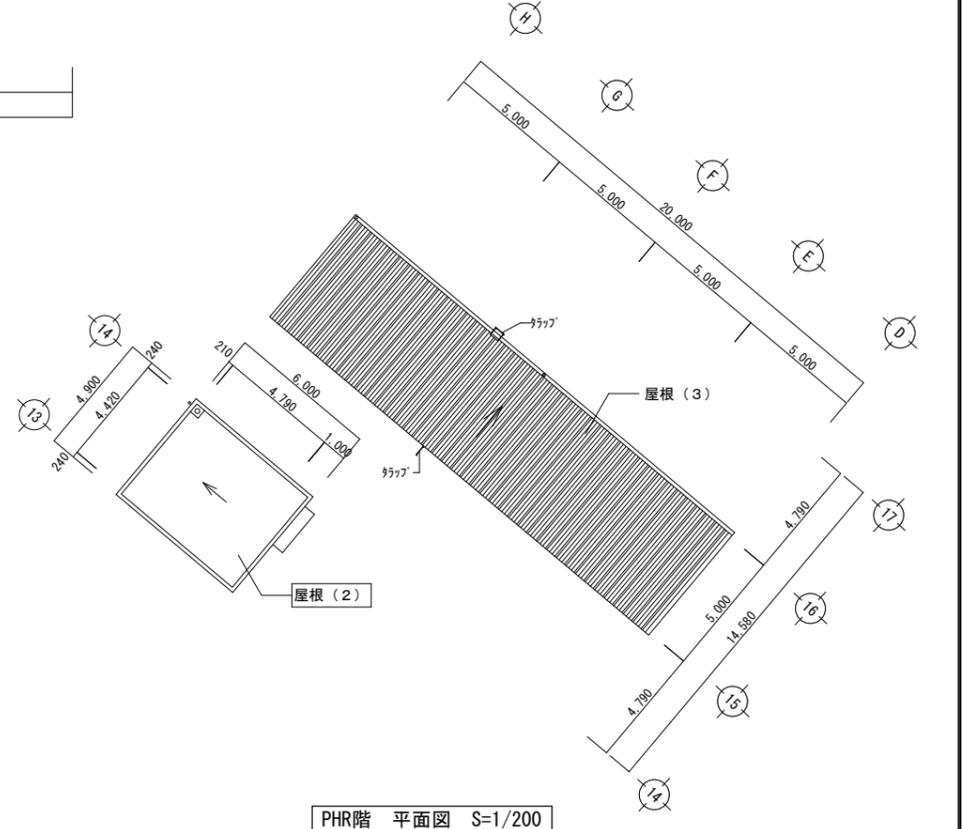
凡例

室名	工事対象室を示す。	室名	工事対象外室を示す。	工事範囲を示す。	工事対象建具を示す。	新設	符号	改修後壁下地を示す。	室名札・室名板	消防用有窓検討窓を示す。
室名	工事対象室を示す。 科学物質の濃度測定室を示す。		工事対象外室を示す。		工事対象外建具を示す。	(符号)		既存壁下地を示す。	許容積載物重表記 (80kg/m ²)	

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/200	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	(改修後) 2階平面図		A-20



R階 平面図 S=1/200



PHR階 平面図 S=1/200

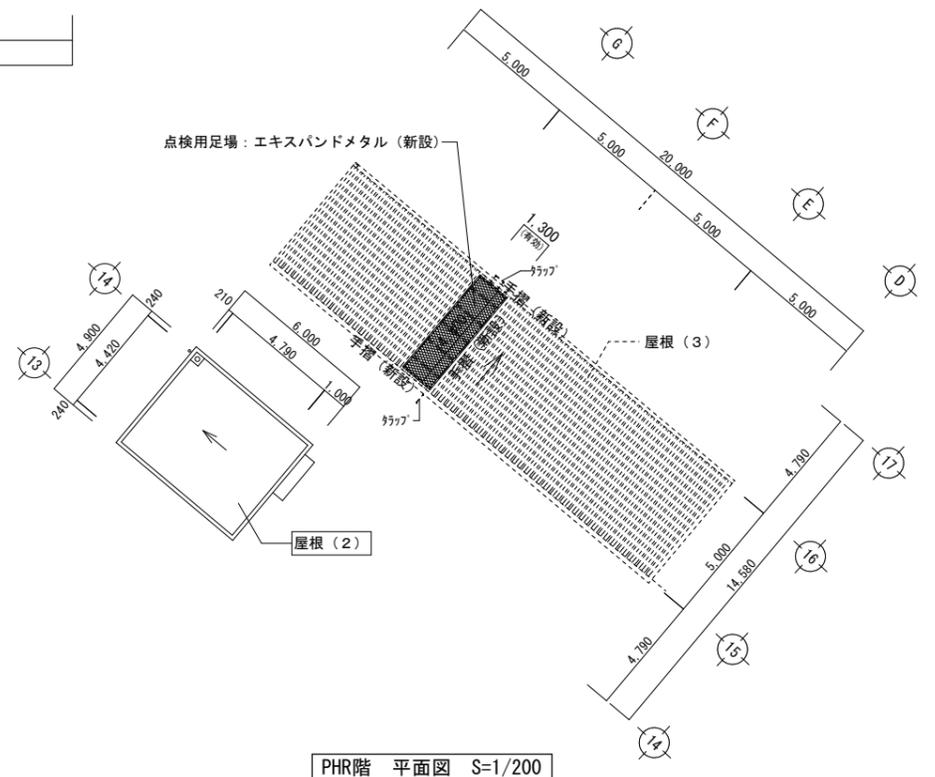
凡例

室名	工事対象室を示す。		工事範囲を示す。
室名	工事対象外室を示す。		工事対象外建具を示す。

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/200	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	(改修前) R階・PHR階平面図		A-21



R階 平面図 S=1/200



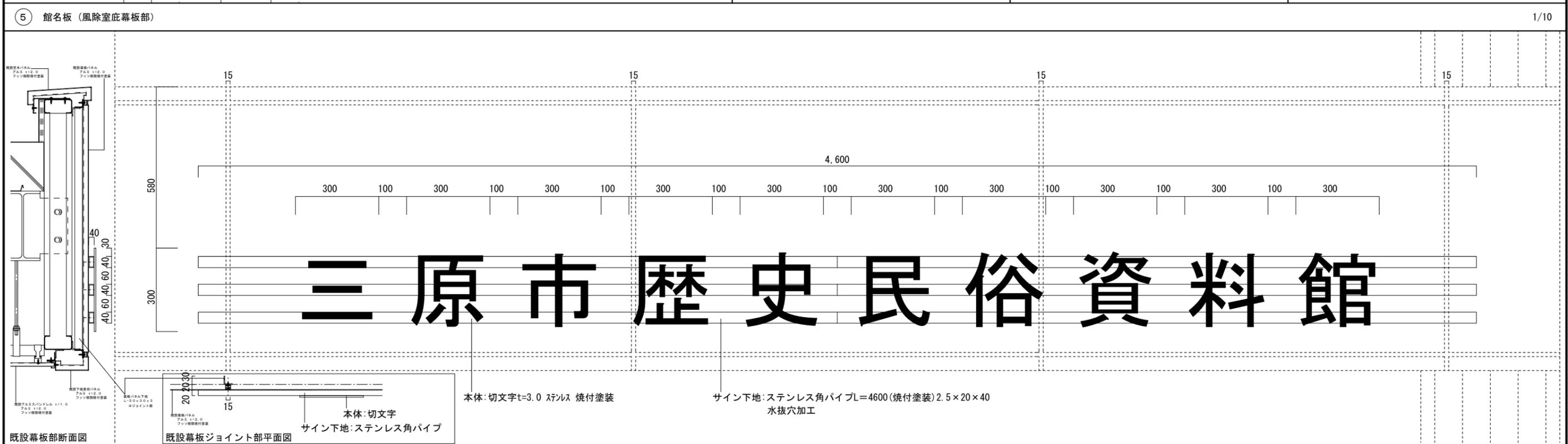
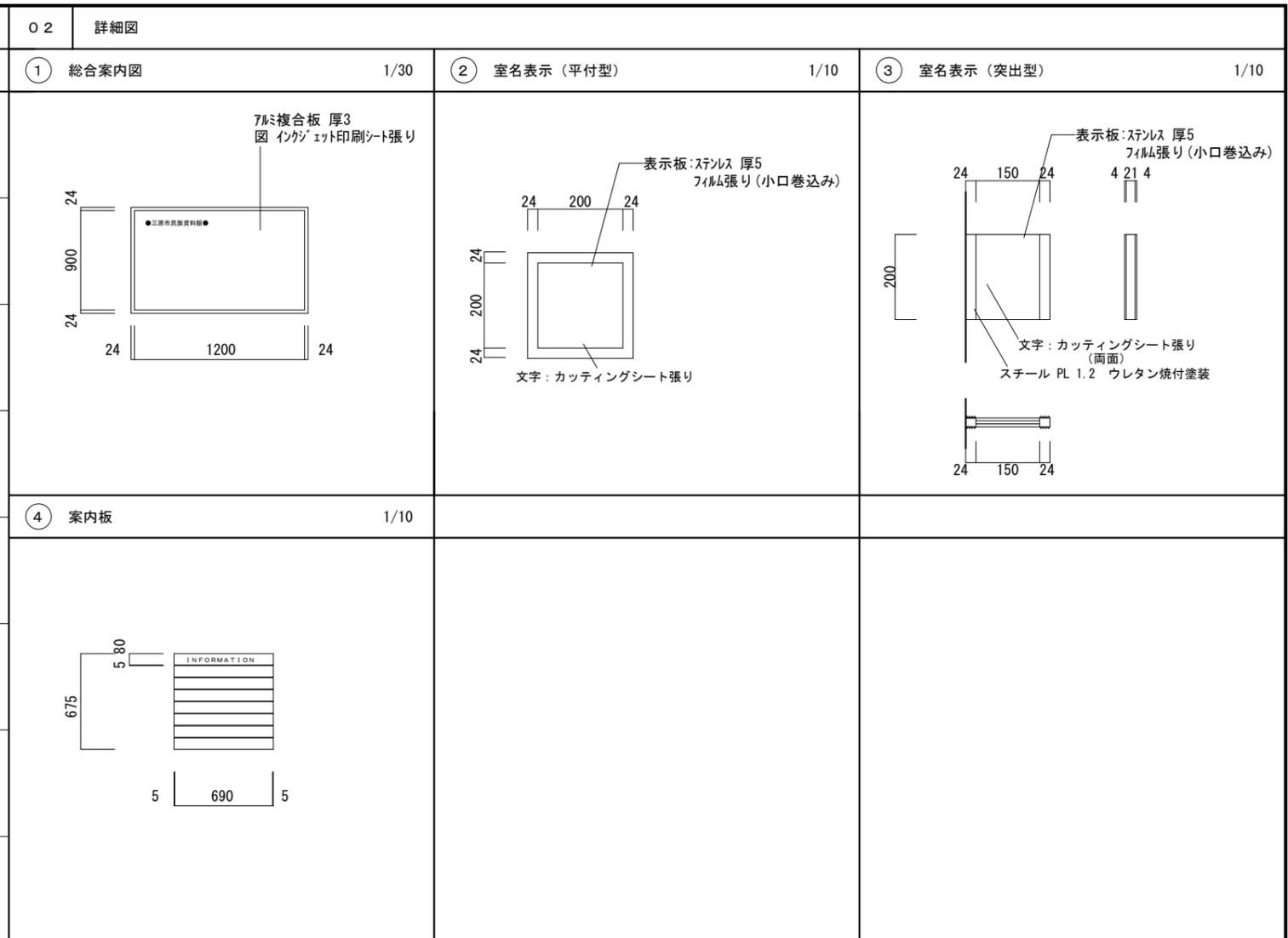
PHR階 平面図 S=1/200

凡例

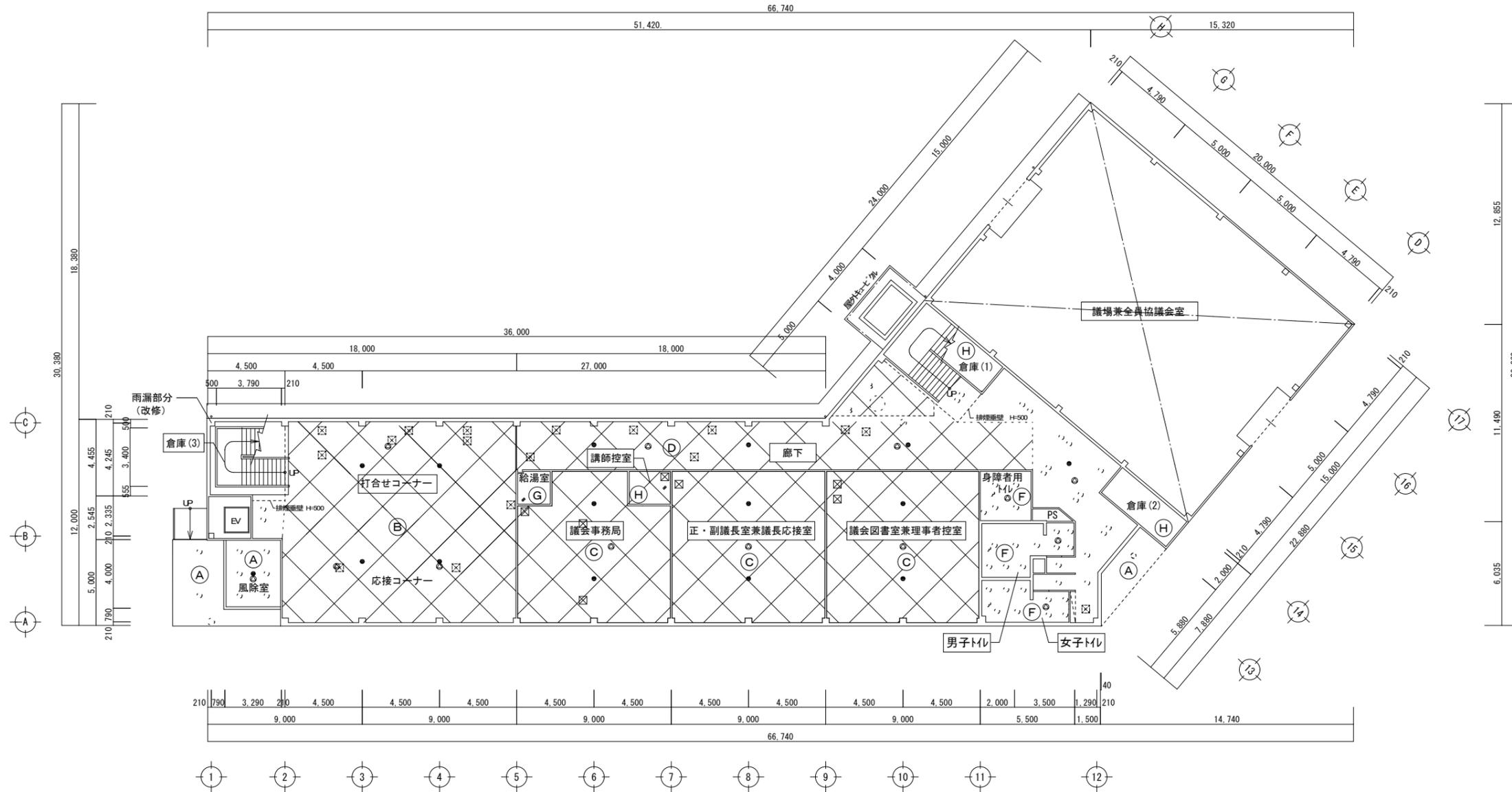
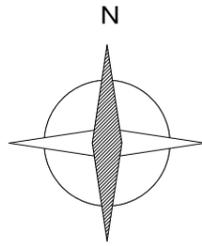
室名	工事対象室を示す。		工事範囲を示す。
室名	工事対象外室を示す。		工事対象外建具を示す。

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/200	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	(改修後) R階・PHR階平面図		A-22

01 サイン平面図		品名		数量	寸法	形状 取付方法	仕様
凡例	サイン名	W	D	H	SH	F G	※1 <取付高さ> サイン下端からFLまたはGLまでの寸法 ※2 <サインの形状> B: 切文字 S: シート L: 電照 P: プレート(フレームなし) F: フレーム付プレート
	W: 両面表示 S: 片面表示					※2 ※3	※3 <取付方法の別> H: 吊り下げ型 W: 壁付型 B: ブラケット突出し型 W(I): 壁面埋込型 G: 自立型(固定) S: 自立型(可動)
①	総合案内図	2	W D H SH	1200 15 948	B B		表示基板: アクリル板 t=5.0 枠: タモ材 図: インクジェット印刷シート張り
②	室名表示(平付型)	11	W D H SH	249 15 249	B B		表示基板: ステンレス板 t=5.0 枠: タモ材 図: インクジェット印刷シート張り
③	室名表示(突出型)	8	W D H SH	198 29 200	F S		ステンレス板 厚3 本体: スチール 枠: ステンレス HL 既設 図: インクジェット印刷シート張り
④	案内板	2	W D H SH	700 9 675	P B		アクリル板 厚5 フィルム張り(小口巻込み) 文字・ピクト: フィルム切文字張り
⑤	館名板	10	W D H SH	300 40 300	B B		箱文字-ステンレス-焼付塗装



事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	S=1/10・1/30		A-23



1階 天井伏図 S=1/200

● : 非常照明100φ-15ヶ所 ○ : スピーカー200φ-13ヶ所

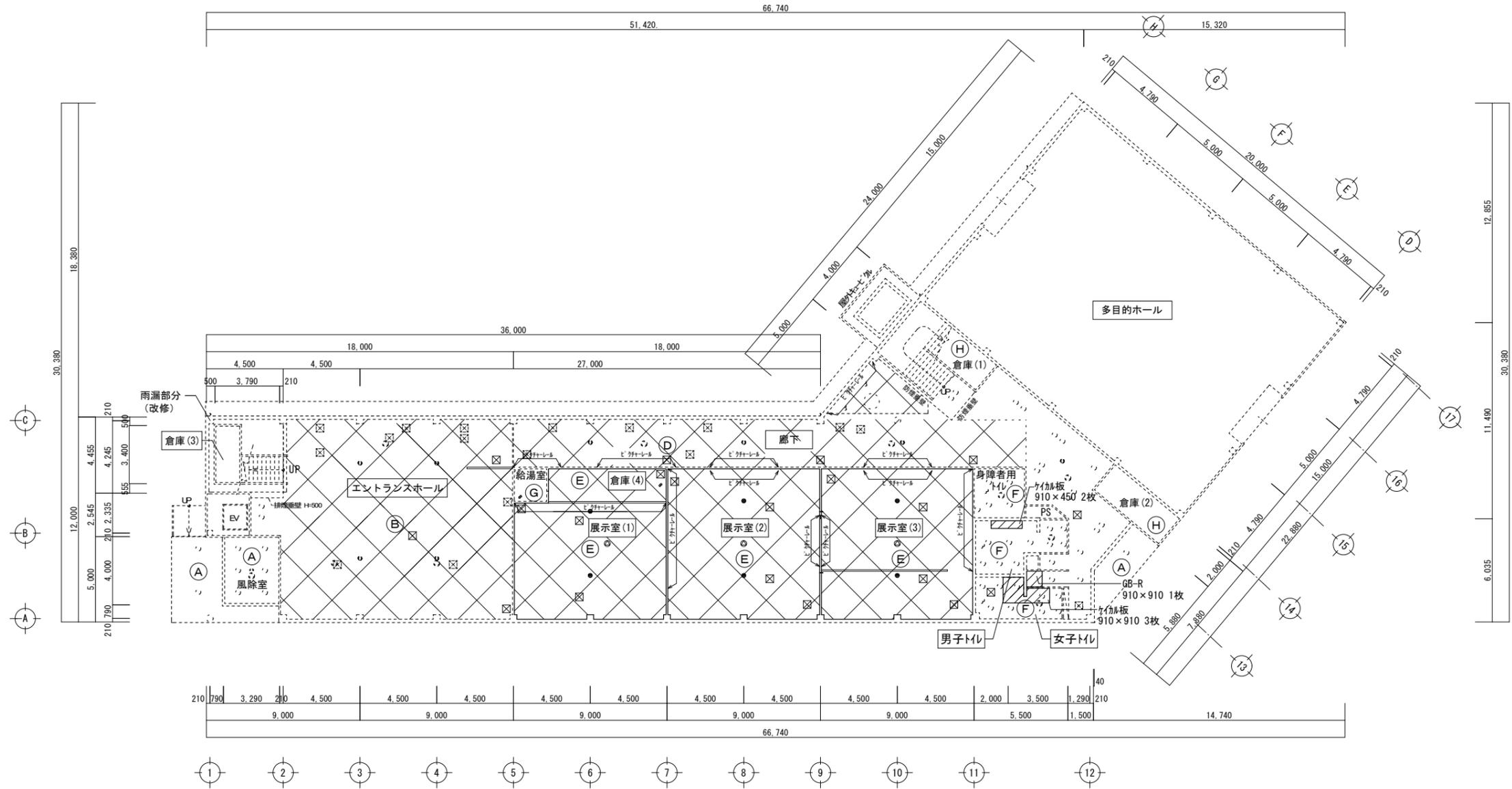
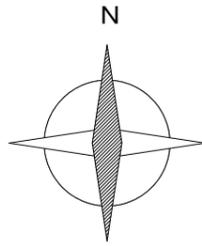
凡例 ※天井下地は全て軽量鉄骨下地

記号	天井仕上	記号	改修項目
(A)	アルミスバンドレル張 t=1.0 W=100	☒	天井点検口(撤去)
(B)	GB-R t=9.5 捨張の上 DR t=9.5張	☒	天井点検口(既存のまま)
(C)	GB-R t=12.5 捨張の上 DR t=9.5張	室名	工事対象室を示す。
(D)	GB-R t=12.5 ビニルクロス張(準不燃)	室名	工事対象外室を示す。
(E)	GB-R t=12.5 ビニルクロス張(不燃)		
(F)	ケイカル板 t=6 V.P塗		
(G)	GB-S t=12.5 V.P塗		
(H)	GB-D t=9.5張		

凡例

室名	工事対象室を示す		撤去範囲を示す
室名	工事対象外室を示す		撤去範囲を示す(下地共)

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	S=1/200	(改修前)1階天井伏図	A-24



1階 天井伏図 S=1/200

● : 非常照明100Φ-15ヶ所 ○ : スピーカー200Φ-13ヶ所

※ピクチャーレール : 耐荷重30Kg/箇所(本)

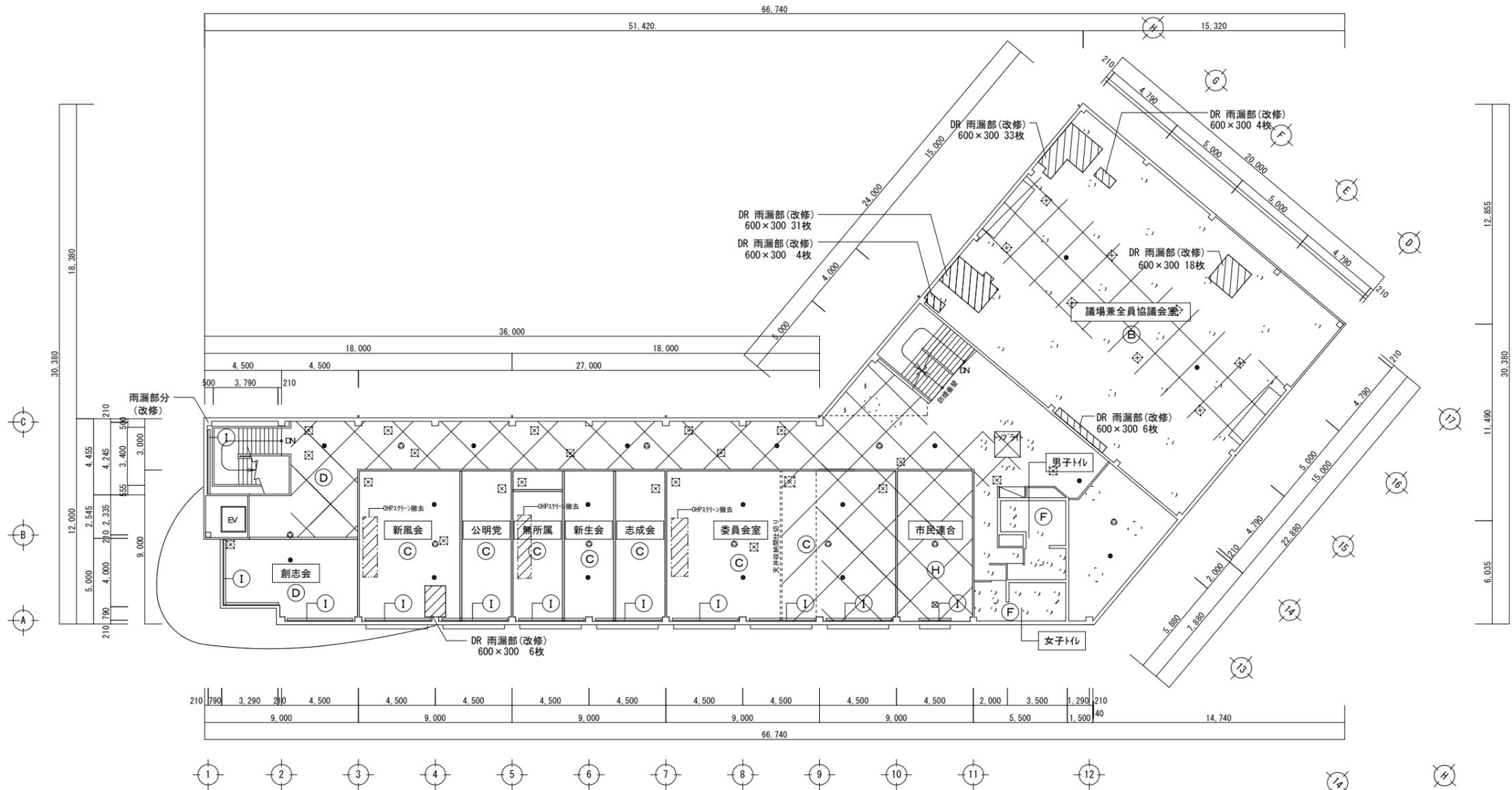
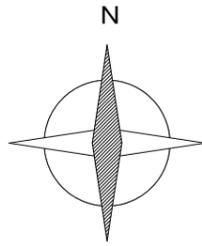
凡例 ※天井下地は全て軽量鉄骨下地

記号	天井仕上	記号	改修項目
(A)	アルミスパンドレル張 t=1.0 W=100	☒	天井点検口 (新設)
(B)	GB-R t=9.5 捨張の上 DR t=9.5張	☒	天井点検口 (既存のまま)
(C)	GB-R t=12.5 捨張の上 DR t=9.5張	室名	工事対象室を示す。
(D)	GB-R t=12.5 ビニルクロス張 (準不燃)	室名	工事対象外室を示す。
(E)	GB-R t=12.5 ビニルクロス張 (不燃)		
(F)	ケイカル板 t=6 V P 塗		
(G)	GB-S t=12.5 V P 塗		
(H)	GB-D t=9.5張		

凡例

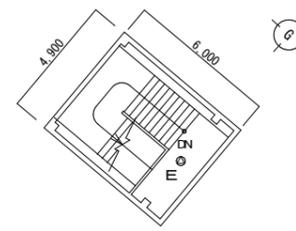
室名	工事対象室を示す		新設範囲を示す
室名	工事対象外室を示す		新設範囲を示す (下地共)

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/200	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	(改修後) 1階天井伏図		A-25



2階 天井伏図 S=1/200

● : 非常照明100Φ-16ヶ所 ◎ : スピーカー200Φ-12ヶ所



R階 天井伏図 S=1/200 ◎ : スピーカー200Φ-1ヶ所

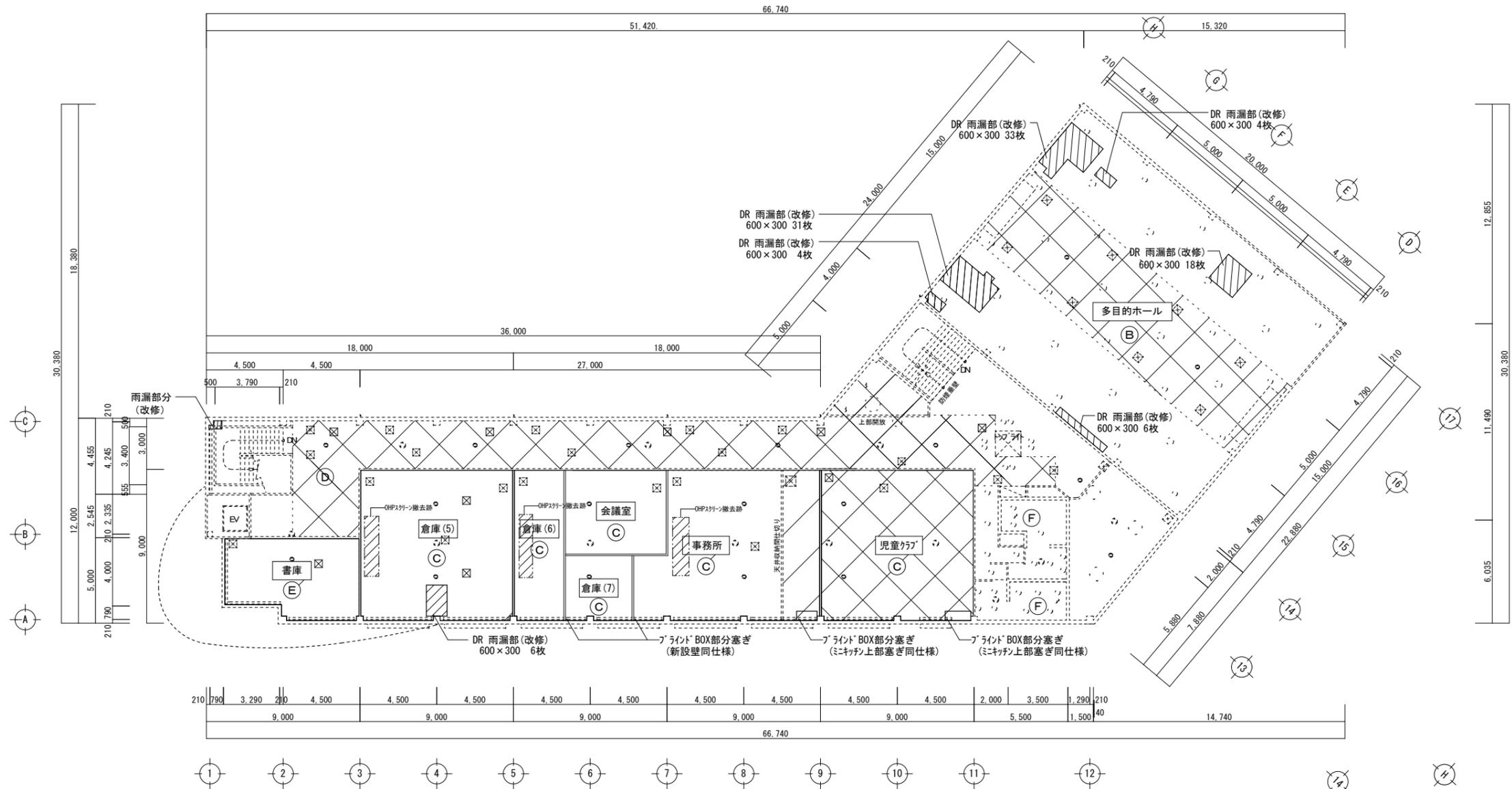
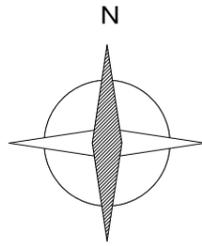
凡例 ※天井下地は全て軽量鉄骨下地

記号	天井仕上	記号	改修項目
(A)	アルミスパンドレル張 t=1.0 W=100	☒	天井点検口 (撤去)
(B)	GB-R t=9.5 捨張の上 DR t=9.5張	☒	天井点検口 (既存のまま)
(C)	GB-R t=12.5 捨張の上 DR t=9.5張	☐	室名 工事対象室を示す。
(D)	GB-R t=12.5 ビニルクロス張 (準不燃)	☐	室名 工事対象外室を示す。
(E)	GB-R t=12.5 ビニルクロス張 (不燃)		
(F)	ケイカル板 t=6 VP塗		
(G)	GB-S t=12.5 VP塗		
(H)	GB-D t=9.5張		
(I)	ブラインドBOX		

凡例

室名	工事対象室を示す		撤去範囲を示す
室名	工事対象外室を示す		撤去範囲を示す (下地共)

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/200 (A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	(改修前) 2階・R階 天井伏図	A-26



2階 天井伏図 S=1/200

● : 非常照明100Φ-16ヶ所 ○ : スピーカー200Φ-12ヶ所

※ピクチャーレール : 耐荷重30Kg/箇所(本)

R階 天井伏図 S=1/200

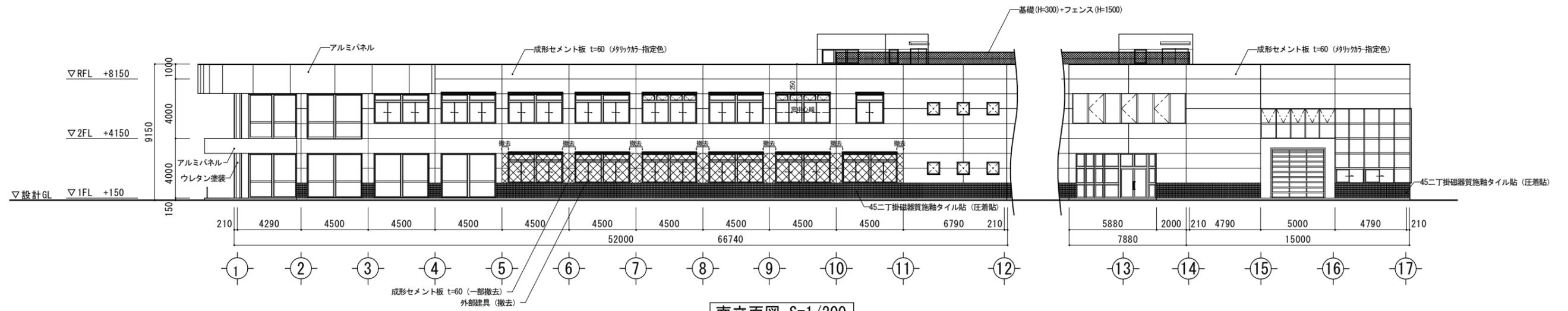
凡例 ※天井下地は全て軽量鉄骨下地

記号	天井仕上	記号	改修項目
(A)	アルミスパンドレル張 t=1.0 W=100	☒	天井点検口 (新設)
(B)	GB-R t=9.5 捨張の上 DR t=9.5張	☒	天井点検口 (既存のまま)
(C)	GB-R t=12.5 捨張の上 DR t=9.5張	☐	室名 工事対象室を示す。
(D)	GB-R t=12.5 ビニルクロス張 (準不燃)	☐	室名 工事対象外室を示す。
(E)	GB-R t=12.5 ビニルクロス張 (不燃)		
(F)	ケイカル板 t=6 VP塗		
(G)	GB-S t=12.5 VP塗		
(H)	GB-D t=9.5張		

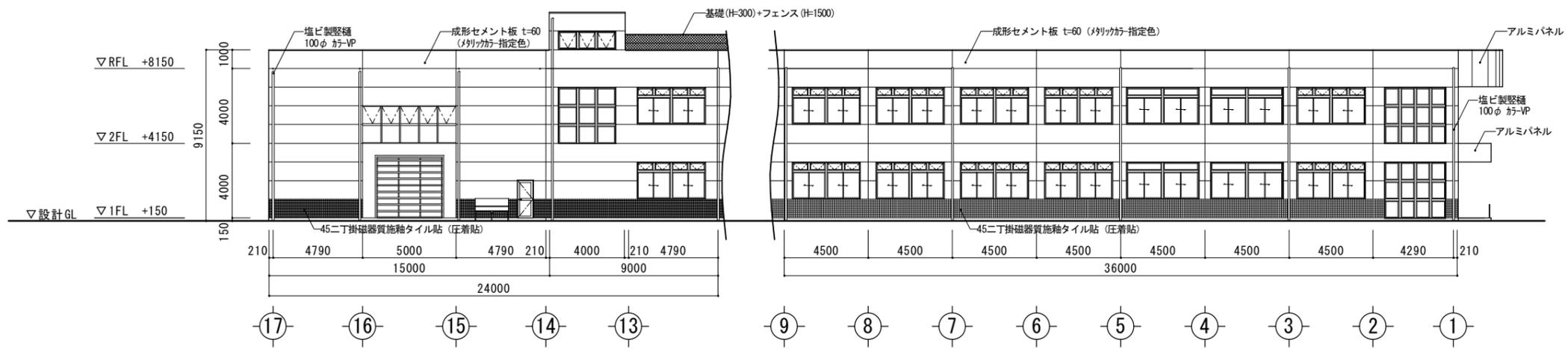
凡例

☐	室名 工事対象室を示す	▨	新設範囲を示す
☐	室名 工事対象外室を示す	▩	新設範囲を示す (下地共)

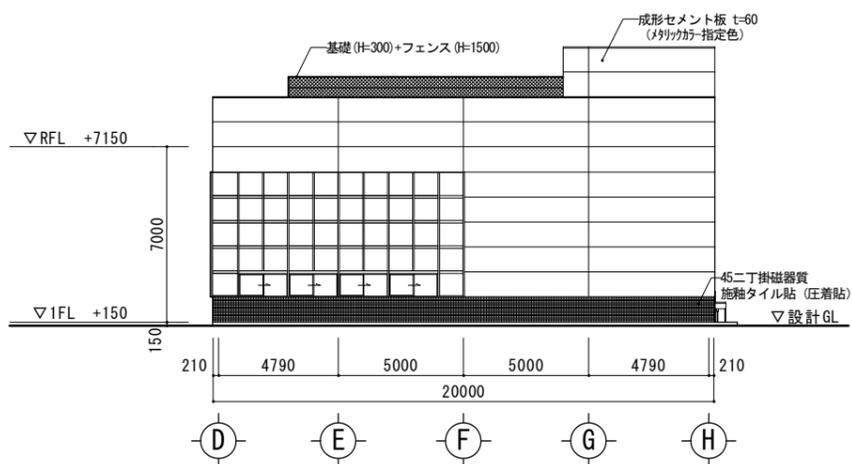
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/200	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	(改修後) 2階・R階 天井伏図		A-27



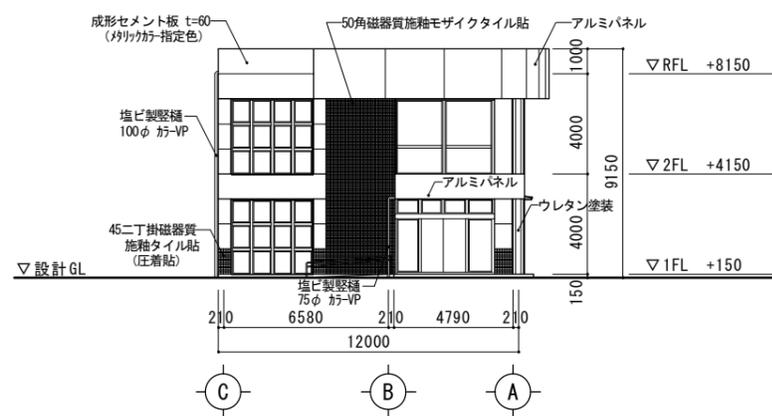
南立面図 S=1/200



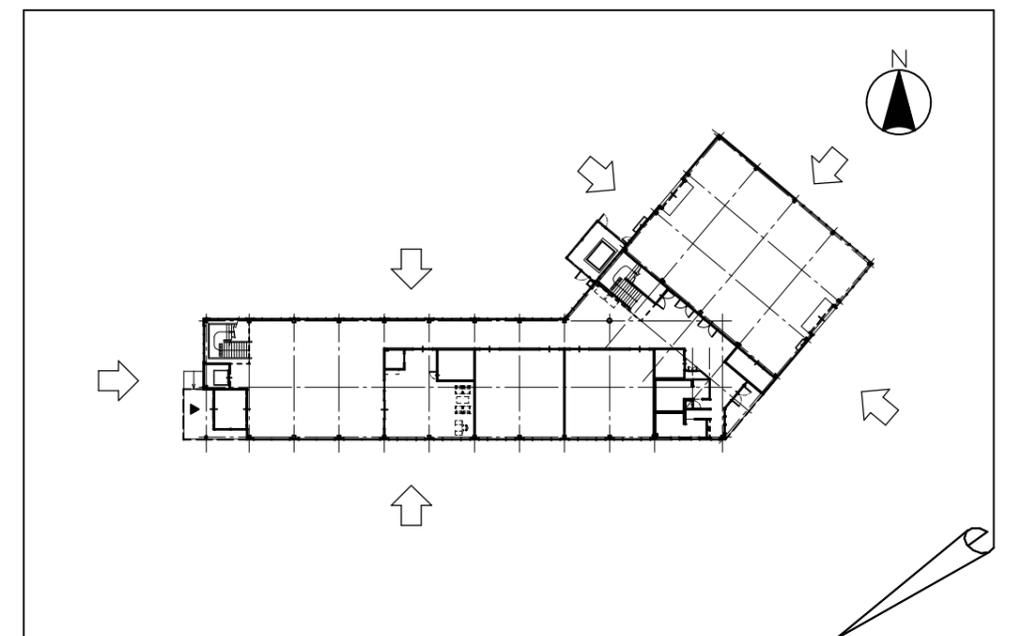
北立面図 S=1/200



東立面図 S=1/200



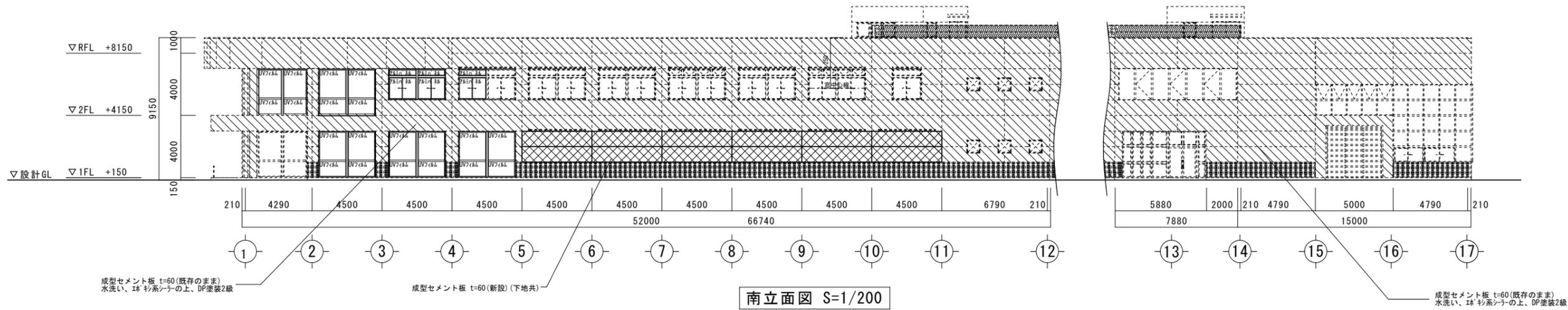
西立面図 S=1/200



凡例

	撤去範囲を示す。(下地共)		撤去範囲を示す。(仕上げのみ)		撤去範囲を示す。(捨張共)
--	---------------	--	-----------------	--	---------------

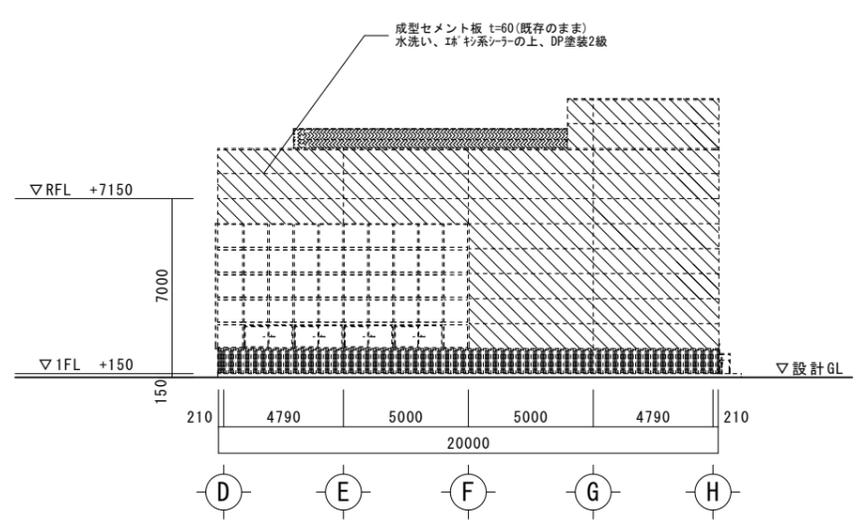
事業年度 令和 年度	設計 令和 年月	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	図面名称・縮尺 S=1/200 (改修前) 立面図	(A3版-71%縮小) 図番 A-28
---------------	-------------	-----------	---	---	---	----	----	----	-----	--	------------------------------	------------------------



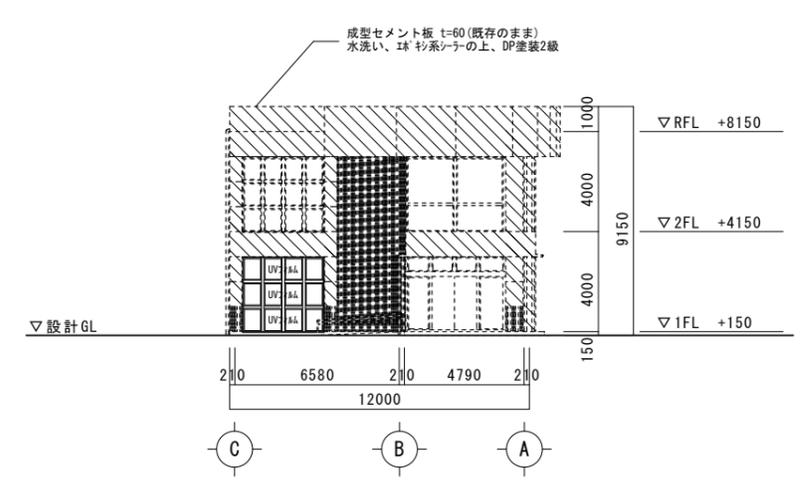
南立面図 S=1/200



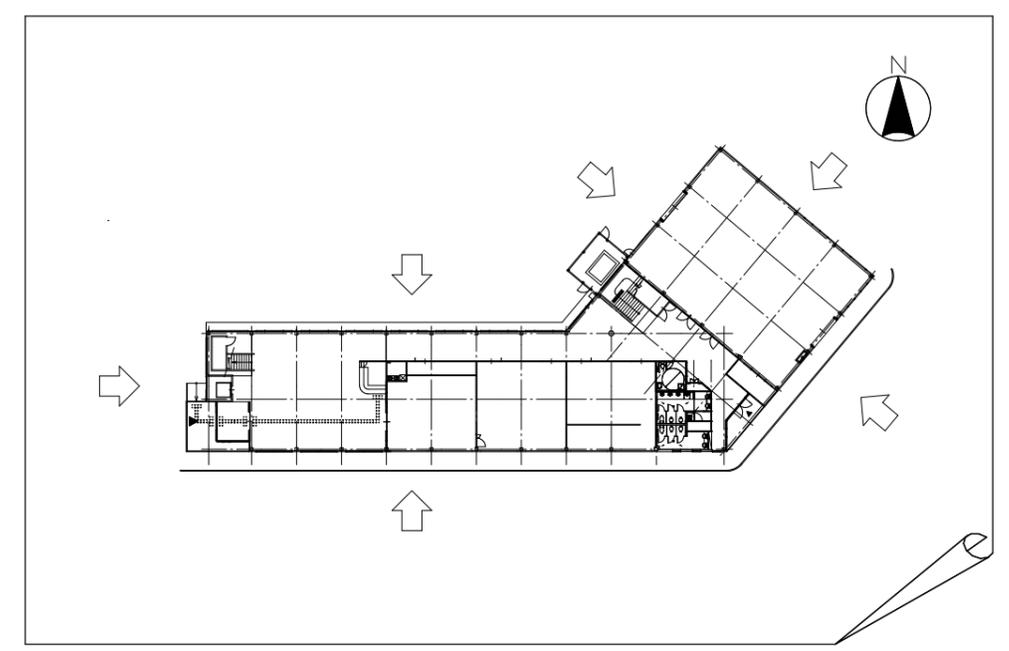
北立面図 S=1/200



東立面図 S=1/200



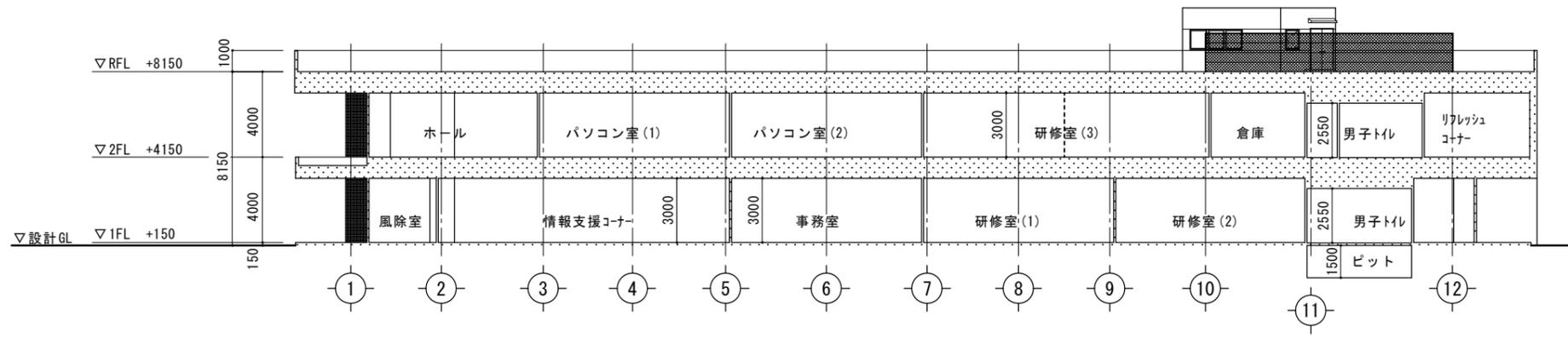
西立面図 S=1/200



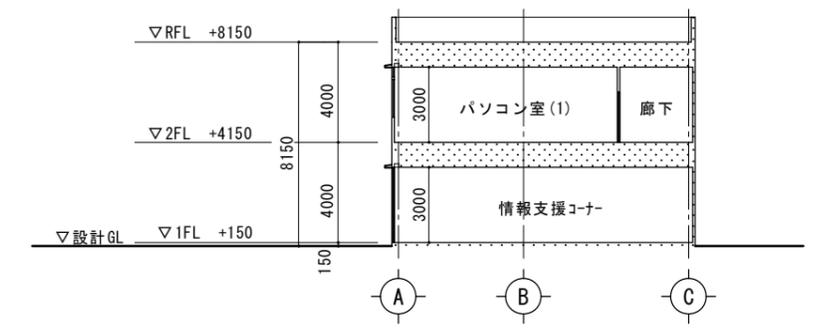
凡例

	新設範囲を示す。(下地共)		新設範囲を示す。(仕上げのみ)		新設範囲を示す。(捨張共)
--	---------------	--	-----------------	--	---------------

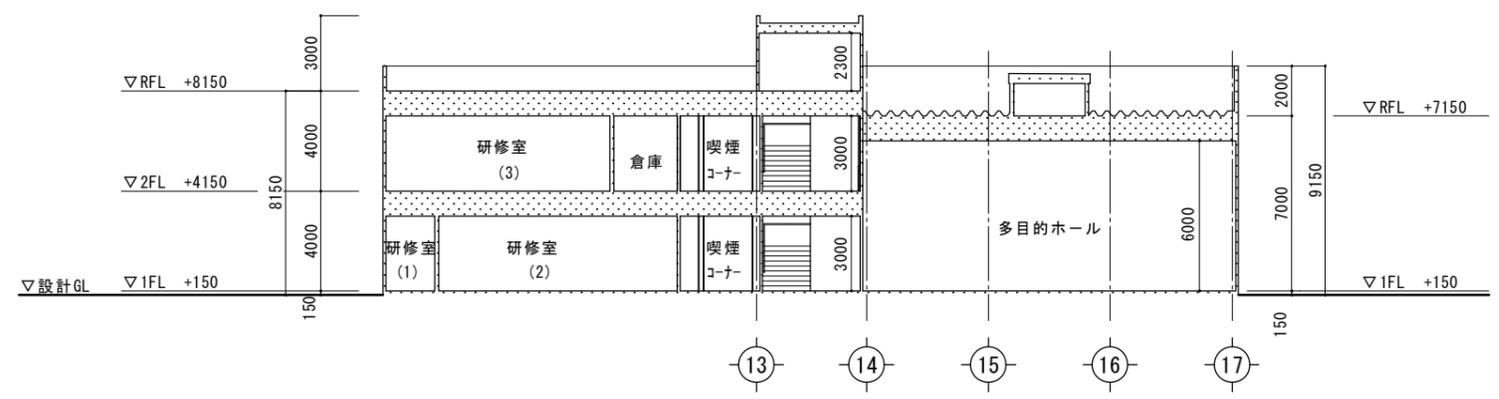
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	S=1/200		A-29
											(改修後) 立面図		



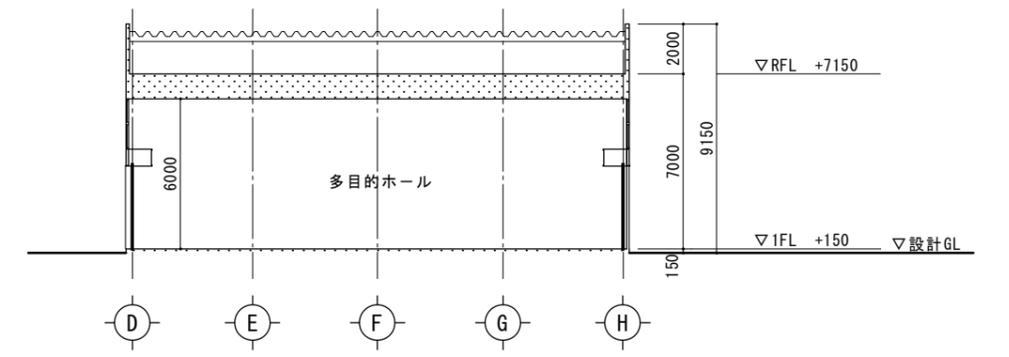
a-a' 断面図 S=1/200



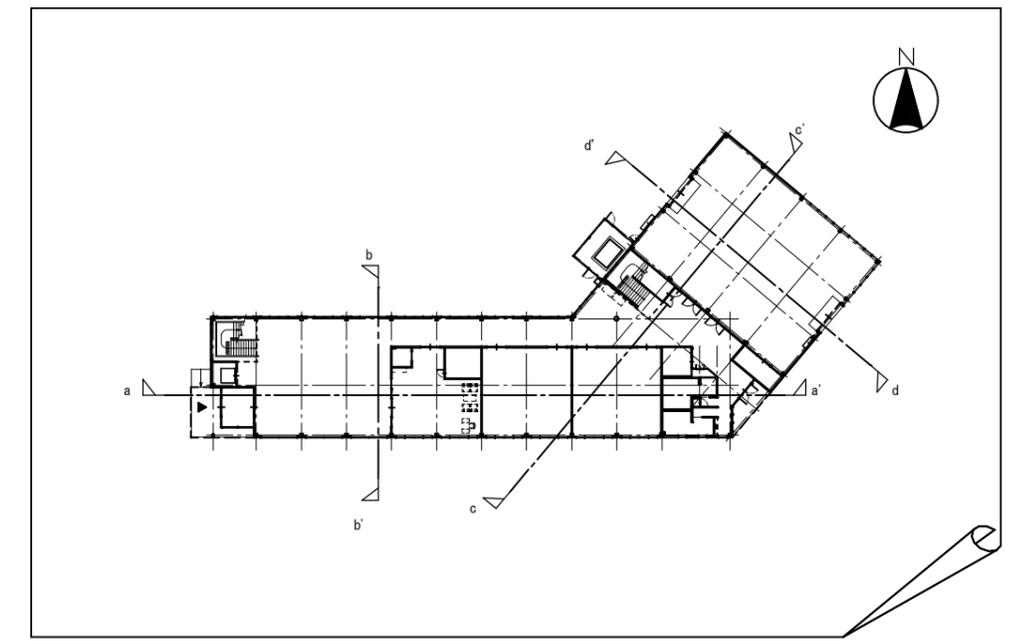
b-b' 断面図 S=1/200



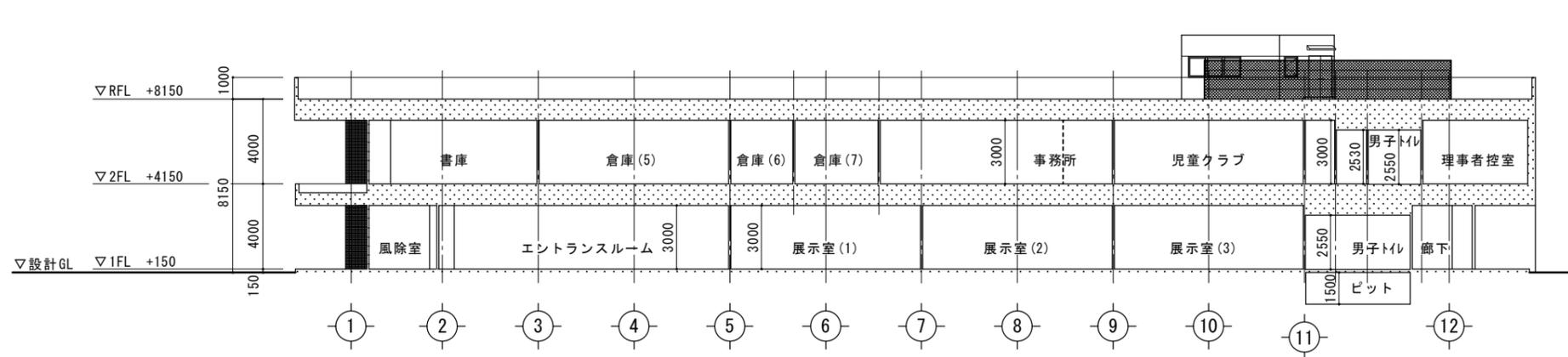
c-c' 断面図 S=1/200



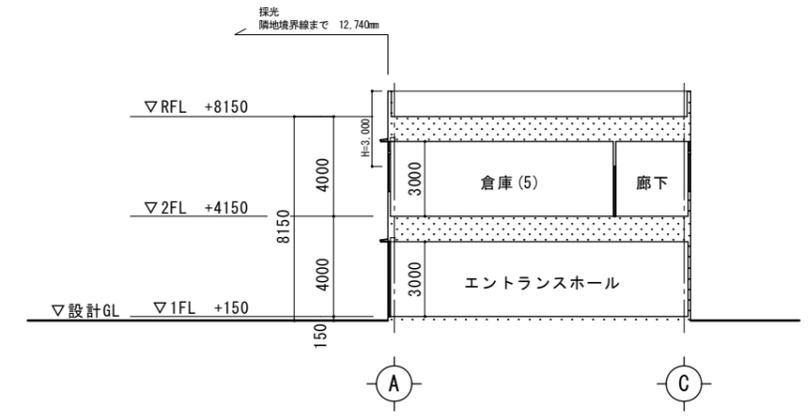
d-d' 断面図 S=1/200



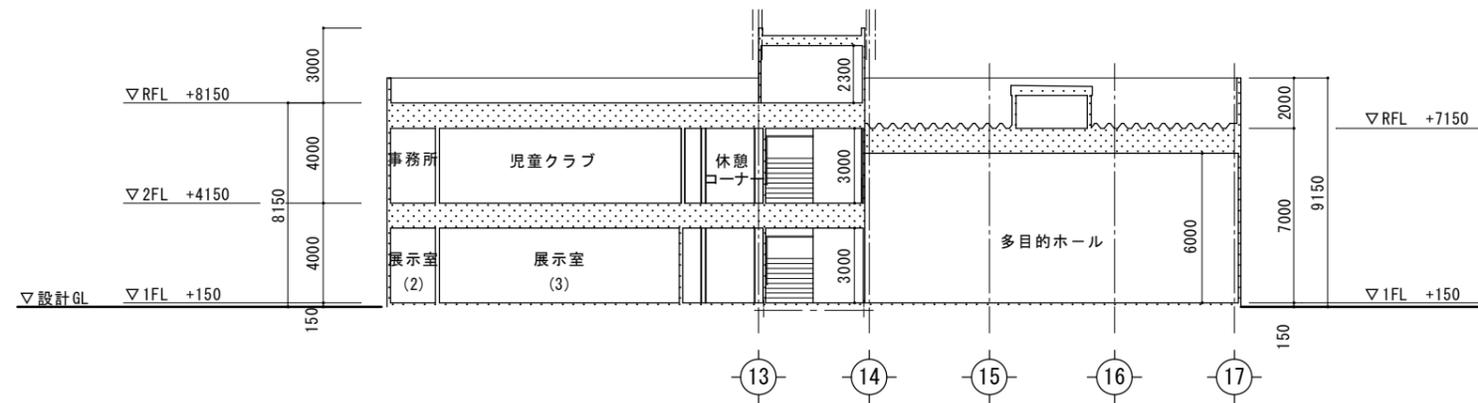
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/200	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松本 靖之	(改修前) 断面図		A-30



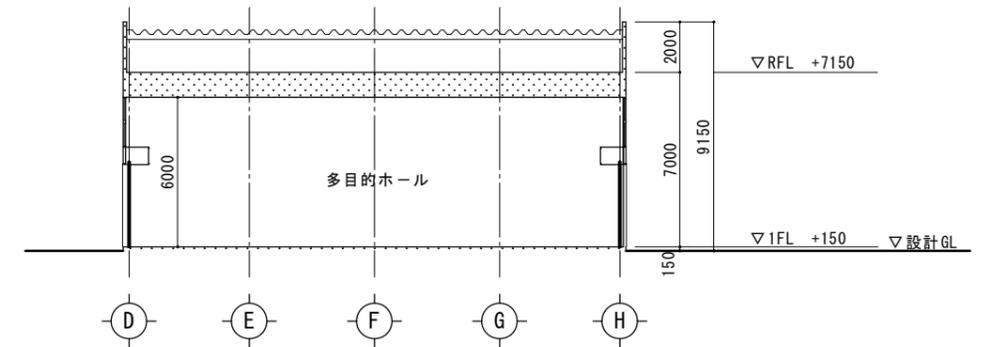
a-a' 断面図 S=1/200



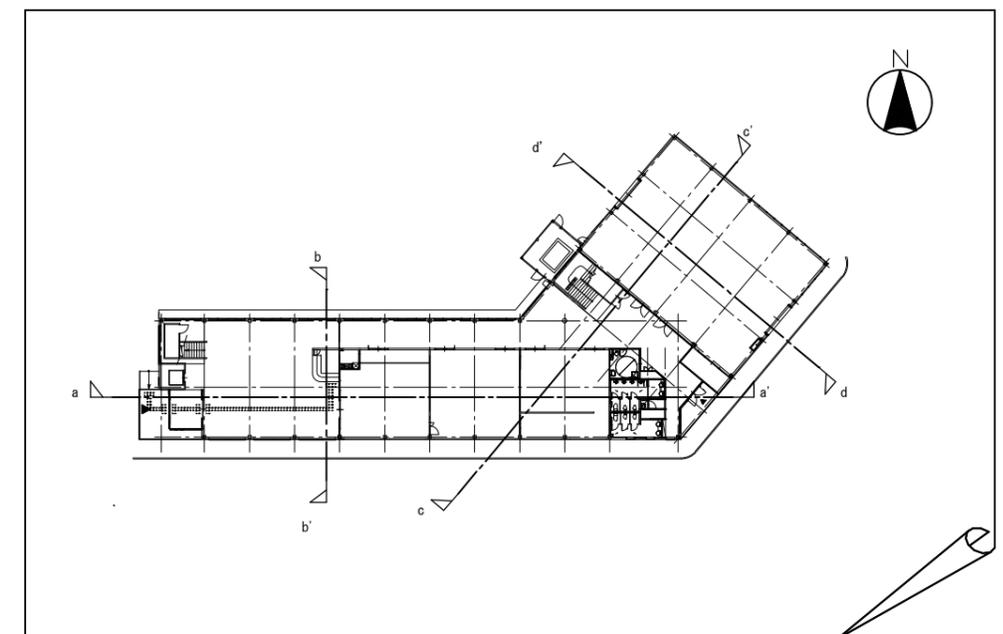
b-b' 断面図 S=1/200



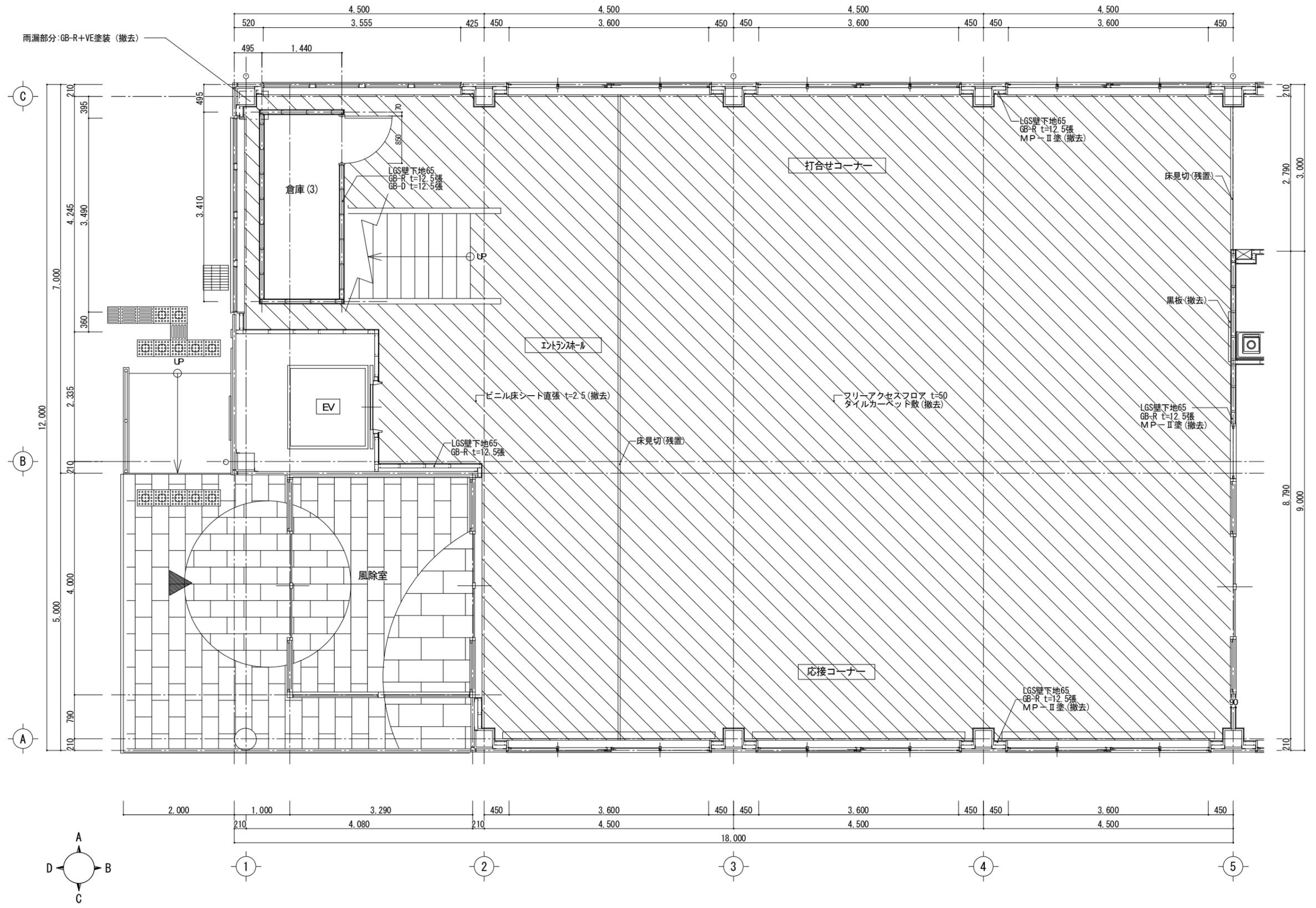
c-c' 断面図 S=1/200



d-d' 断面図 S=1/200



事業年度 年度	設計 令和 年月	大 中 小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	図面名称・縮尺 S=1/200 (改修後) 断面図	(A3版-71%縮小) 図番 A-31
工事完成 年度					建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	印		

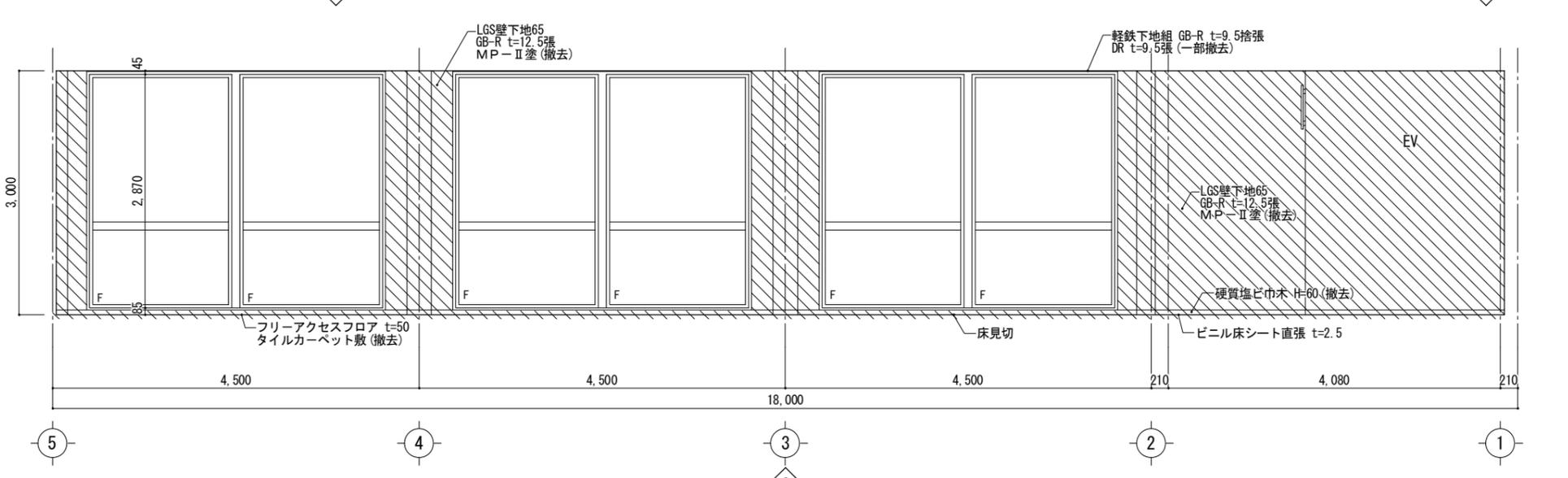
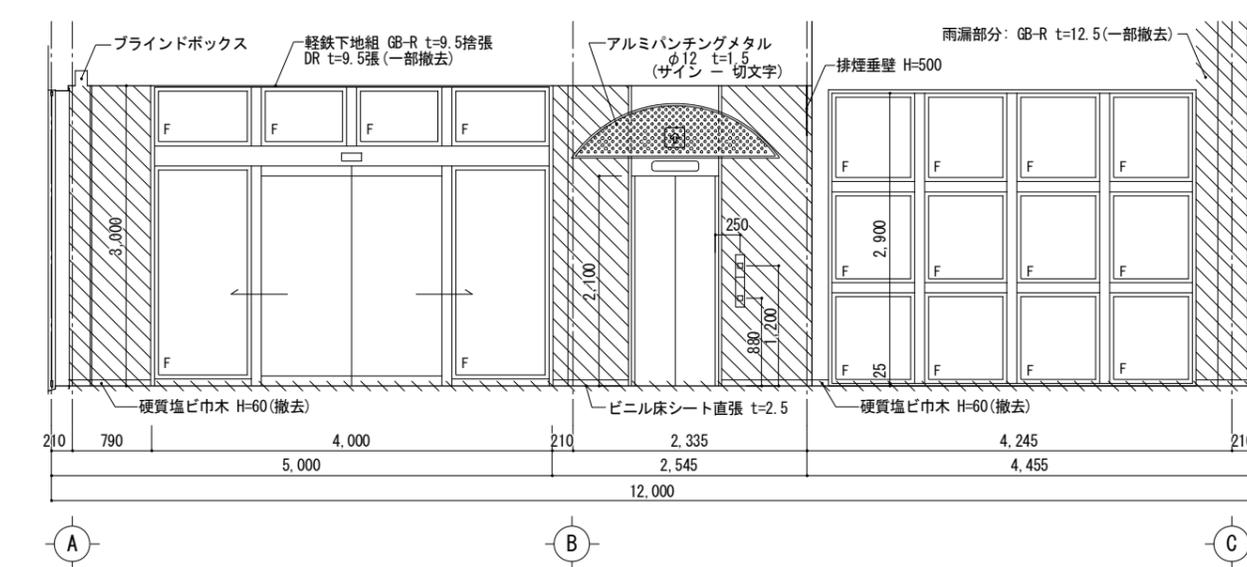
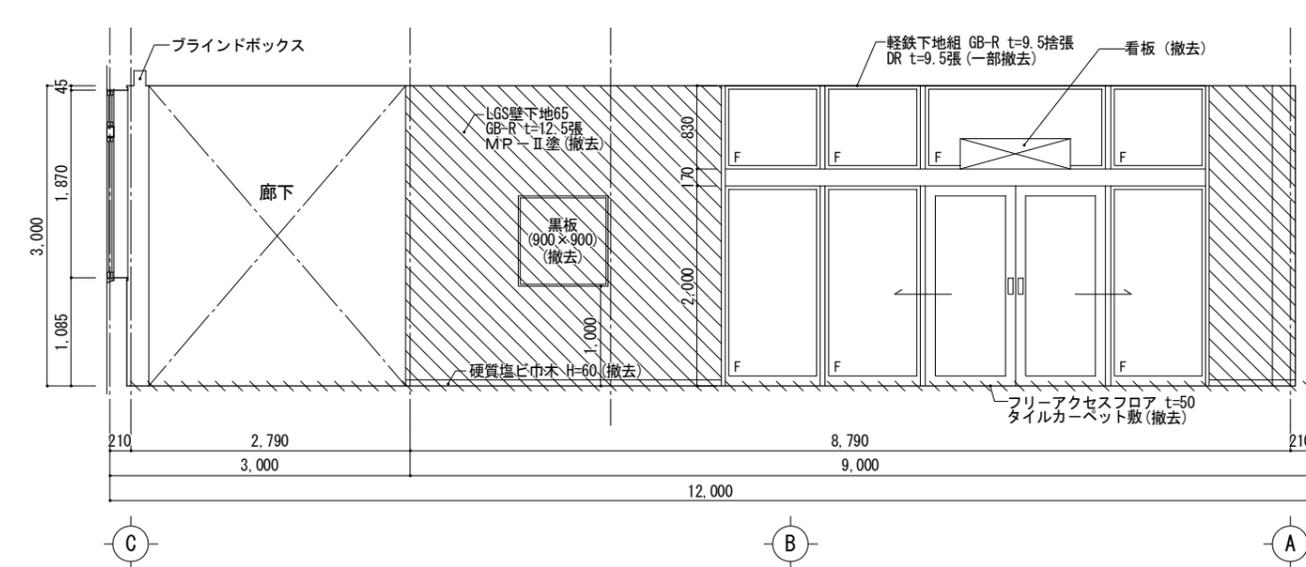
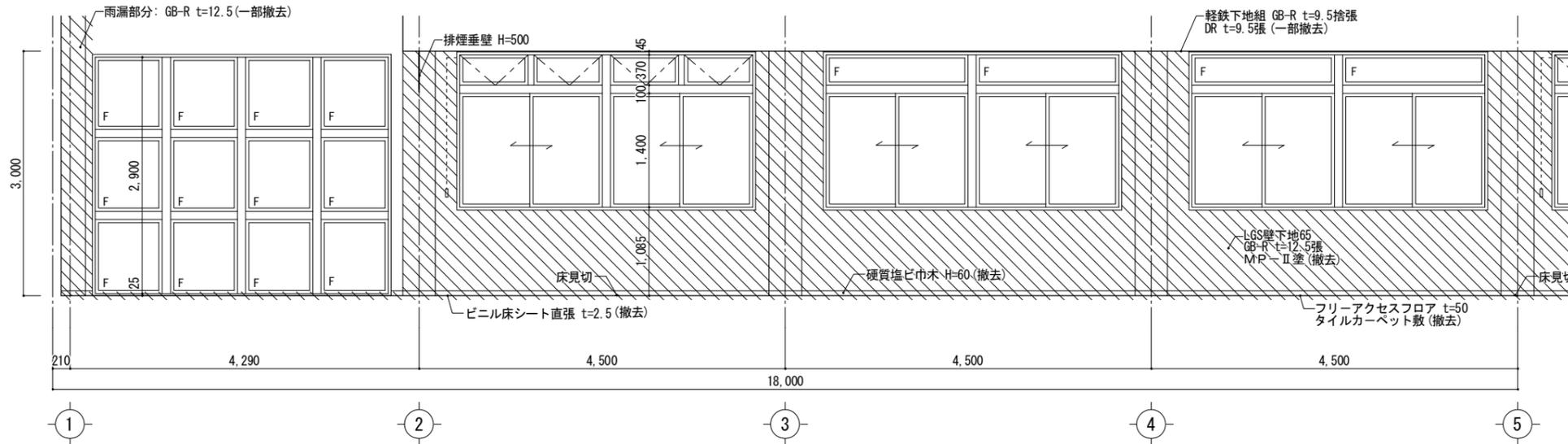


平面詳細図 S=1/50

凡例

室名	工事対象室を示す。		撤去範囲を示す。(下地共)		撤去範囲を示す。(仕上げのみ)		撤去範囲を示す。(捨張共)		カッター切を示す。
----	-----------	--	---------------	--	-----------------	--	---------------	--	-----------

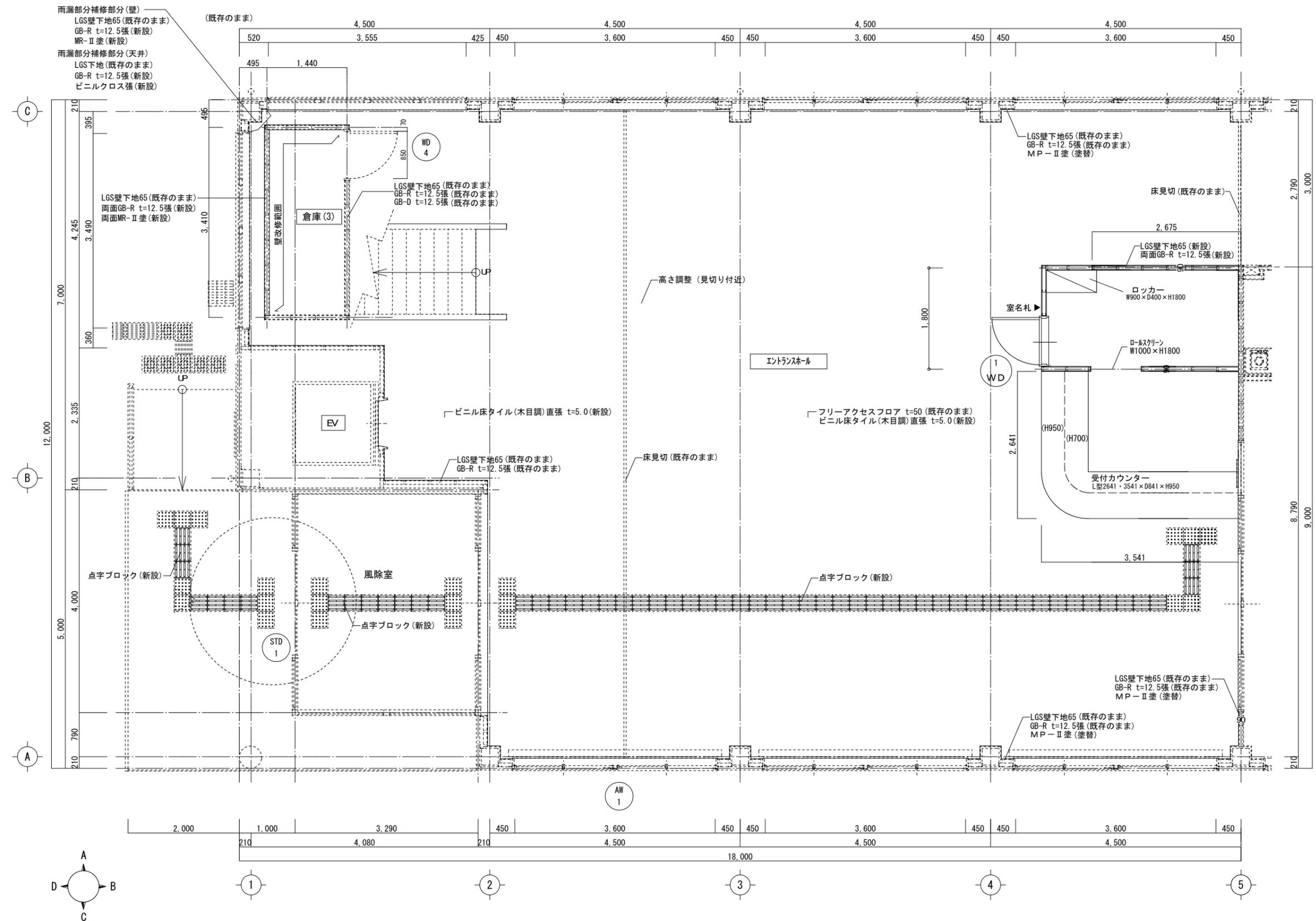
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	(改修前) エントランスホール・打合せコーナー・応接コーナー 平面詳細図		A-32



凡例

室名	工事対象室を示す。	撤去範囲を示す。(下地共)	撤去範囲を示す。(仕上げのみ)	撤去範囲を示す。(捨張共)	カッター切を示す。
----	-----------	---------------	-----------------	---------------	-----------

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50 (A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	(改修前) エントランスホール・打合せコーナー・応接コーナー 展開図	A-33

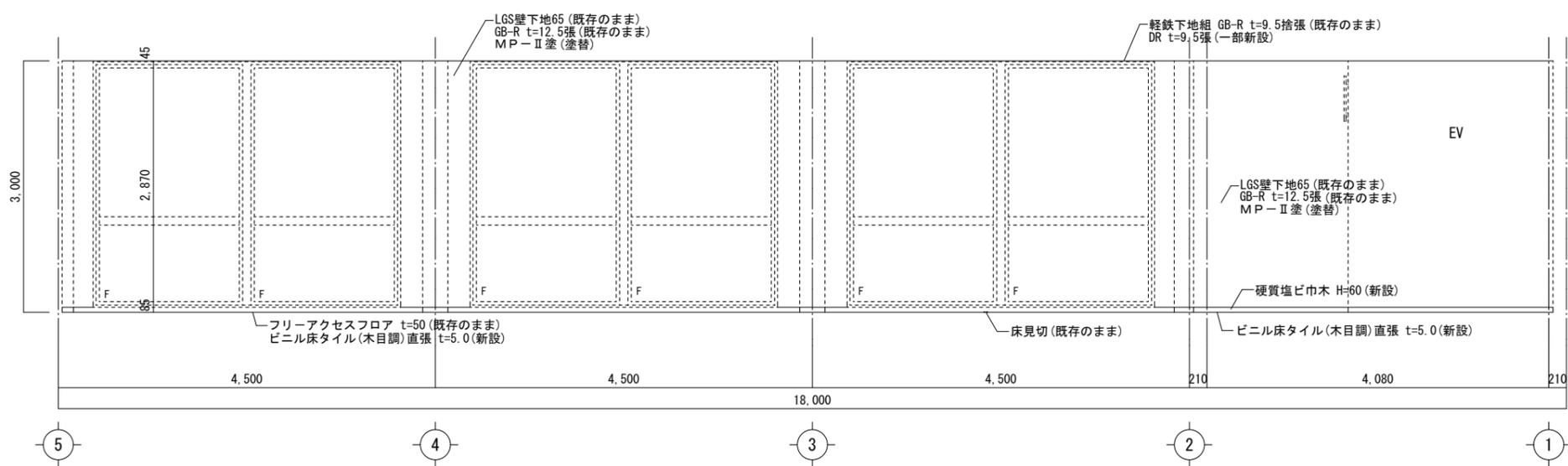
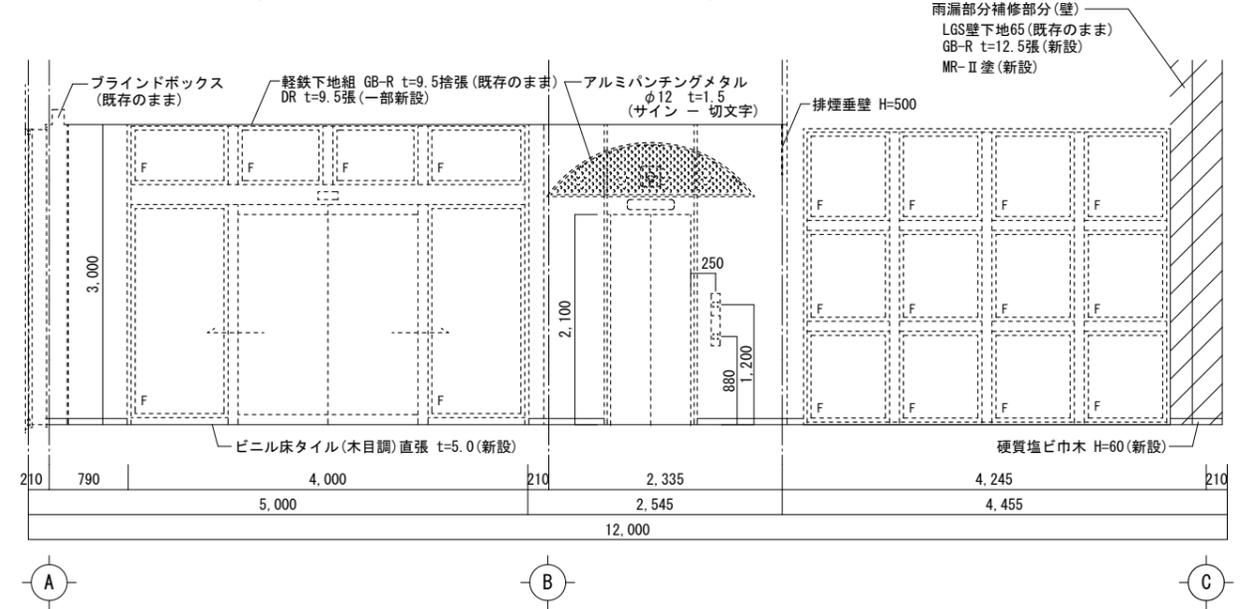
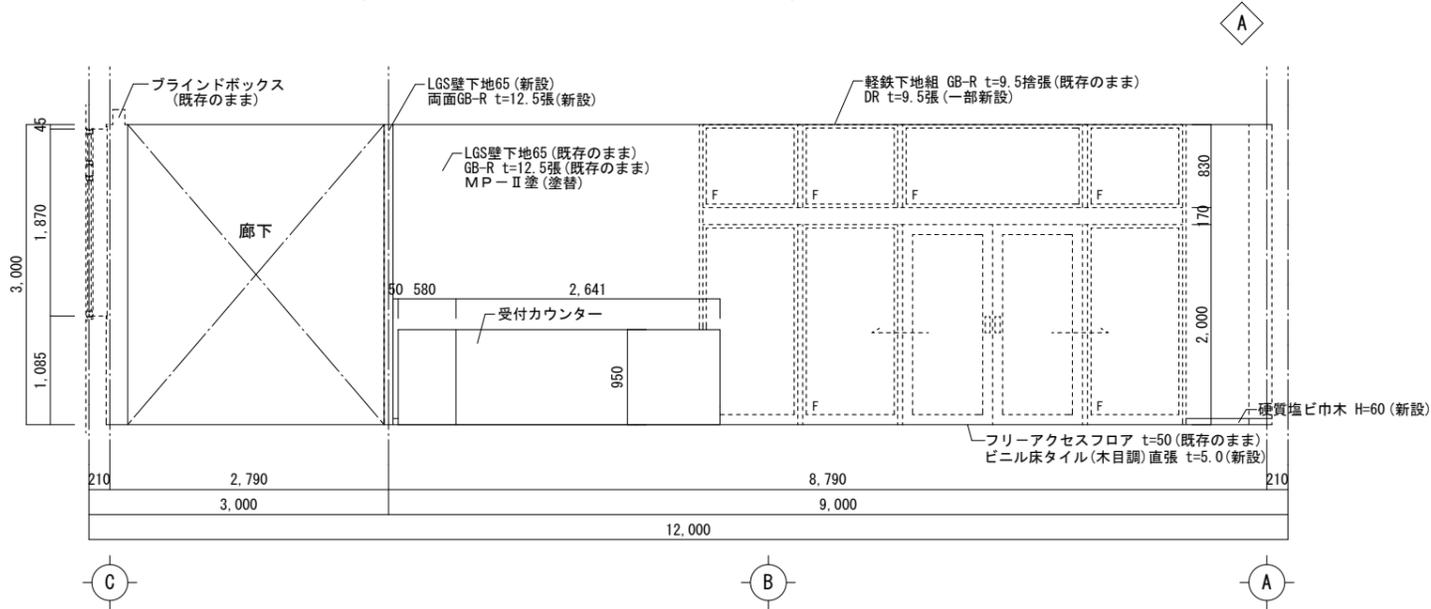
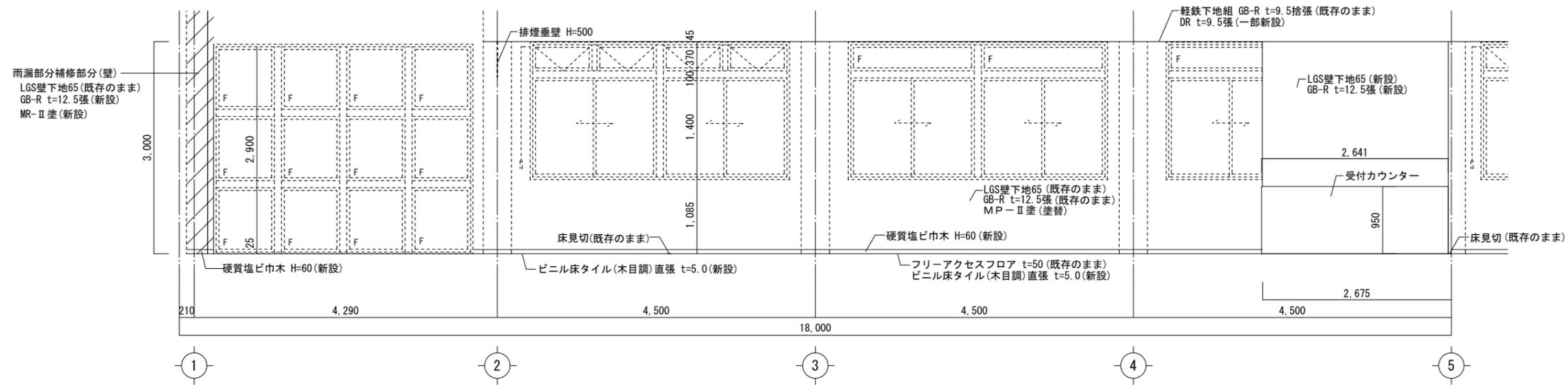


平面詳細図 S=1/50

凡例

室名	工事対象室を示す。	改修範囲を示す。	既存範囲を示す。
----	-----------	----------	----------

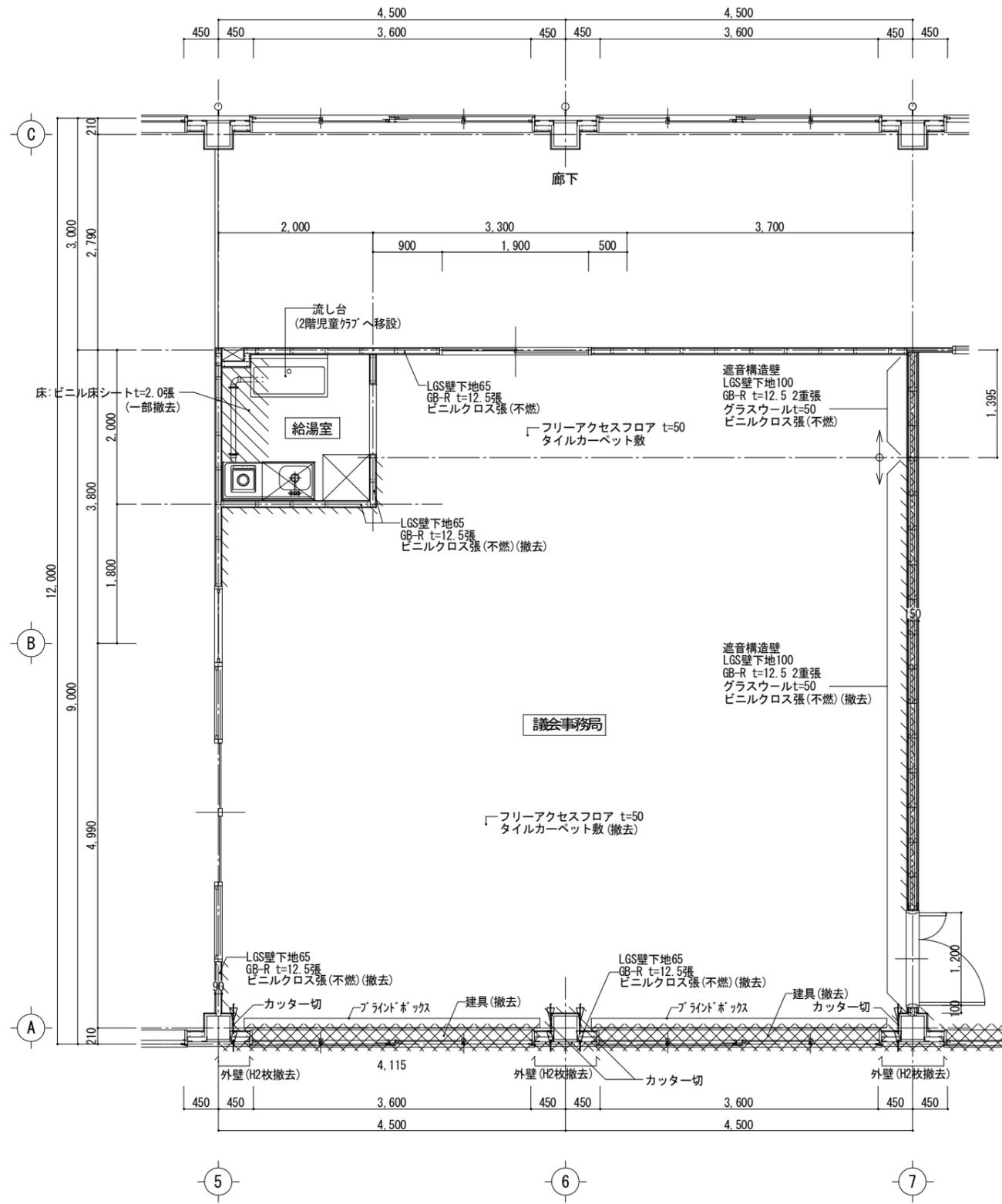
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	S=1/50 (改修後) エントランスホール 平面詳細図		A-34



凡例

室名	工事対象室を示す。	改修範囲を示す。	既存範囲を示す。
----	-----------	----------	----------

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	S=1/50		A-35
工事完成	年度										(改修後) エントランスホール 展開図		

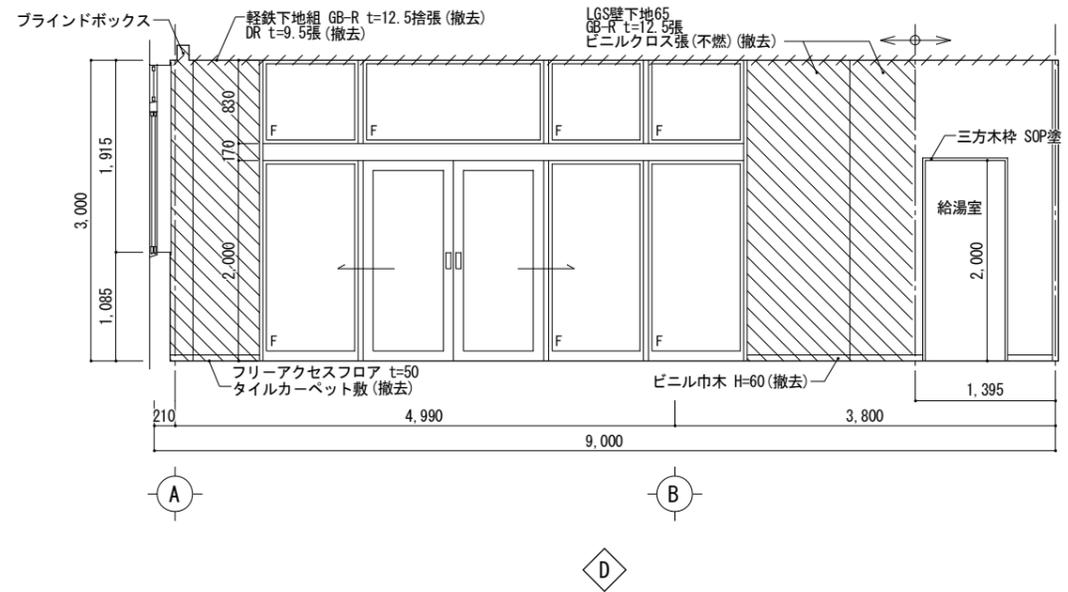
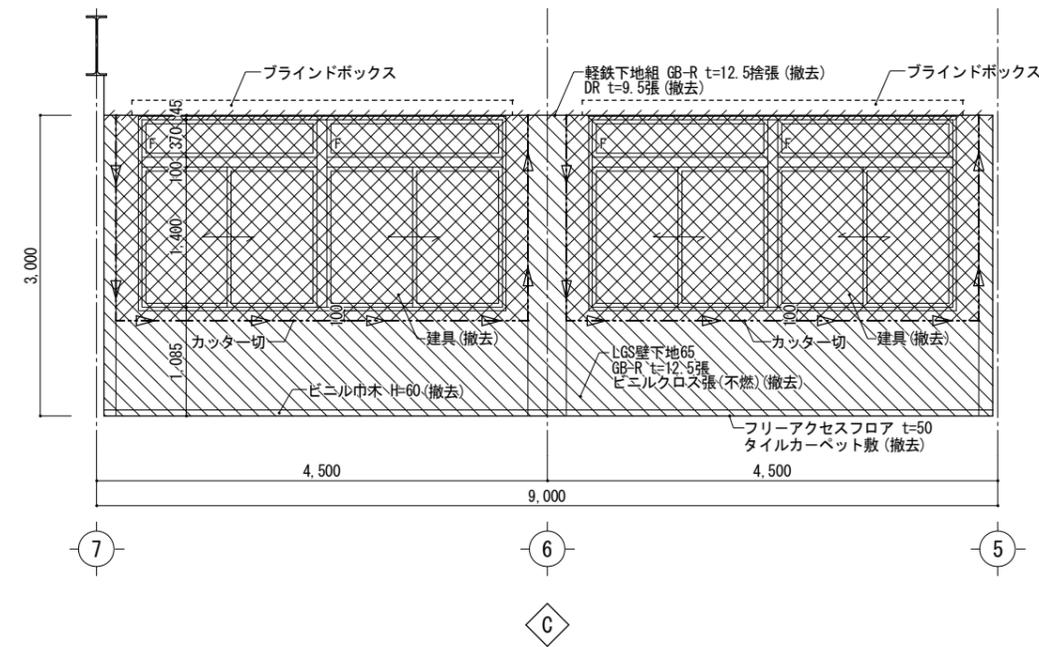
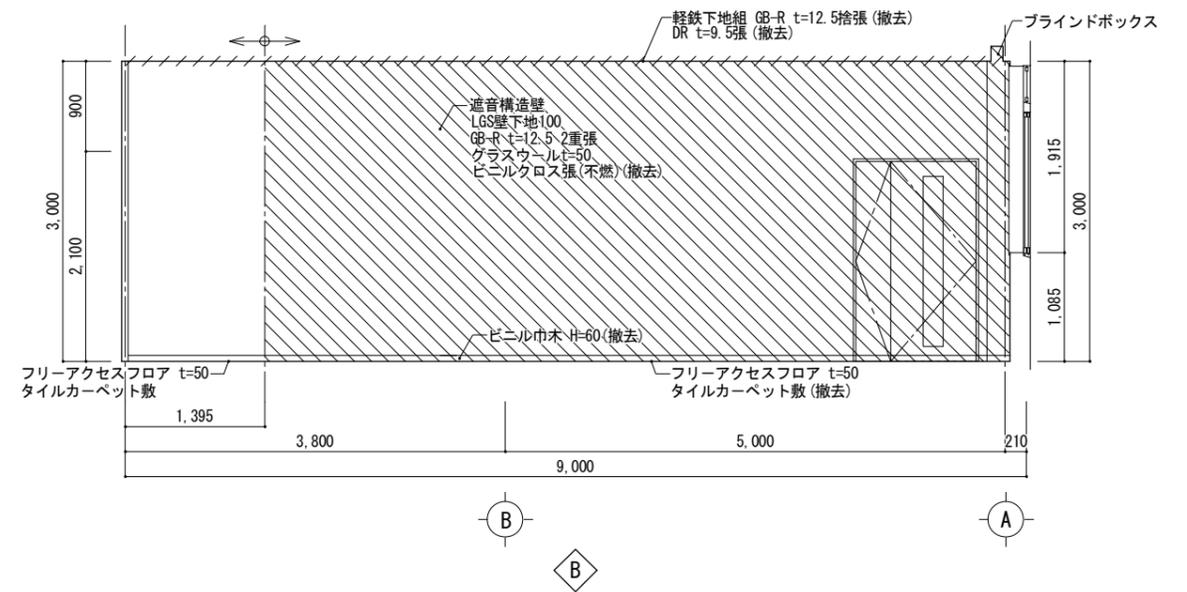
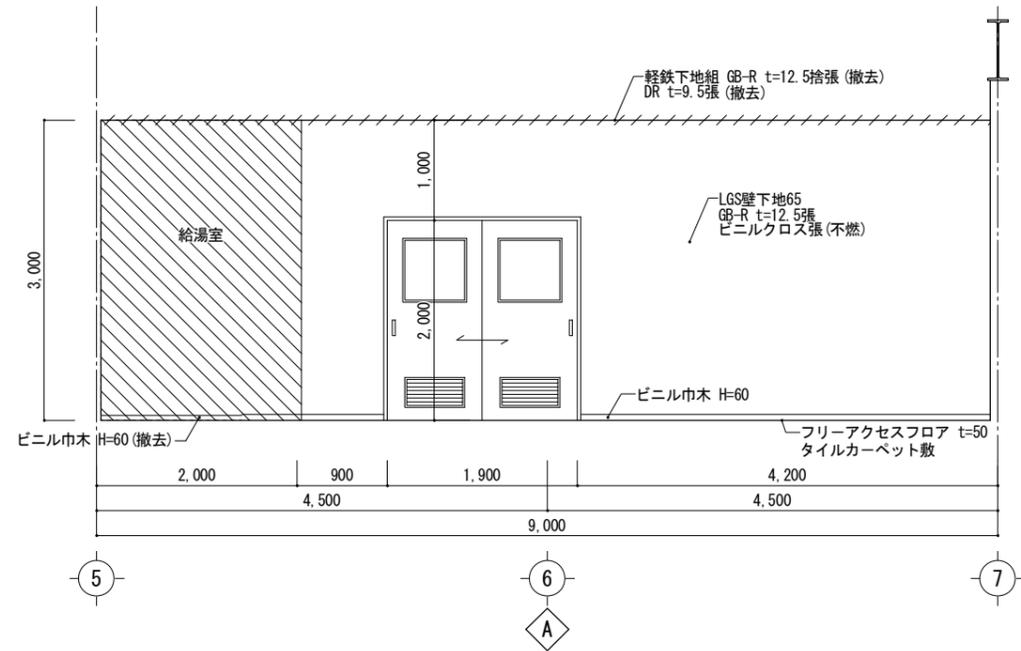


平面詳細図 S=1/50

凡例

室名	工事対象室を示す。	撤去範囲を示す。(下地共)	撤去範囲を示す。(仕上げのみ)	撤去範囲を示す。(捨張共)	カッター切を示す。
----	-----------	---------------	-----------------	---------------	-----------

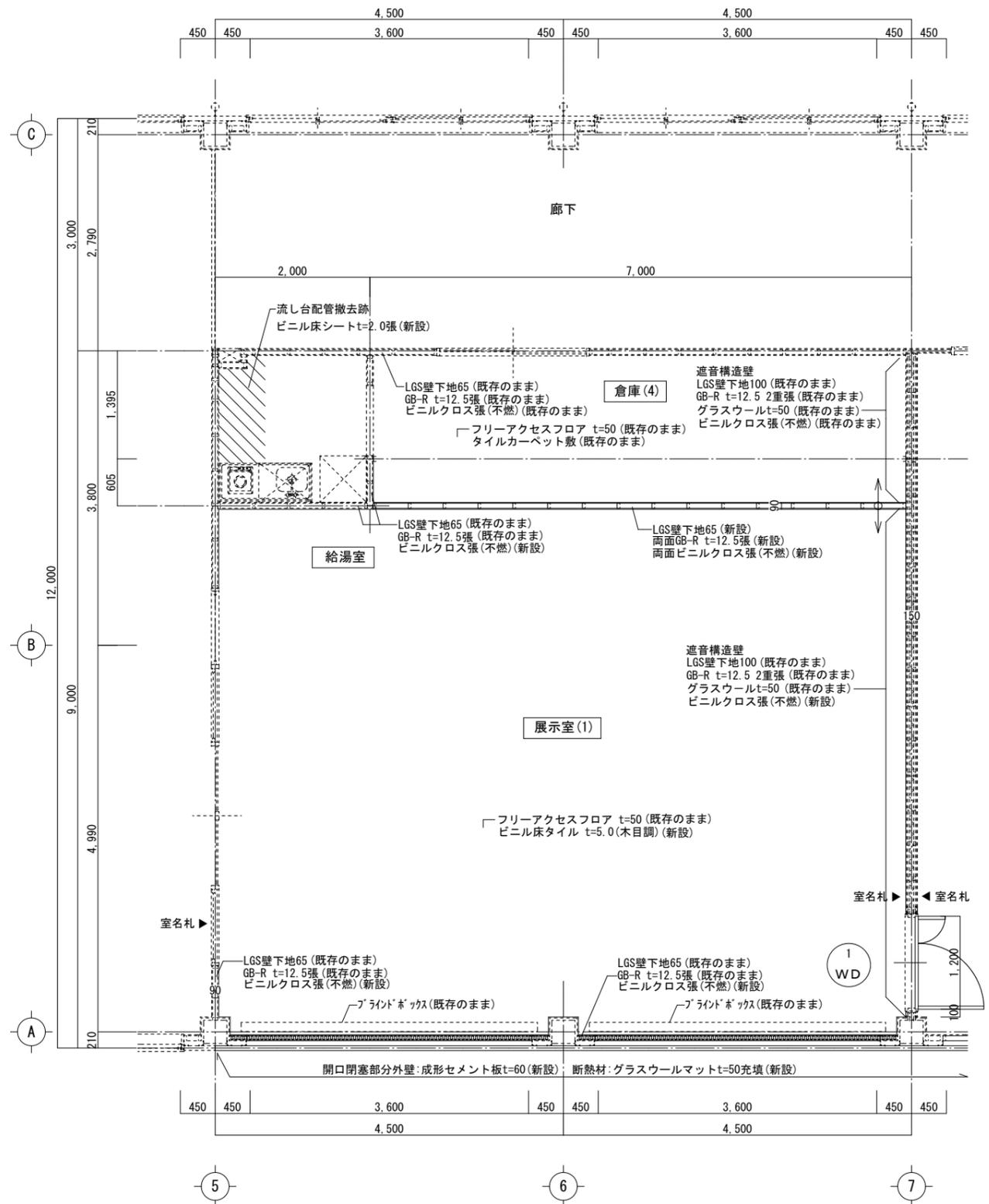
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	(改修前) 議会事務局 平面詳細図		A-36



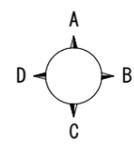
凡例

室名	工事対象室を示す。		撤去範囲を示す。(下地共)		撤去範囲を示す。(仕上げのみ)		撤去範囲を示す。(捨張共)		カットー切を示す。
----	-----------	--	---------------	--	-----------------	--	---------------	--	-----------

事業年度 令和 年度	設計 令和 年月	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	図面名称・縮尺 S=1/50 (改修前) 議会事務局 展開図	(A3版-71%縮小)	図番 A-37
---------------	-------------	-----------	---	---	---	----	----	----	-----	--	--------------------------------------	-------------	------------



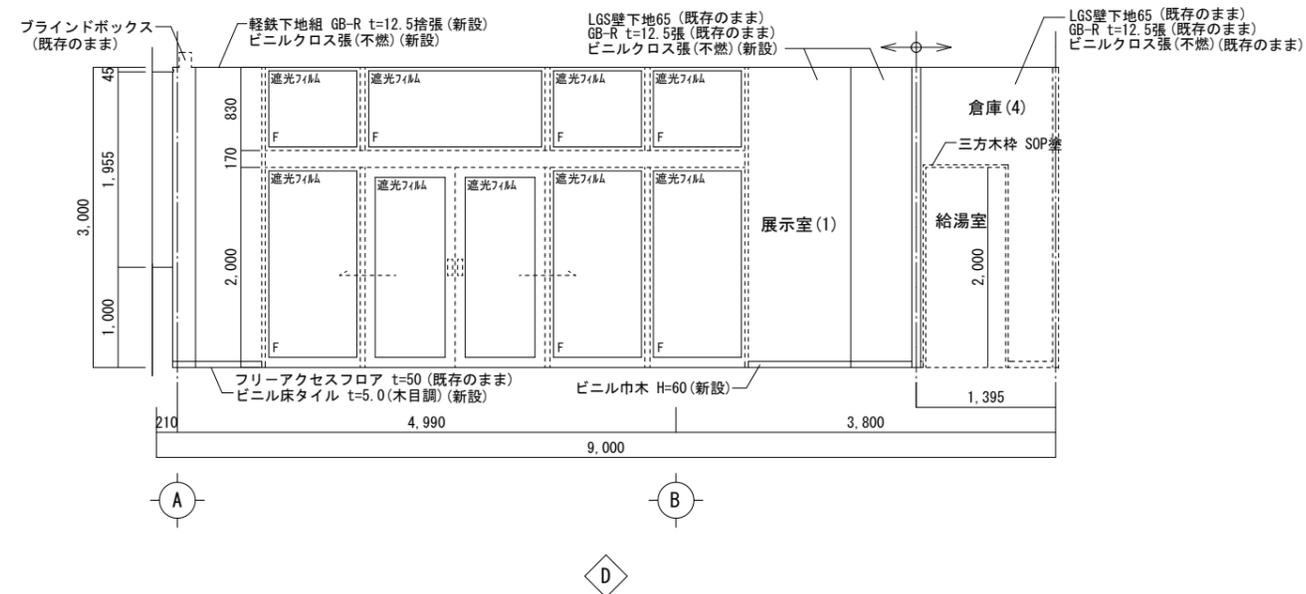
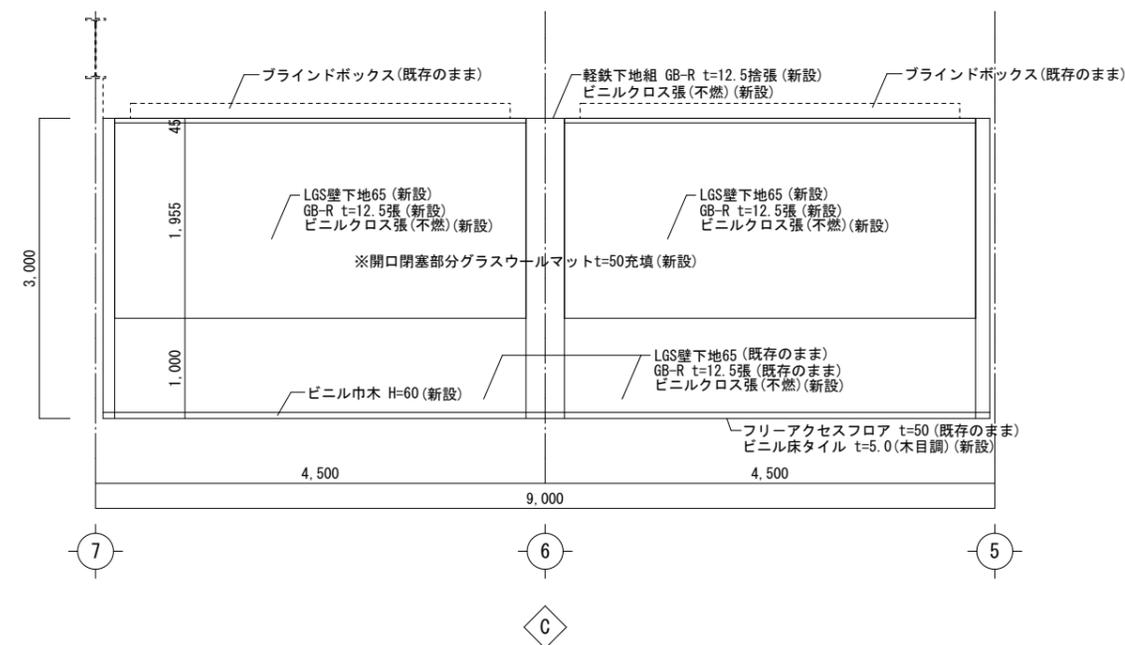
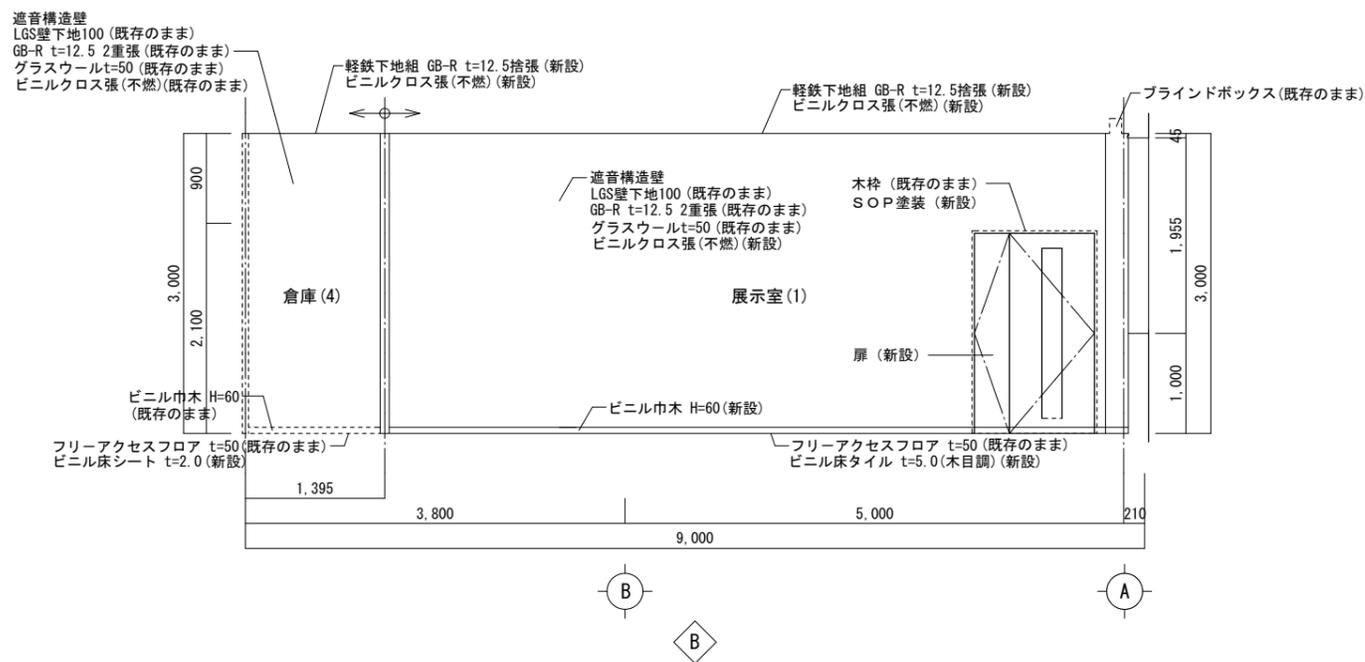
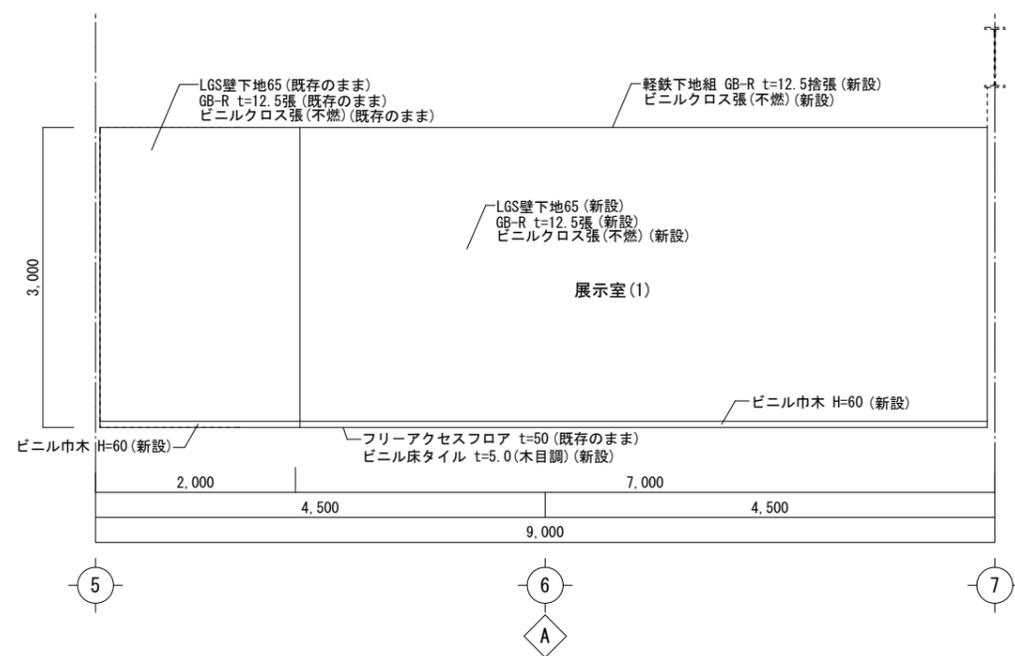
平面詳細図 S=1/50



凡例

室名	工事対象室を示す。	改修範囲を示す。	既存範囲を示す。
----	-----------	----------	----------

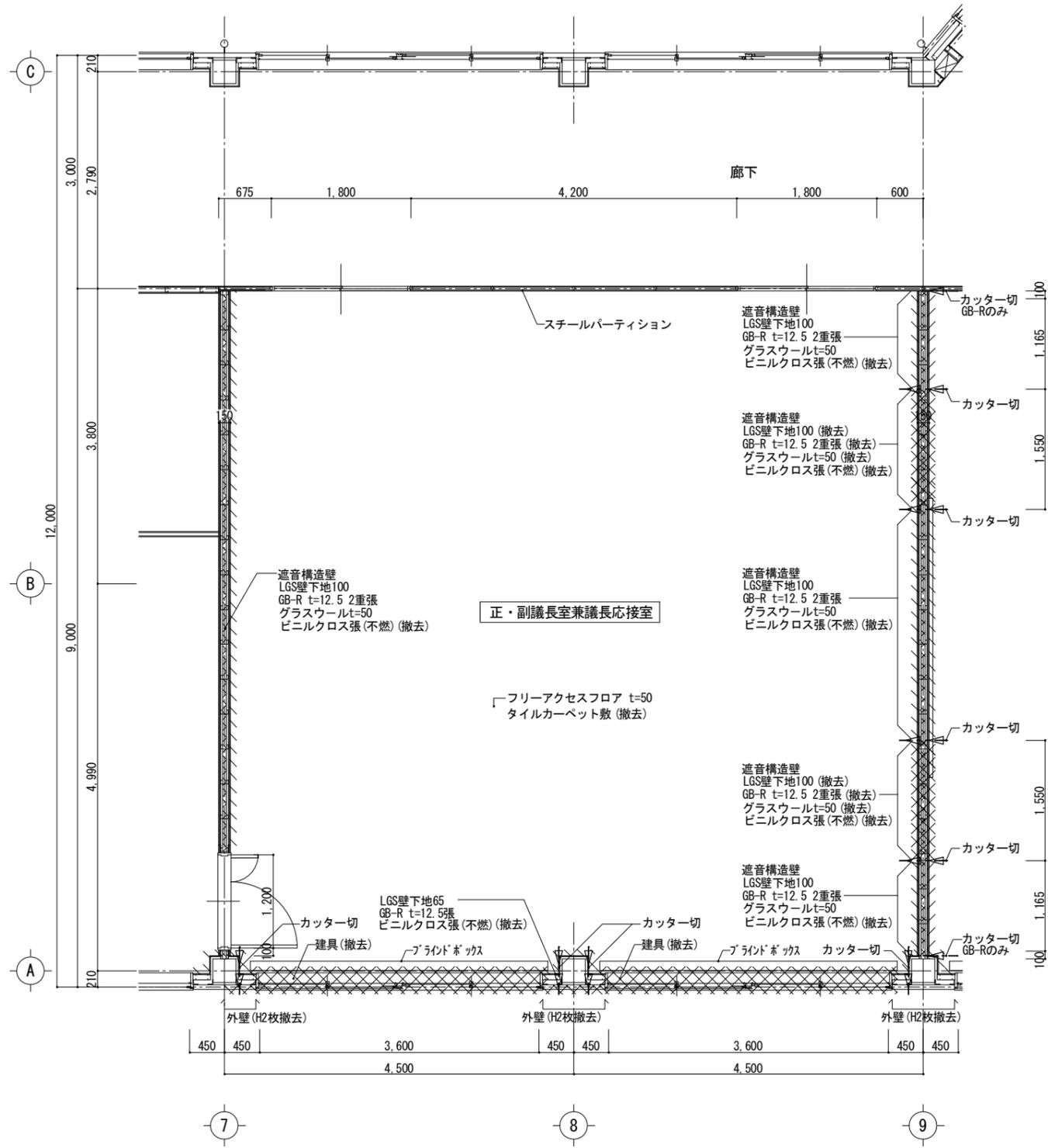
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	(改修後) 展示室(1) 平面詳細図		A-38



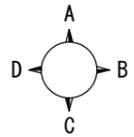
凡例

室名	工事対象室を示す。	改修範囲を示す。	既存範囲を示す。
----	-----------	----------	----------

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	(A3版-71%縮小)	図番	
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	S=1/50		改修後) 展示室(1)・倉庫(4) 展開図(1)	A-39



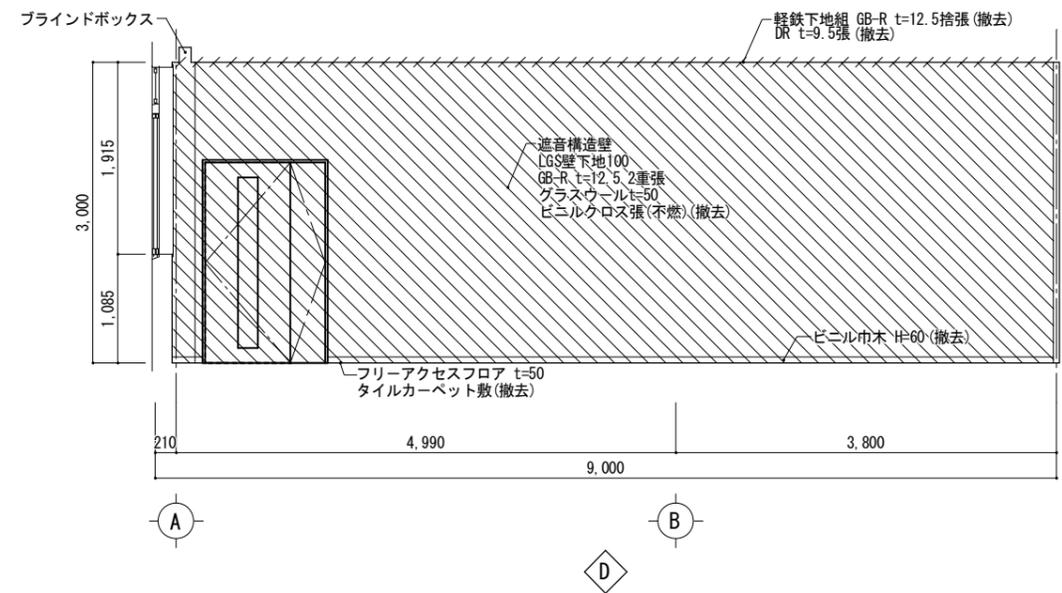
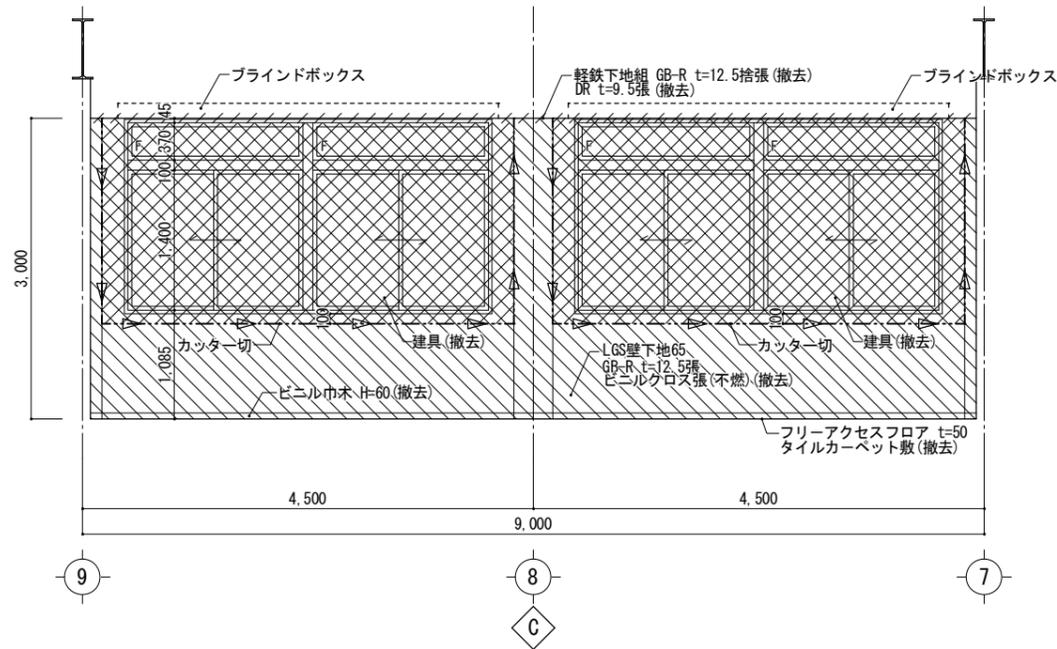
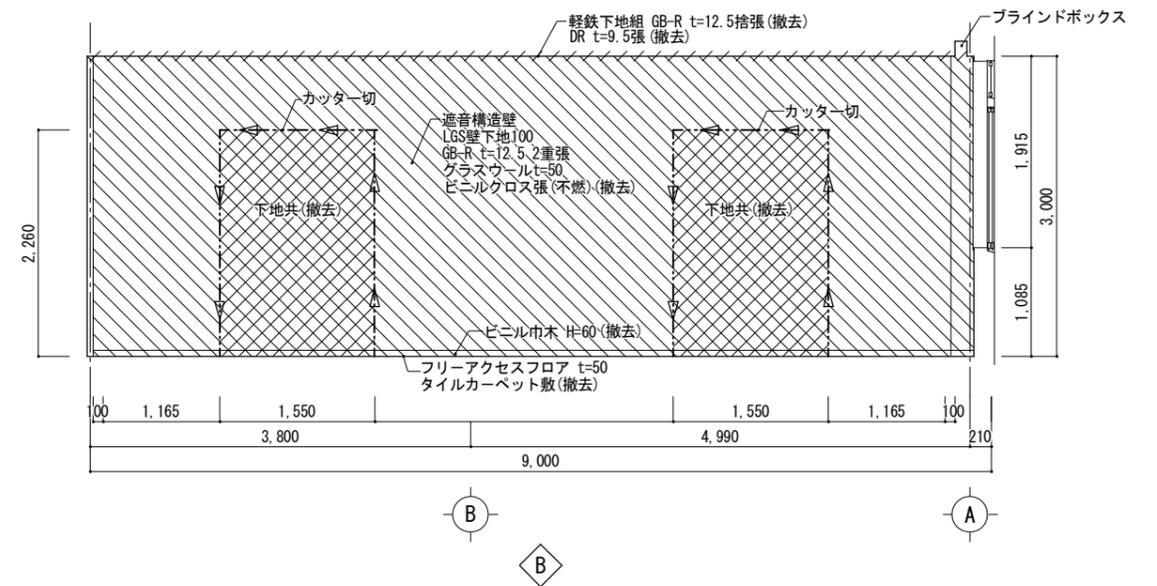
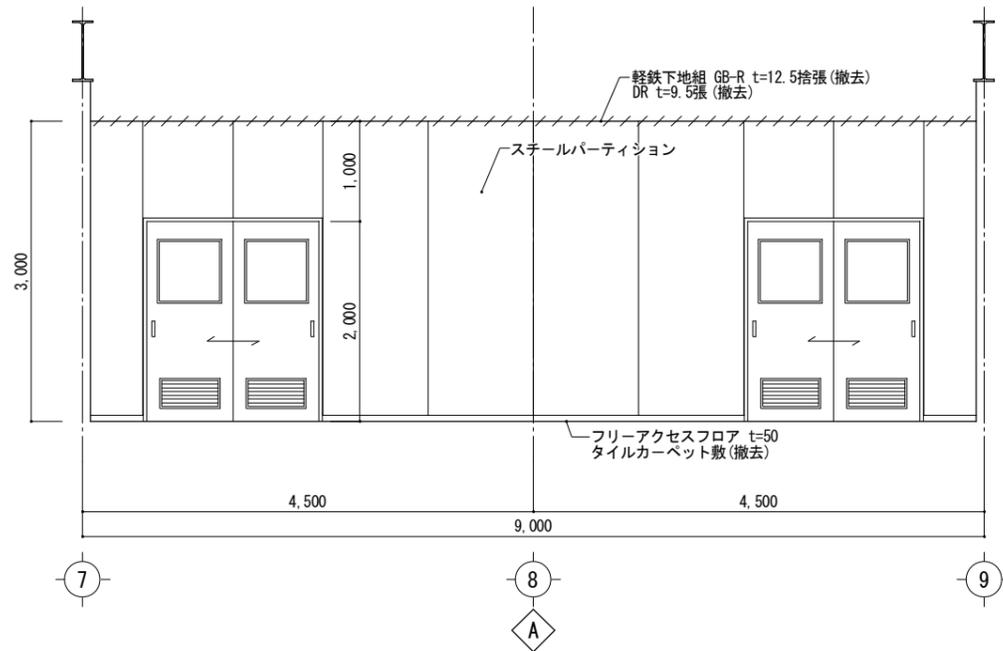
平面詳細図 S=1/50



凡例

室名	工事対象室を示す。	撤去範囲を示す。(下地共)	撤去範囲を示す。(仕上げのみ)	撤去範囲を示す。(捨張共)	カッター切を示す。
----	-----------	---------------	-----------------	---------------	-----------

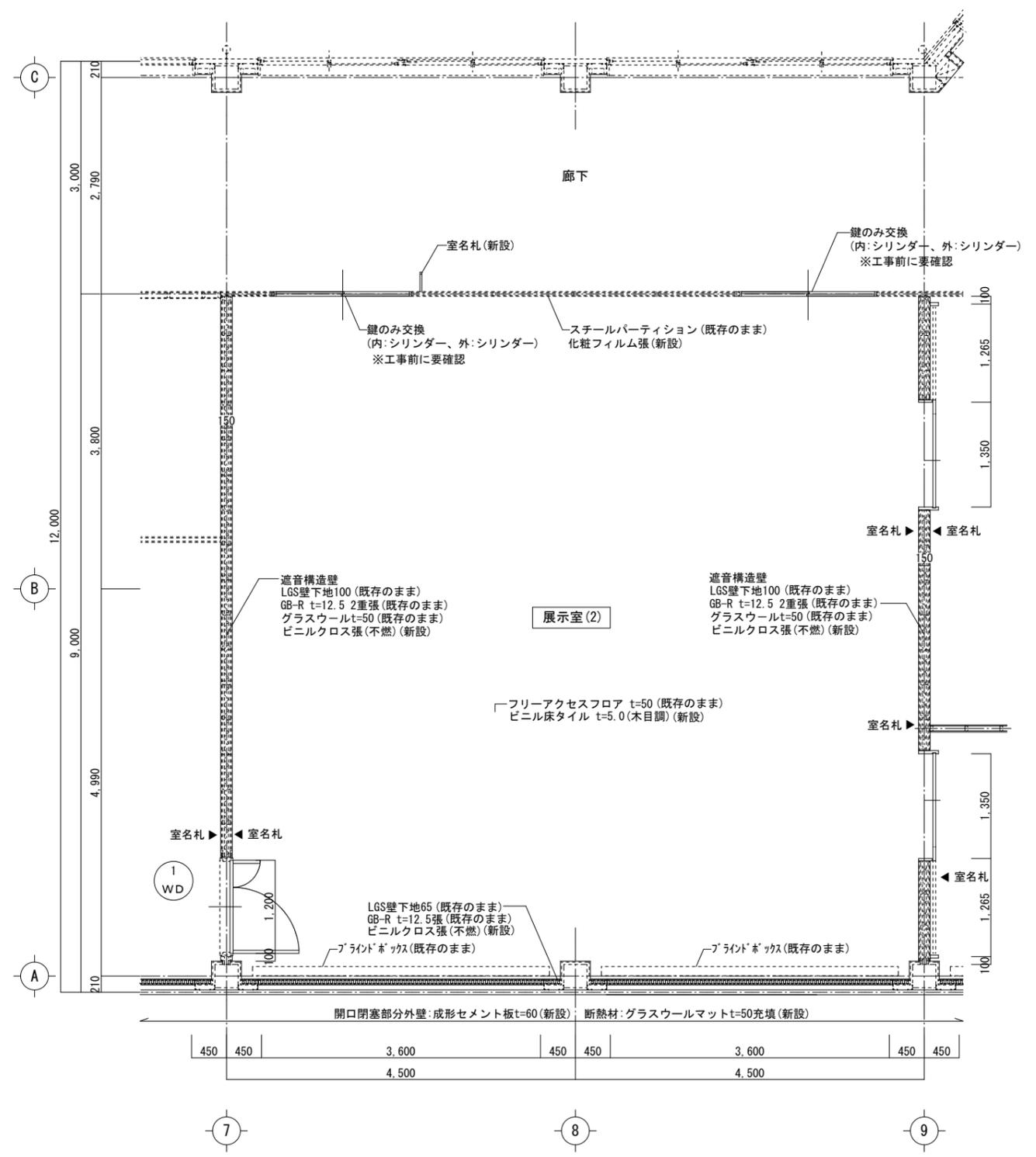
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	S=1/50		A-41



凡例

室名	工事対象室を示す。		撤去範囲を示す。(下地共)		撤去範囲を示す。(仕上げのみ)		撤去範囲を示す。(捨張共)		カッター切を示す。
----	-----------	--	---------------	--	-----------------	--	---------------	--	-----------

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	(改修前) 正・副議長室兼議長応接室 展開図		A-42

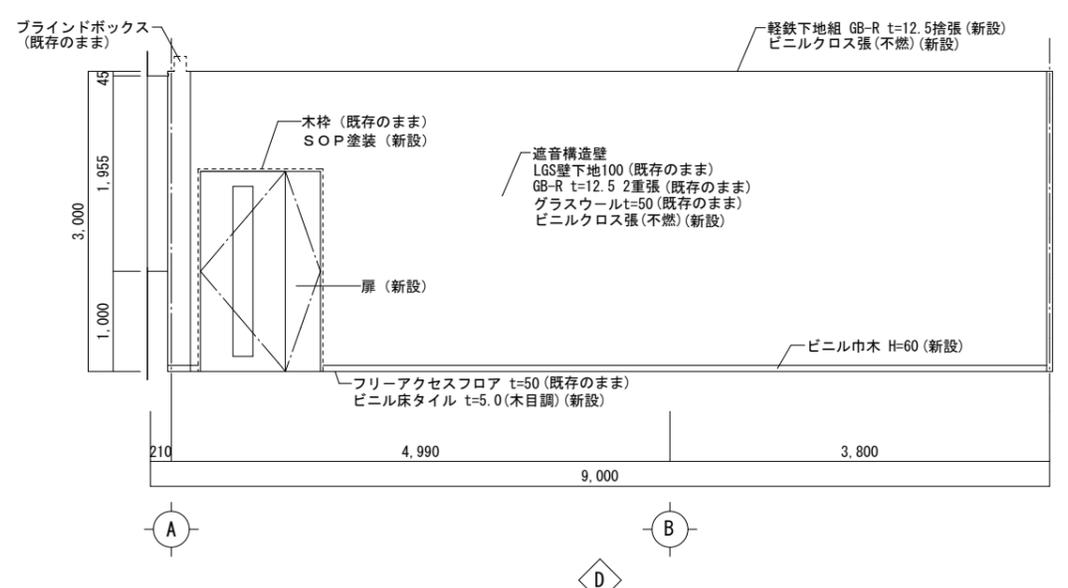
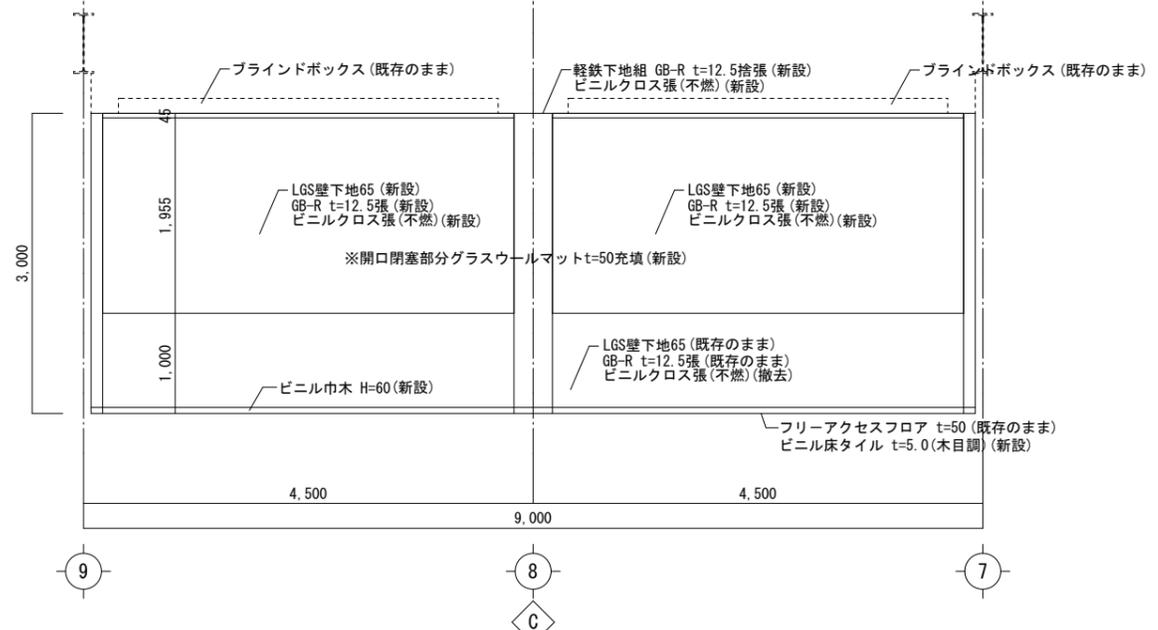
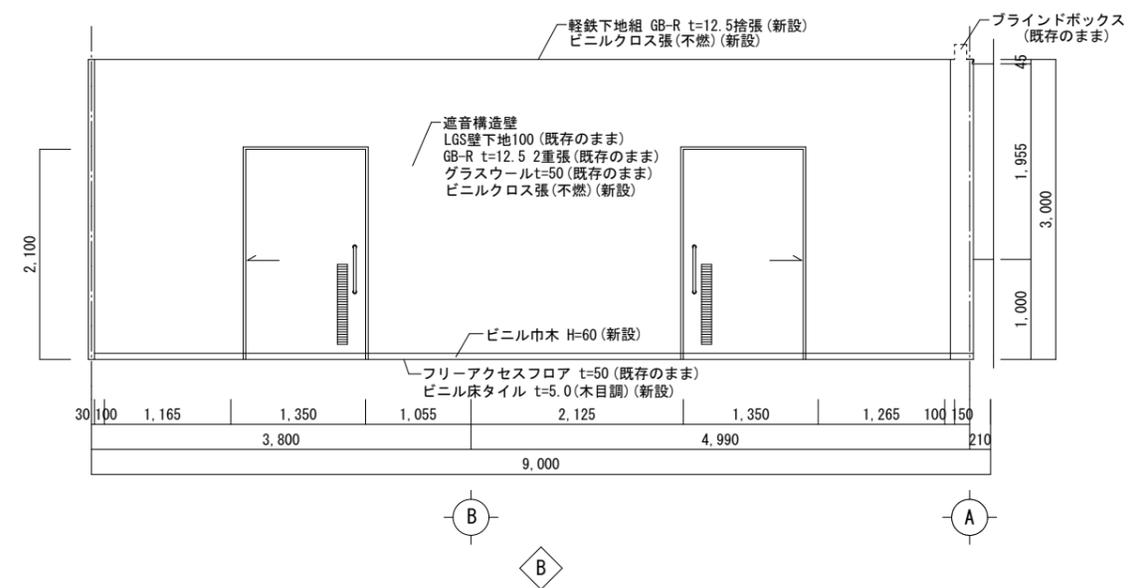
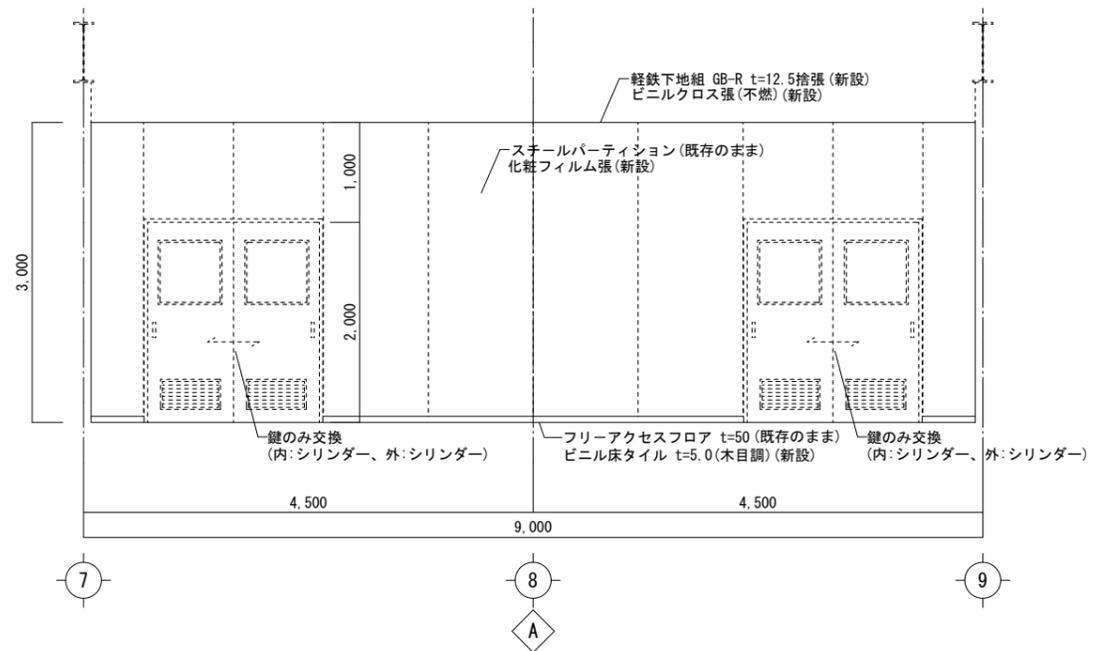


平面詳細図 S=1/50

凡例

室名	工事対象室を示す。	改修範囲を示す。	既存範囲を示す。
----	-----------	----------	----------

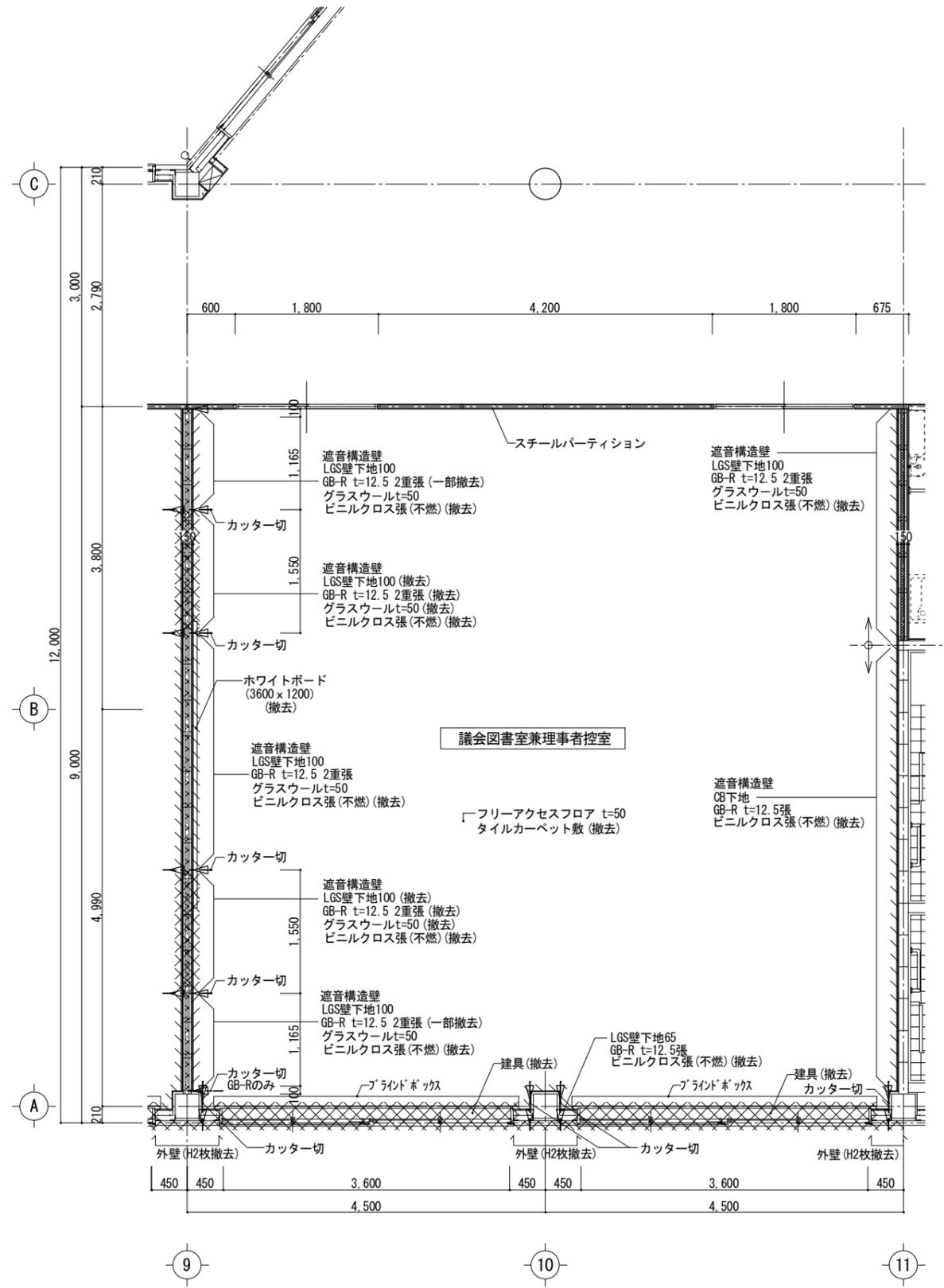
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	(A3版-71%縮小)	図番	
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	S=1/50		(改修後) 展示室(2) 平面詳細図	A-43



凡例

室名	工事対象室を示す。	改修範囲を示す。	既存範囲を示す。
----	-----------	----------	----------

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	縮尺	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	(改修後) 展示室(2) 展開図	S=1/50		A-44

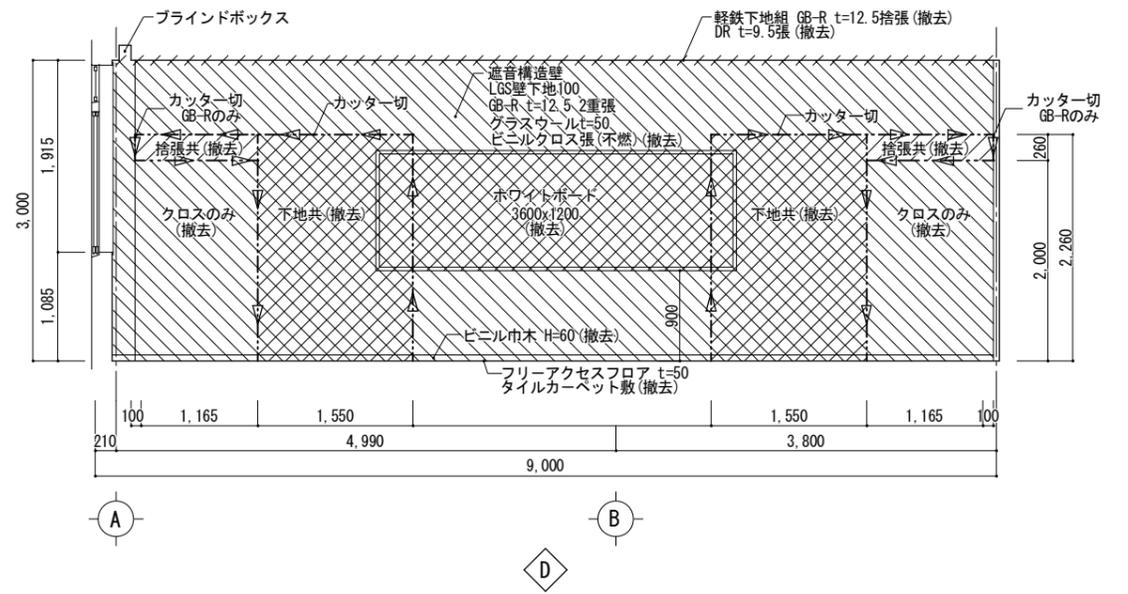
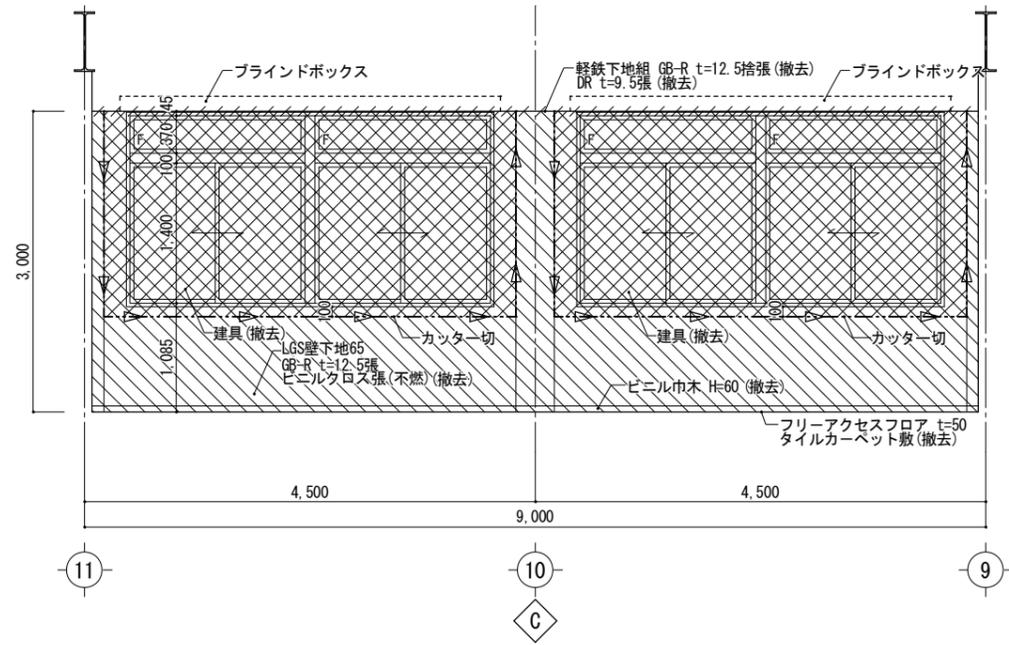
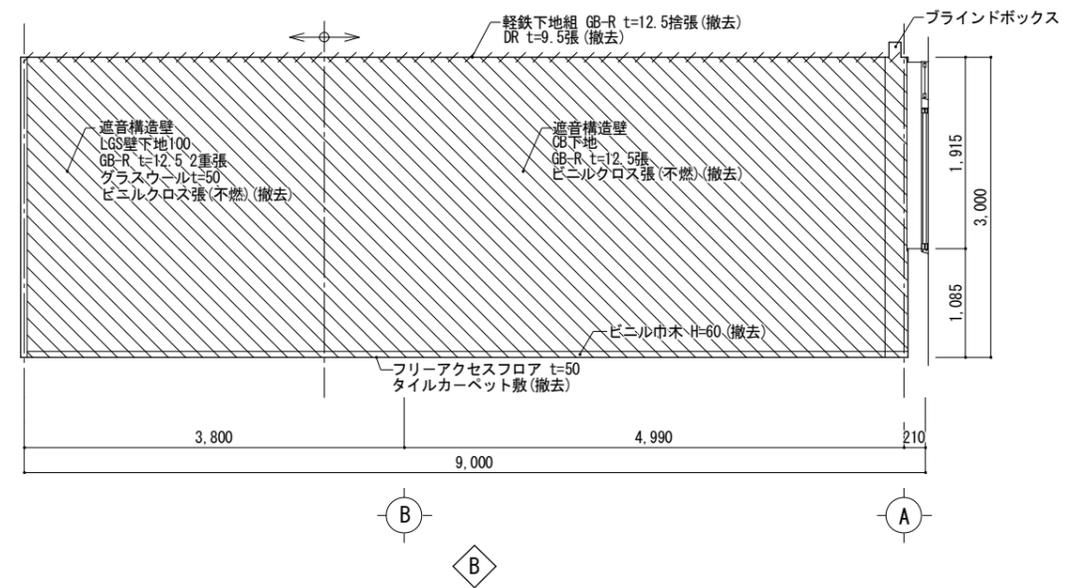
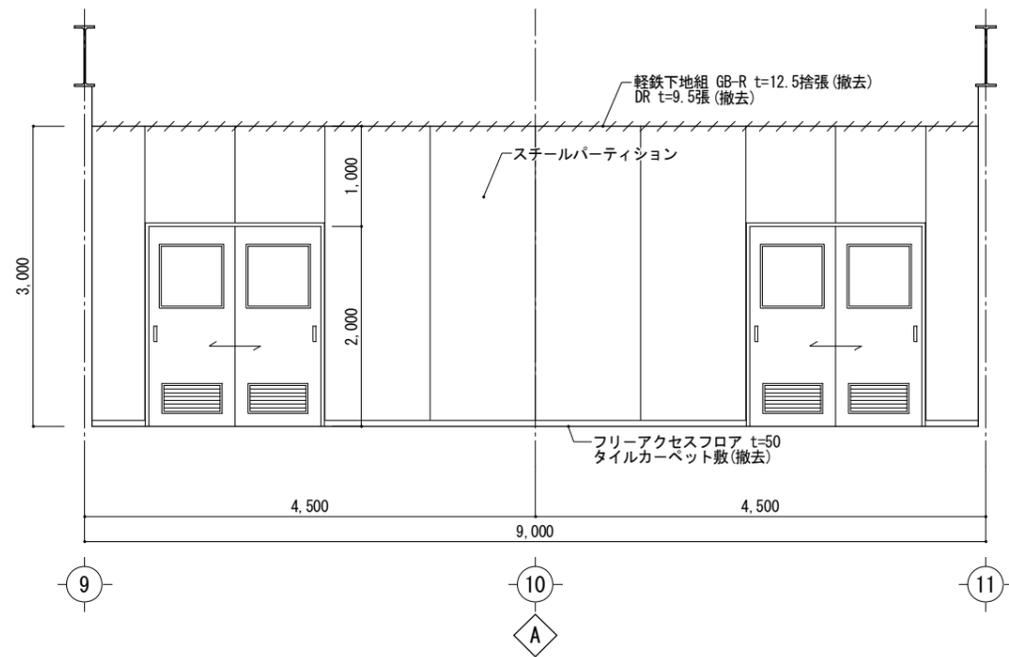


平面詳細図 S=1/50

凡例

室名	工事対象室を示す。		撤去範囲を示す。(下地共)		撤去範囲を示す。(仕上げのみ)		撤去範囲を示す。(捨張共)		カッター切を示す。
----	-----------	--	---------------	--	-----------------	--	---------------	--	-----------

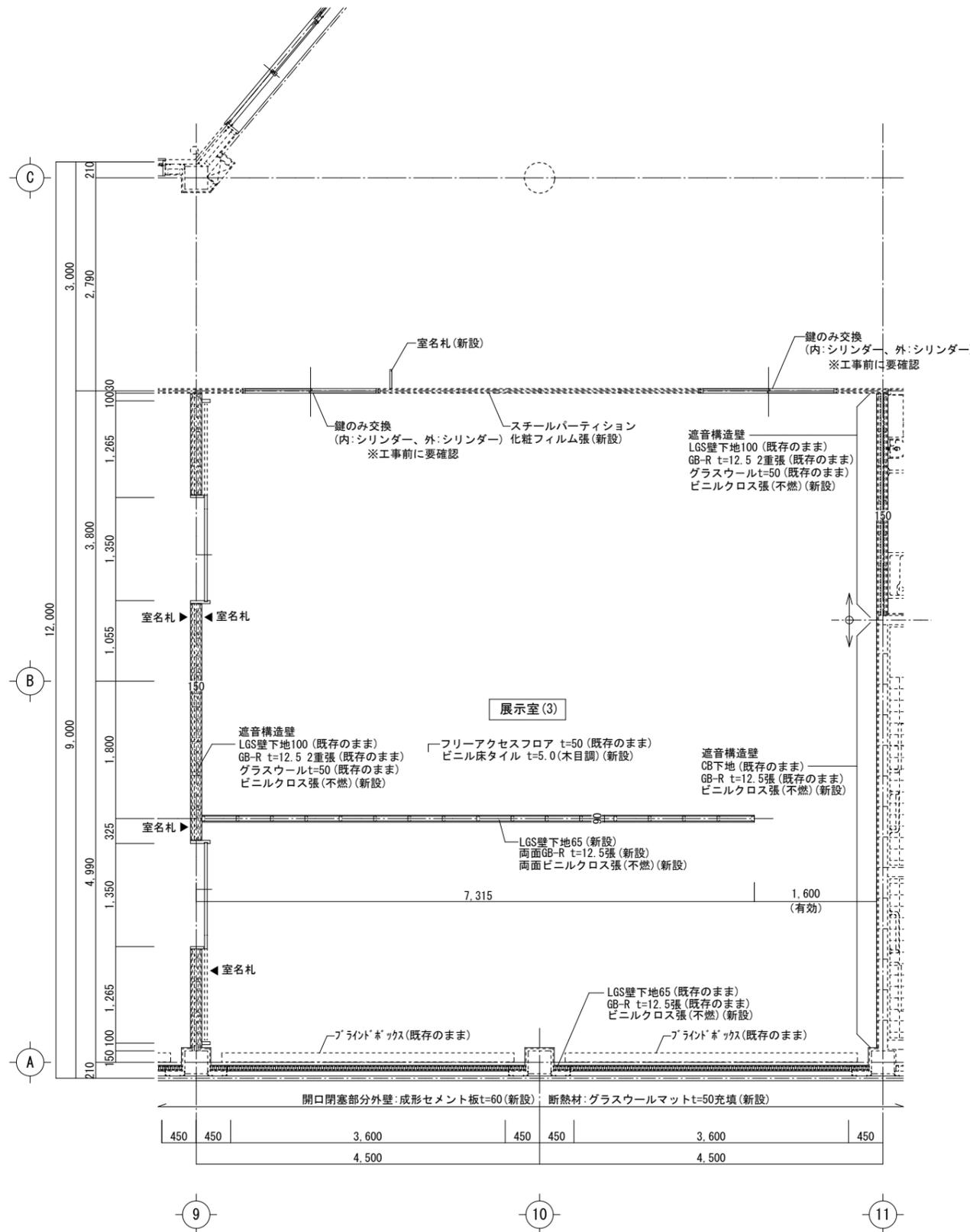
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	(改修前) 議会図書兼理事者控室 平面詳細図		A-45



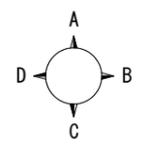
凡例

室名	工事対象室を示す。		撤去範囲を示す。(下地共)		撤去範囲を示す。(仕上げのみ)		撤去範囲を示す。(捨張共)		カッター切を示す。
----	-----------	--	---------------	--	-----------------	--	---------------	--	-----------

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	(改修前) 議会図書兼理事者控室 展開図		A-46



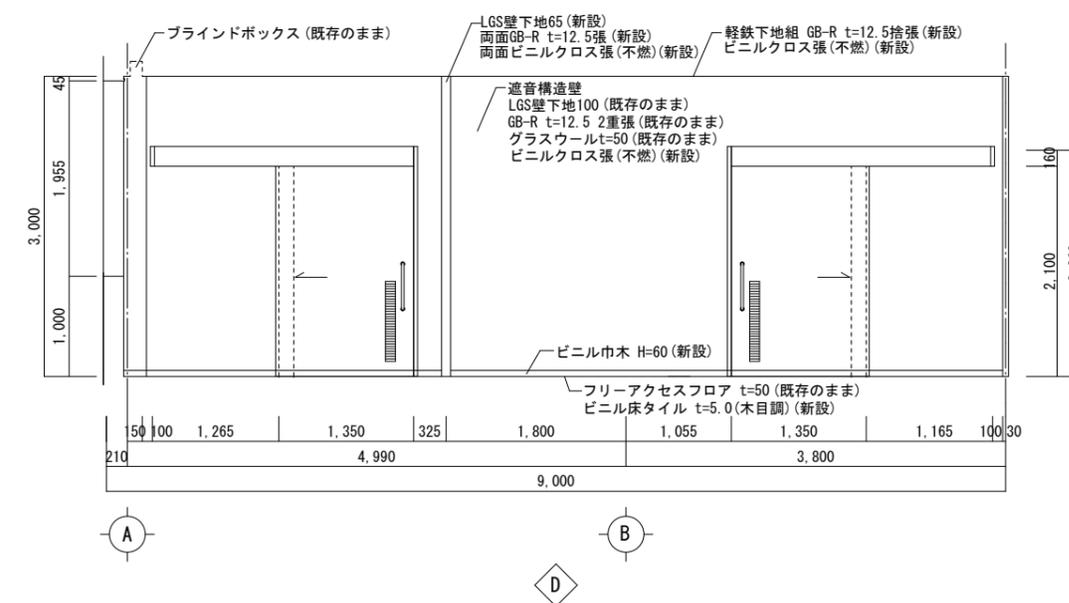
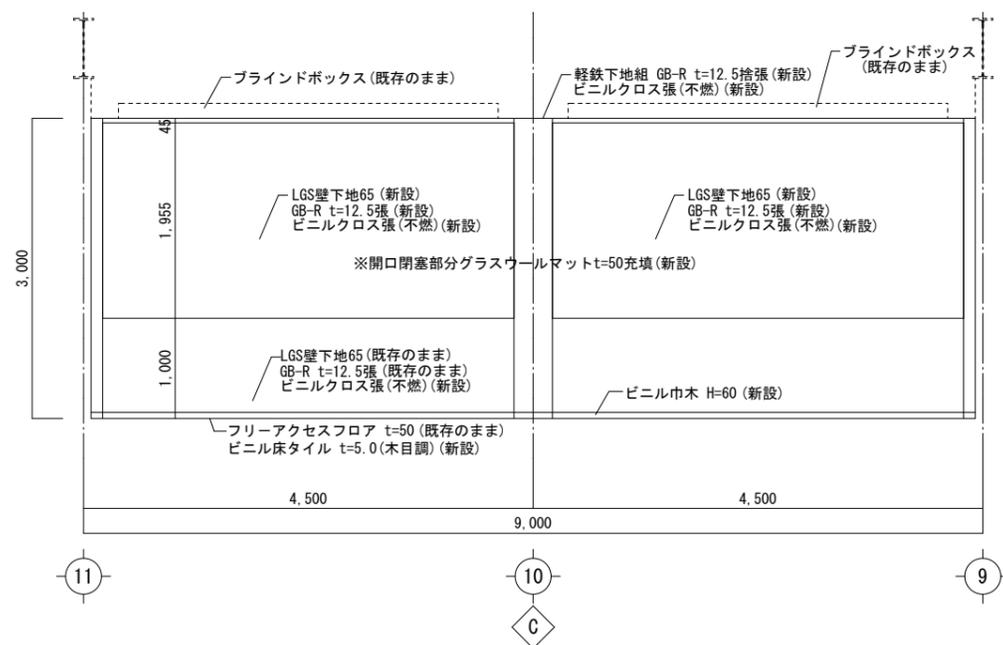
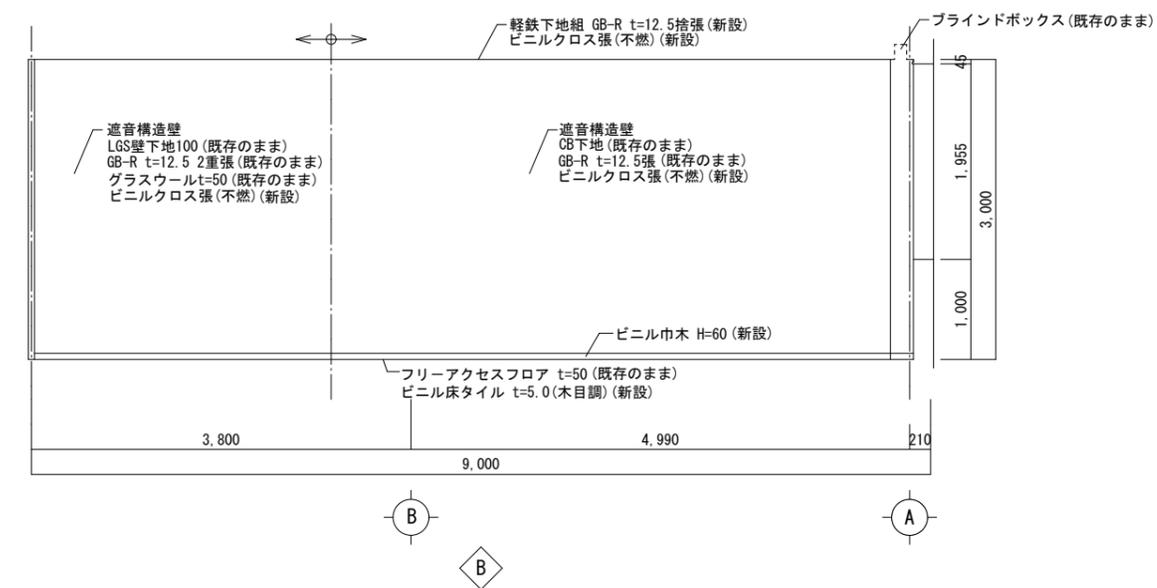
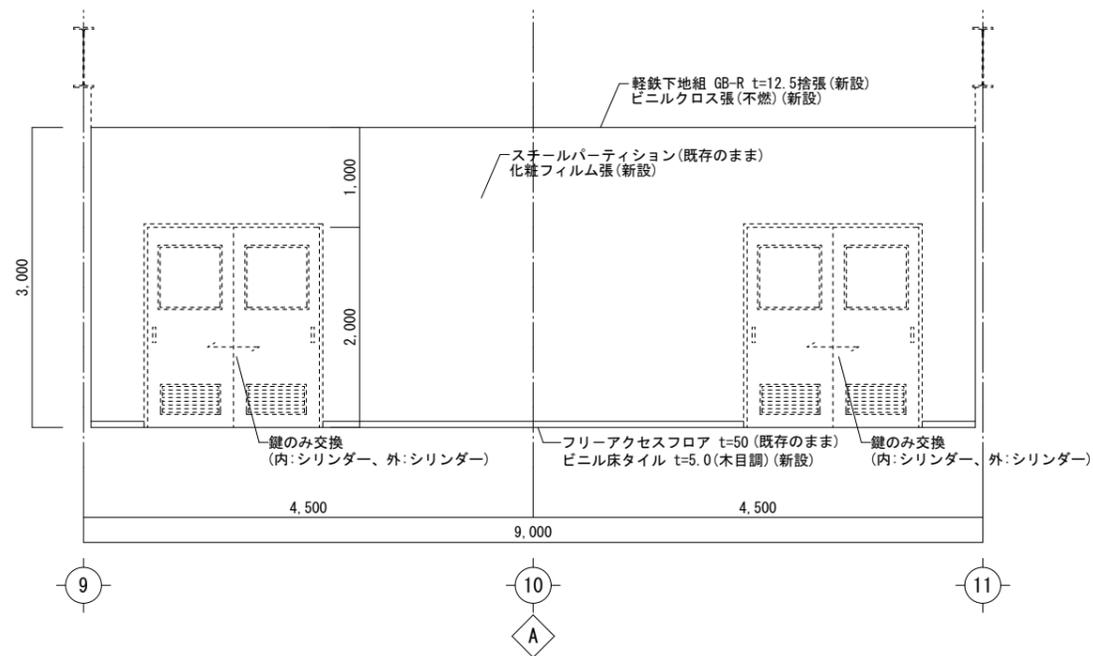
平面詳細図 S=1/50



凡例

室名	工事対象室を示す。	改修範囲を示す。	既存範囲を示す。
----	-----------	----------	----------

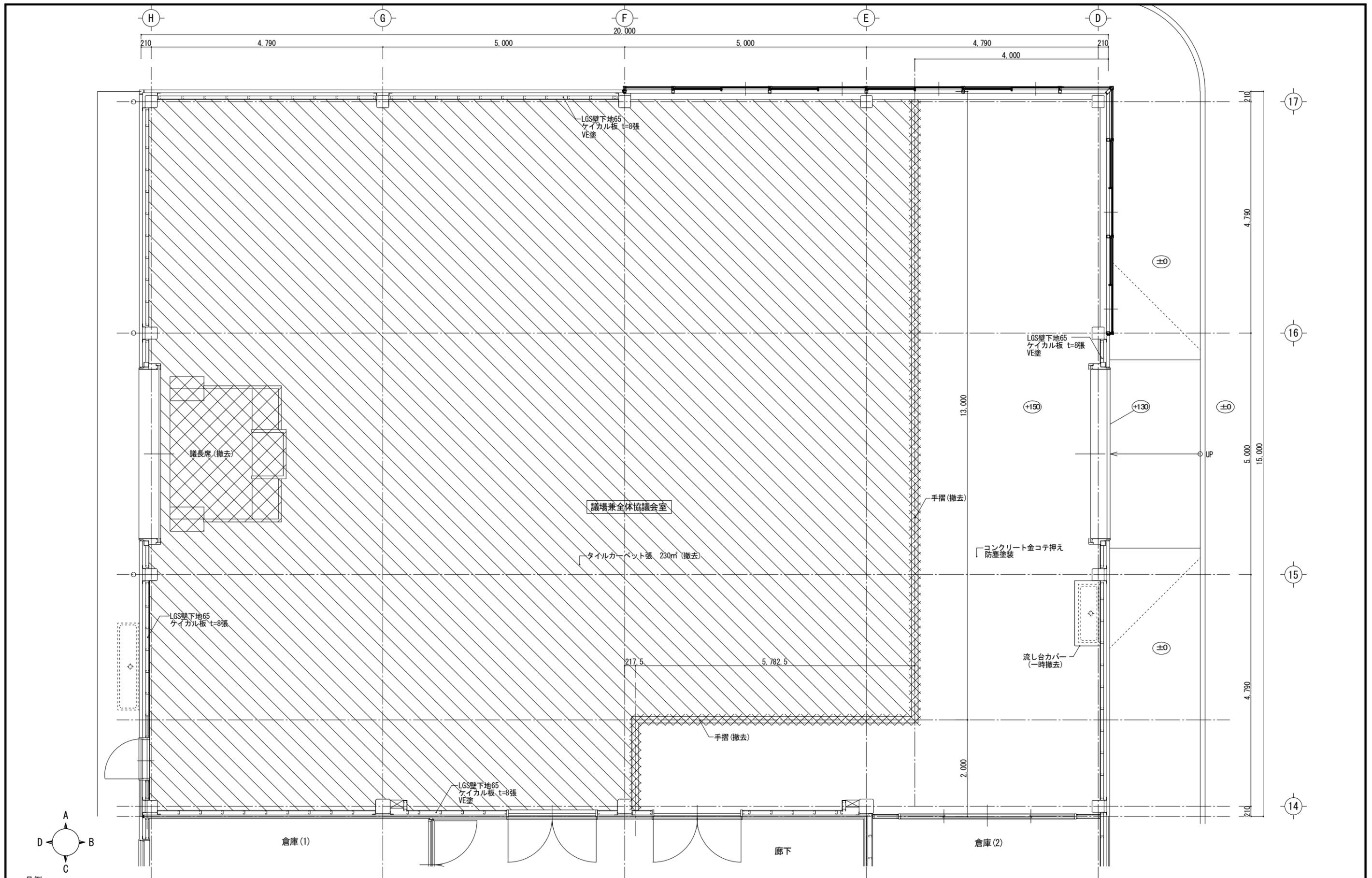
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	S=1/50	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	(改修後) 展示室(3) 平面詳細図			A-47



凡例

室名	工事対象室を示す。	改修範囲を示す。	既存範囲を示す。
----	-----------	----------	----------

事業年度	年度	設計	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	S=1/50 (A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月							建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	(改修後) 展示室(3) 展開図		A-48

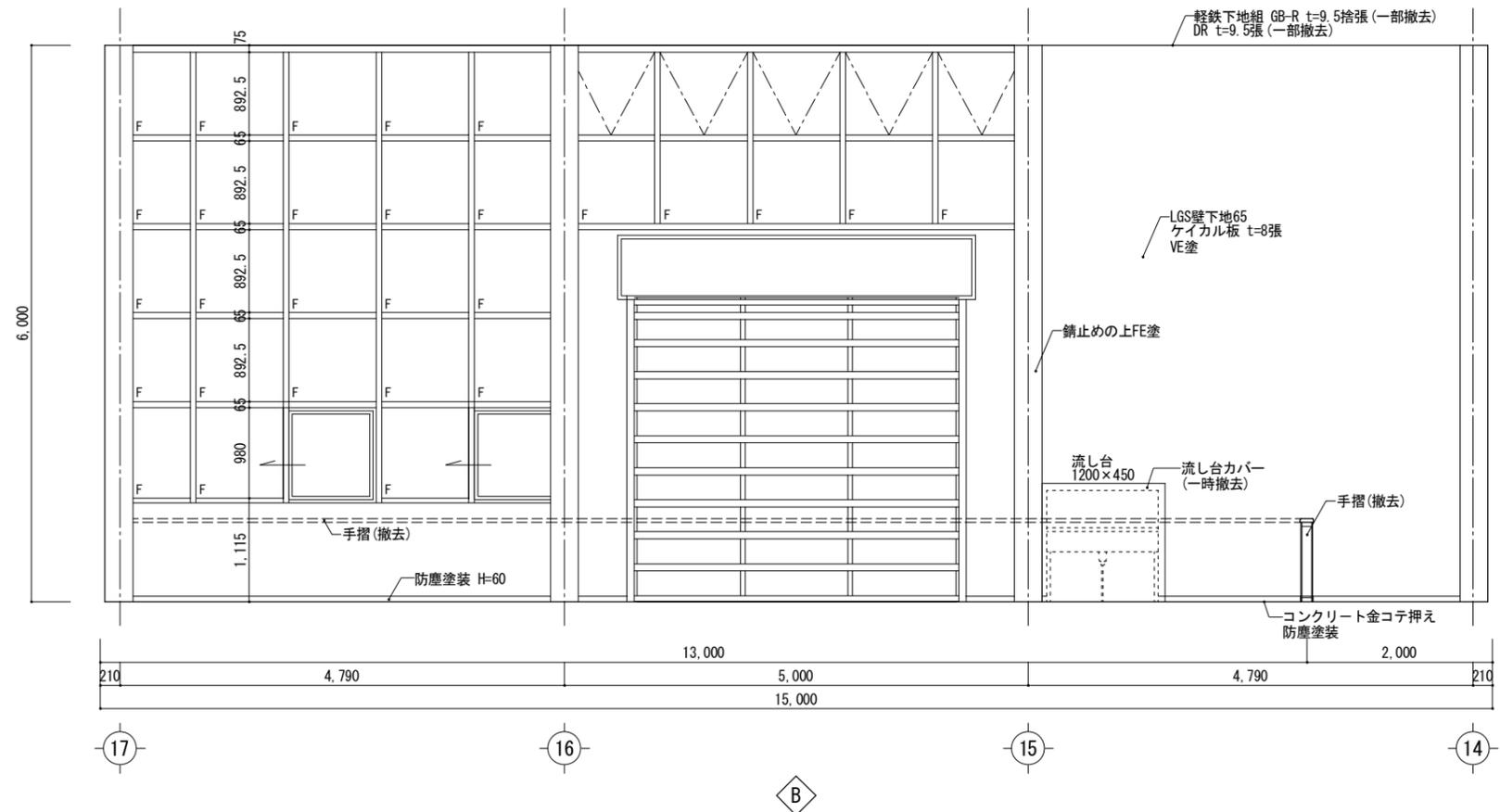
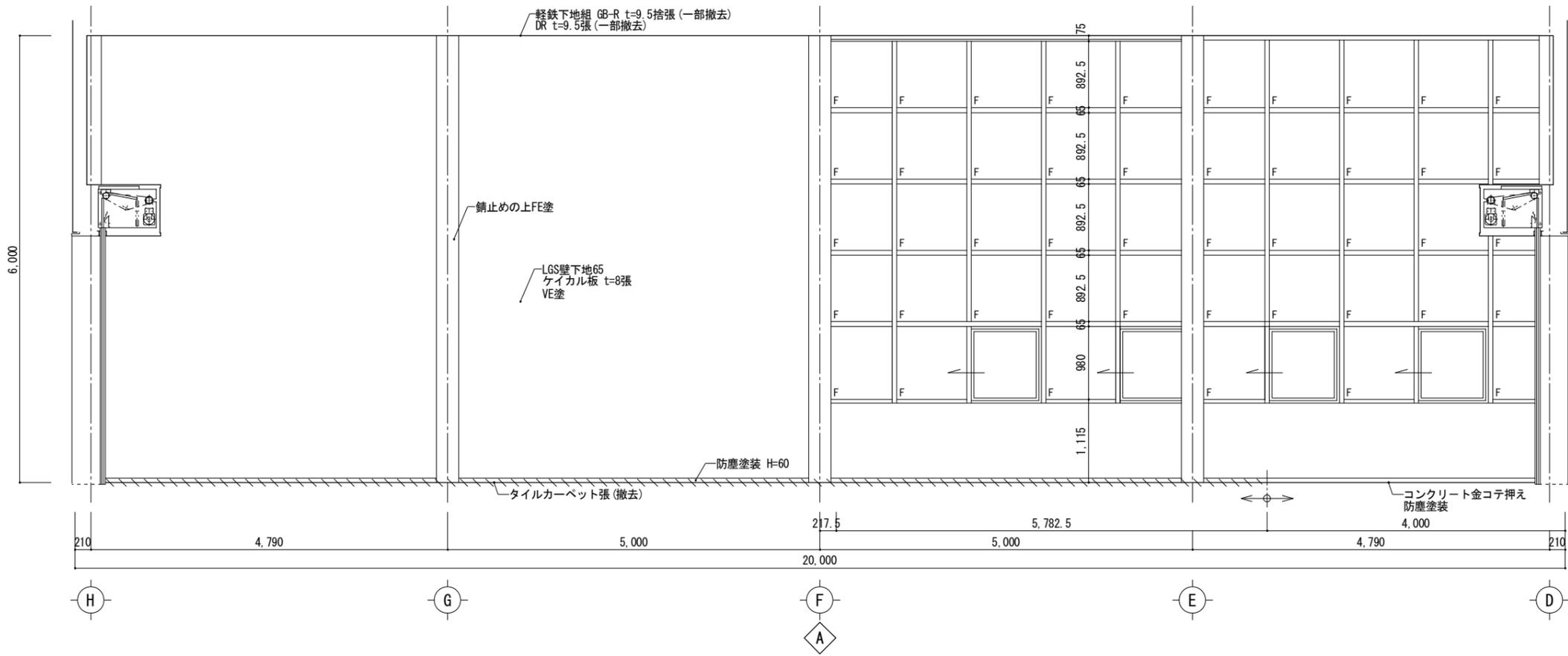


凡例

室名	工事対象室を示す。		撤去範囲を示す。(下地共)		撤去範囲を示す。(仕上げのみ)		撤去範囲を示す。(捨張共)		カッター切を示す。
----	-----------	--	---------------	--	-----------------	--	---------------	--	-----------

平面詳細図 S=1/50

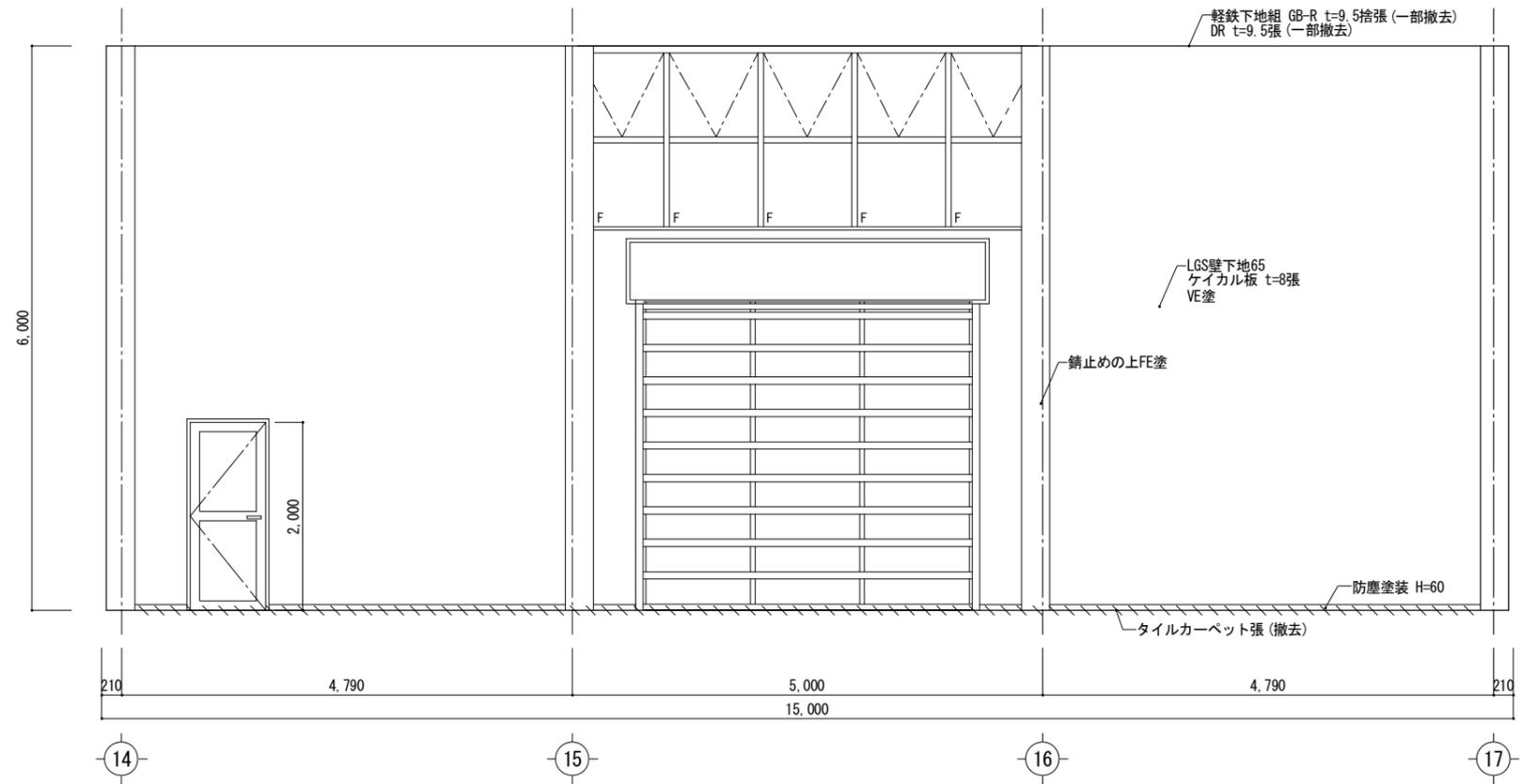
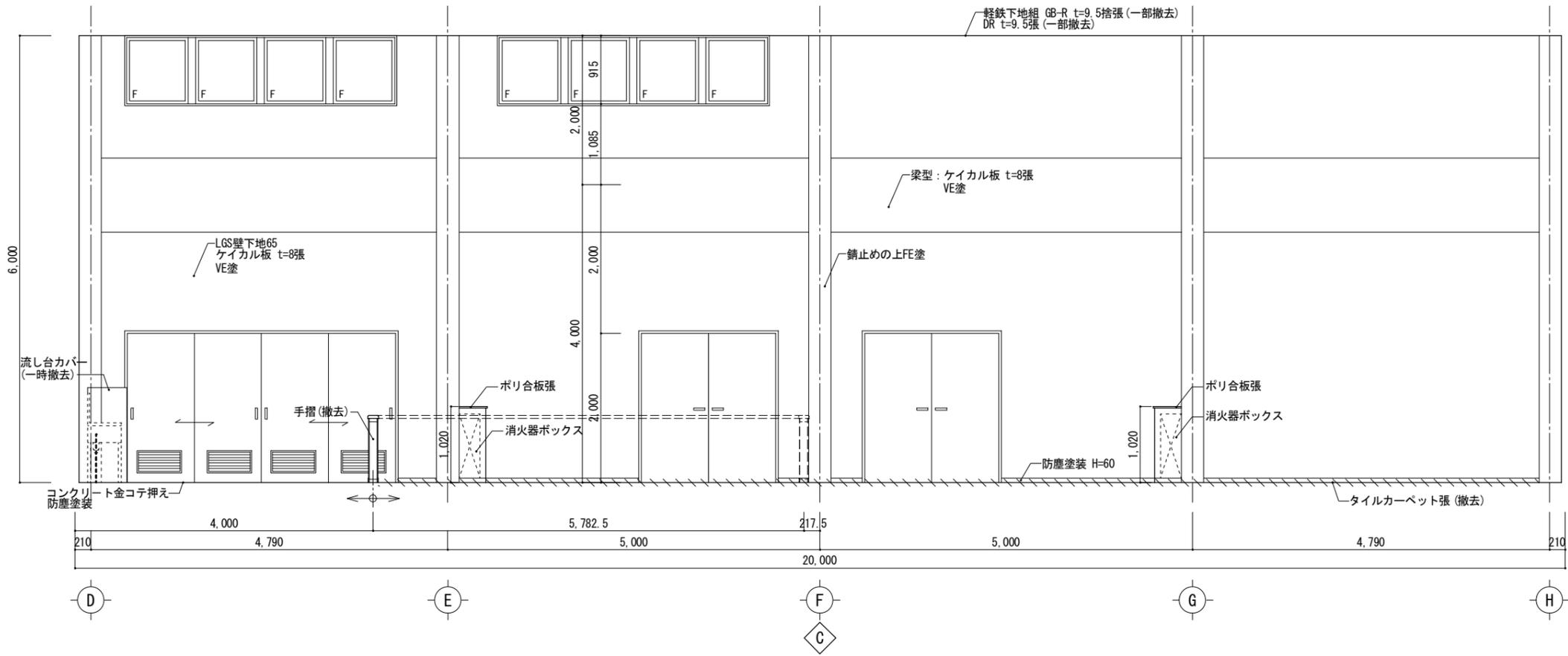
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	(改修前) 議場兼全体協議会室 平面詳細図		A-49



凡例

室名	工事対象室を示す。	撤去範囲を示す。(下地共)	撤去範囲を示す。(仕上げのみ)	撤去範囲を示す。(捨張共)	カッター切を示す。
----	-----------	---------------	-----------------	---------------	-----------

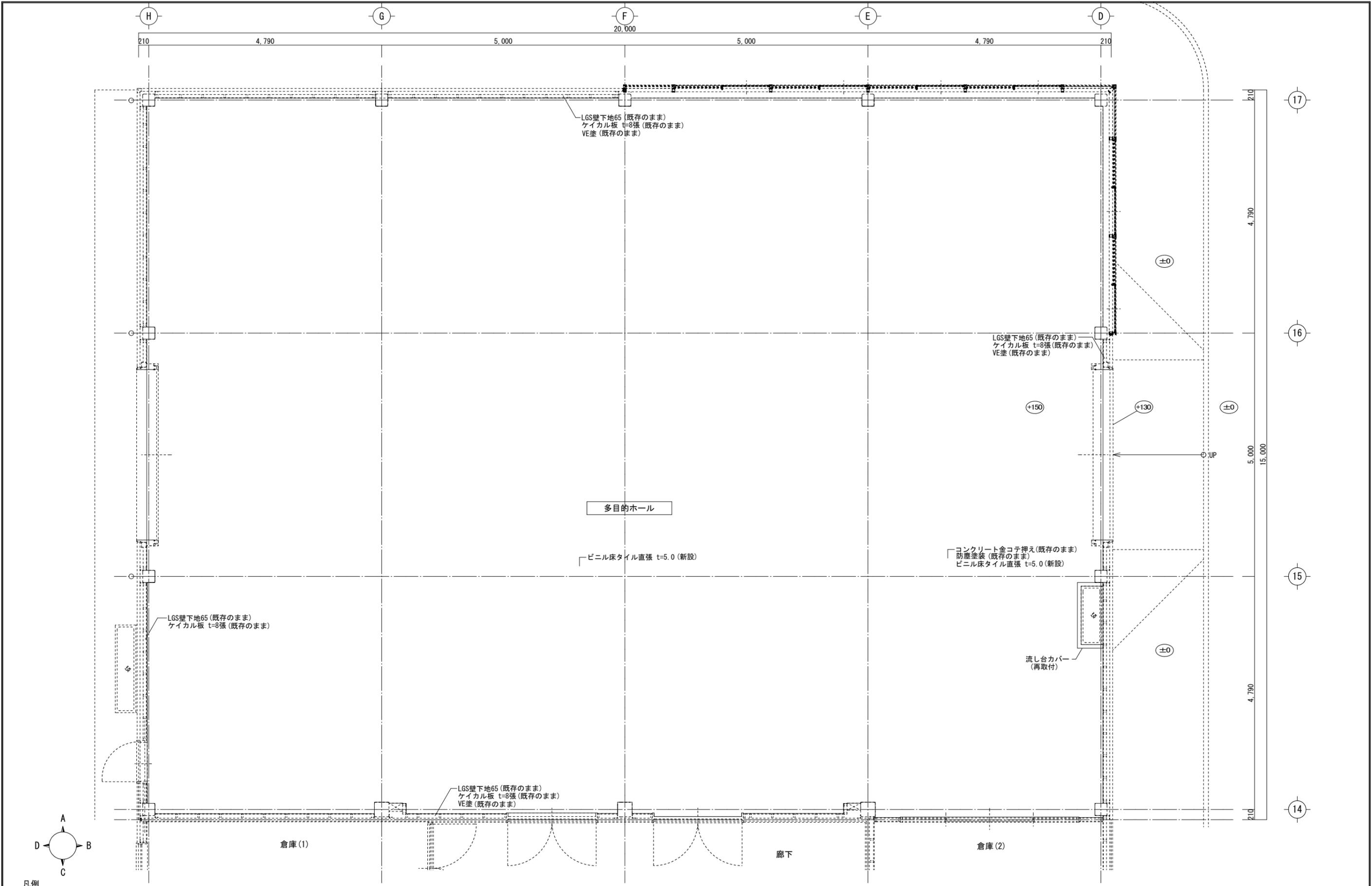
事業年度 年度 令和 年月	設計 三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類 建築	工事名 元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松本 靖之 印	図面名称・縮尺 S=1/50 (改修前) 議場兼全体協議会室 展開図(1)	(A3版-71%縮小) 図番 A-50
---------------------	-----------------	---	---	---	----	----	----------	---------------------------------	--	---	------------------------



凡例

室名	工事対象室を示す。	撤去範囲を示す。(下地共)	撤去範囲を示す。(仕上げのみ)	撤去範囲を示す。(捨張共)	カッター切を示す。
----	-----------	---------------	-----------------	---------------	-----------

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	(改修前) 議場兼全体協議会室 展開図(2)		A-51



多目的ホール

「ビニル床タイル直張 t=5.0 (新設)

「コンクリート金コテ押え(既存のまま)
防塵塗装 (既存のまま)
ビニル床タイル直張 t=5.0 (新設)

LGS壁下地65 (既存のまま)
ケイカル板 t=8張 (既存のまま)

LGS壁下地65 (既存のまま)
ケイカル板 t=8張 (既存のまま)
VE塗 (既存のまま)

LGS壁下地65 (既存のまま)
ケイカル板 t=8張 (既存のまま)
VE塗 (既存のまま)

倉庫(1)

廊下

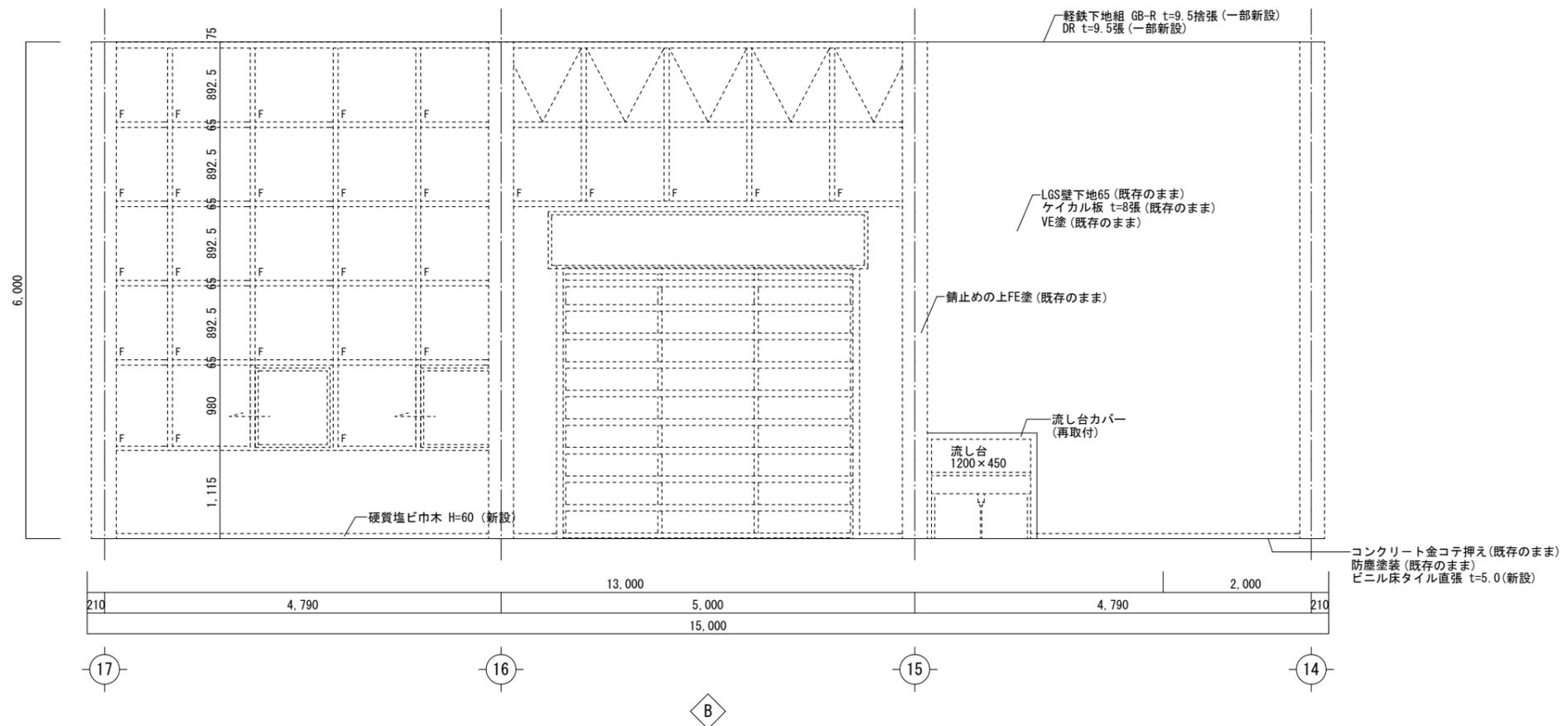
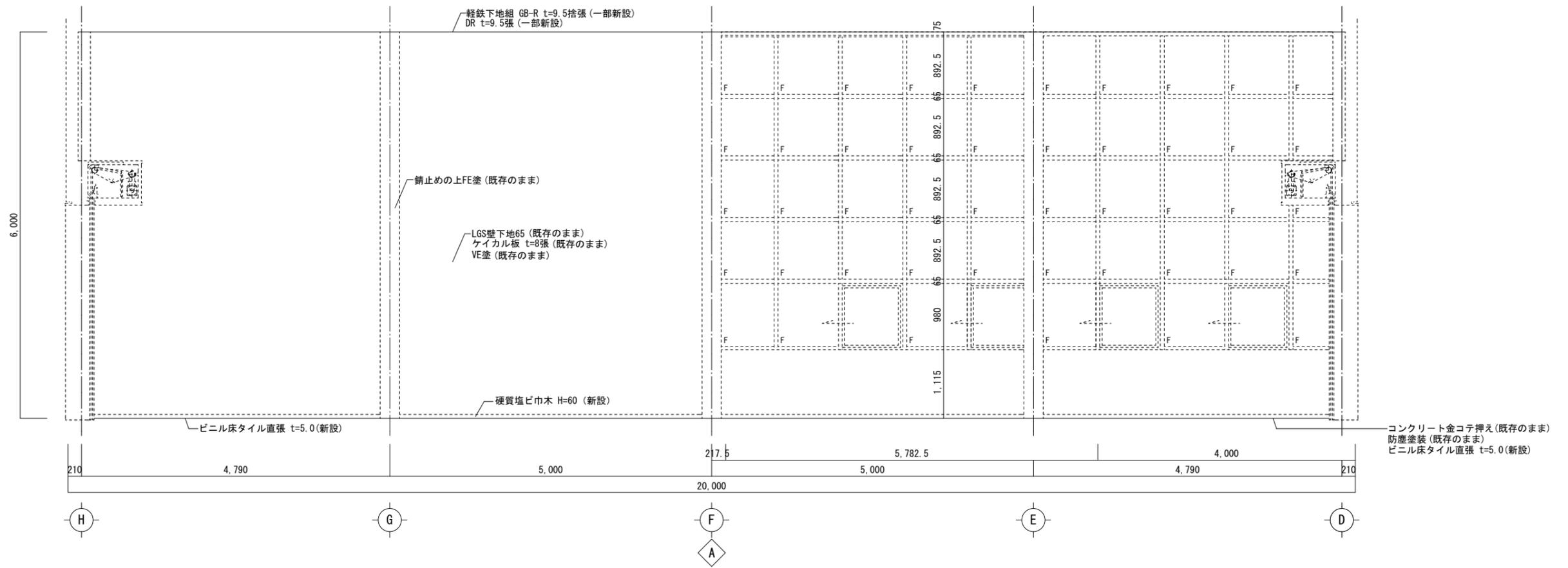
倉庫(2)

凡例

室名	工事対象室を示す。	改修範囲を示す。	既存範囲を示す。
----	-----------	----------	----------

平面詳細図 S=1/50

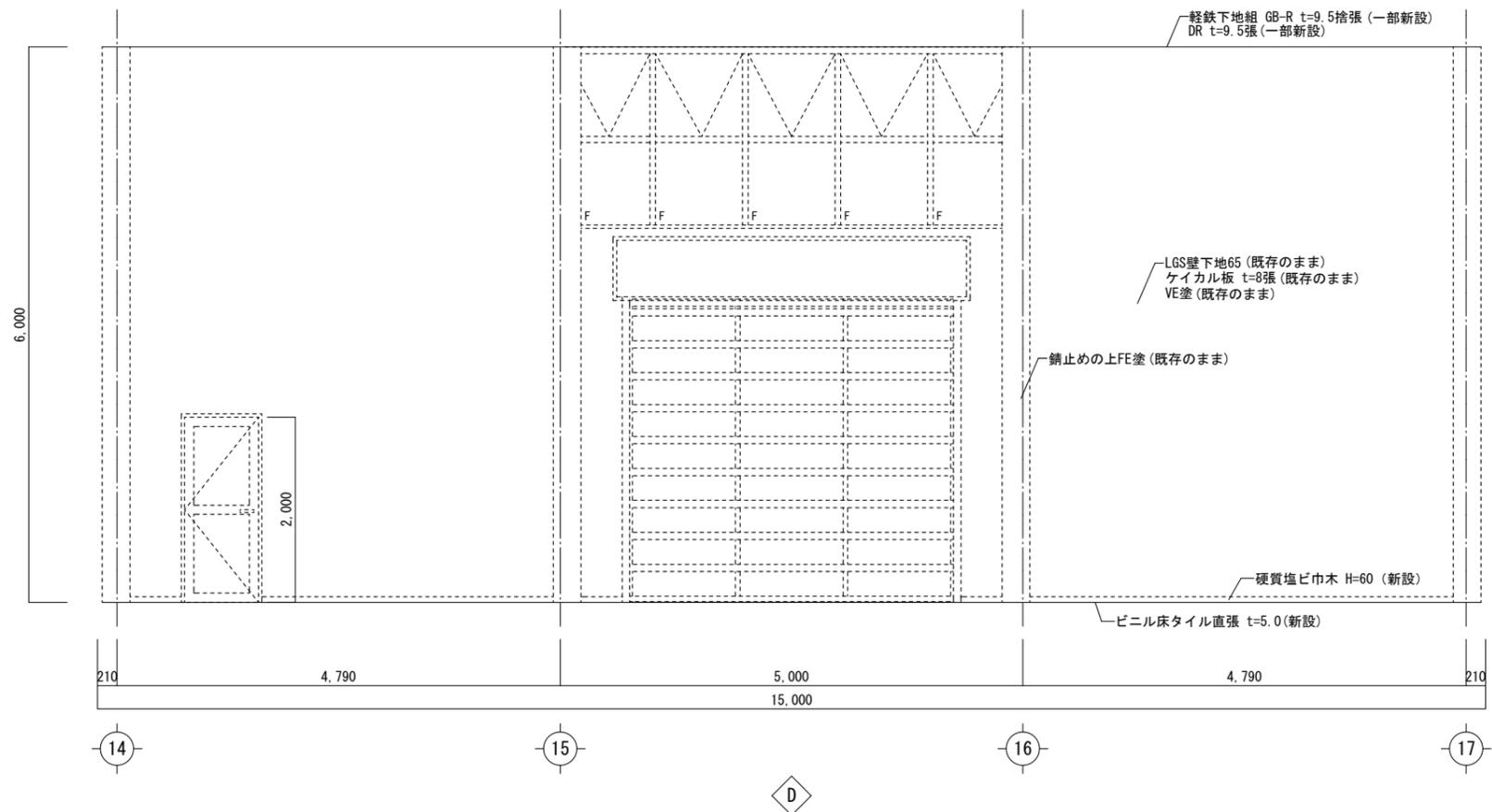
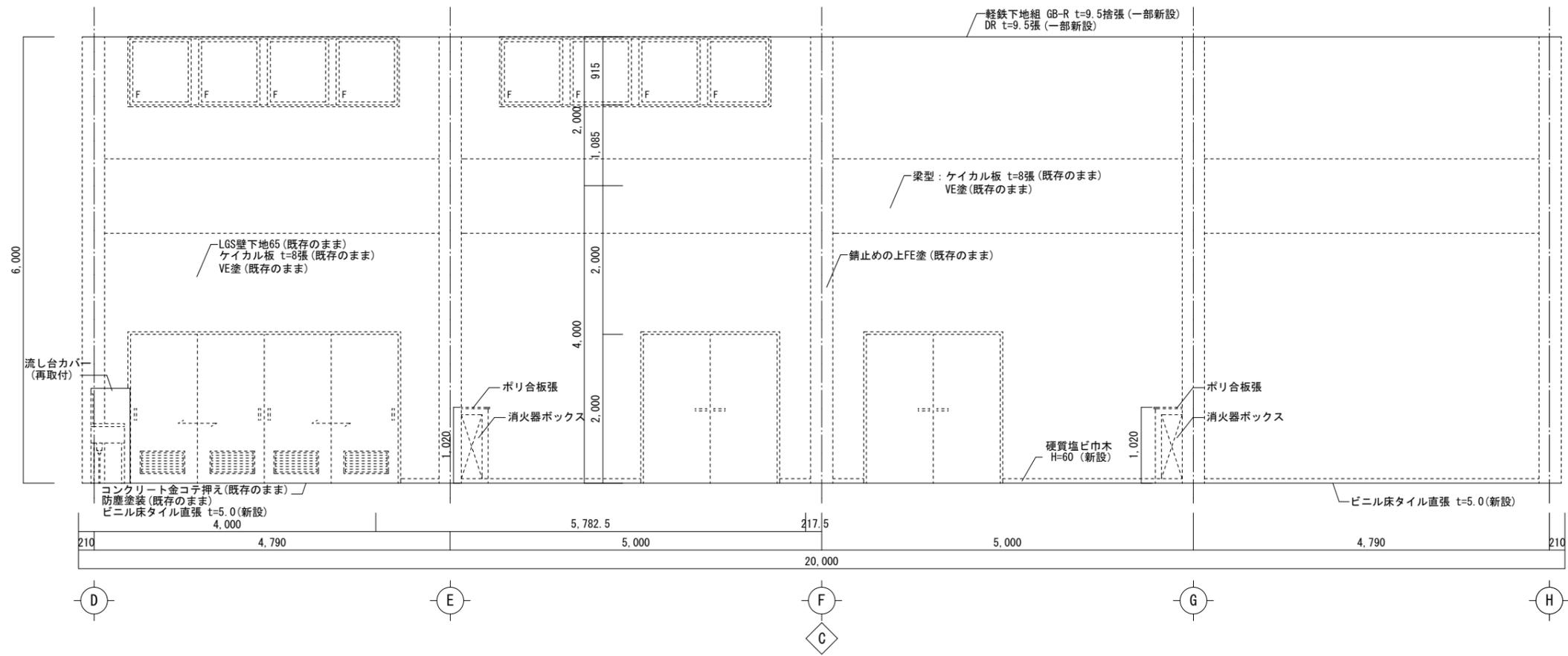
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	(改修後) 多目的ホール 平面詳細図		A-52



凡例

室名	工事対象室を示す。	改修範囲を示す。	既存範囲を示す。
----	-----------	----------	----------

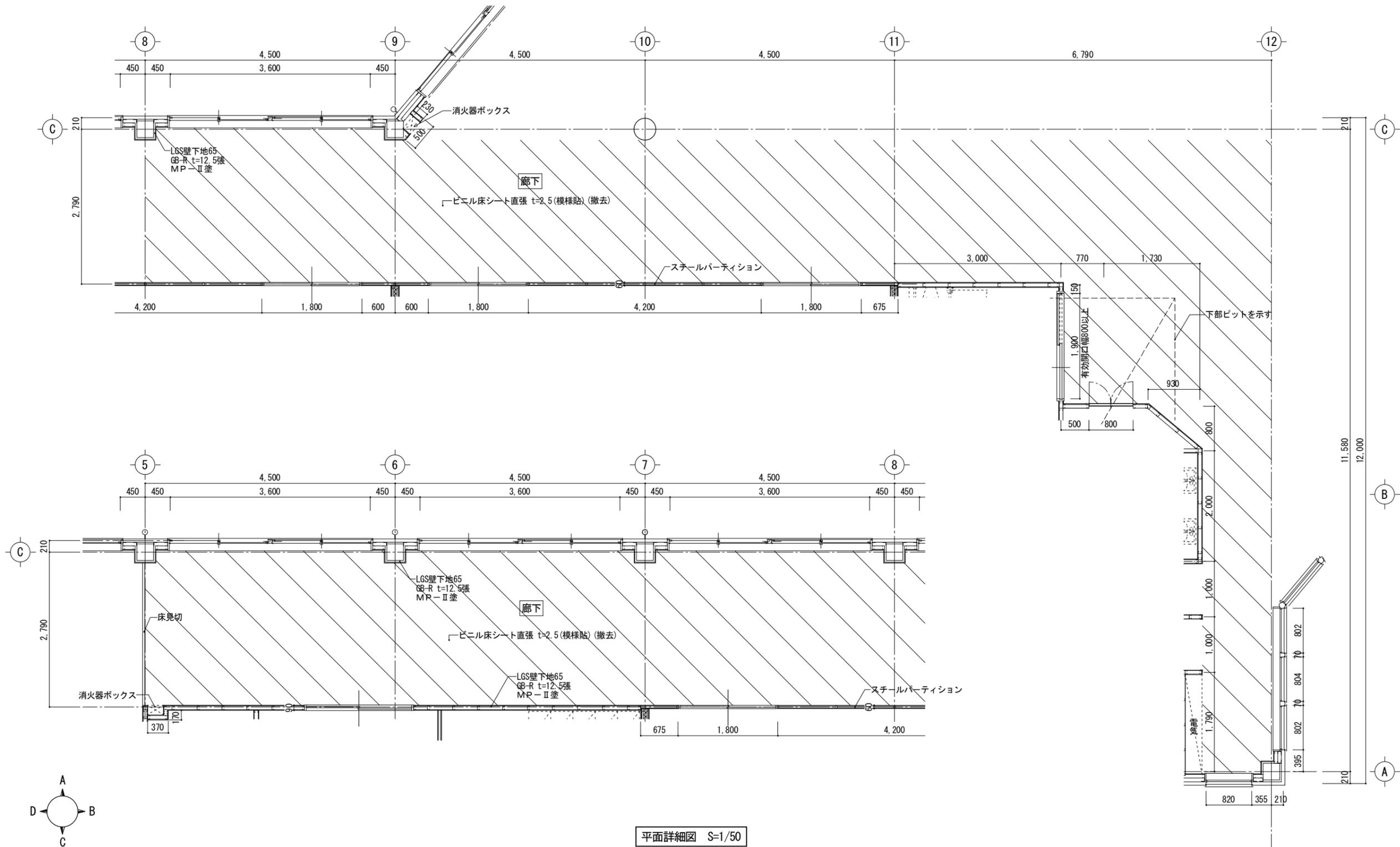
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	(A3版-71%縮小)	図番	
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	S=1/50		改修後) 多目的ホール 展開図(1)	A-53



凡例

室名	工事対象室を示す。	改修範囲を示す。	既存範囲を示す。
----	-----------	----------	----------

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	S=1/50		A-54
工事完成	年度									印	(改修後) 多目的ホール 展開図(2)		

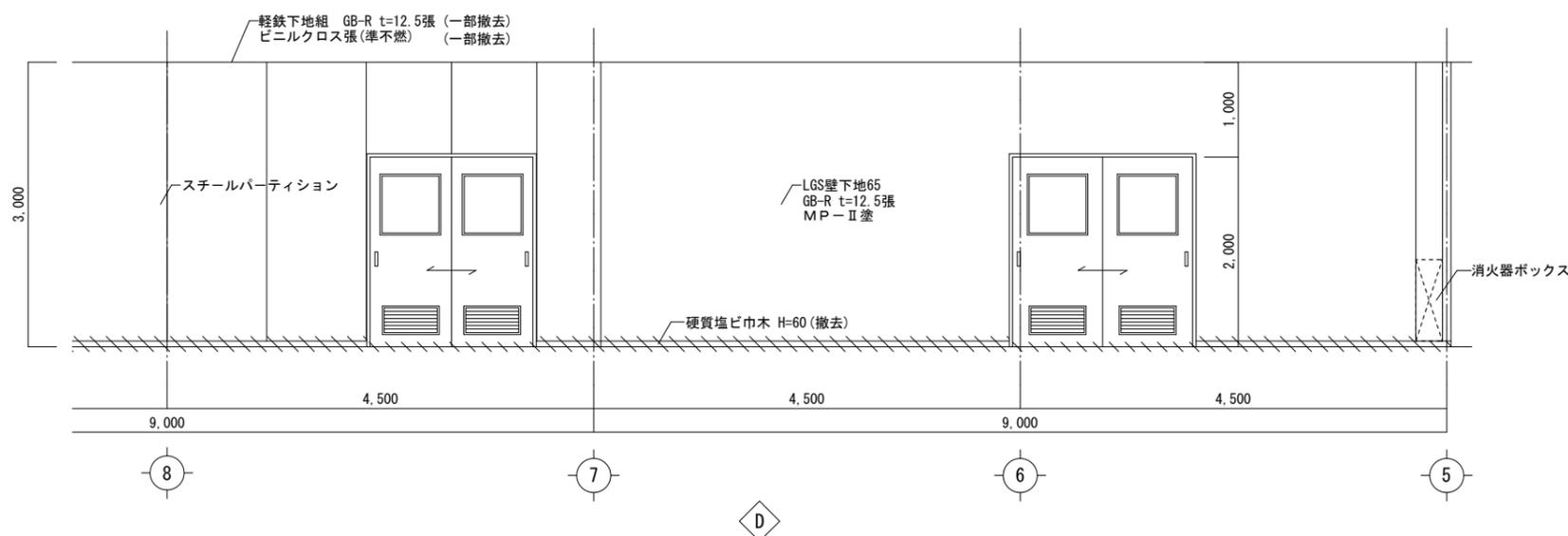
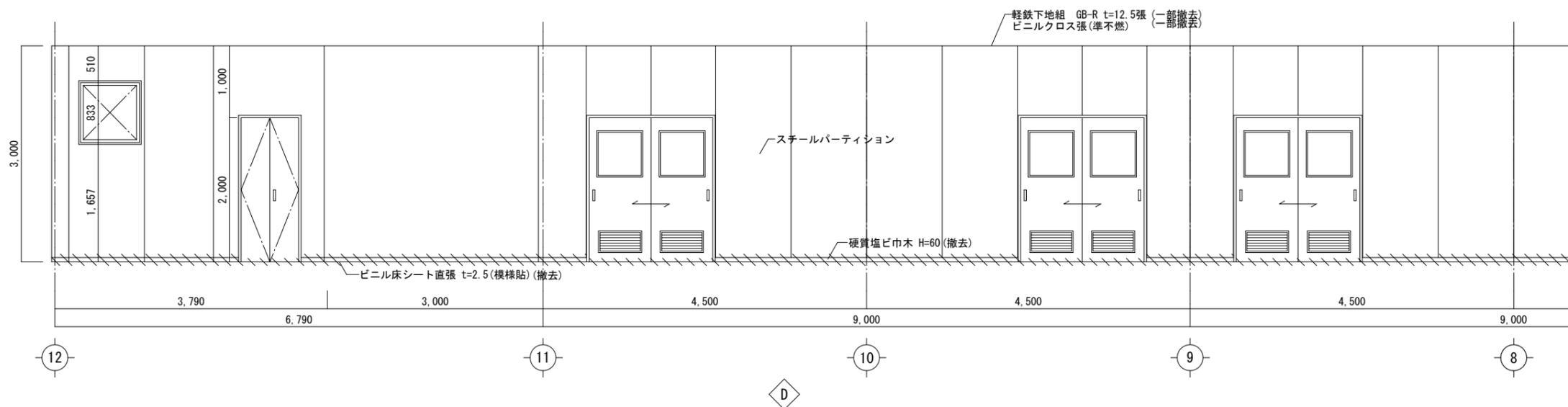
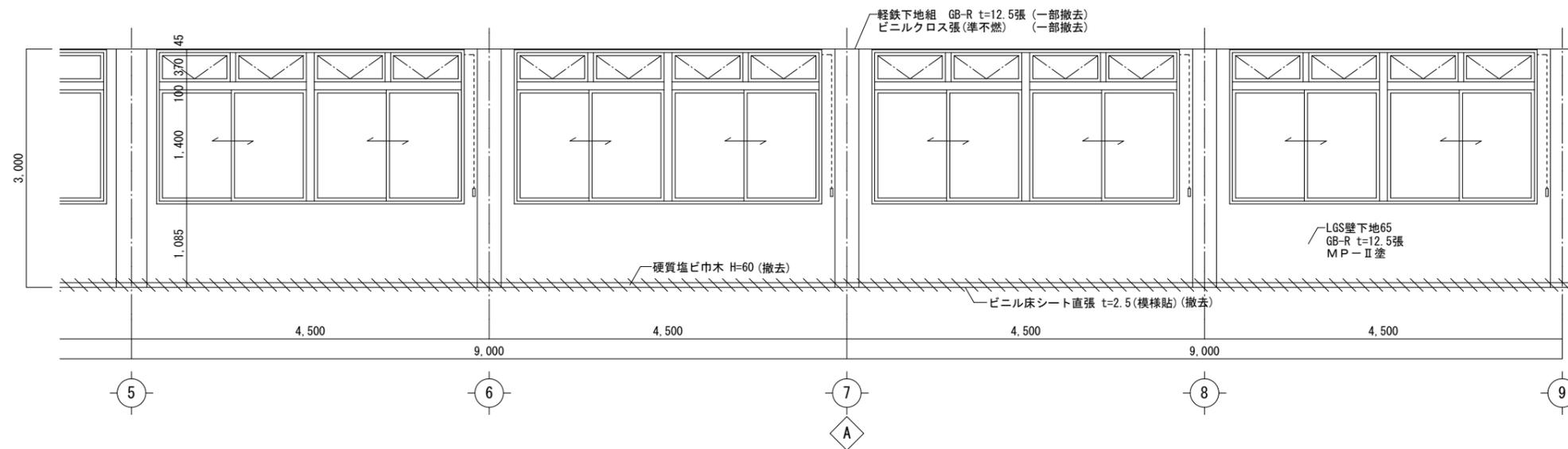


平面詳細図 S=1/50

凡例

室名	工事対象室を示す。		撤去範囲を示す。(下地共)		撤去範囲を示す。(仕上げのみ)		撤去範囲を示す。(捨張共)		カッター一切を示す。
----	-----------	--	---------------	--	-----------------	--	---------------	--	------------

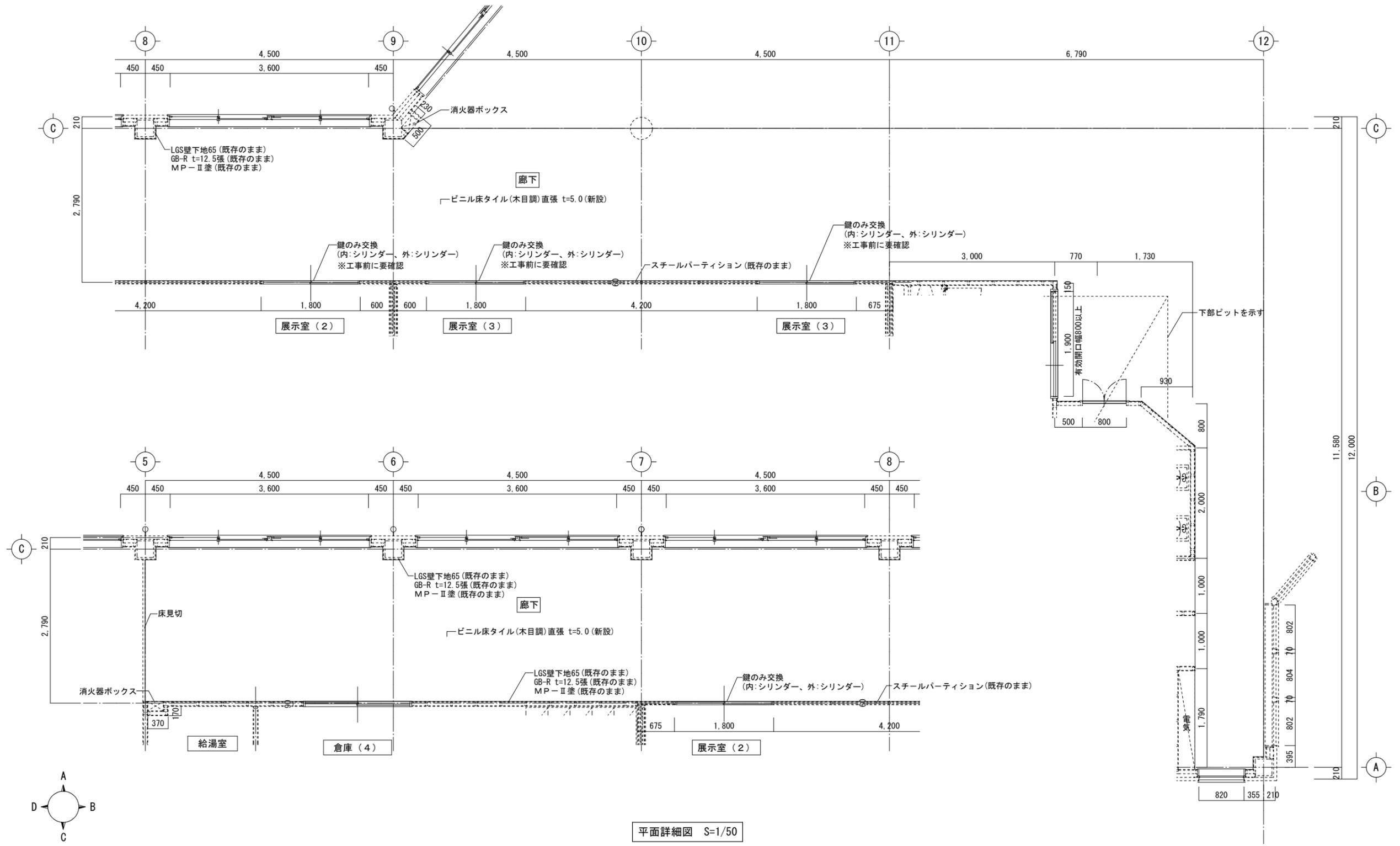
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	(改修前) 1階廊下 平面詳細図		A-55



凡例

室名	工事対象室を示す。	撤去範囲を示す。(下地共)	撤去範囲を示す。(仕上げのみ)	撤去範囲を示す。(捨張共)	カッター切を示す。
----	-----------	---------------	-----------------	---------------	-----------

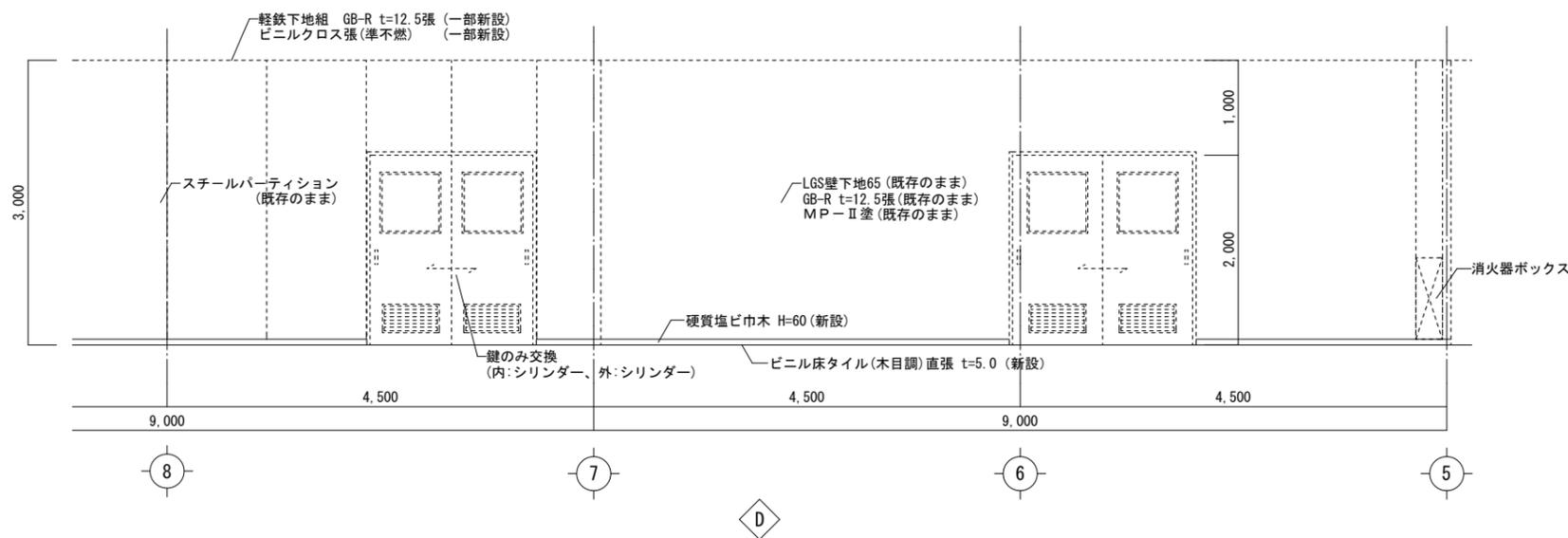
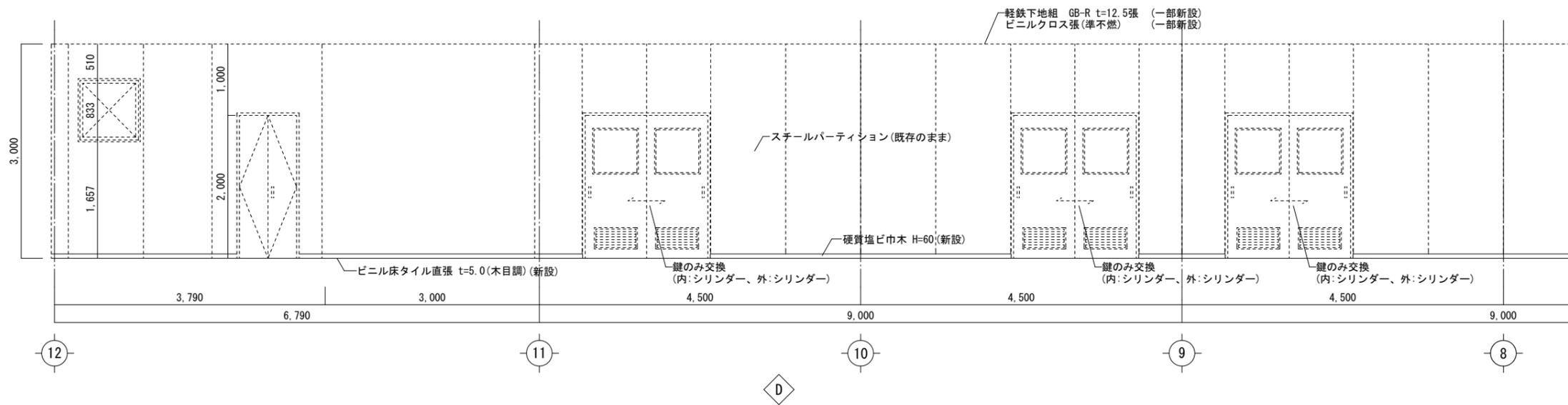
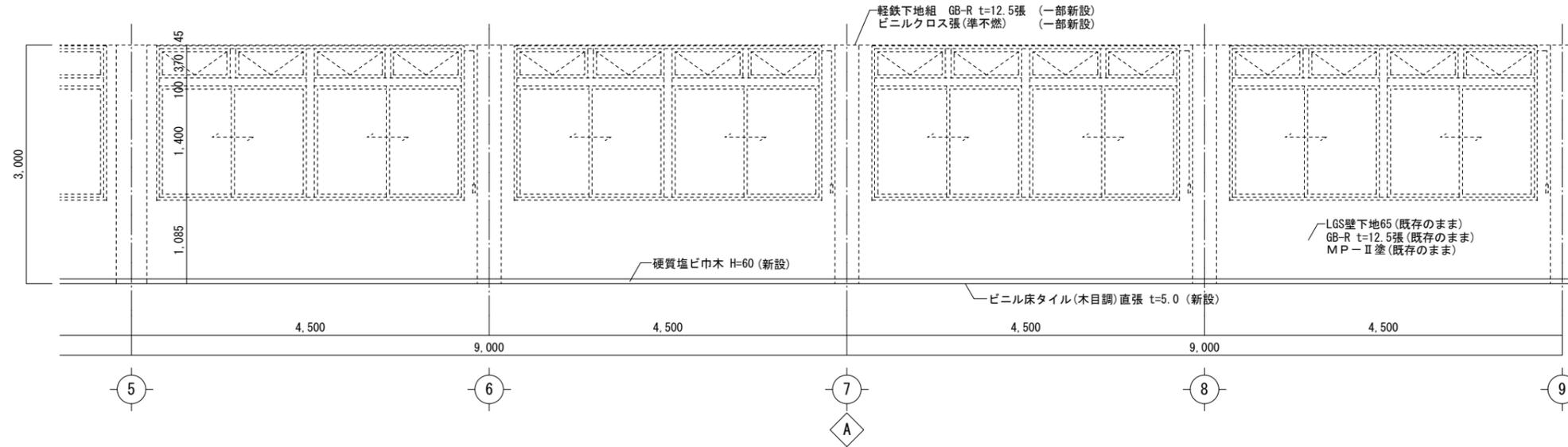
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	S=1/50	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	(改修前) 1階廊下 展開図			A-56



凡例

室名	工事対象室を示す。	改修範囲を示す。	既存範囲を示す。
----	-----------	----------	----------

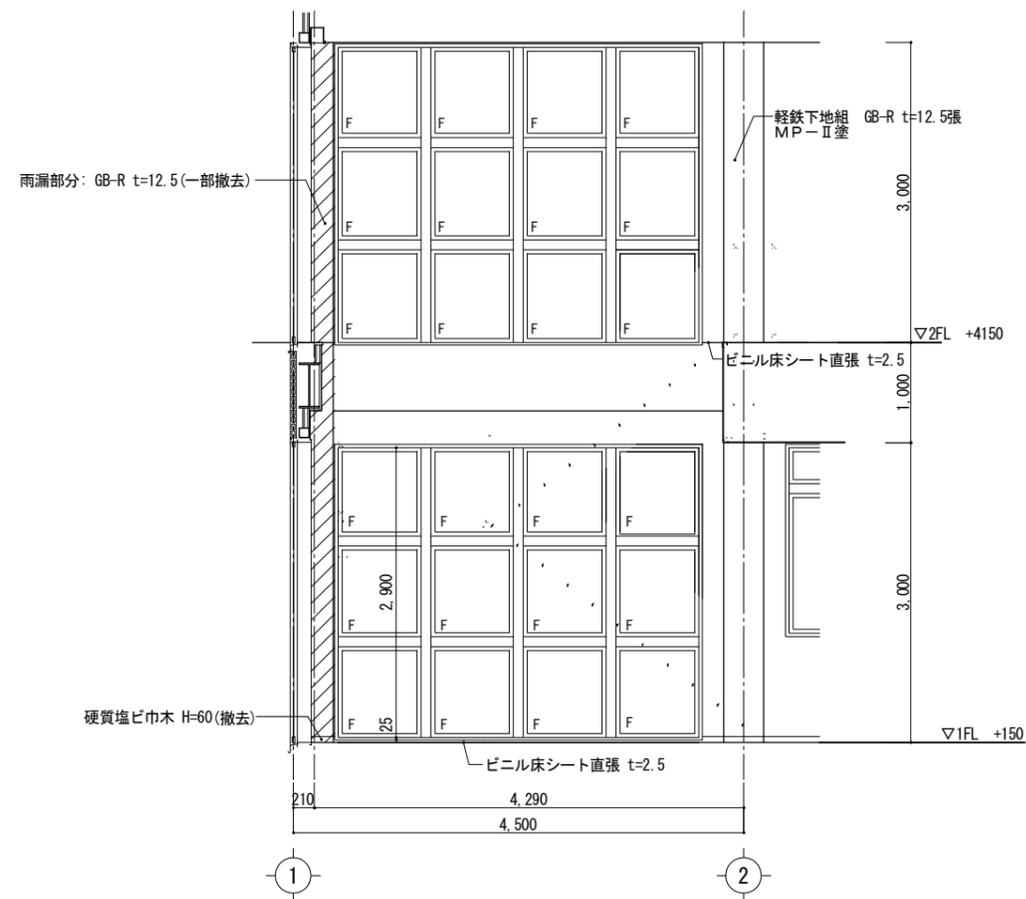
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	S=1/50		A-57
工事完成	年度										(改修後) 1階廊下 平面詳細図		



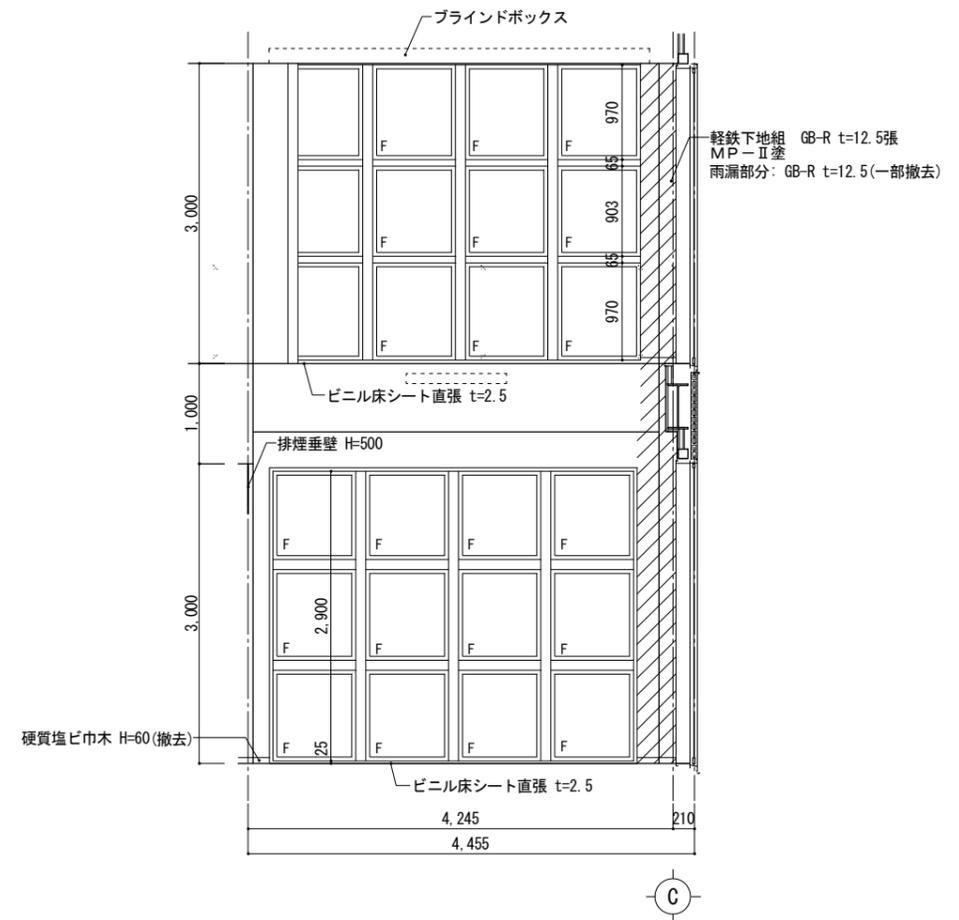
凡例

室名	工事対象室を示す。	改修範囲を示す。	既存範囲を示す。
----	-----------	----------	----------

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	S=1/50	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	(改修後) 1階廊下 展開図			A-58



A面

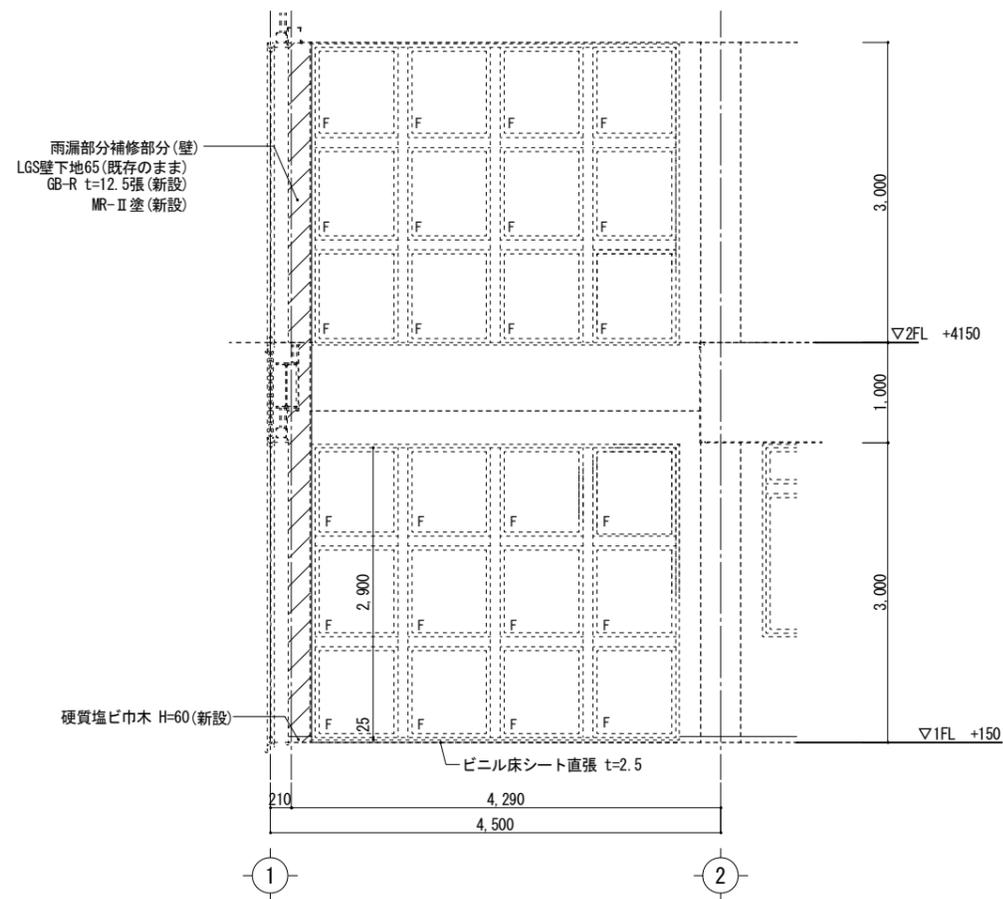


D面

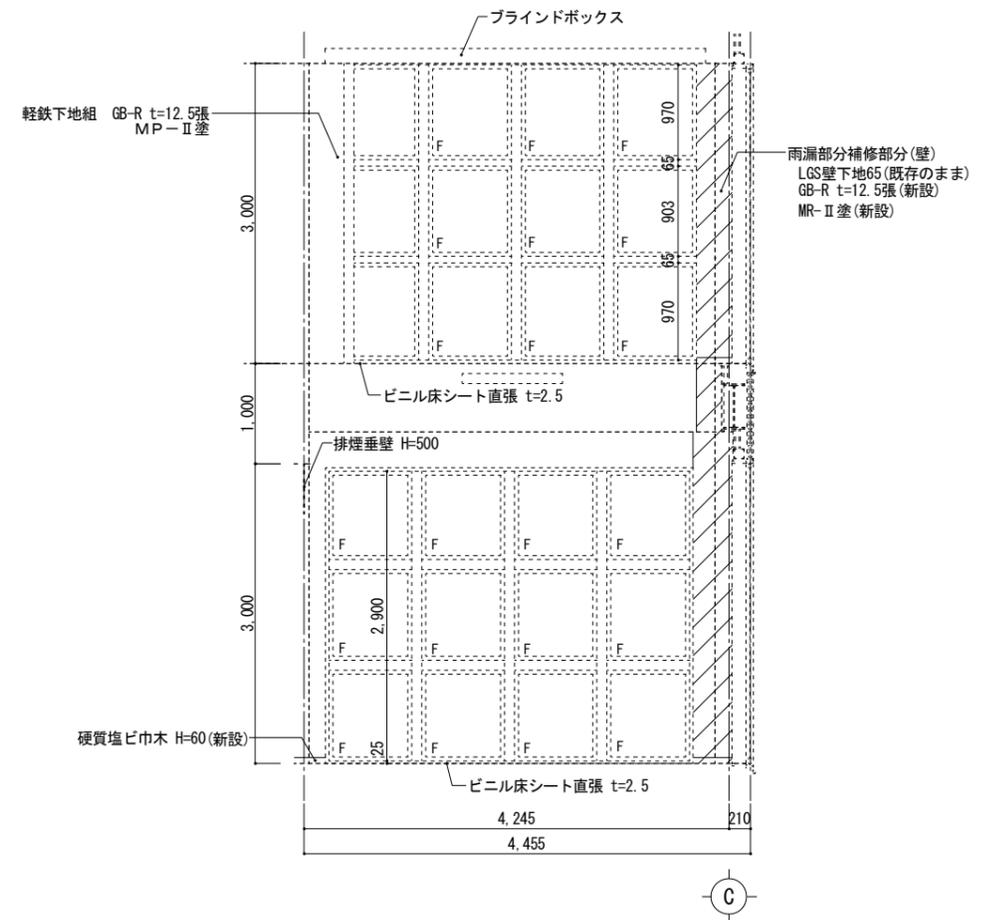
凡例

室名	工事対象室を示す。		撤去範囲を示す。(下地共)		撤去範囲を示す。(仕上げのみ)		撤去範囲を示す。(捨張共)		カッター切を示す。
----	-----------	--	---------------	--	-----------------	--	---------------	--	-----------

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	(改修前) 西側階段 展開図		A-59



A面

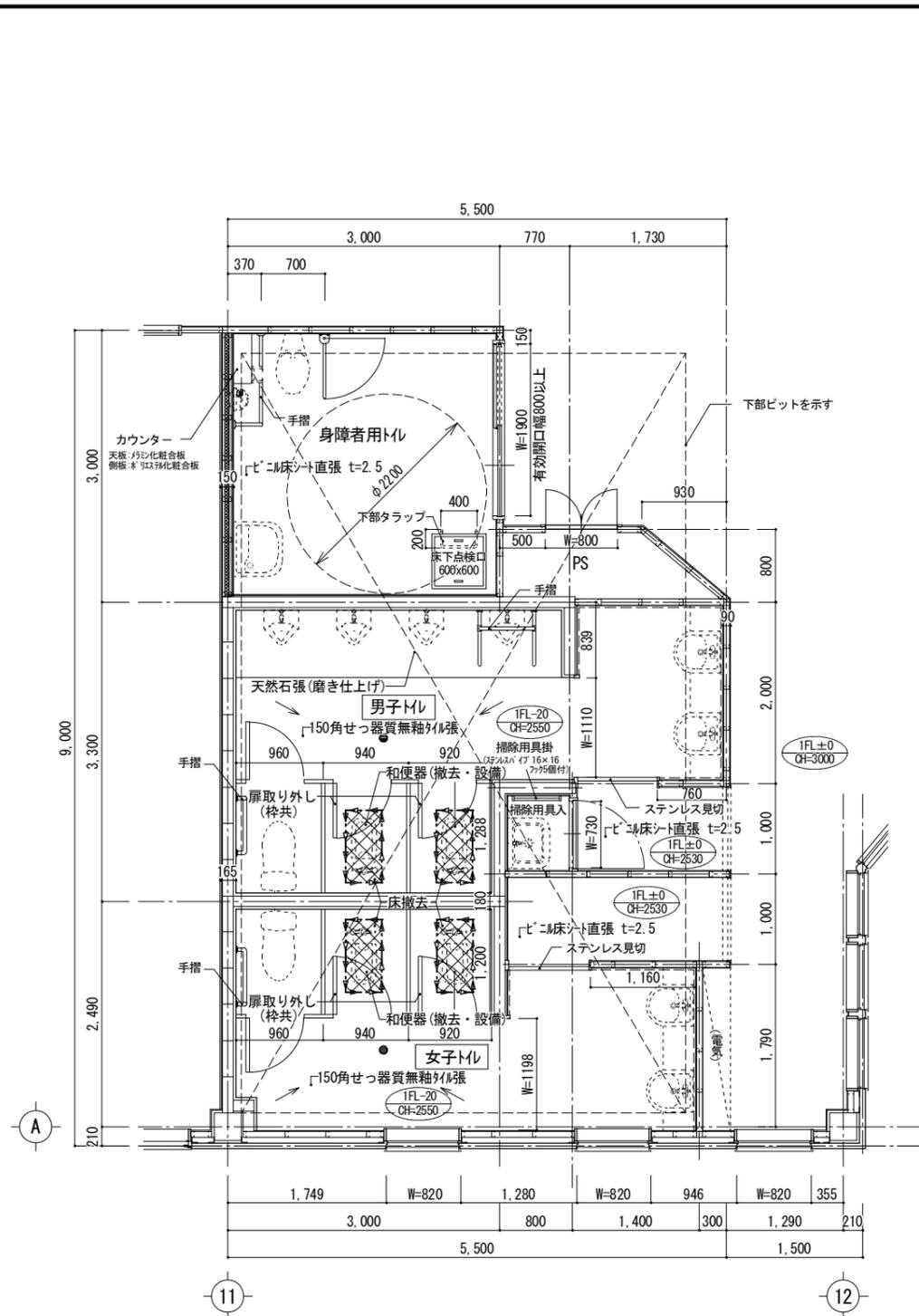


D面

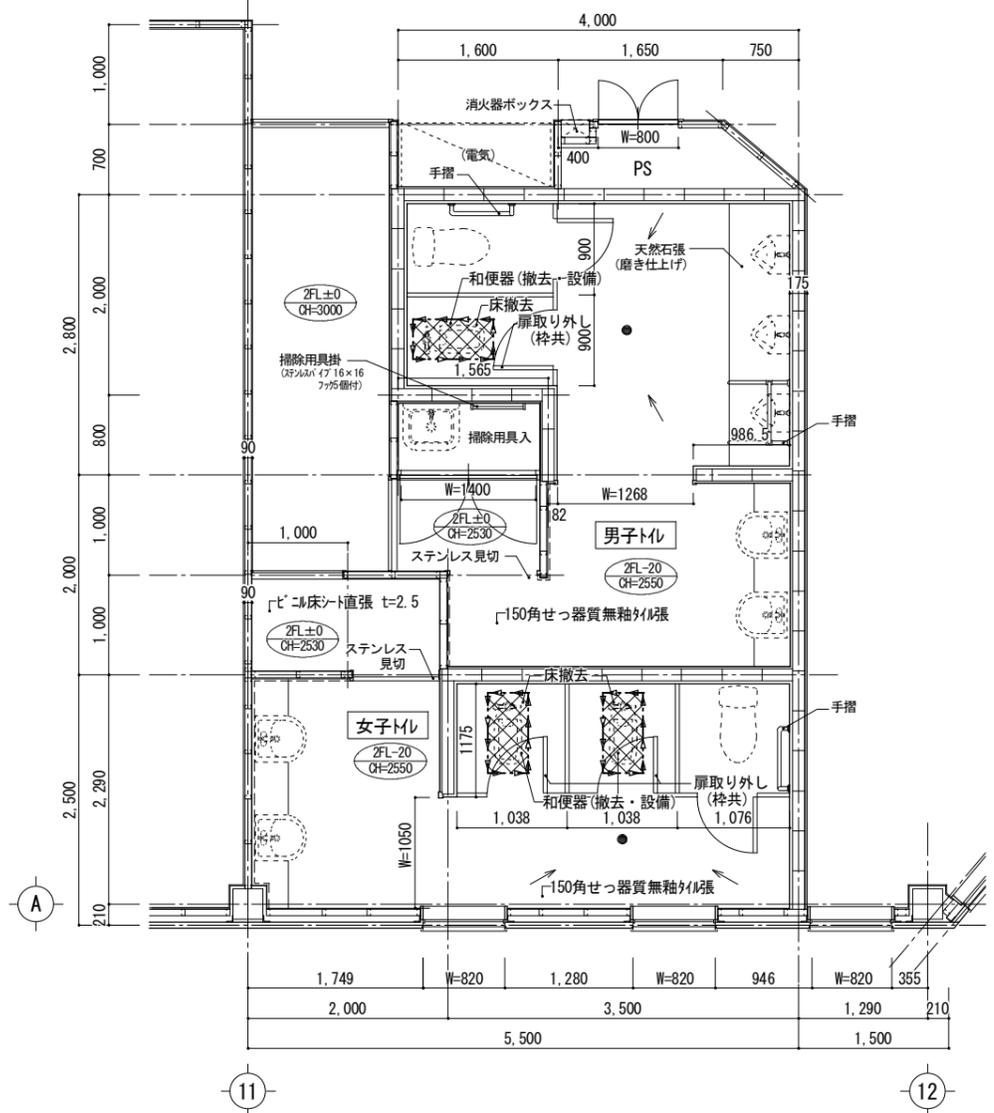
凡例

室名	工事対象室を示す。	———	改修範囲を示す。	-----	既存範囲を示す。
----	-----------	-----	----------	-------	----------

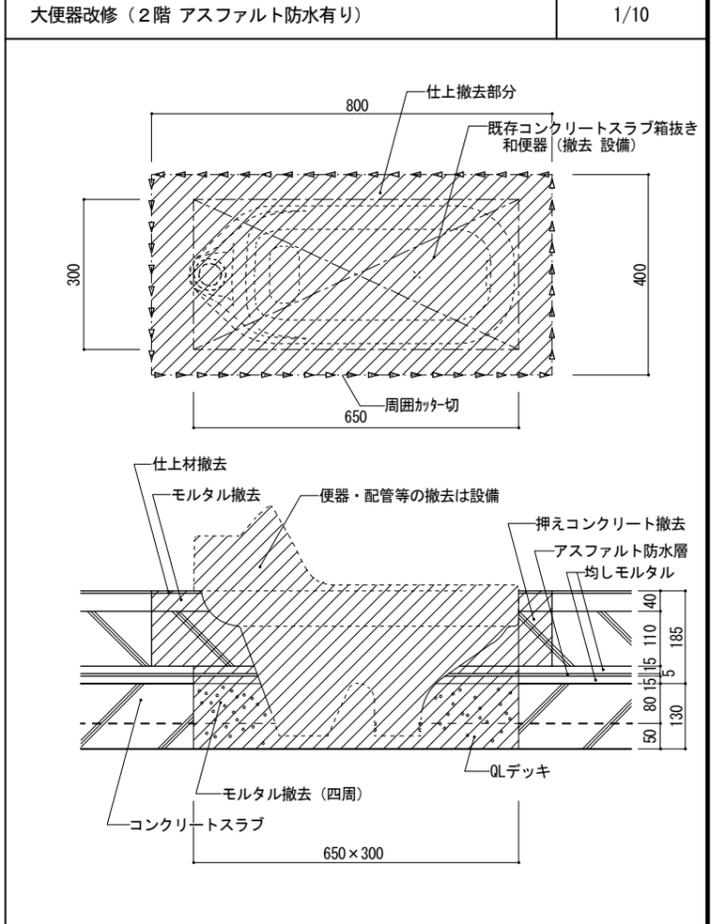
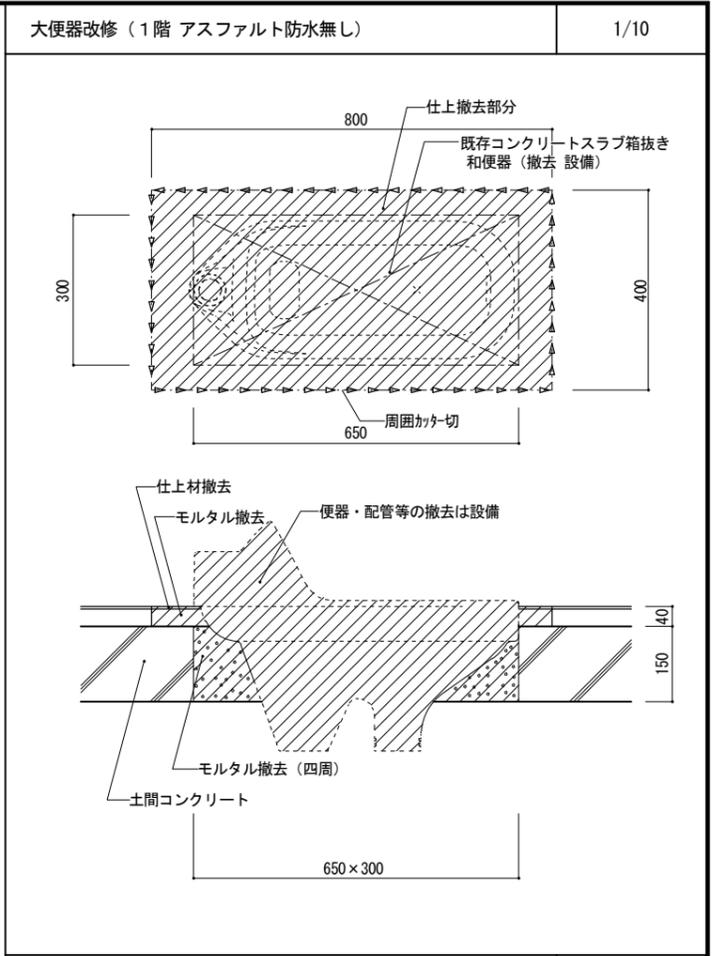
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	(改修後) 西側階段 展開図		A-60



1階平面詳細図 S=1/50



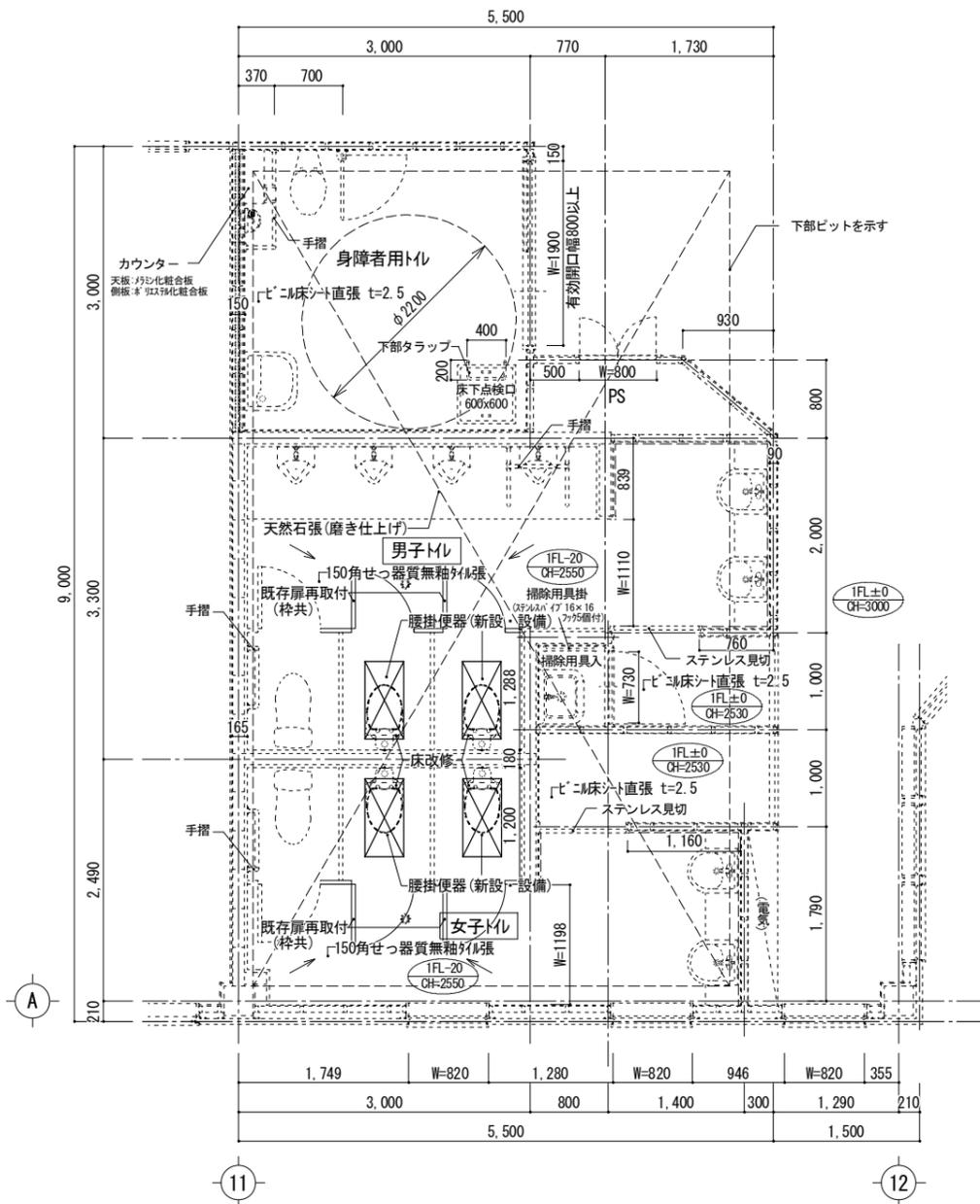
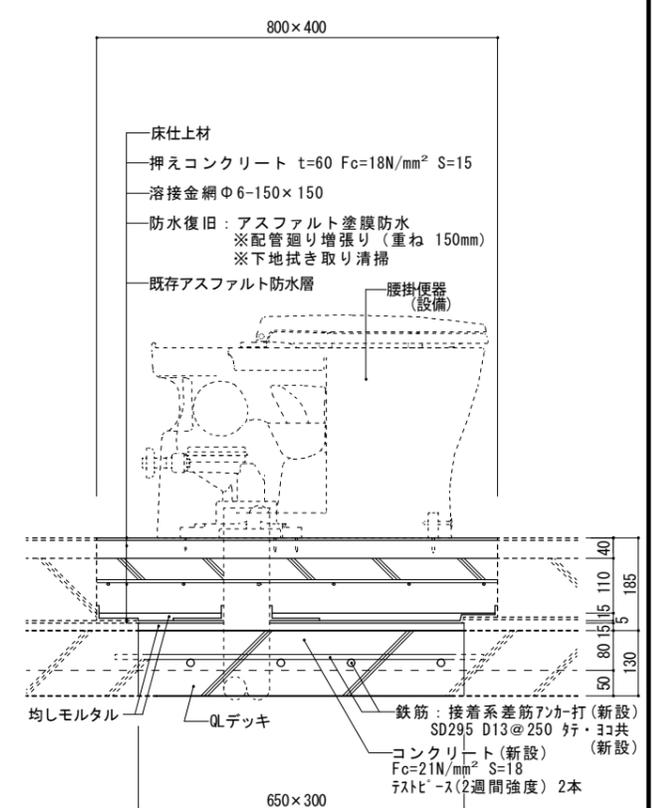
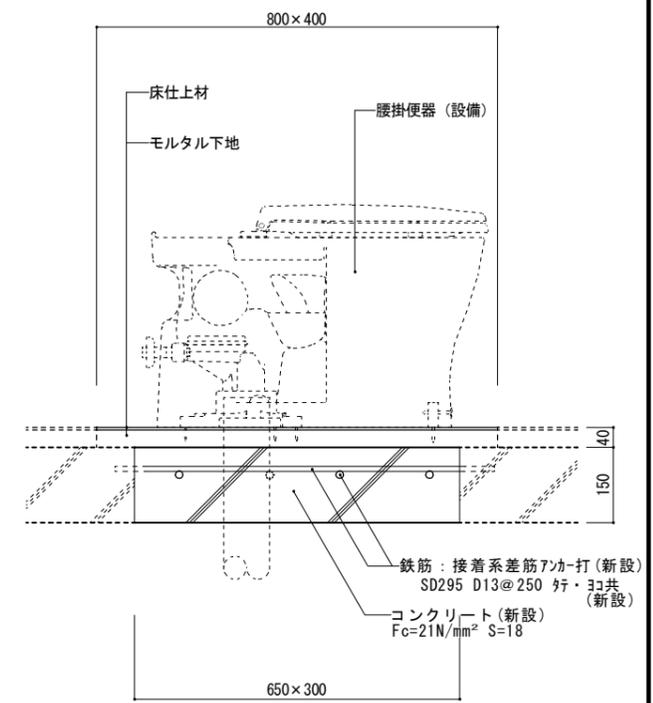
2階平面詳細図 S=1/50



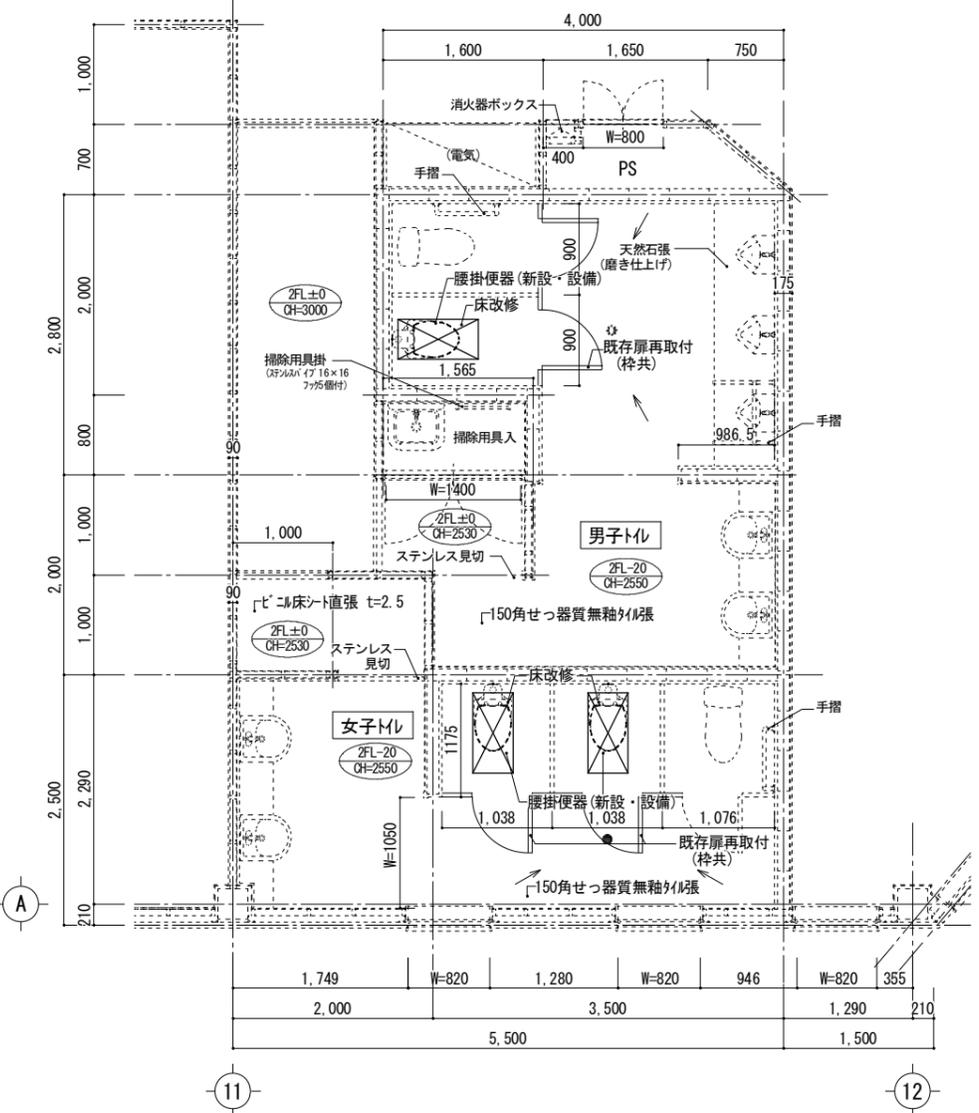
凡例

室名	工事対象室を示す。	撤去範囲を示す。(下地共)	撤去範囲を示す。(仕上げのみ)	撤去範囲を示す。(捨張共)	カッター切を示す。
----	-----------	---------------	-----------------	---------------	-----------

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50・1/10 (A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	(改修前) 1階・2階トイレ 平面詳細図・部分詳細図	A-61



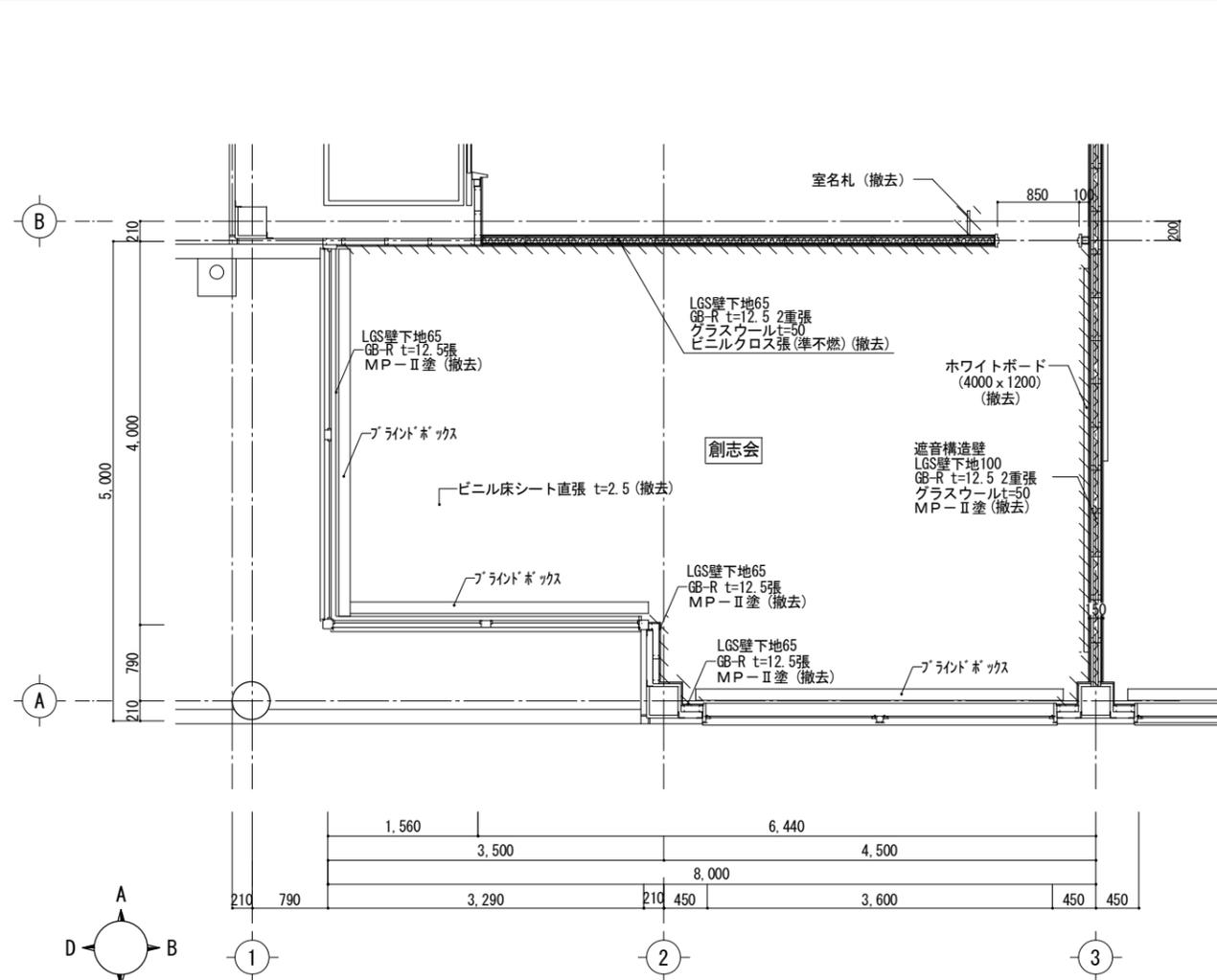
1階平面詳細図 S=1/50



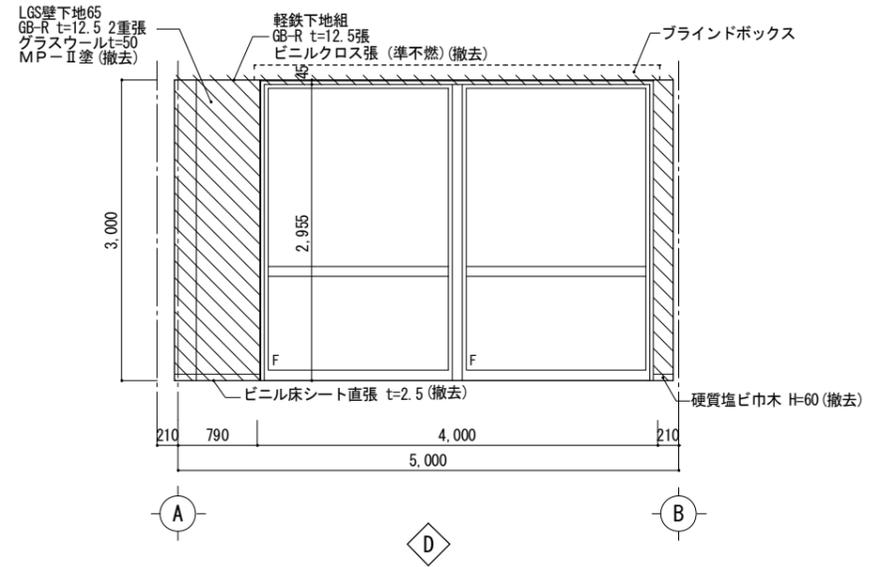
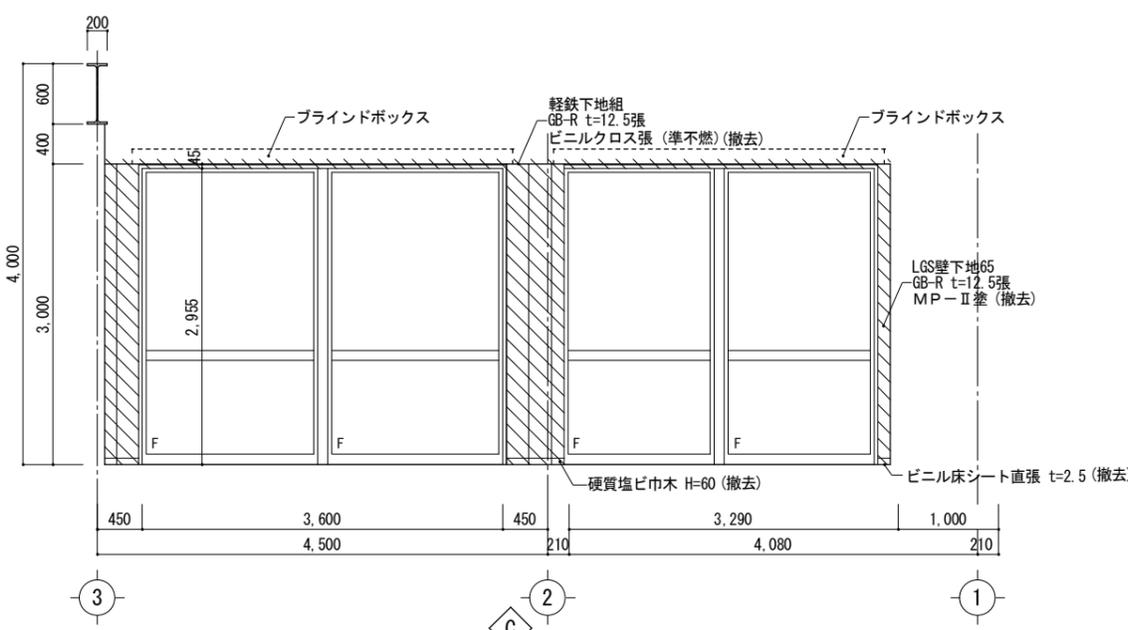
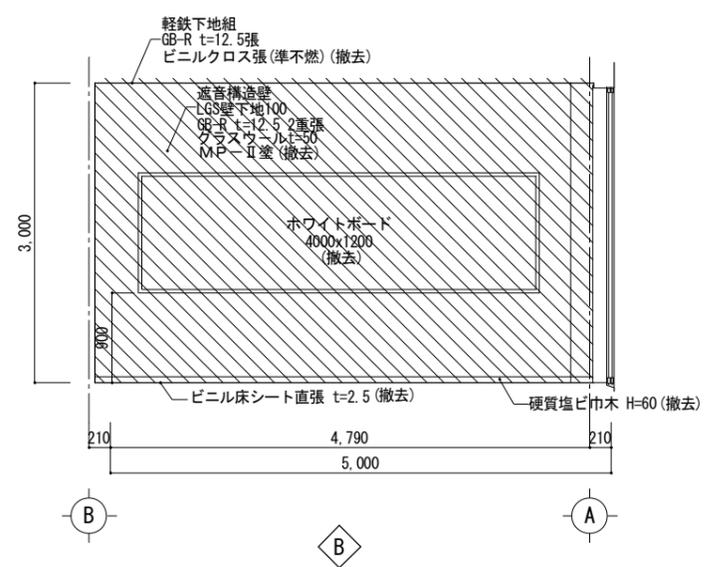
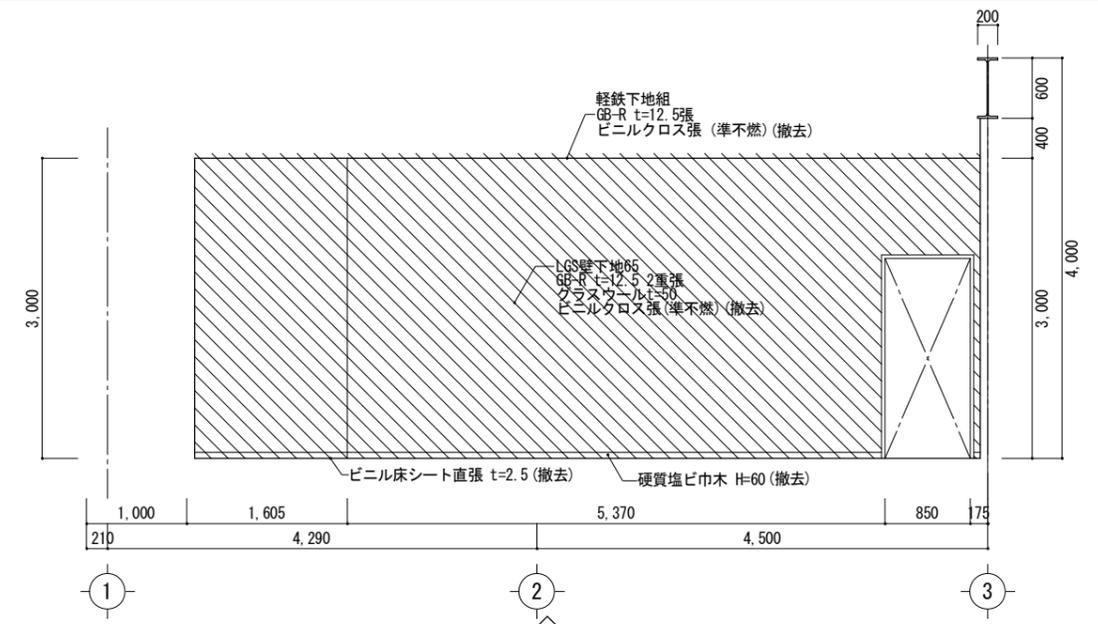
2階平面詳細図 S=1/50

凡例

室名	工事対象室を示す。	改修範囲を示す。	既存範囲を示す。
----	-----------	----------	----------



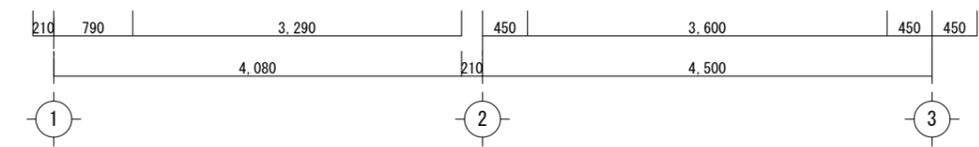
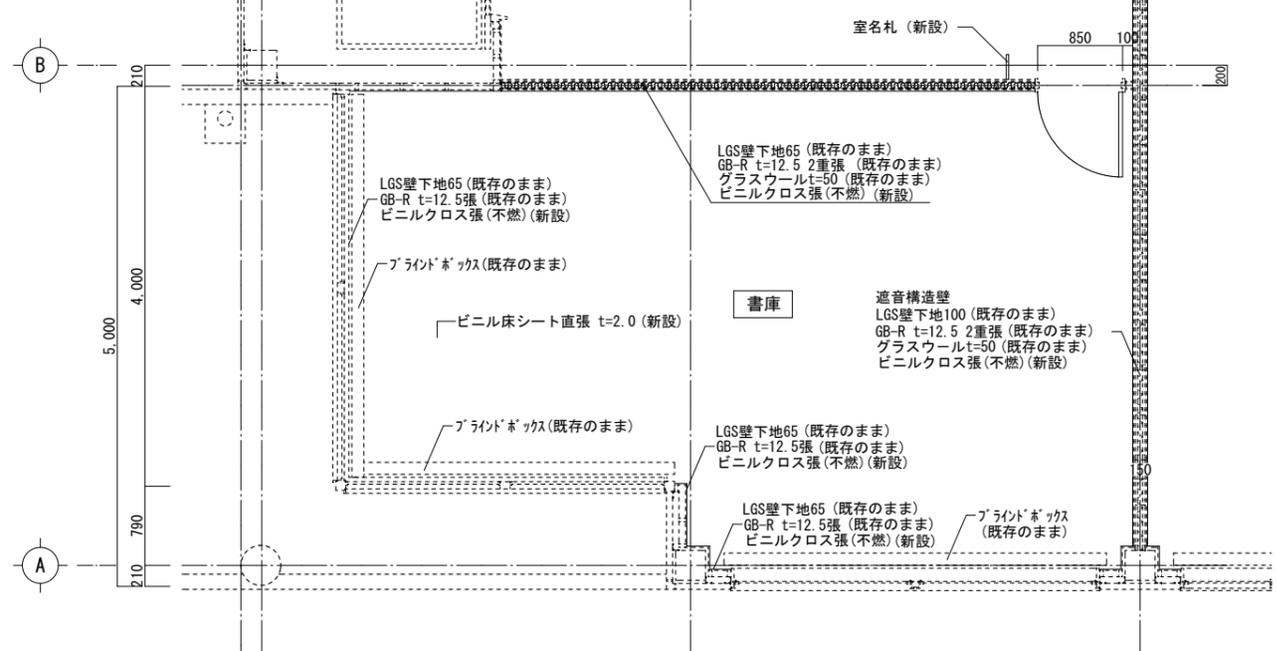
平面詳細図 S=1/50



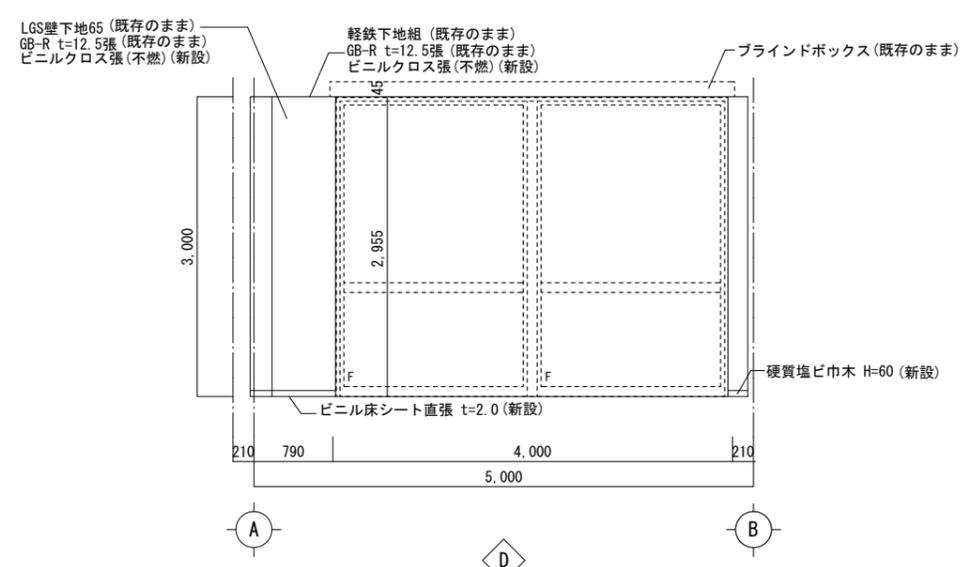
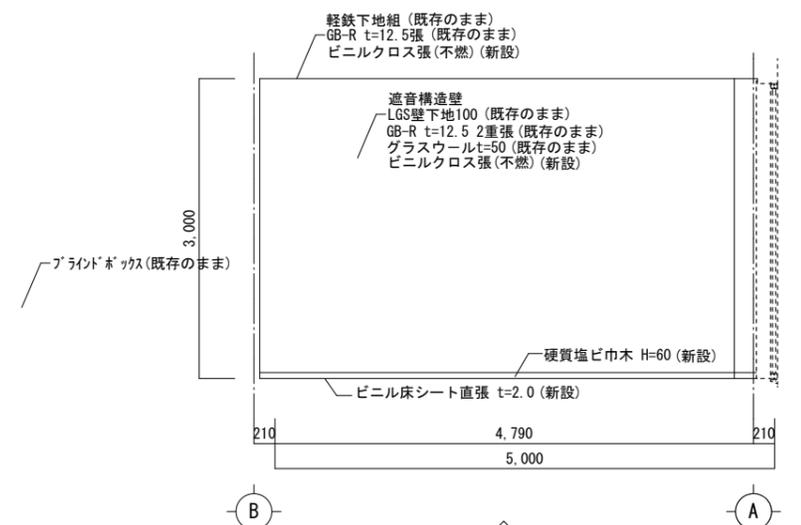
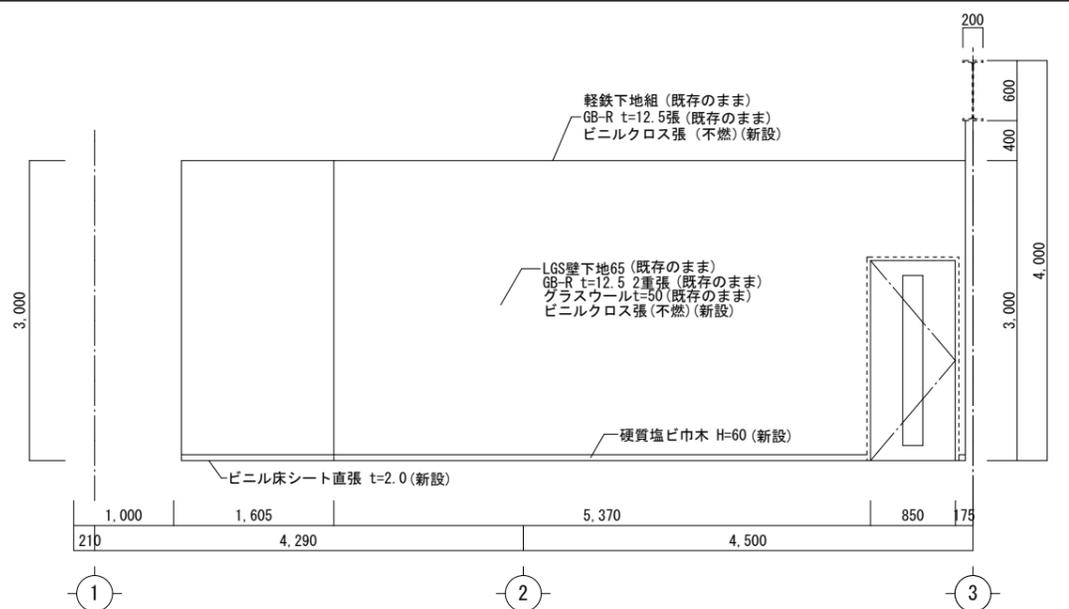
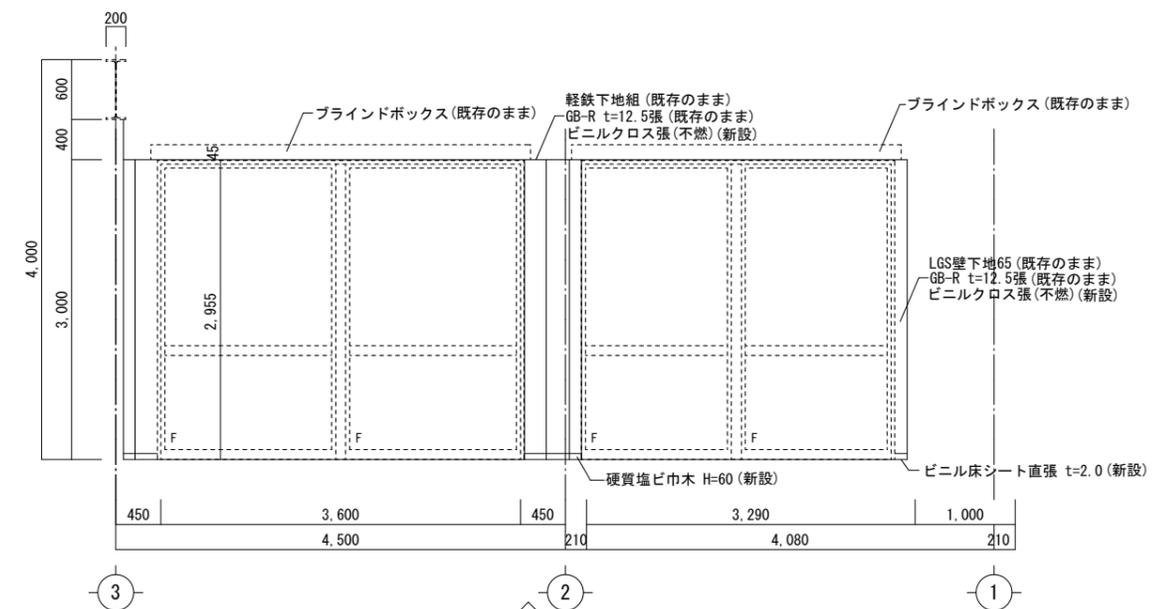
凡例

室名	工事対象室を示す。	撤去範囲を示す。(下地共)	撤去範囲を示す。(仕上げのみ)	撤去範囲を示す。(捨張共)	カッター切を示す。
----	-----------	---------------	-----------------	---------------	-----------

事業年度 令和 年度	設計 令和 年月	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	図面名称・縮尺 S=1/50 (改修前) 創志会 平面詳細図・展開図	(A3版-71%縮小) 図番 A-63
---------------	-------------	-----------	---	---	---	----	----	----	-----	--	--	------------------------



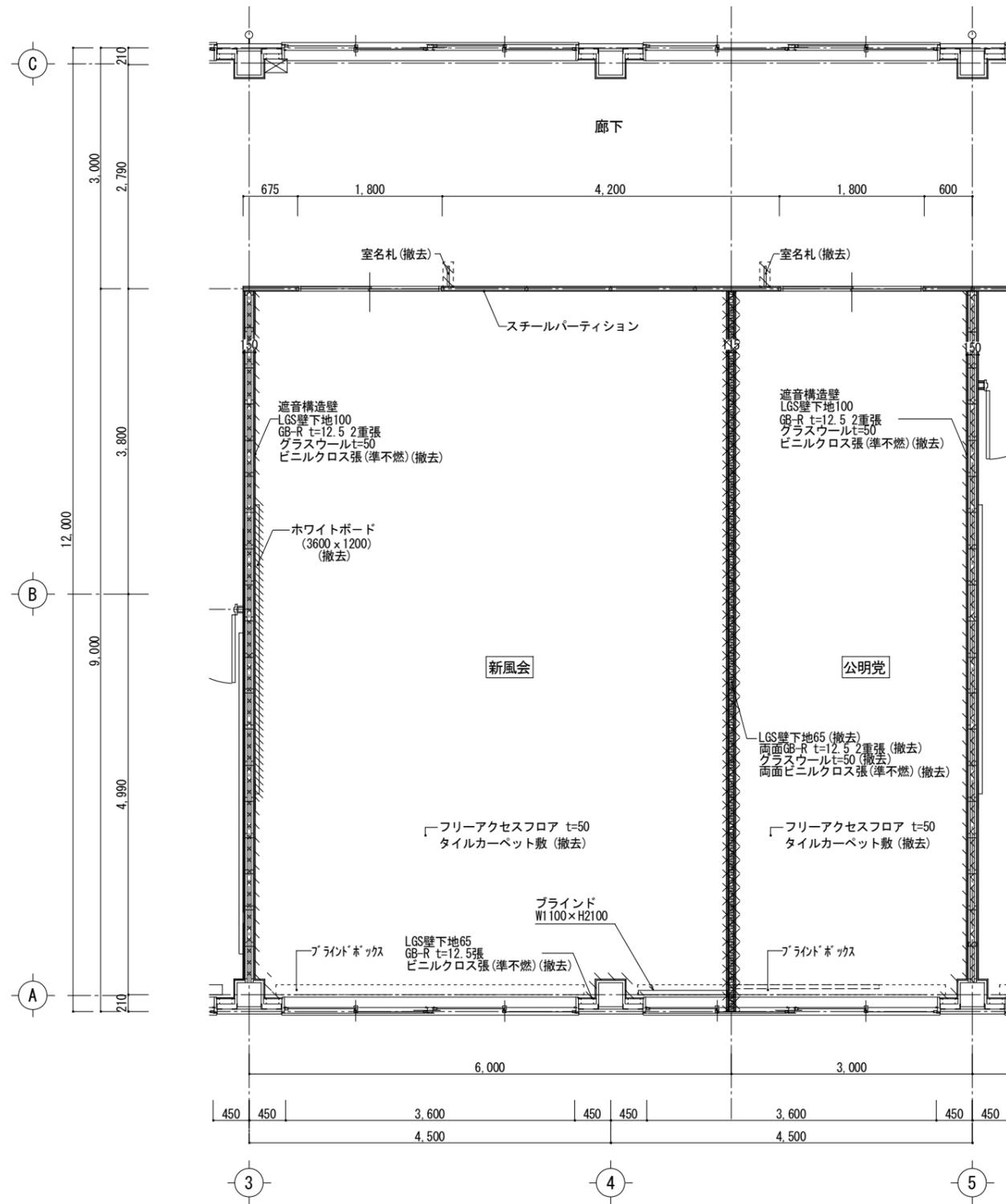
平面詳細図 S=1/50



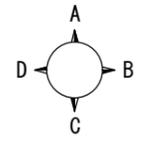
凡例

室名	工事対象室を示す。	改修範囲を示す。	既存範囲を示す。
----	-----------	----------	----------

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松 靖之	S=1/50		A-64



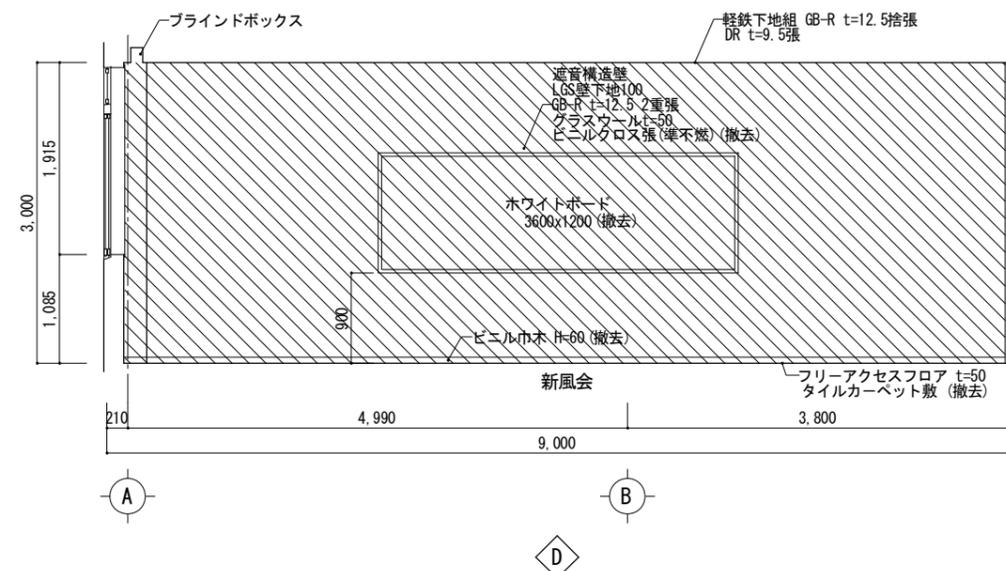
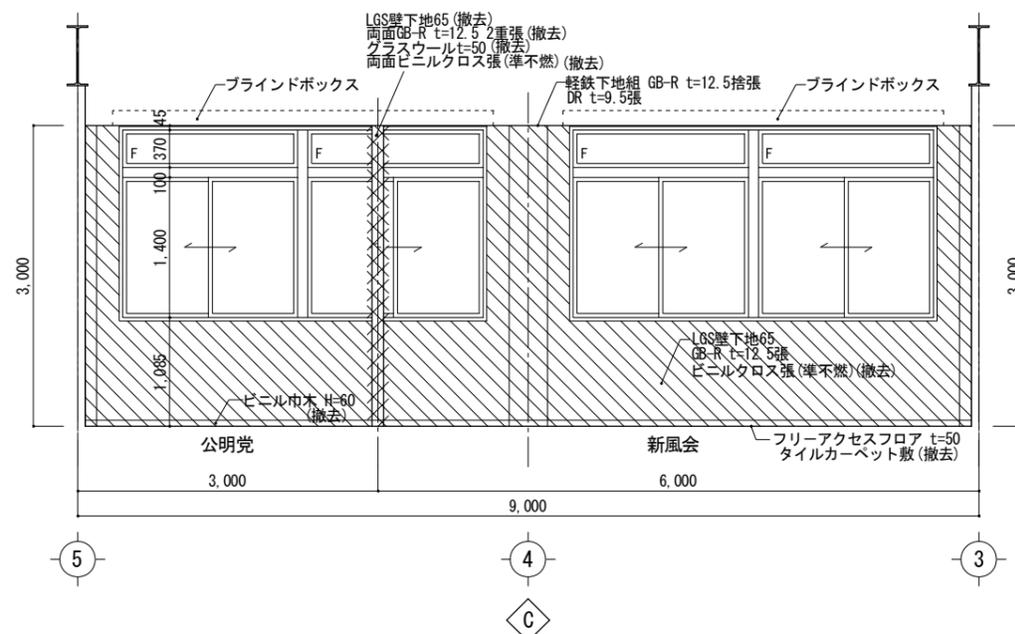
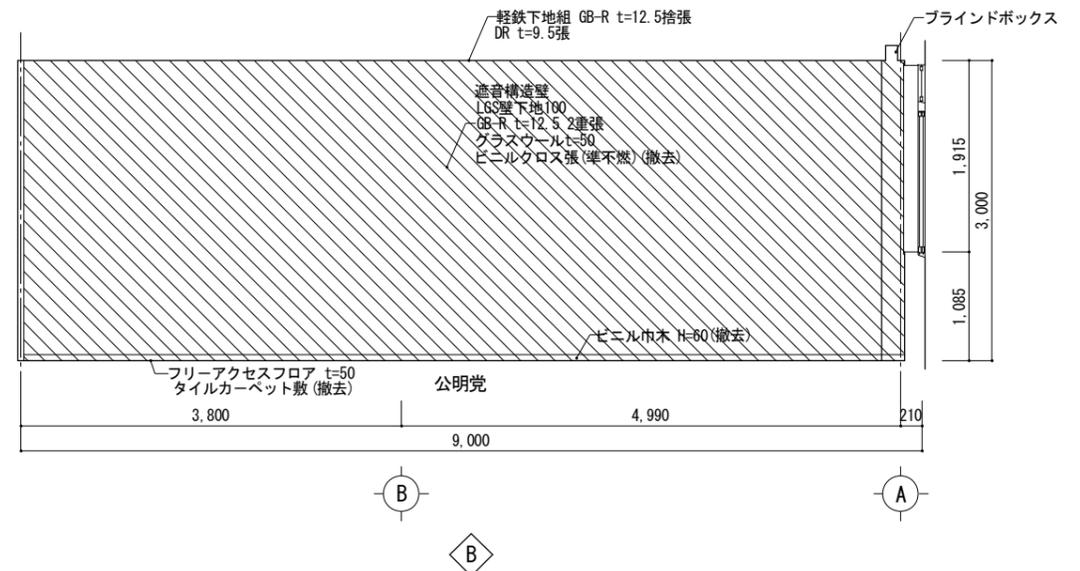
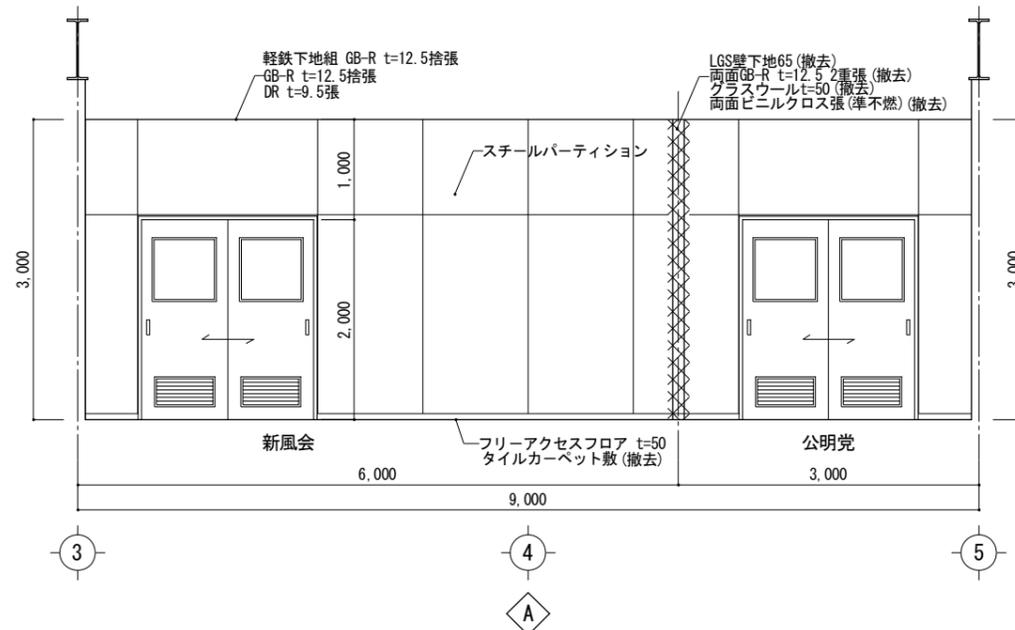
平面詳細図 S=1/50



凡例

室名	工事対象室を示す。	撤去範囲を示す。(下地共)	撤去範囲を示す。(仕上げのみ)	撤去範囲を示す。(捨張共)	カッター切を示す。
----	-----------	---------------	-----------------	---------------	-----------

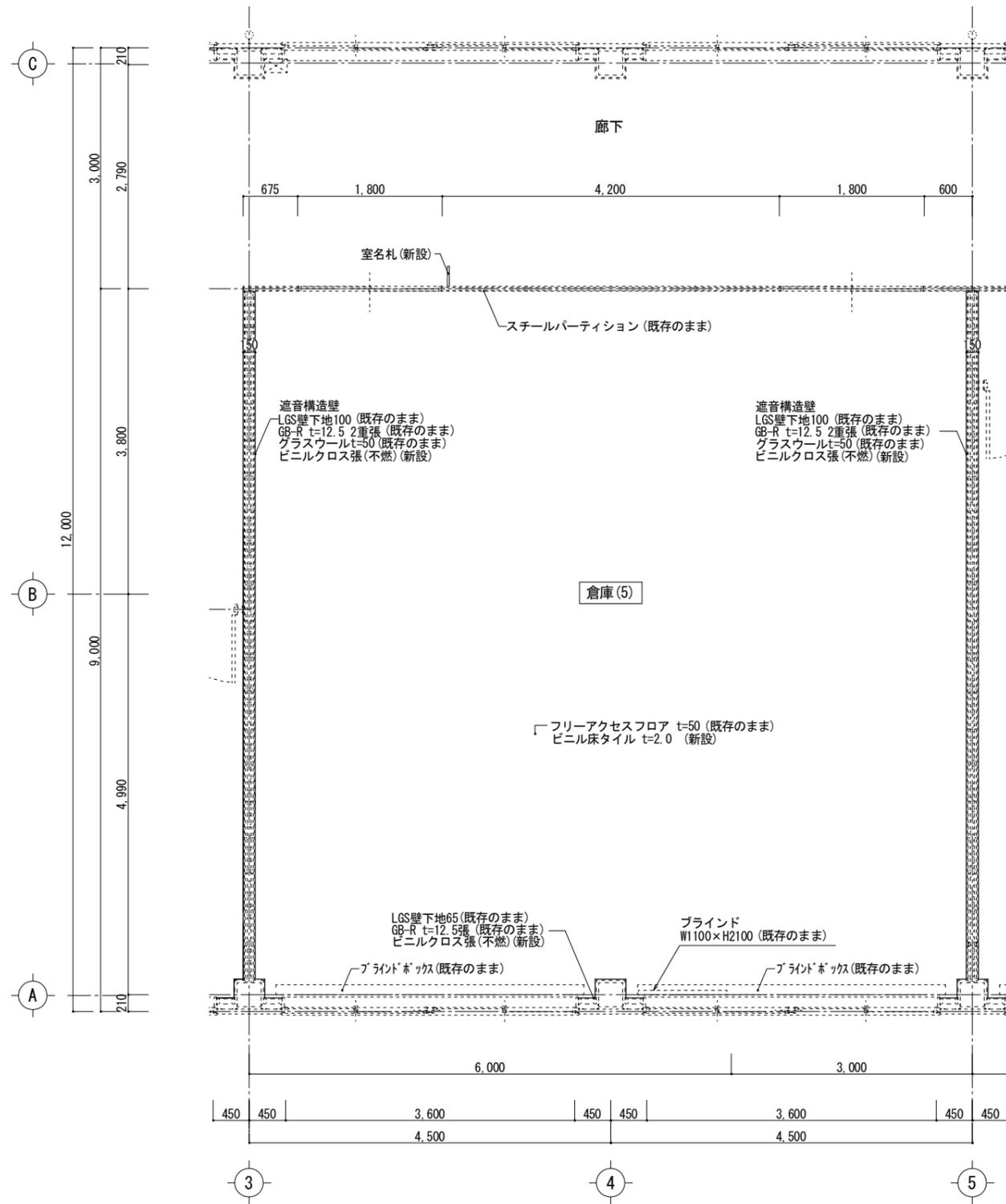
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	(改修前) 新風会・公明党 平面詳細図		A-65



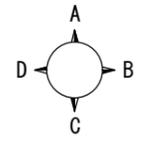
凡例

室名	工事対象室を示す。	撤去範囲を示す。(下地共)	撤去範囲を示す。(仕上げのみ)	撤去範囲を示す。(捨張共)	カッター切を示す。
----	-----------	---------------	-----------------	---------------	-----------

事業年度 年度 令和 年月	設計 三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類 建築	工事名 元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	図面名称・縮尺 S=1/50 (改修前)新風会・公明党 展開図	(A3版-71%縮小) 図番 A-66
---------------------	-----------------	---	---	---	----	----	----------	---------------------------------	--	---------------------------------------	------------------------



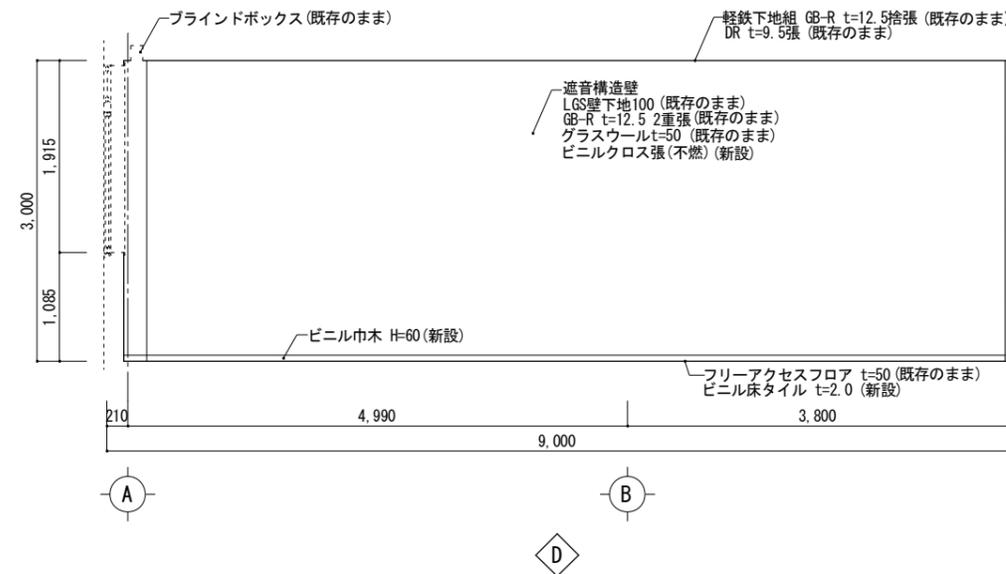
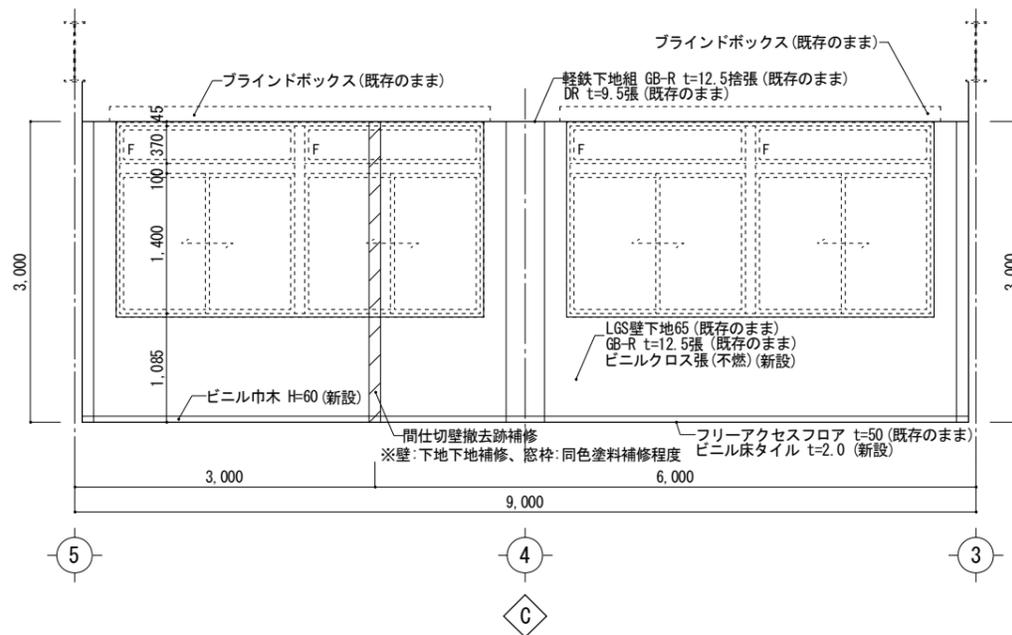
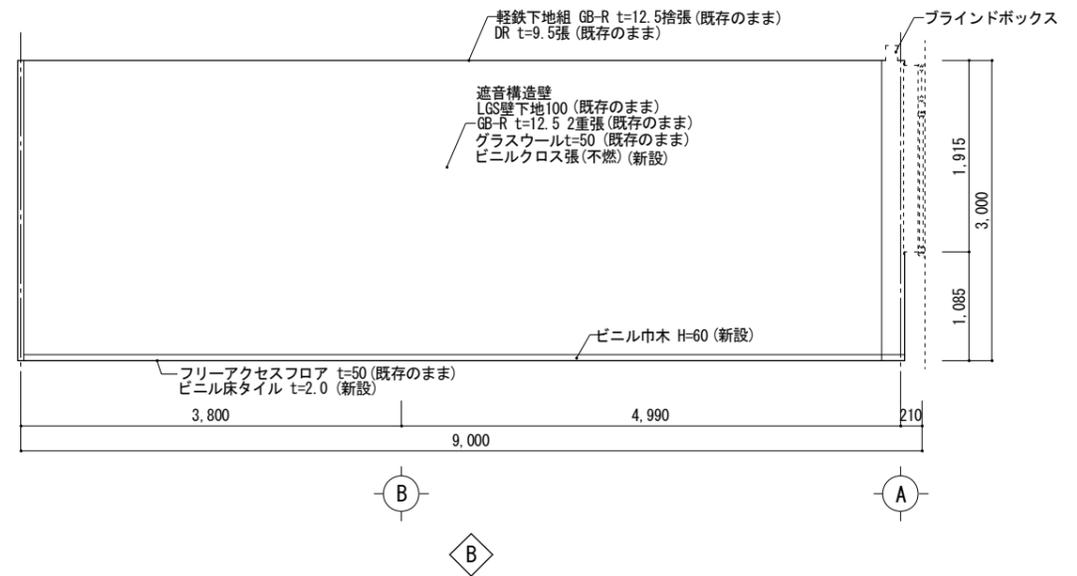
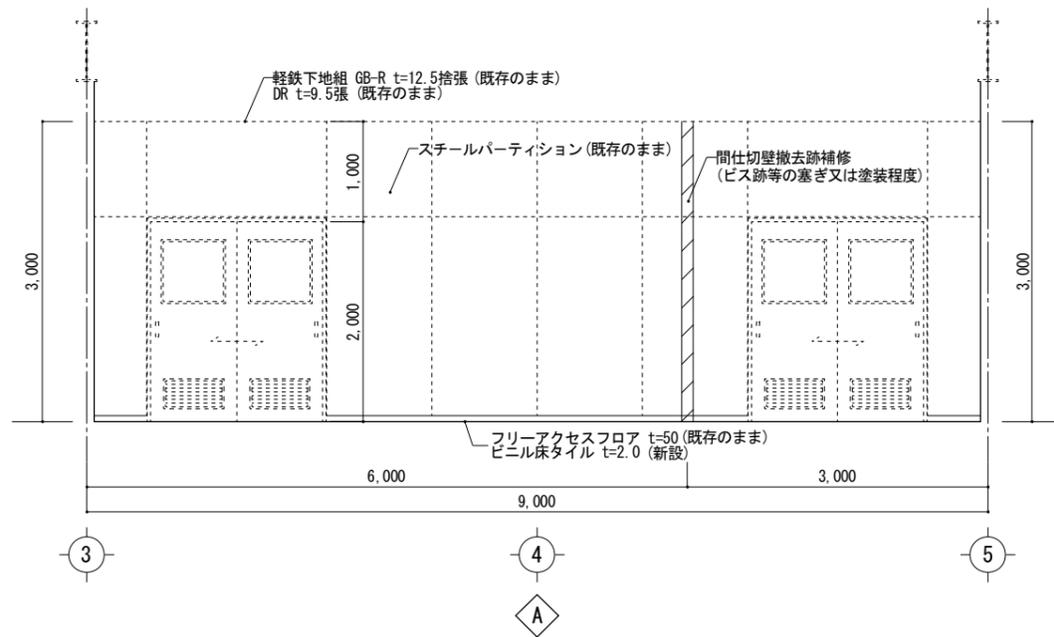
平面詳細図 S=1/50



凡例

室名	工事対象室を示す。	改修範囲を示す。	既存範囲を示す。
----	-----------	----------	----------

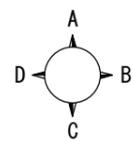
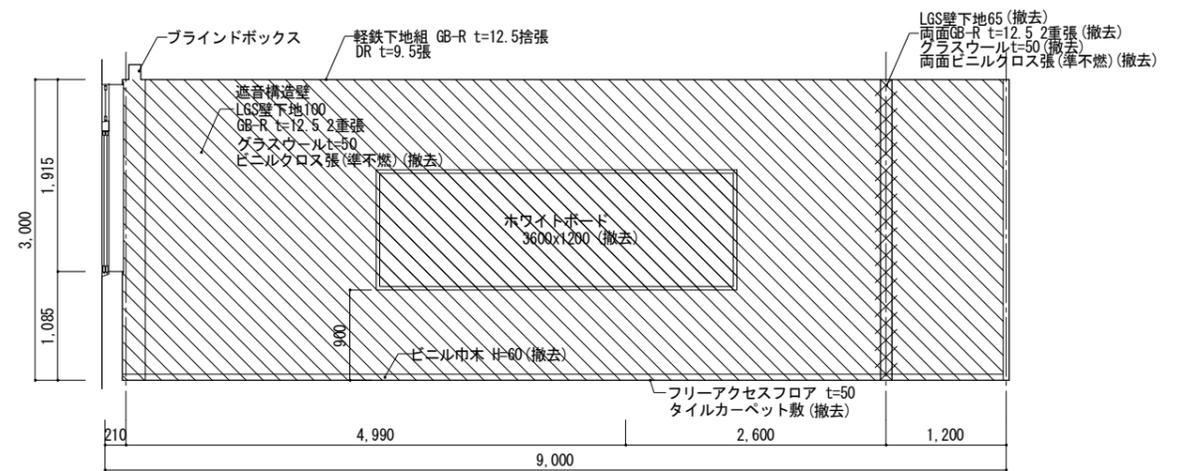
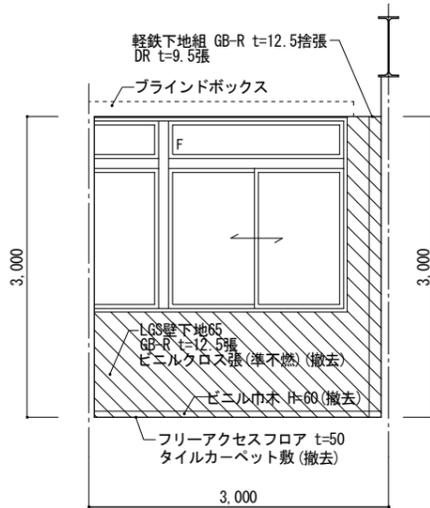
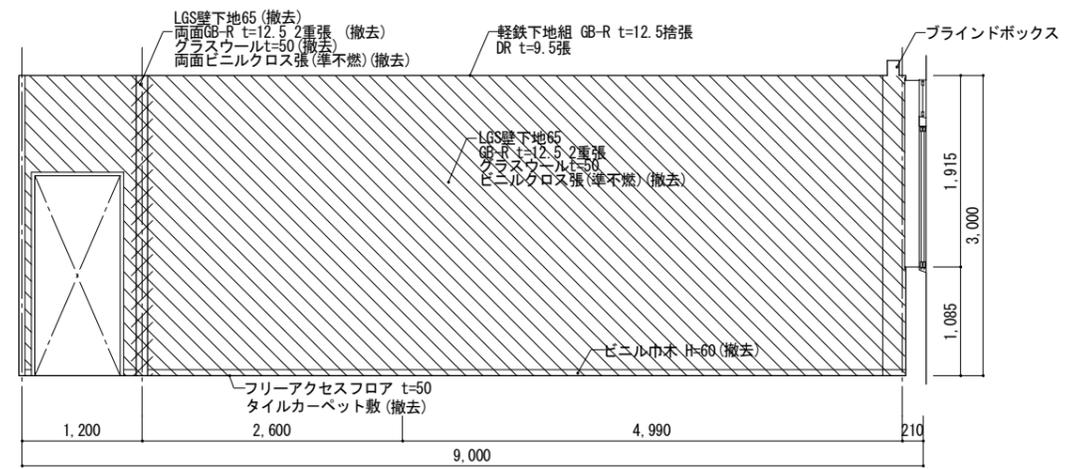
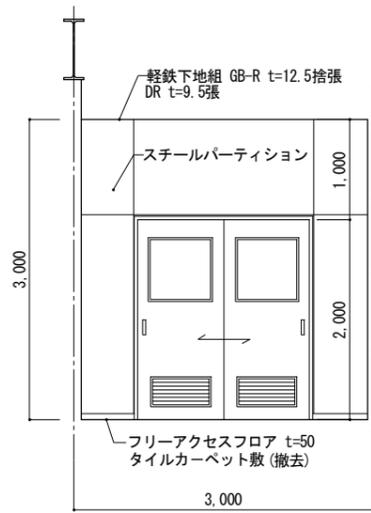
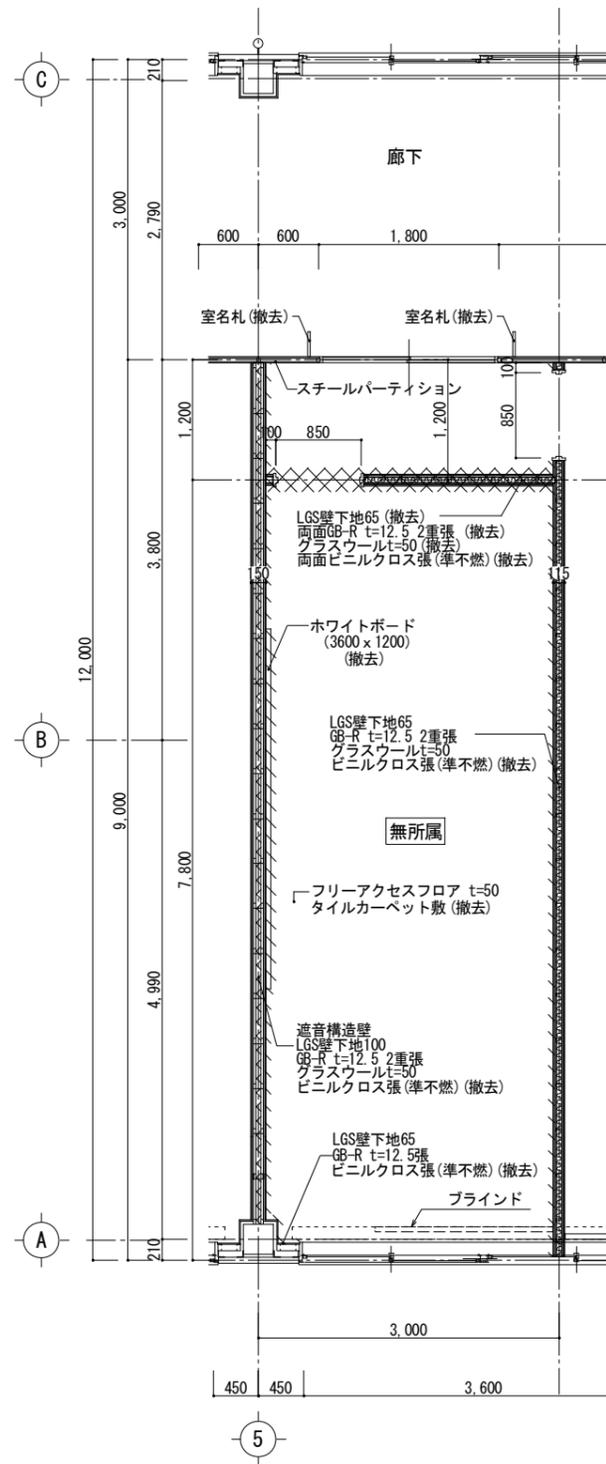
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	(改修後) 倉庫(5) 平面詳細図		A-67



凡例

室名	工事対象室を示す。	改修範囲を示す。	既存範囲を示す。
----	-----------	----------	----------

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	三原市都市部建築課 (改修後) 倉庫 (5) 展開図		A-68

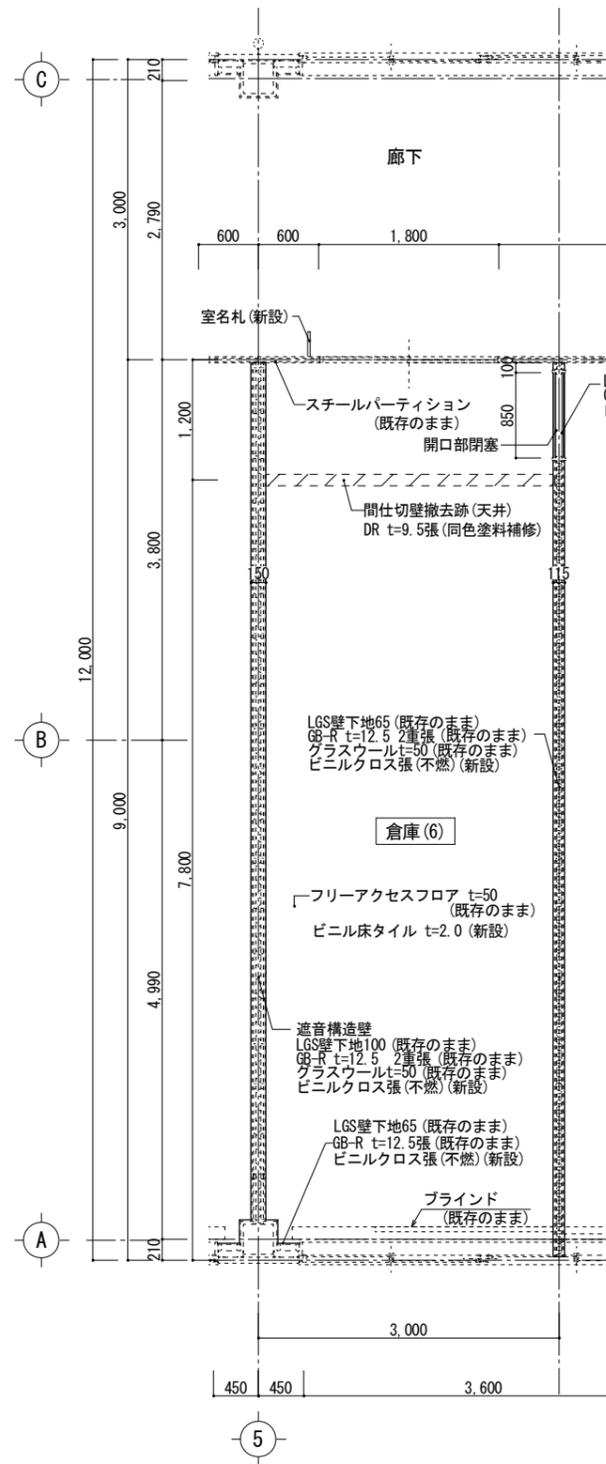


平面詳細図 S=1/50

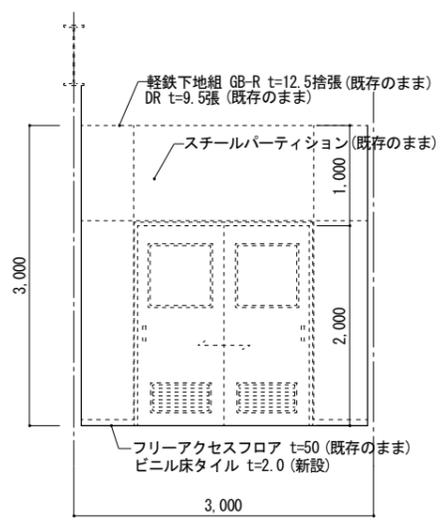
凡例

室名	工事対象室を示す。	撤去範囲を示す。(下地共)	撤去範囲を示す。(仕上げのみ)	撤去範囲を示す。(捨張共)	カッター切を示す。
----	-----------	---------------	-----------------	---------------	-----------

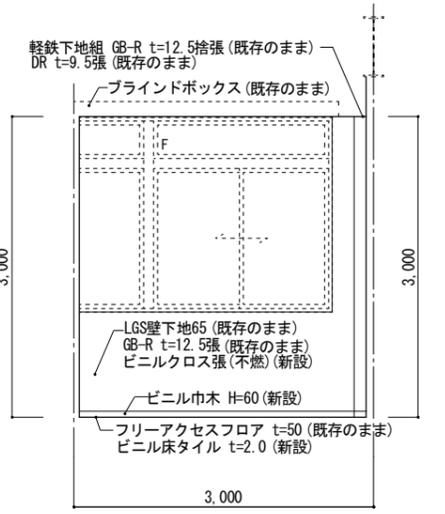
事業年度 年度 令和 年月	設計 三原市都市部建築課	大 中 小	地域	施設	種類 建築	工事名 元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	図面名称・縮尺 S=1/50 (改修前) 無所属 平面詳細図・展開図	(A3版-71%縮小) 図番 A-69
---------------------	-----------------	-------------	----	----	----------	---------------------------------	--	--	------------------------



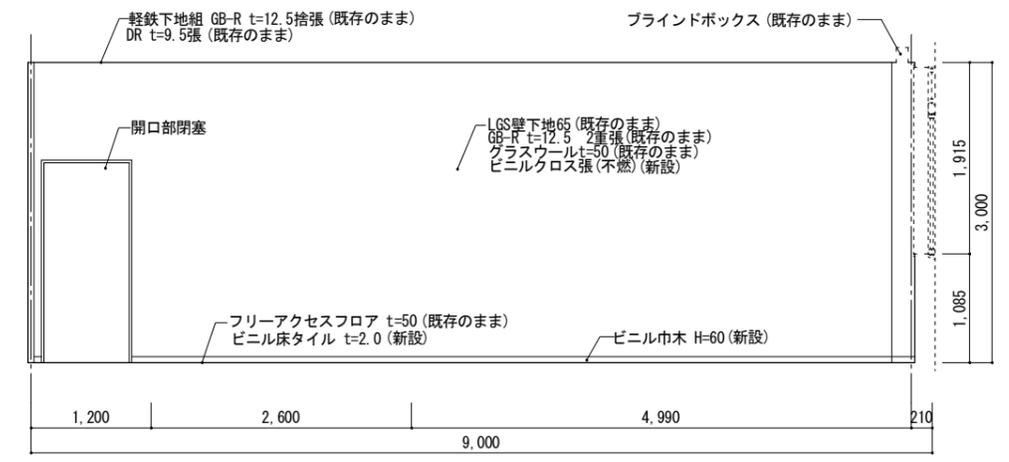
平面詳細図 S=1/50



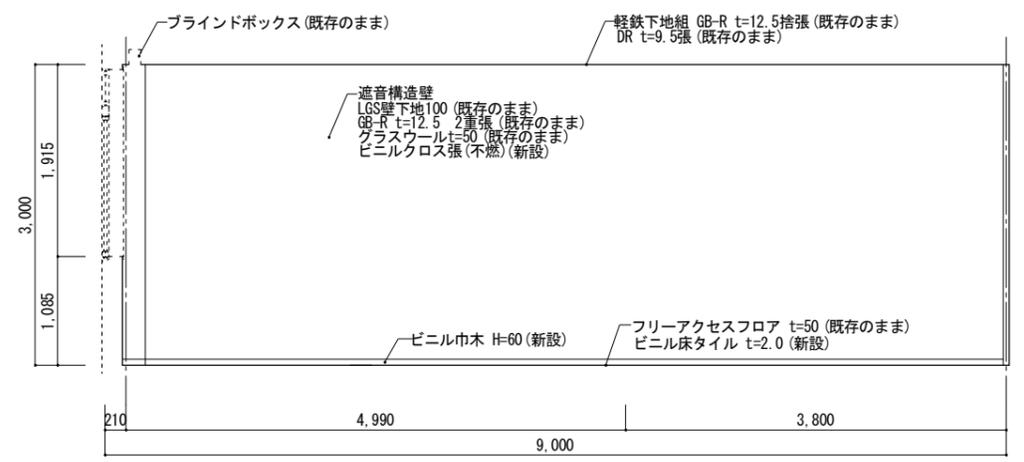
A



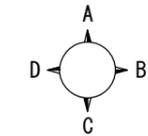
C



B



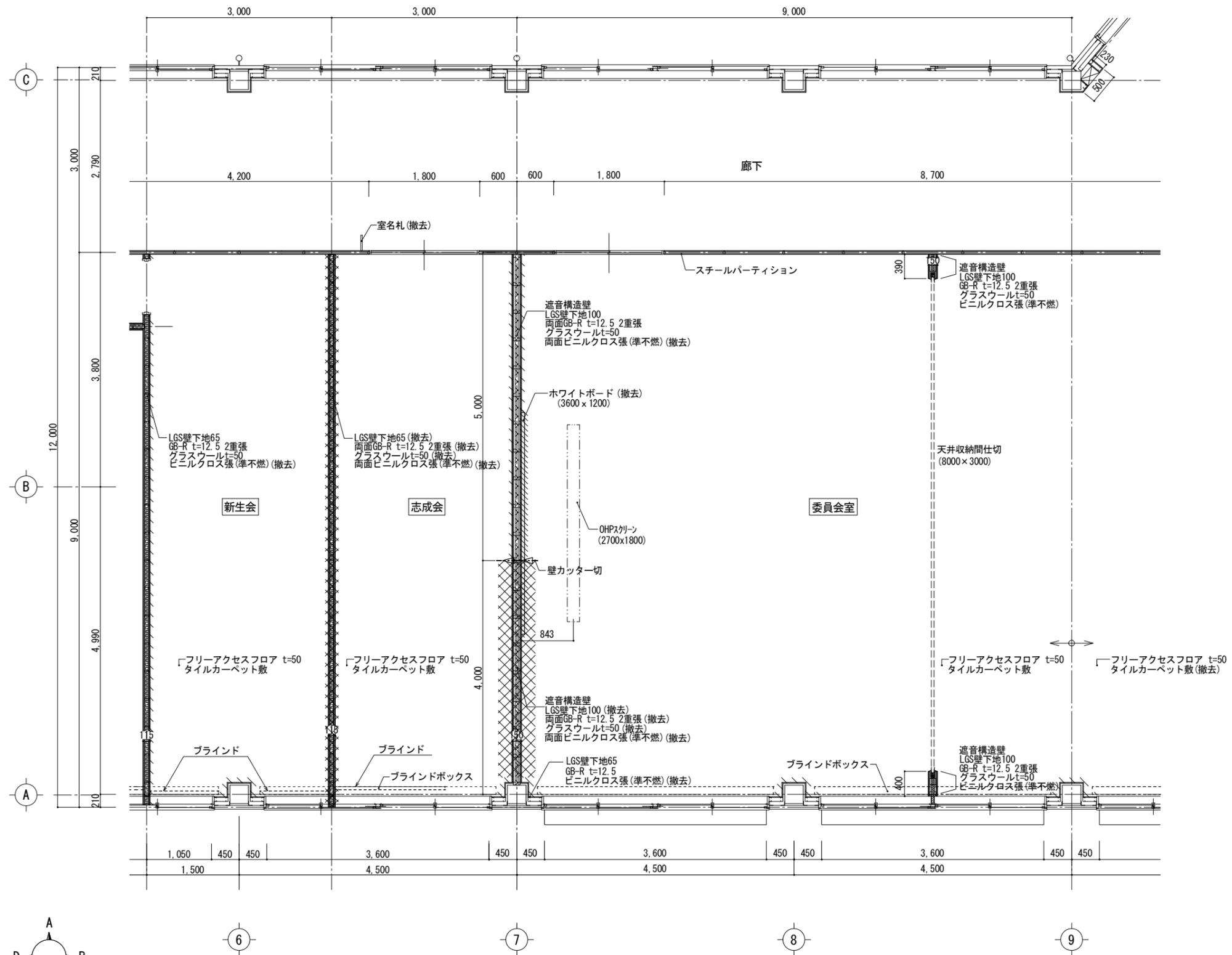
D



凡例

室名	工事対象室を示す。	改修範囲を示す。	既存範囲を示す。
----	-----------	----------	----------

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	平面詳細図・展開図		A-70

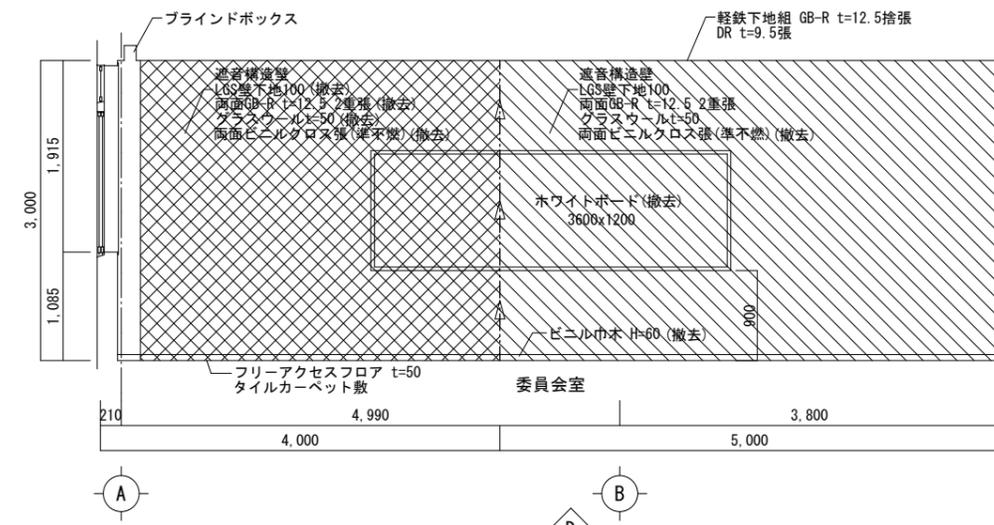
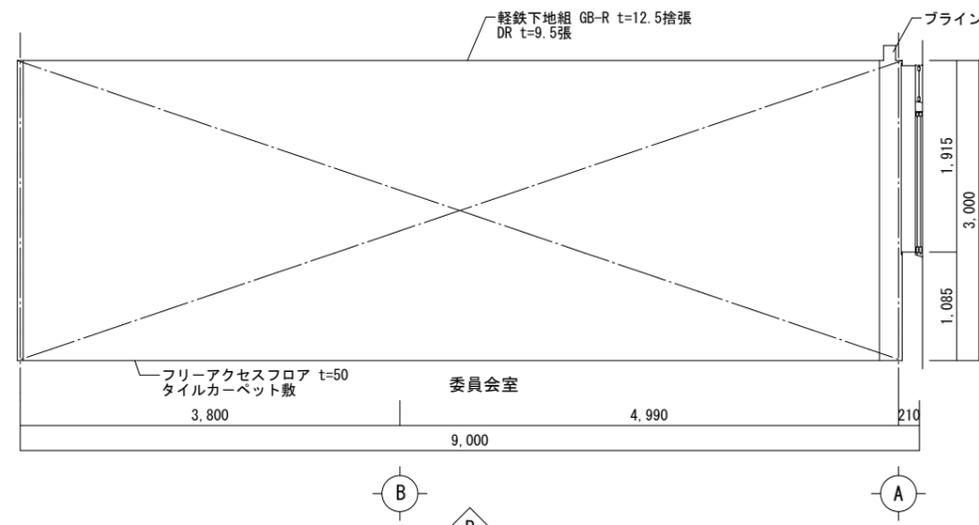
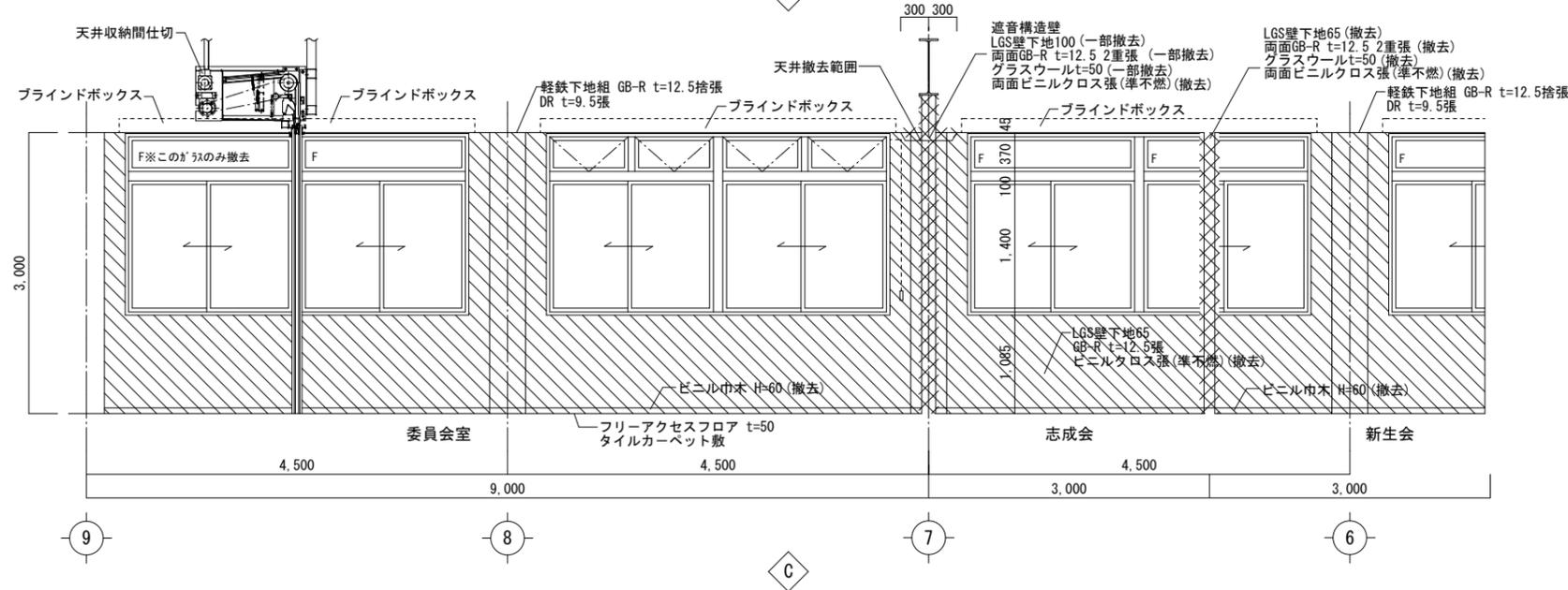
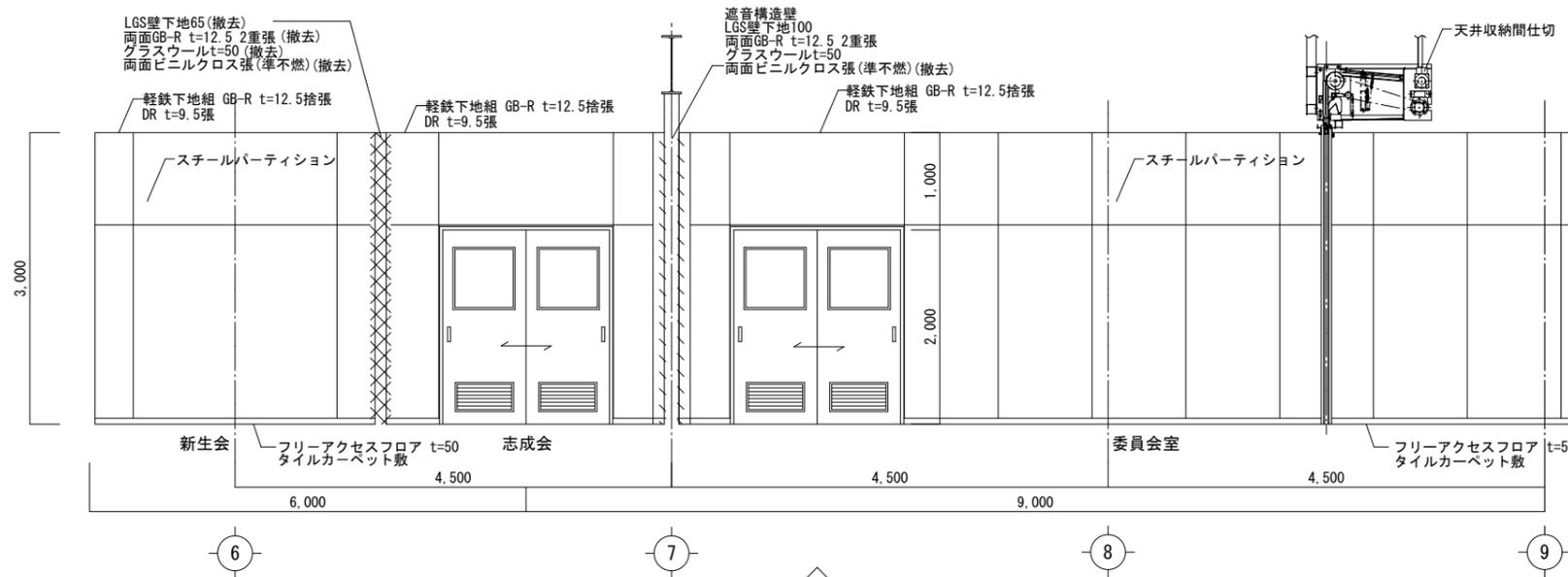


平面詳細図 S=1/50

凡例

室名	工事対象室を示す。	撤去範囲を示す。(下地共)	撤去範囲を示す。(仕上げのみ)	撤去範囲を示す。(捨張共)	カッター切を示す。
----	-----------	---------------	-----------------	---------------	-----------

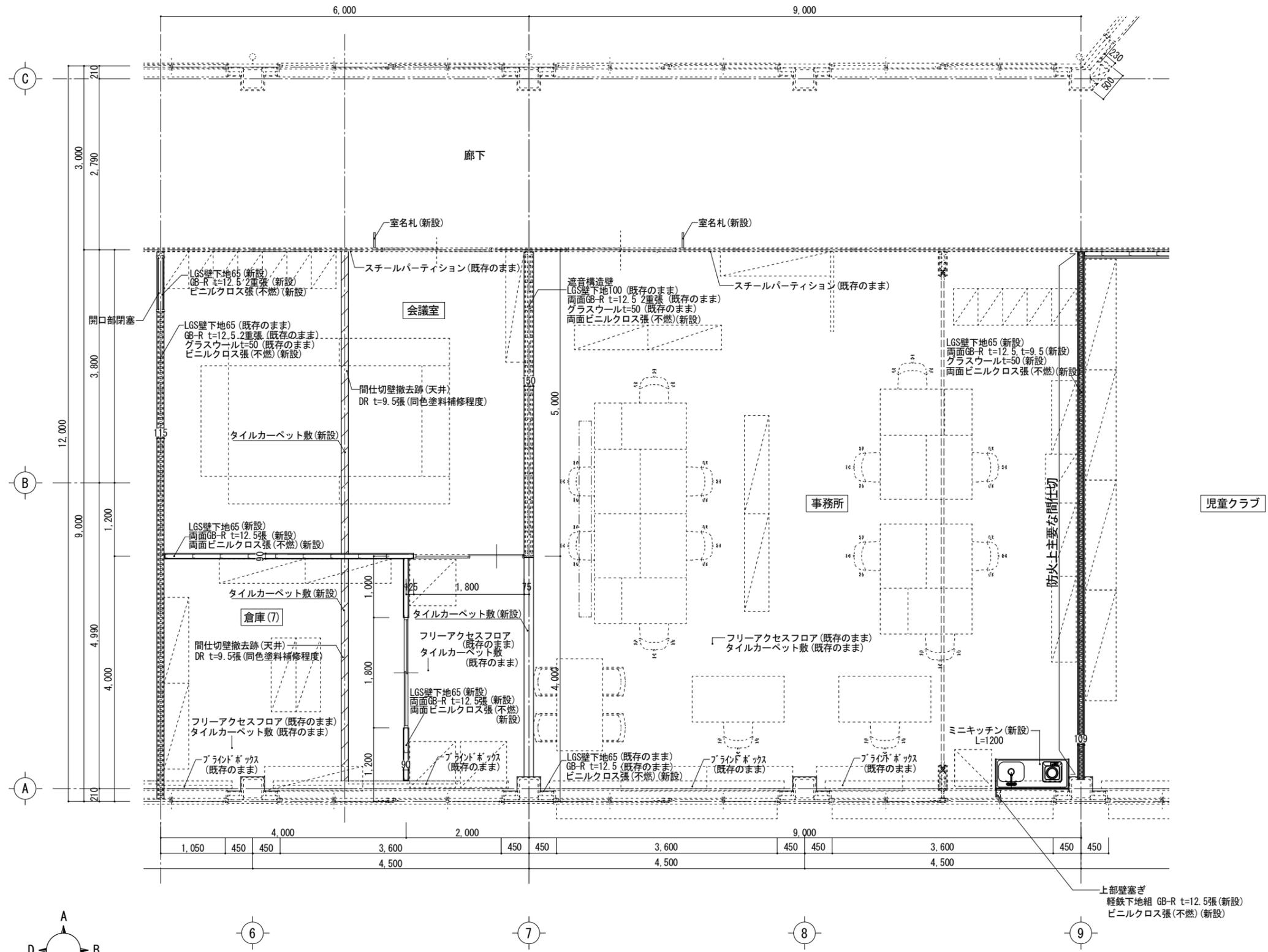
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50 (A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	(改修前) 新生会・志成会・委員会室 平面詳細図	A-71



凡例

室名	工事対象室を示す。	撤去範囲を示す。(下地共)	撤去範囲を示す。(仕上げのみ)	撤去範囲を示す。(捨張共)	カッター切を示す。
----	-----------	---------------	-----------------	---------------	-----------

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	(改修前) 新生会・志成会・委員会室 展開図	S=1/50	A-72

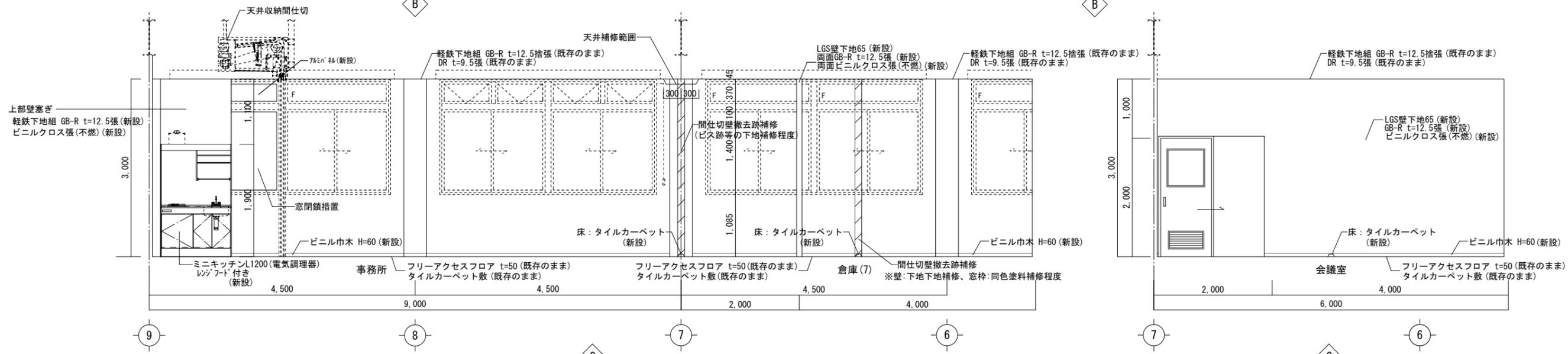
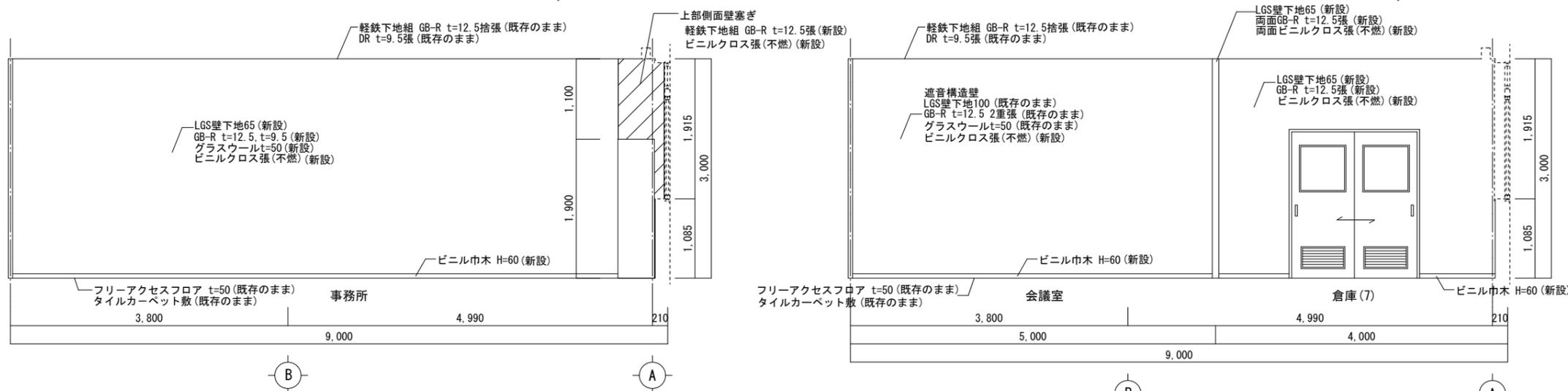
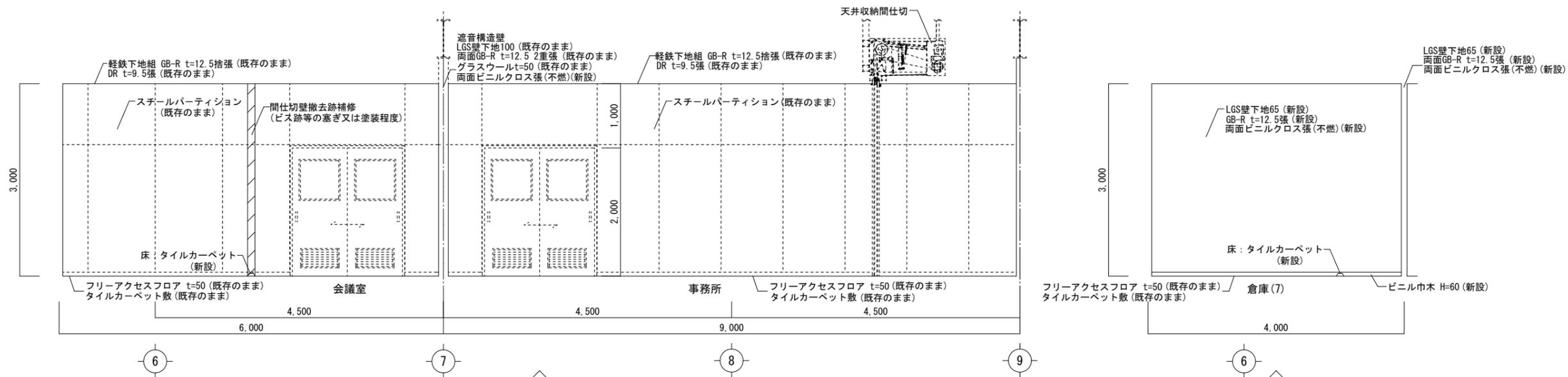


平面詳細図 S=1/50

凡例

室名	工事対象室を示す。	改修範囲を示す。	既存範囲を示す。
----	-----------	----------	----------

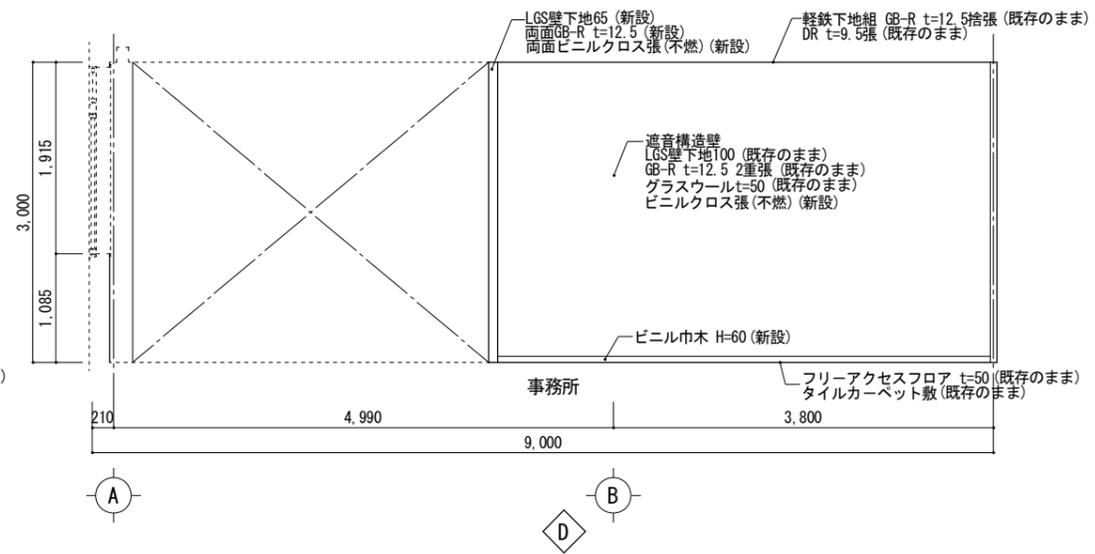
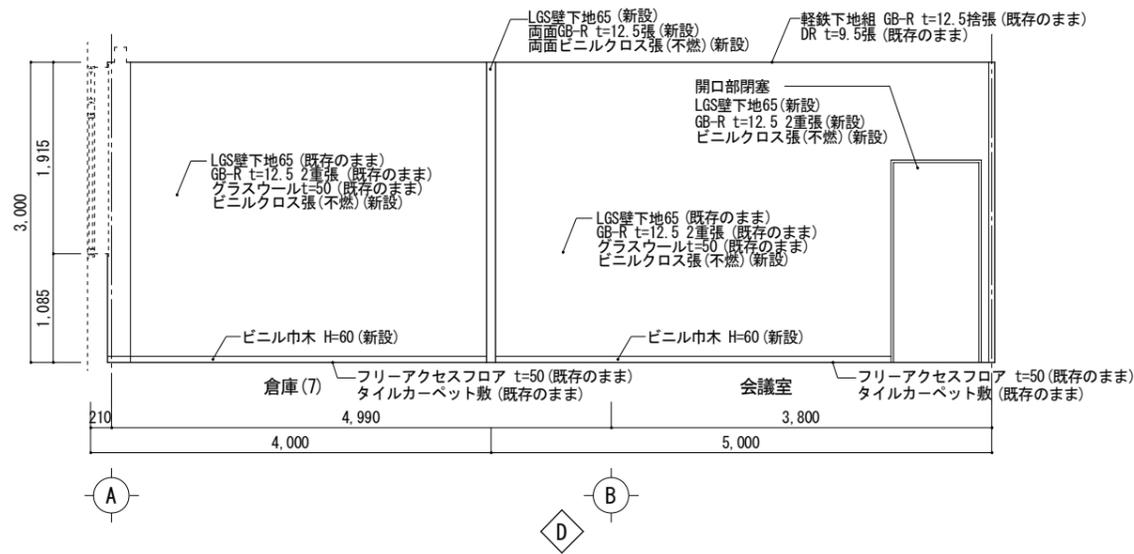
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	(改修後) 事務所・会議室・倉庫(7) 平面詳細図		A-73



凡例

室名	工事対象室を示す。	改修範囲を示す。	既存範囲を示す。
----	-----------	----------	----------

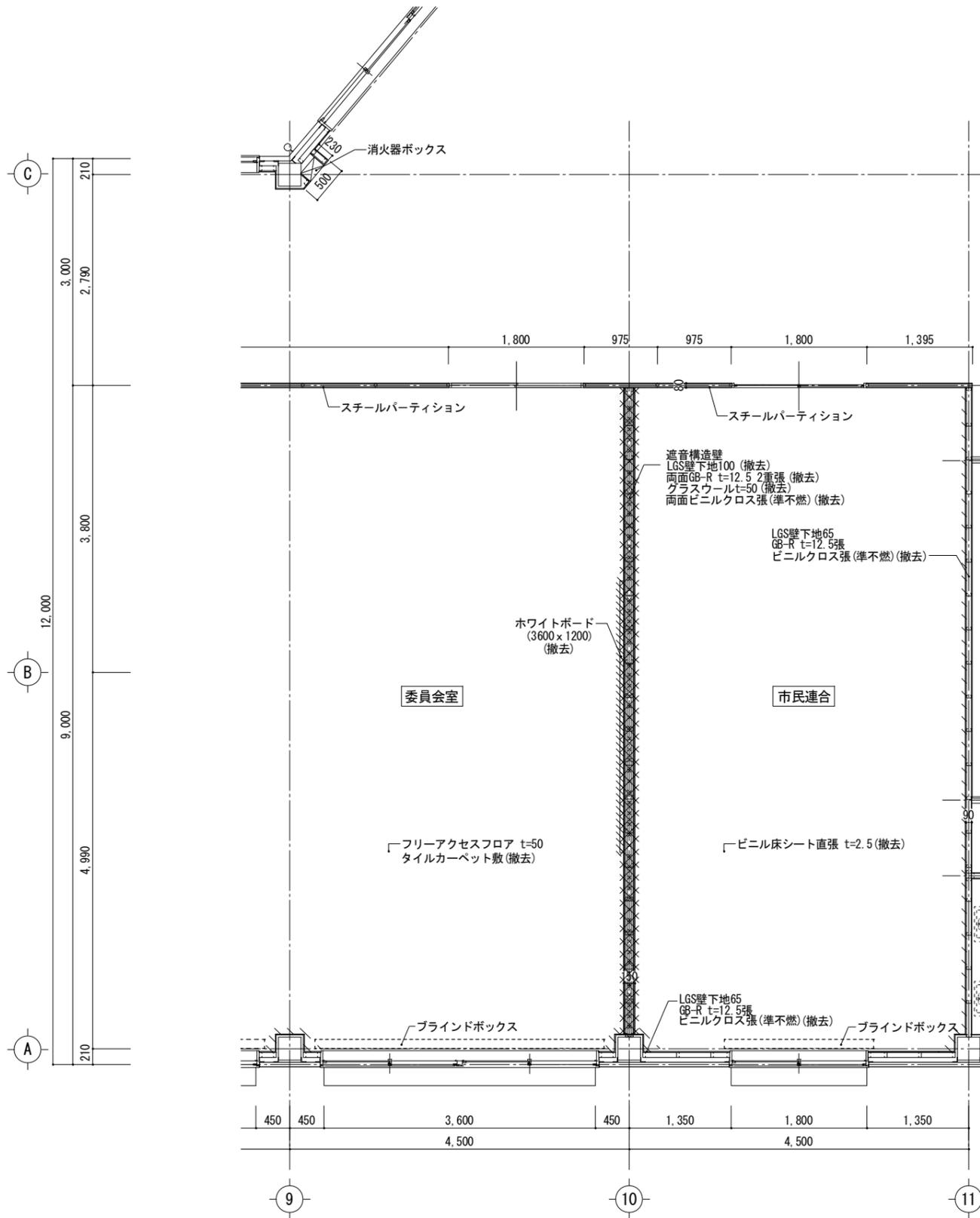
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松本 靖之 印	S=1/50 (改修後) 事務所・会議室・倉庫 (7) 展開図 (1)		A-74



凡例

室名	工事対象室を示す。	改修範囲を示す。	既存範囲を示す。
----	-----------	----------	----------

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	(改修後) 事務所・会議室・倉庫 (7) 展開図 (2)	A-75

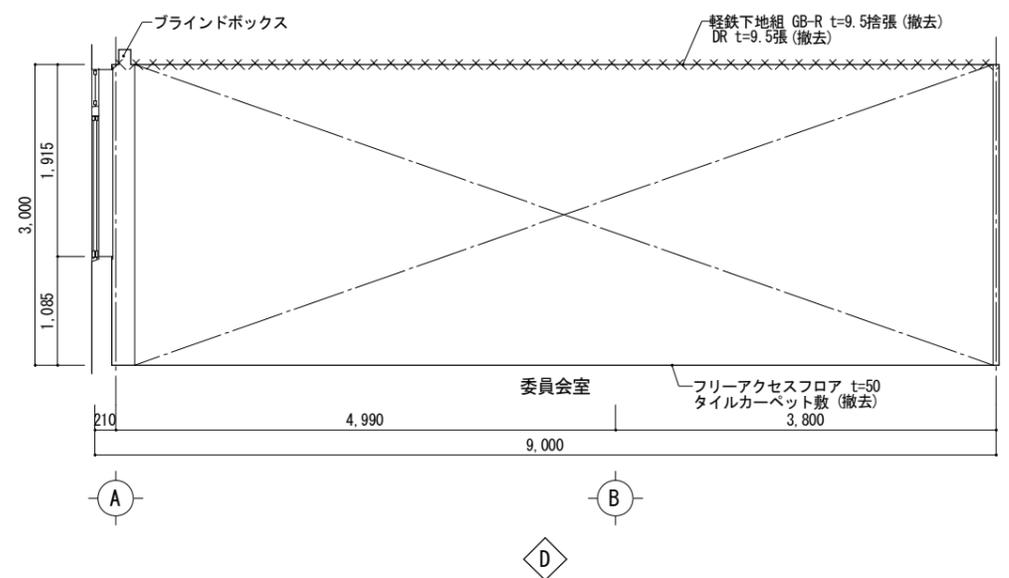
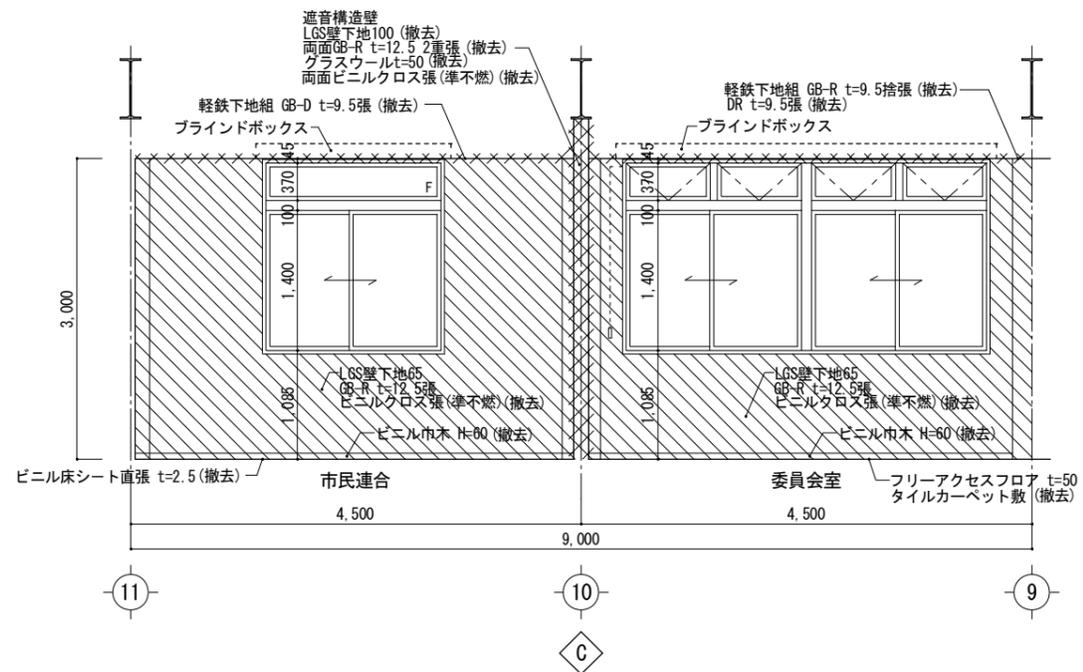
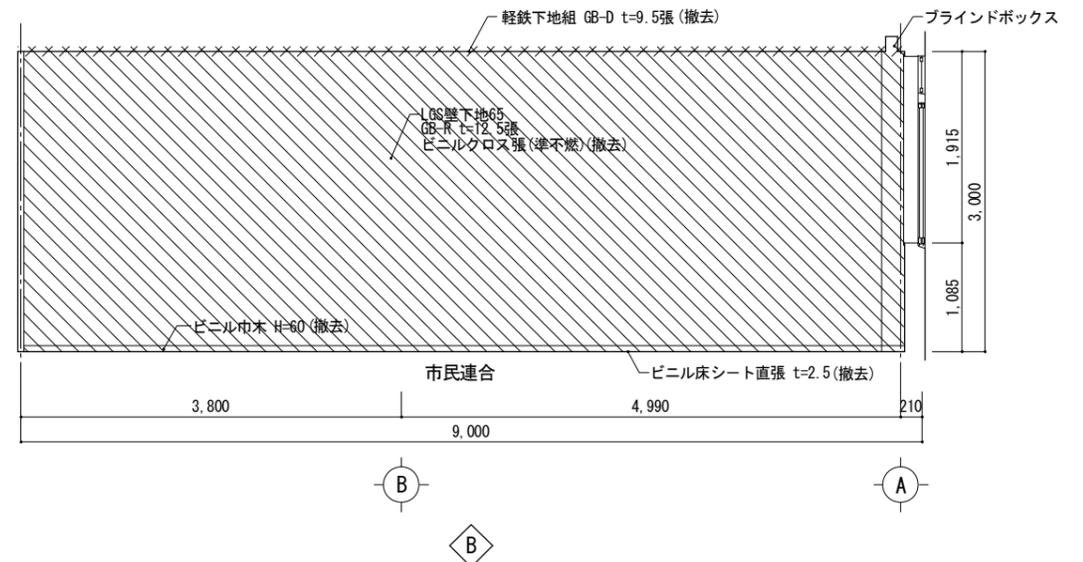
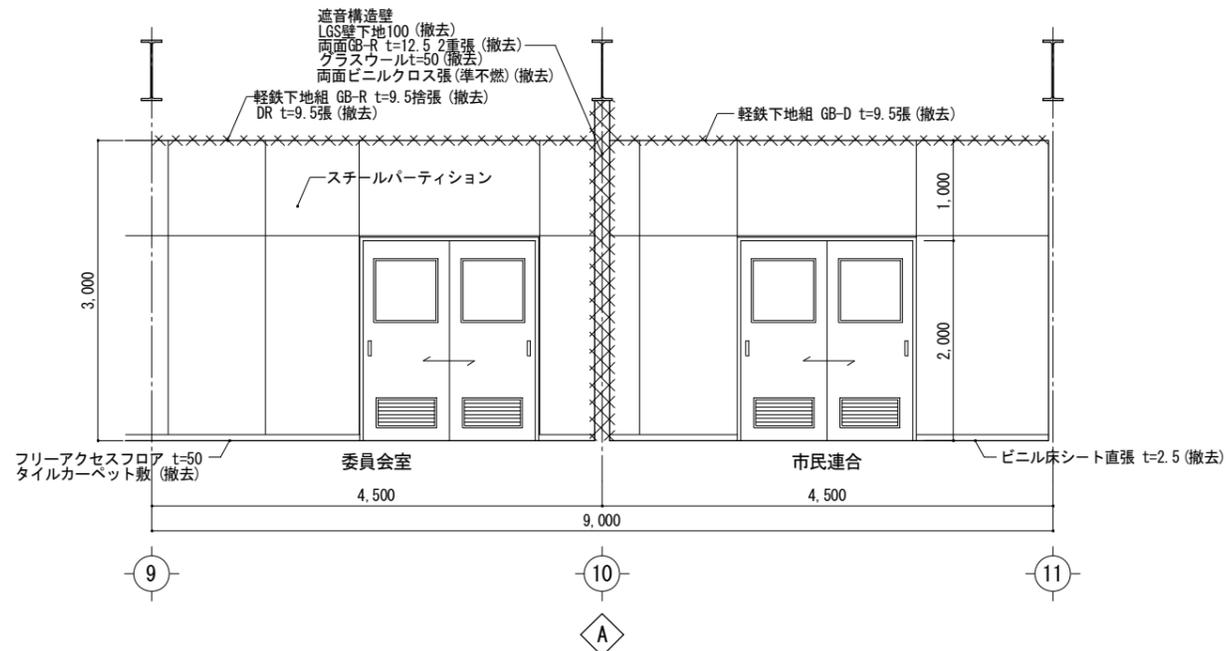


平面詳細図 S=1/50

凡例

室名	工事対象室を示す。		撤去範囲を示す。(下地共)		撤去範囲を示す。(仕上げのみ)		撤去範囲を示す。(捨張共)		カッター切を示す。
----	-----------	--	---------------	--	-----------------	--	---------------	--	-----------

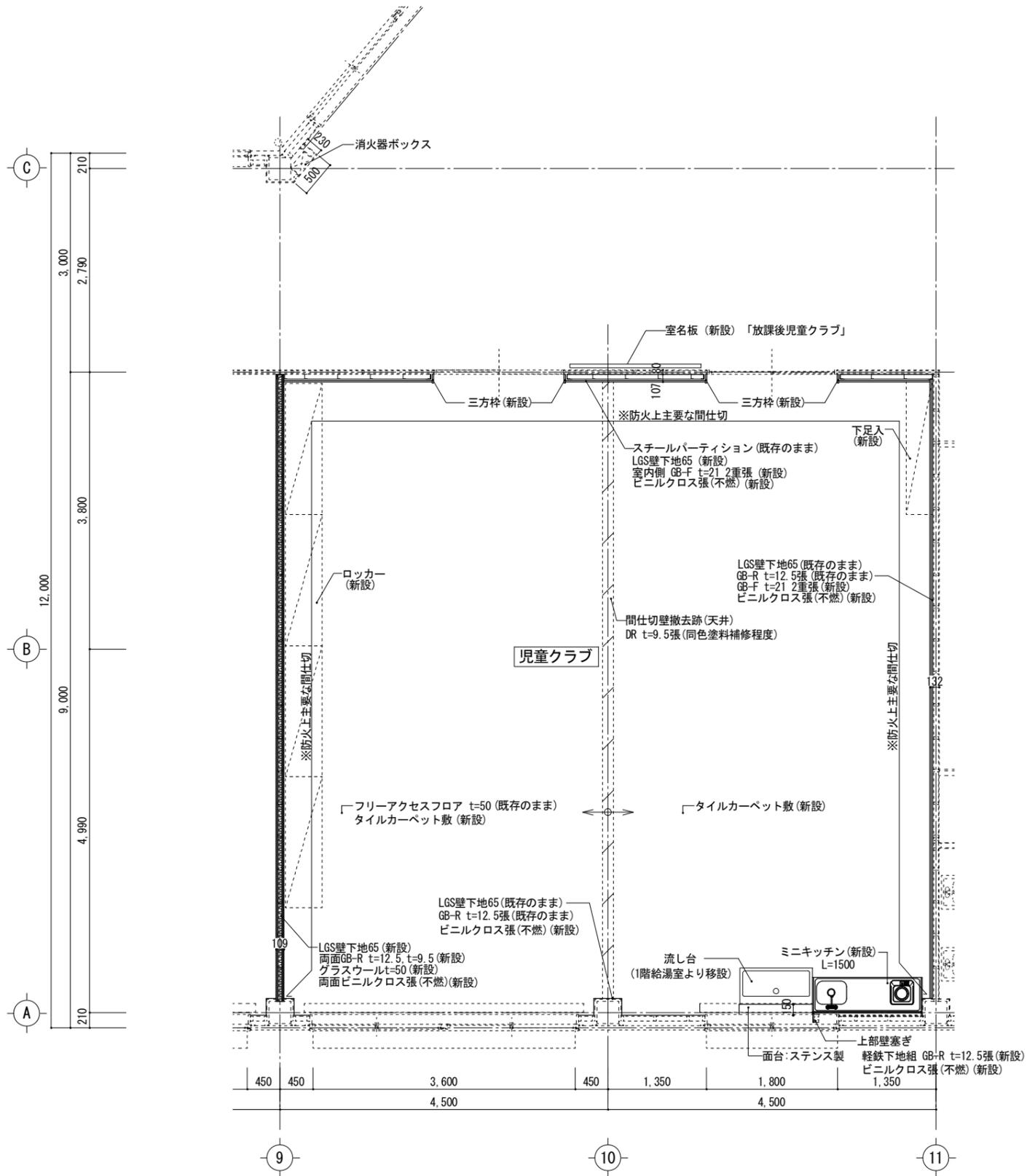
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	(改修前) 委員会室・市民連合 平面詳細図		A-76



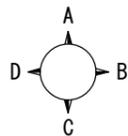
凡例

室名	工事対象室を示す。	撤去範囲を示す。(下地共)	撤去範囲を示す。(仕上げのみ)	撤去範囲を示す。(捨張共)	カッター切を示す。
----	-----------	---------------	-----------------	---------------	-----------

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50 (A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	(改修前) 委員会室・市民連合 展開図	A-77



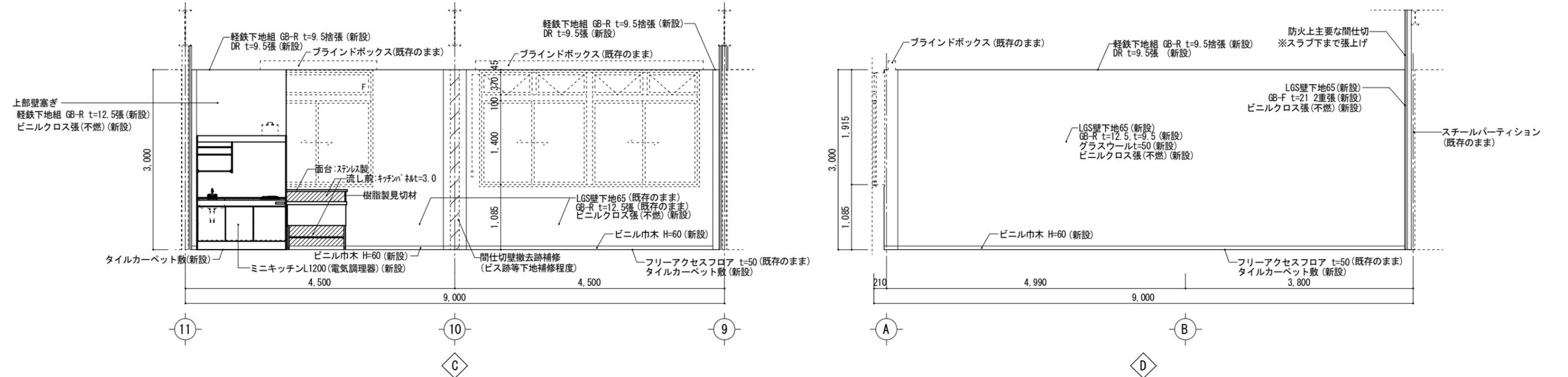
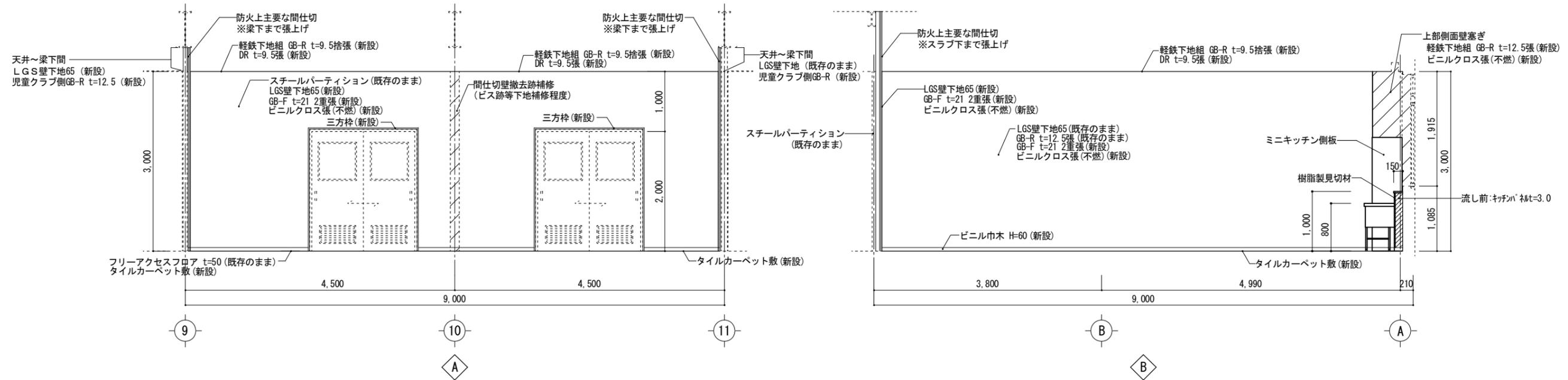
平面詳細図 S=1/50



凡例

室名	工事対象室を示す。	改修範囲を示す。	既存範囲を示す。
----	-----------	----------	----------

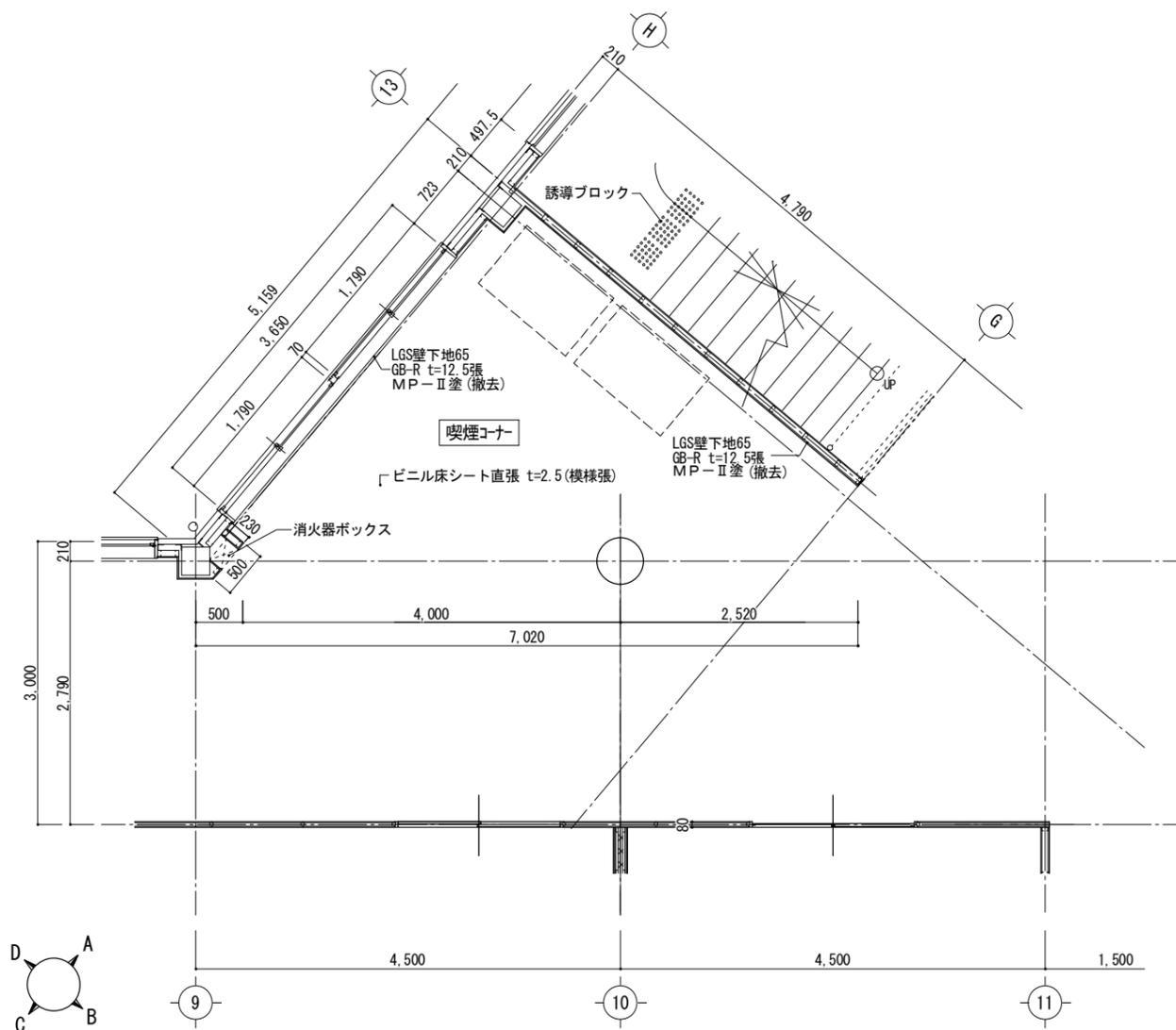
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50	(A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	(改修後) 児童クラブ 平面詳細図		A-78



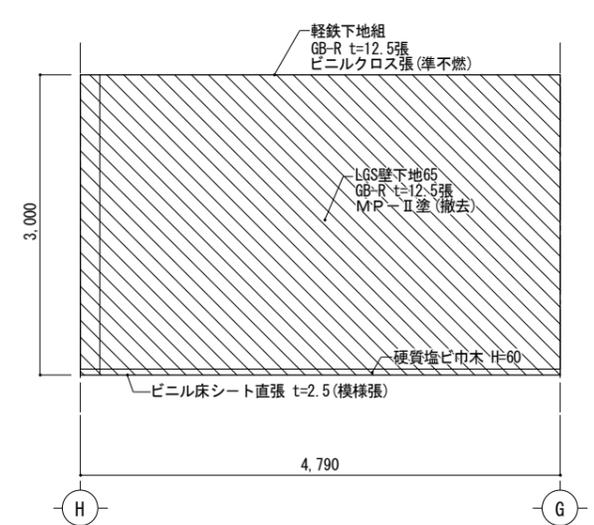
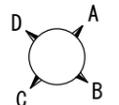
凡例

室名	工事対象室を示す。	改修範囲を示す。	既存範囲を示す。
----	-----------	----------	----------

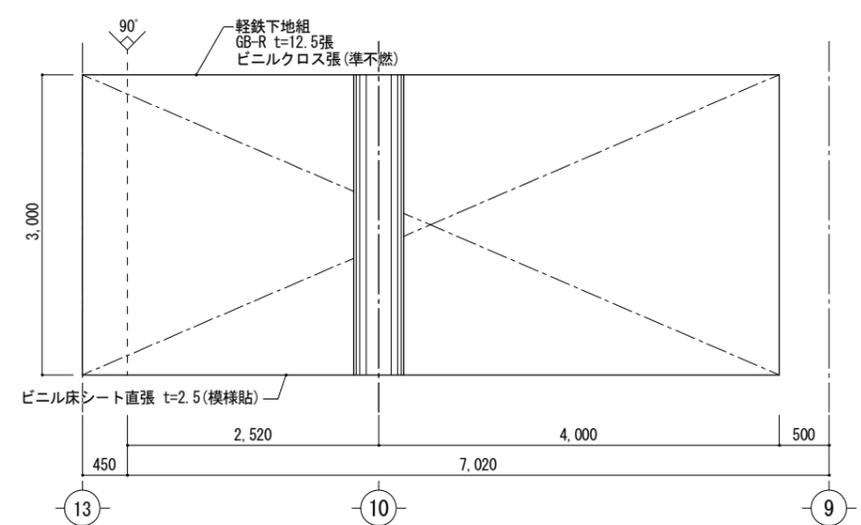
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50 (A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月	三原市都市部建築課					建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松本 靖之 印	(改修後) 児童クラブ 展開図	A-79



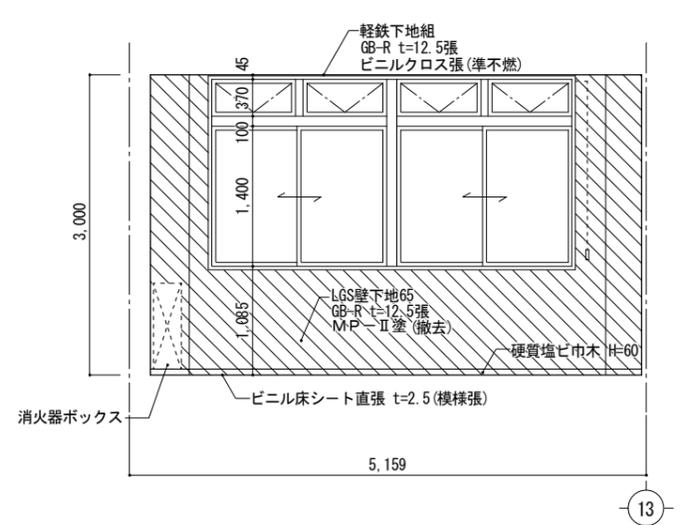
平面詳細図 S=1/50



A



B

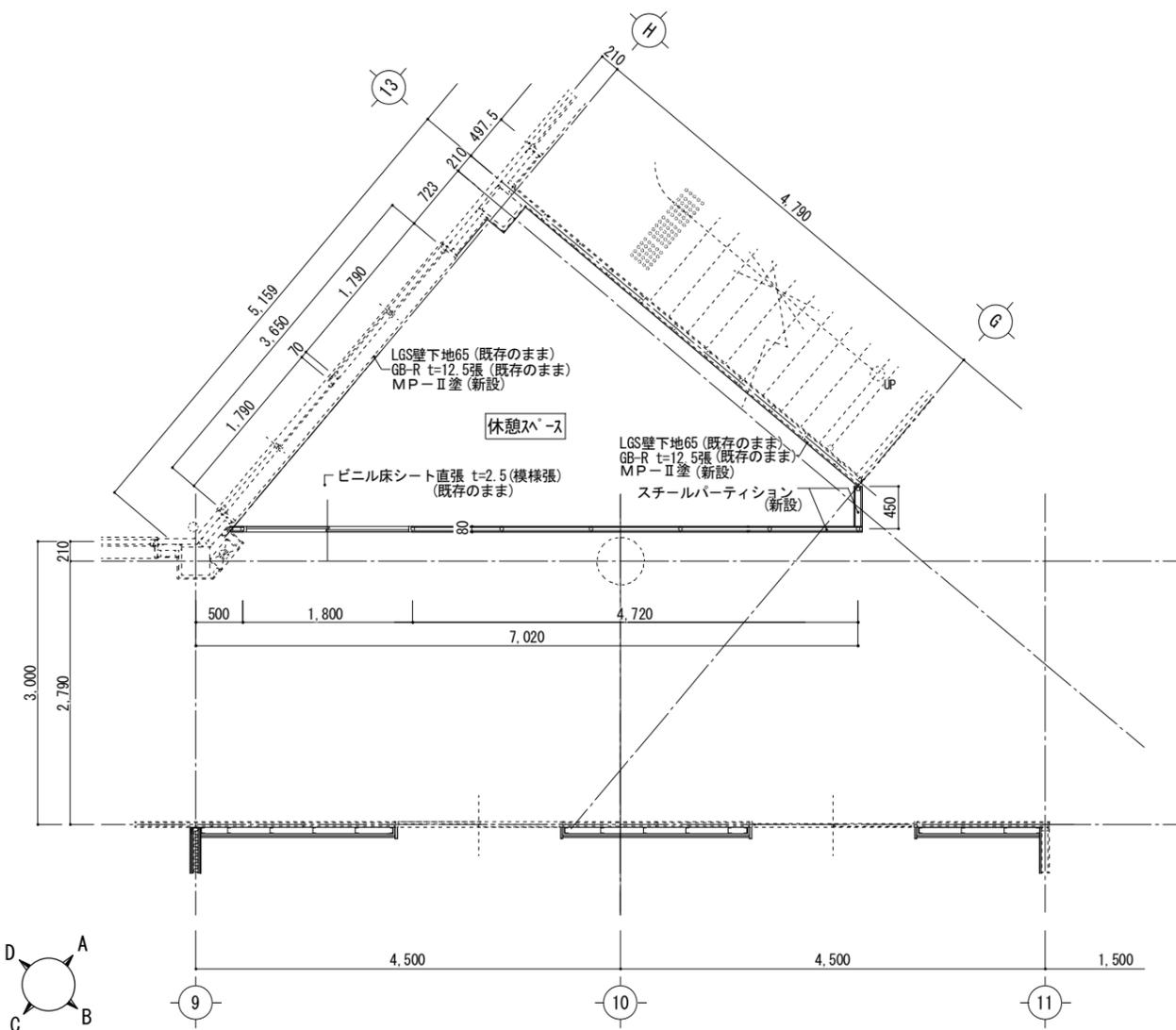


D

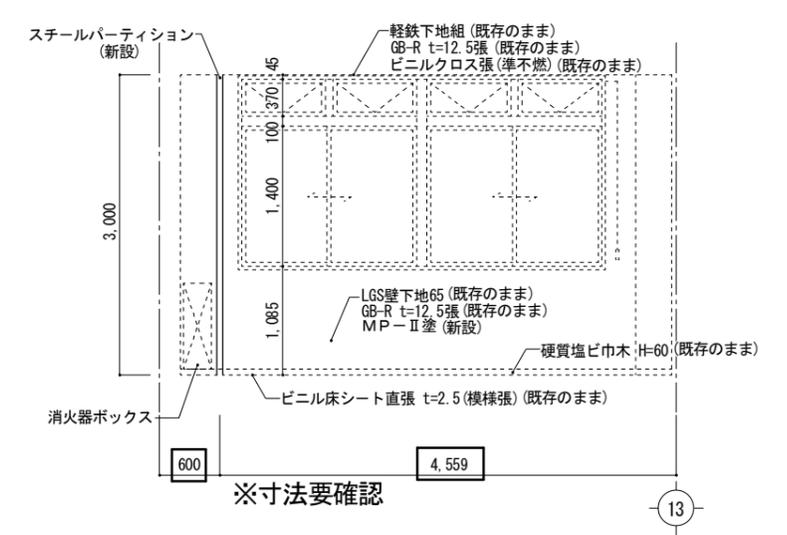
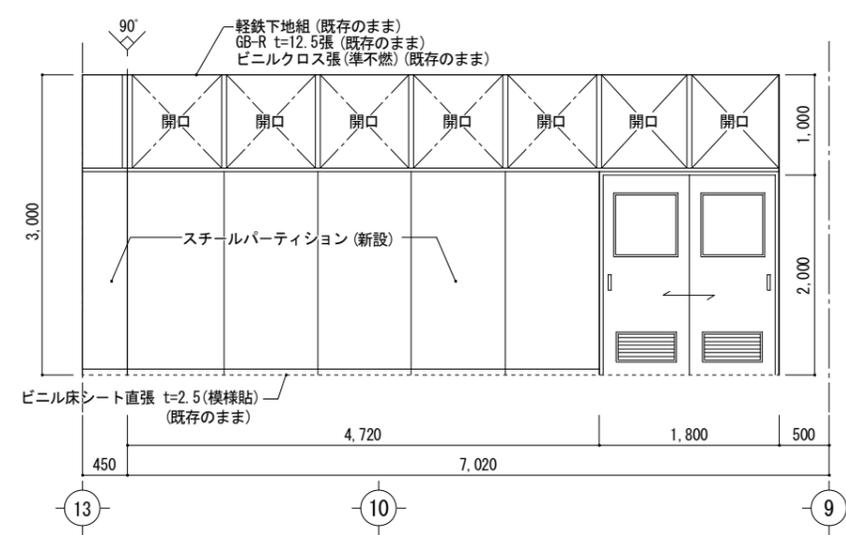
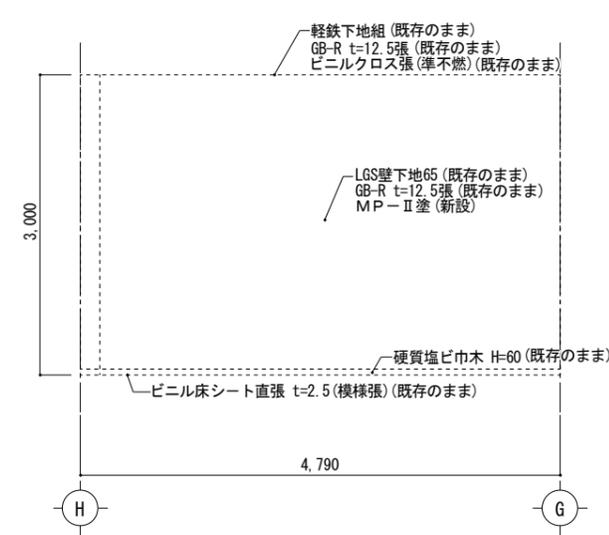
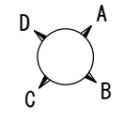
凡例

室名	工事対象室を示す。	撤去範囲を示す。(下地共)	撤去範囲を示す。(仕上げのみ)	撤去範囲を示す。(捨張共)	カッター切を示す。
----	-----------	---------------	-----------------	---------------	-----------

事業年度 年度 令和 年月	設計 三原市都市部建築課	大 中 小	地域	施設	種類 建築	工事名 元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	図面名称・縮尺 S=1/50 (改修前)2階喫煙コーナー 平面詳細図・展開図	(A3版-71%縮小) 図番 A-80
---------------------	-----------------	-------------	----	----	----------	--------------------------------	--	--	---------------------------



平面詳細図 S=1/50



※寸法要確認

凡例

室名	工事対象室を示す。	改修範囲を示す。	既存範囲を示す。
----	-----------	----------	----------

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/50	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月	三原市都市部建築課					建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	(改修後) 2階休憩スペース 平面詳細図・展開図		A-81

符号	AW 3		AW 3		AW 3		AW 4		
	改修前 UVフィルムなし		改修後 UVフィルム (新設)		改修後 ガラス撤去の上アルミパネル (新設)		改修後 UVフィルム (新設)		
形状・寸法	排障有効面積 1.28㎡ 【外側】0.37×0.871×4=1.28㎡ 						排障有効面積 0.27㎡ 【引違い】0.295×0.94=0.27㎡ 		
	※ () 寸法は2階廊下部分を示す。								
形式	見込	70	70	70	70	70	70		
位置	ヶ所	事務所、児童クラブ、1階・2階廊下	6	1階廊下	2	1階廊下 (東側階段隣)	1	児童クラブ	1
仕上	ステンカラー			ステンカラー			ステンカラー		
ガラス	FL-5	FL-5、UVフィルム (新設)		ガラス撤去の上アルミパネル (新設)		FL-5			
金物	クレセント	クレセント		クレセント		クレセント			
備考	アルミ額縁、網戸、アルミ水切、オペレーター	アルミ額縁、網戸、アルミ水切、オペレーター		アルミ額縁、網戸、アルミ水切、オペレーター		アルミ額縁、網戸、アルミ水切			
符号	AW 3a		AW 3a		AW 7		AW 7		
形状・寸法	改修前 UVフィルムなし		改修後 UVフィルム (新設)		改修前 UVフィルムなし		改修後 UVフィルム (新設)		
	排障有効面積 1.28㎡ 【外側】0.37×0.871×4=1.28㎡ 								
※ () 寸法は2階廊下部分を示す。									
形式	見込	70	70	70	70	70	70		
位置	ヶ所	エントランスホール、1階・2階廊下	7	エントランスホール、1階廊下	3	書庫	1		
仕上	ステンカラー			ステンカラー			ステンカラー		
ガラス	網入磨-6.8、UVフィルム (新設)	網入磨-6.8、UVフィルム (新設)		強化ガラス-6・8、UVフィルム (新設)		強化ガラス-6・8、UVフィルム (新設)			
金物	クレセント	クレセント		クレセント		クレセント			
備考	アルミ額縁、網戸、アルミ水切、オペレーター	アルミ額縁、網戸、アルミ水切、オペレーター		アルミ額縁、アルミ水切		アルミ額縁、アルミ水切			
符号	AW 6		CW 3		CW 4		CW 4		
形状・寸法	排障有効面積 2.06㎡ 【縦すべり】0.77×0.892×3=2.06㎡ 								
	※ () 寸法は2階廊下部分を示す。								
形式	見込	70	150	150	150	150	150		
位置	ヶ所	理事者控室	1	多目的ホール・吹抜	1	多目的ホール・吹抜	1		
仕上	ステンカラー			ステンカラー			ステンカラー		
ガラス	FL-6	FL-5、型-4		FL-5		FL-5			
金物									
備考	アルミ額縁、アルミ水切	アルミ額縁、網戸、オペレーター				オペレーター			

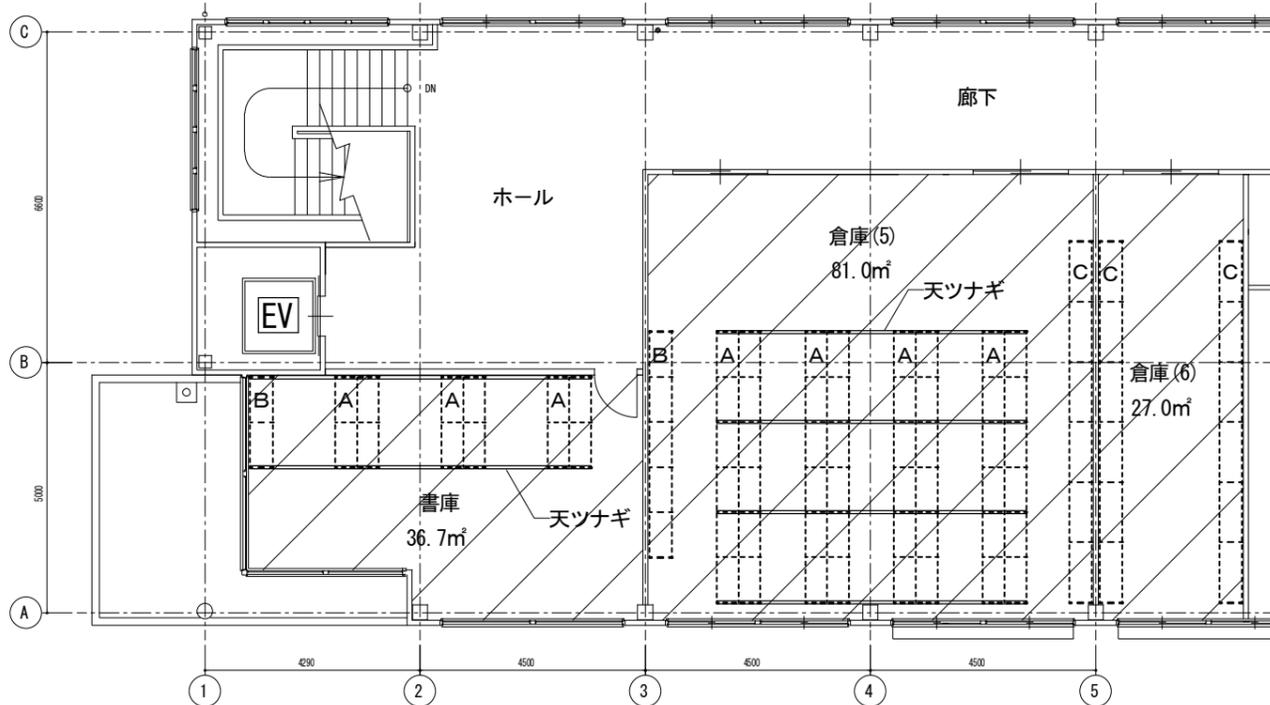
符号	STD 1		CW 1, CW 1A		CW 2			
改修内容	改修前 UVフィルムなし	改修後 UVフィルム(新設) (B室内側、屋外側)	改修前 UVフィルムなし	改修後 UVフィルム(新設)	改修前 UVフィルムなし	改修後 UVフィルム(新設)		
形状・寸法								
形式	自動ドア+Fix窓	120	アルミカーテンウォール (Fix窓)	150	アルミカーテンウォール (Fix窓)	150		
位置	風除室	1, 2	エントランスホール	1, A-1	エントランスホール	1		
仕上	ステンレスHL		ステンカラー		ステンカラー			
ガラス	強化ガラス-5・6、【ランマ】FL-5、UVフィルム(新設)		FL-5、型-4、UVフィルム(新設)		FL-5、型-4、UVフィルム(新設)			
金物								
備考								
符号	CW 2a		AW 1		AW 2			
改修内容	改修前 UVフィルムなし	改修後 UVフィルム(新設)	改修前 UVフィルムなし	改修後 UVフィルム(新設)	改修前 UVフィルムなし	改修後 建具撤去の上開口閉塞(新設) (展示室(1)(2)(3))		
形状・寸法								
形式	アルミカーテンウォール (Fix窓)	150	Fix窓	70	引違い窓+ランマFix	70		
位置	2階 階段	1	エントランスホール、書庫	4	展示室(1)(2)(3)、2階 倉庫(5)(6)、事務所	11		
仕上	ステンカラー		ステンカラー		ステンカラー			
ガラス	網入磨-6.8、網入型-6.8、UVフィルム(新設)		強化ガラス-6、UVフィルム(新設)		FL-5			
金物					クレセント			
備考	乙種防火戸、アルミ額縁		アルミ額縁、アルミ水切		アルミ額縁、網戸、アルミ水切			
符号	AW 2		AW 2a		AW 2a			
改修内容	改修前 UVフィルムなし	改修後 ガラス撤去の上アルミパネル(新設) (倉庫(5)(6)のみ)	改修前 UVフィルムなし	改修後 UVフィルム(新設)	改修前 UVフィルムなし	改修後 UVフィルム(新設)		
形状・寸法								
形式	引違い窓+ランマFix	70	引違い窓+ランマFix	70	引違い窓+ランマFix	70		
位置	展示室(1)(2)(3)、2階 倉庫(5)(6)、事務所	11	2階 倉庫(5)(6)	3	エントランスホール・2階 廊下	4		
仕上	ステンカラー		ステンカラー		ステンカラー			
ガラス	FL-5		ガラス撤去の上アルミパネル(新設)		網入磨-6.8			
金物	クレセント		クレセント		クレセント			
備考	アルミ額縁、網戸、アルミ水切		アルミ額縁、網戸、アルミ水切		防火設備、アルミ額縁、網戸、アルミ水切			

符号	AD 1		AD 2		SPD 1 鍵の取替のみ		
形状・寸法							
形式	見込	自動ドア	100	両開き戸+Fix窓+ランマFix	70	スチールパーティション(引違い戸)	80
位置	ヶ所	展示室(1)	1	1階廊下	1	展示室(2)、(3)	4
仕上	ステンカラー		ステンカラー				
ガラス	強化ガラス-6、【ランマ】FL-5、遮光フィルム(新設)		強化ガラス-5・6、【ランマ】FL-5		型ガラス-5		
金物							
備考	本締り錠		アルミ緑縁		鍵取替(内:シリンダー、外:シリンダー)※工事前に要確認		

符号	LSD 1 LSD 2		LSD 3		LSD 4		WD 1		WD 2		
形状・寸法											
形式	見込	片引戸	80	片引戸	80	引違い戸	80	親子開き戸	36	片開き戸	36
位置	ヶ所	展示室(2)(3)	2	会議室	1	倉庫(7)	1	展示室(1)、受付	2	書庫	1
仕上	塩ビ被覆鋼板 t=0.8		塩ビ被覆鋼板 t=0.8		塩ビ被覆鋼板 t=0.8		チーク練付合板		チーク練付合板		
ガラス					型-4		型ガラス-4		型ガラス-4		
金物	ハンガーレール、ハンガーローラー、フレ止めローラー、自閉・制動装置 ステンレス'アハンド'ル(L=450)、他標準仕様書金物一式		ハンガーレール、ハンガーローラー、フレ止めローラー、自閉・制動装置 ステンレス'アハンド'ル(L=450)、他標準仕様書金物一式		ハンガーレール、ハンガーローラー、フレ止めローラー、自閉・制動装置 ステンレス'アハンド'ル(L=450)、他標準仕様書金物一式		DC、丁番、フリス落とし、レバーハンドル、鍵(受付のみサムターン+シリコン) 戸当り(既存の上SOP塗装)、戸枠(既設の上SOP塗装)		DC、丁番、レバーハンドル、握り玉錠、 戸当り(既存の上SOP塗装)、戸枠(既設の上SOP塗装)		
備考	ガリ W100xH800		ガリ W100xH800								

スチールパーティション		注記) ・スチールパーティション付の扉は建具表による。 ・スチールパーティションの内蔵ブラインドは、立川ブラインド VBS-P43程度とする。 ・スチールパーティション1は三和シャッター工業:*****程度(A-BE塗装)とする。 ・スチールパーティション2は三和シャッター工業:*****程度(A-BE塗装)とする。(合わせガラス6mm+6mm)			
種別記号凡例	スチールパーティションの仕上種別	その他の特記事項		注記	
(P)rg	(P) スチールパーティション-1	G	ガラスウール充填	・部分平面図、平面詳細図に於て、特記なき限り(P)タイプとする。 ・各種設備用開口及び補強も本工事に含む。 ・シャウカステン(SH)の記号のあるものは下地補強をする。	
G(P)g	(P2) スチールパーティション-2	X	鉛2mm張		
形状					
その他の特記事項					
スチールパーティションの形状	添字なし	g	g1	g2	gt
	全面パネル	腰高窓		全面ガラス	ランマ解放
姿図					

符号	TB 1		TB 2		TB 3	
改修内容	開き方向変更		開き方向変更		開き方向変更、吊元変更	
形状・寸法						
形式	見込	トイレブース	40	トイレブース	40	トイレブース
位置	ヶ所	1階 男子トイレ	1	1階 女子トイレ	1	2階 男子トイレ
仕上		メラミン化粧板		メラミン化粧板		メラミン化粧板
ガラス		-		-		-
金物		クレビティヒンジ、戸当り		クレビティヒンジ、戸当り		クレビティヒンジ、戸当り
備考		ステンレス巾木、ステンレス笠木				
符号	TB 4					
改修内容	開き方向変更					
形状・寸法						
形式	見込	トイレブース	40			
位置	ヶ所	2階 女子トイレ	1			
仕上		メラミン化粧板				
ガラス		-				
金物		クレビティヒンジ、戸当り				
備考		ステンレス巾木、ステンレス笠木				



2階 軽量棚 荷重計算範囲図 S=1/100

積載荷重 = 総重量 (書庫+倉庫+倉庫) ÷ 床面積 (書庫+倉庫+倉庫)
 = (1846 kg + 7770 kg + 958 kg) ÷ (36.7 m² + 81.0 m² + 27.0 m²)
 = 10574 kg ÷ 144.7 m²
 = 74 kg/m² < 800N/m² (事務室地震用積載荷重)

書庫

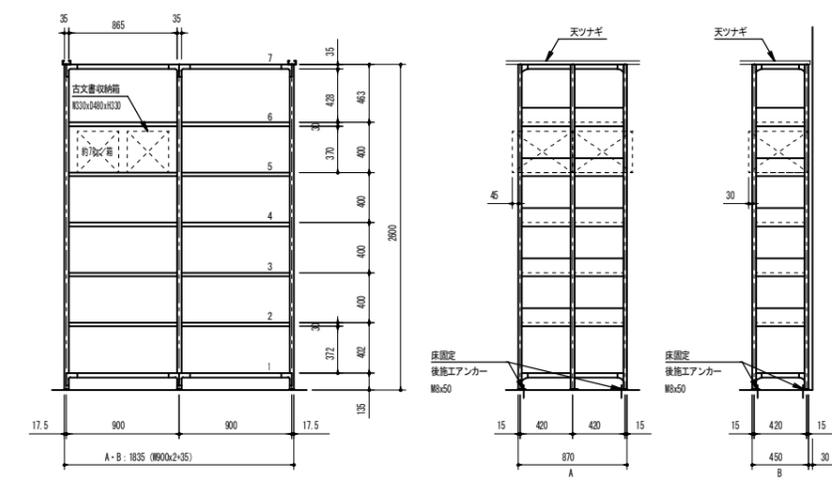
2階 書庫 軽量棚 数量表

記号	型式	台数	延床数	延段数	収容数
A	複式2連 有効6段 KU 382-457WR	3	12	72	144
B	単式2連 有効6段 KU 382-457SR	1	2	12	24
合計		4	14	84	168

参考メーカー：金剛 (株)
 ※収容物：古文書収納箱・W330xD480xH330・約7kg/箱
 ※収容数：2箱/段

軽量棚 特記仕様

固定	: 床固定、天ツナギ
棚構造	: 天板・地板・支柱によるブレースを用いないフレーム構造 (耐震ガセット方式)
棚板	: 可動式 (側受兼用棚受式) で互換性のあるものとし、可動ピッチを25mm
支柱	: 支柱形状は、コ-35x30、複柱式とし、単式棚は2本柱、複式棚は3本柱
棚板最大積載質量	: 100kg/段 (等分布荷重)
開口最大積載質量	: 複式 600kg/連・単式 300kg/連
製作	: ISO9001 及び ISO14001 認証取得工場



軽量棚 姿図 S=1/40

倉庫 (5)

2階 倉庫 軽量棚 (古文書収納箱) 数量表

記号	型式	台数	延床数	延段数	収容数
A	複式6連 有効6段 KU 386-457WR	4	48	288	576
B	単式5連 有効6段 KU 385-457SR	1	5	30	60
合計		5	53	318	636

参考メーカー：金剛 (株)
 ※収容物：古文書収納箱・W330xD480xH330・約7kg/箱
 ※収容数：2箱/段

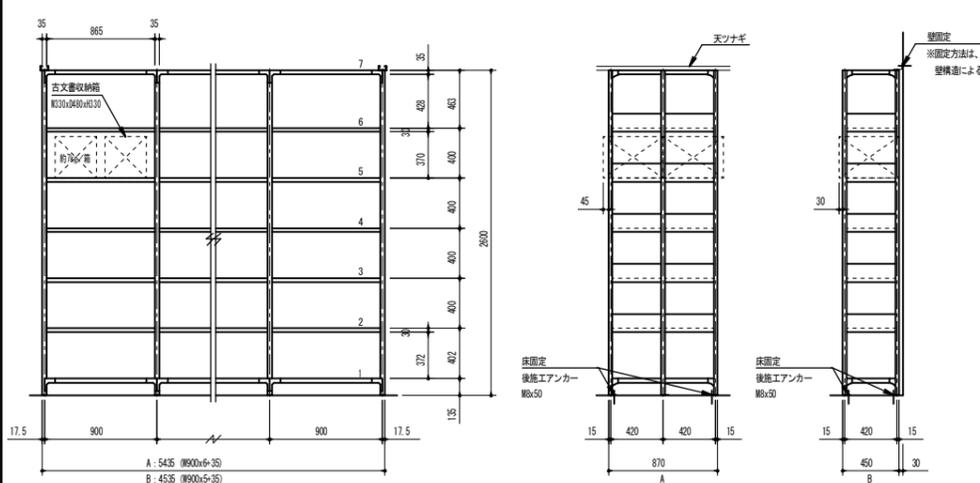
2階 倉庫 軽量棚 (新聞収納箱) 数量表

記号	型式	台数	延床数	延段数	収容数
C	単式5連 有効7段 KU 470-458SR	1	6	42	84

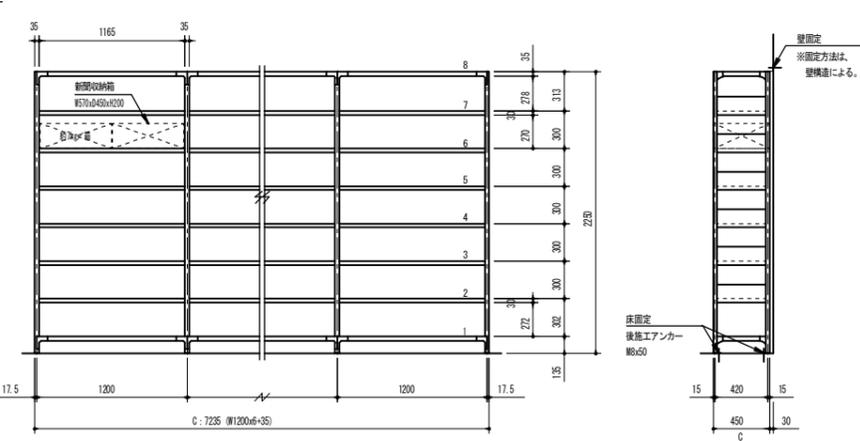
参考メーカー：金剛 (株)
 ※収容物：新聞収納箱・W570xD450xH200・約7kg/箱
 ※収容数：2箱/段

軽量棚 特記仕様

固定	: 床固定、壁固定、天ツナギ
棚構造	: 天板・地板・支柱によるブレースを用いないフレーム構造 (耐震ガセット方式)
棚板	: 可動式 (側受兼用棚受式) で互換性のあるものとし、可動ピッチを25mm
支柱	: 支柱形状は、コ-35x30、複柱式とし、単式棚は2本柱、複式棚は3本柱
棚板最大積載質量	: 100kg/段 (等分布荷重)
開口最大積載質量	: 複式 600kg/連・単式 300kg/連
製作	: ISO9001 及び ISO14001 認証取得工場



軽量棚 A・B 姿図 S=1/40



軽量棚 C 姿図 S=1/40

倉庫 (6)

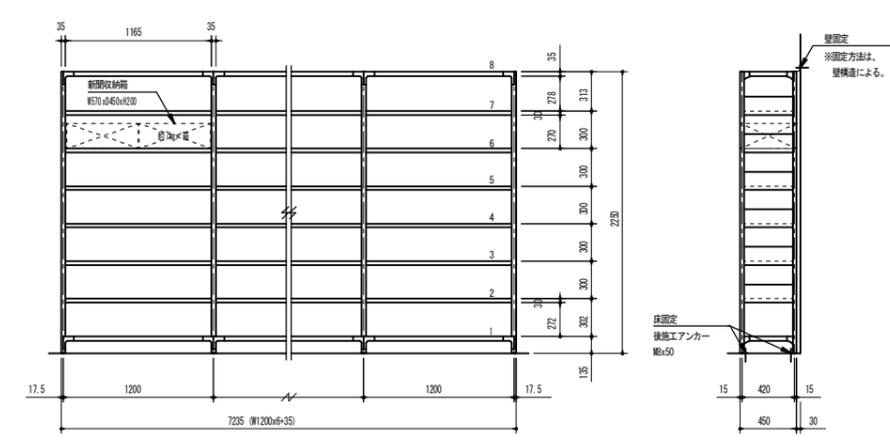
2階 倉庫 軽量棚 数量表

型式	台数	延床数	延段数	収容数
単式6連 有効7段 KU 470-458SR	2	12	84	168

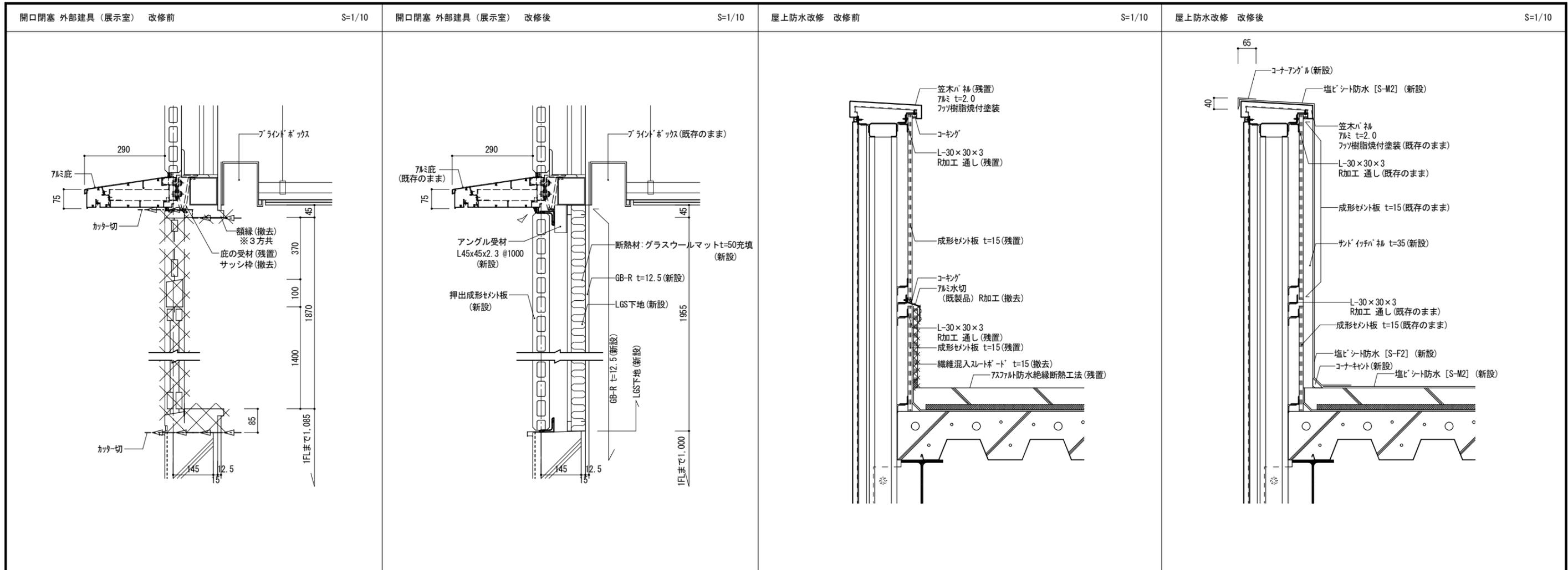
参考メーカー：金剛 (株)
 ※収容物：新聞収納箱・W570xD450xH200・約7kg/箱
 ※収容数：2箱/段

軽量棚 特記仕様

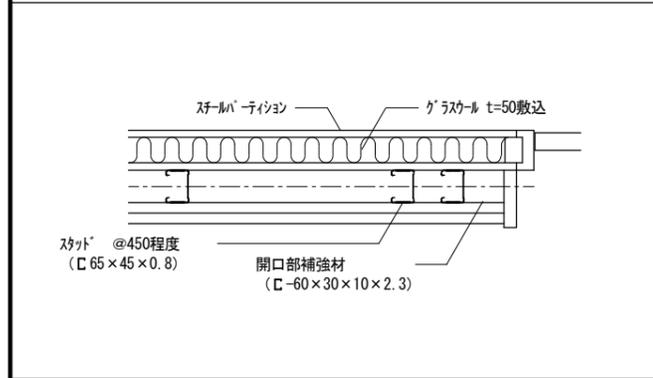
固定	: 床固定、壁固定
棚構造	: 天板・地板・支柱によるブレースを用いないフレーム構造 (耐震ガセット方式)
棚板	: 可動式 (側受兼用棚受式) で互換性のあるものとし、可動ピッチを25mm
支柱	: 支柱形状は、コ-35x30、複柱式とし、2本柱
棚板最大積載質量	: 100kg/段 (等分布荷重)
開口最大積載質量	: 単式 300kg/連
製作	: ISO9001 及び ISO14001 認証取得工場



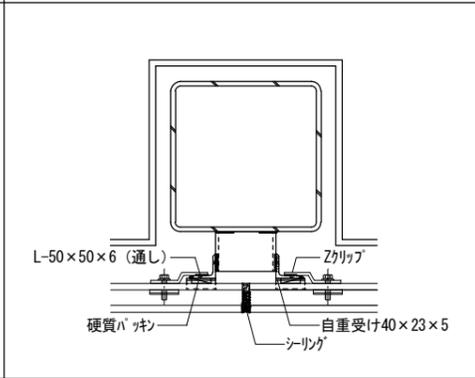
軽量棚 姿図 S=1/40



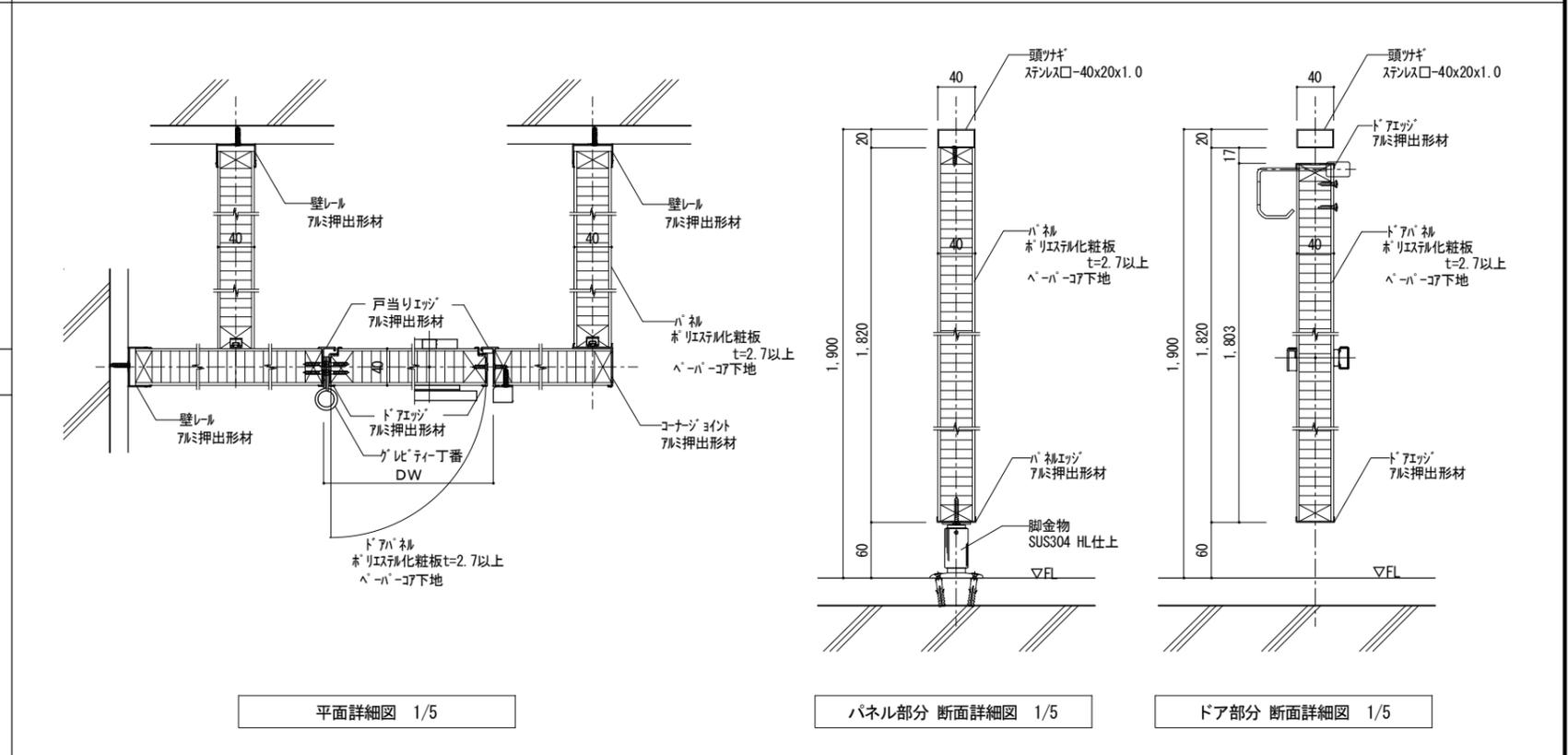
児童クラブ三方枠 詳細図 (新設) S=1/10



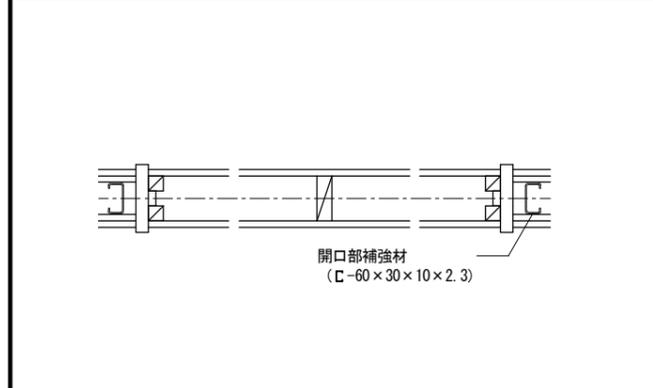
開口閉塞 押出成型セメント板 (新設) S=1/10



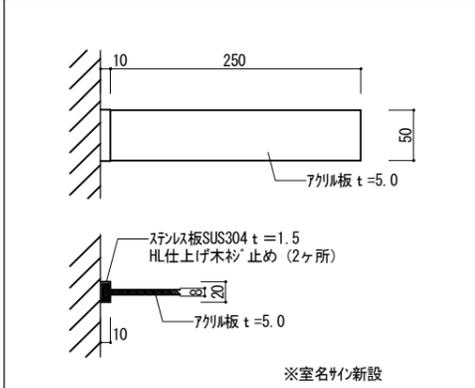
トイレブース S=1/5



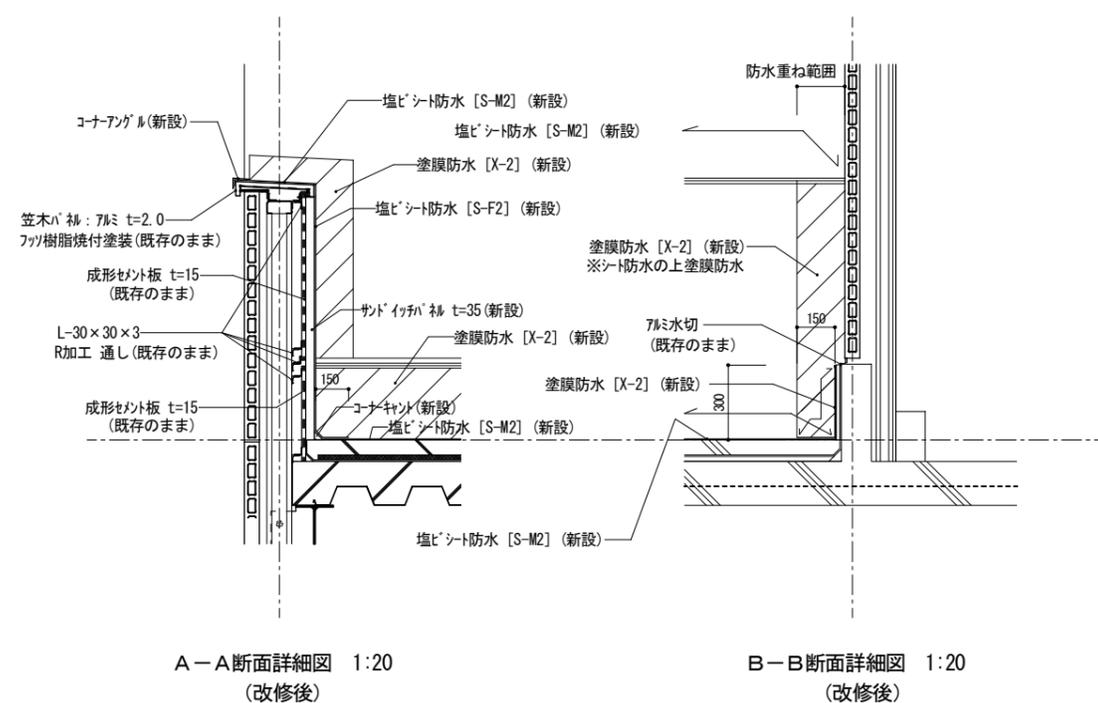
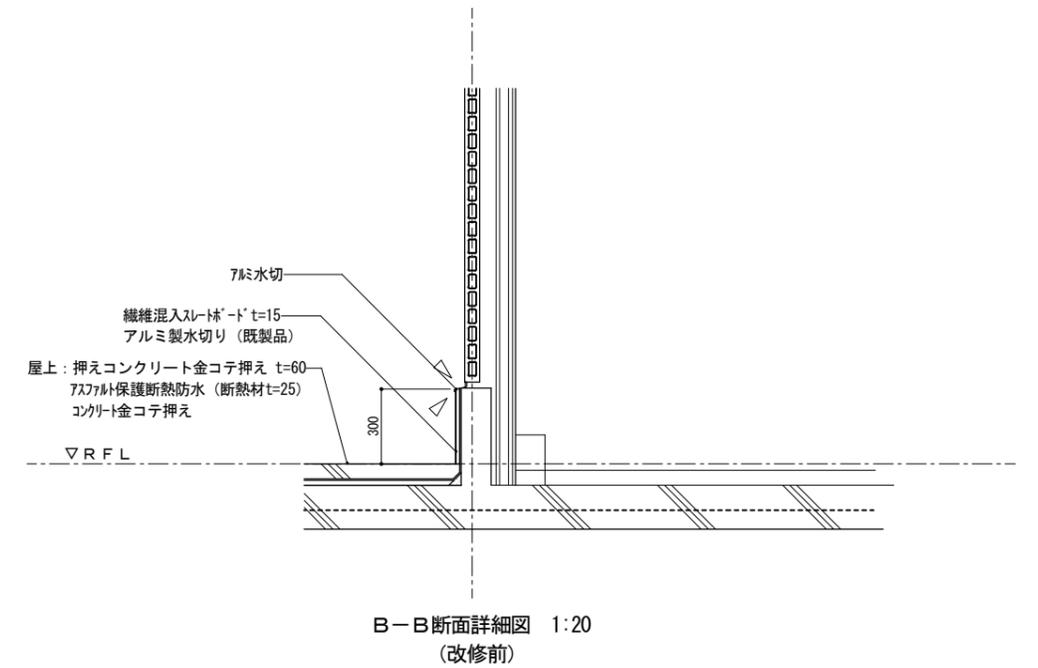
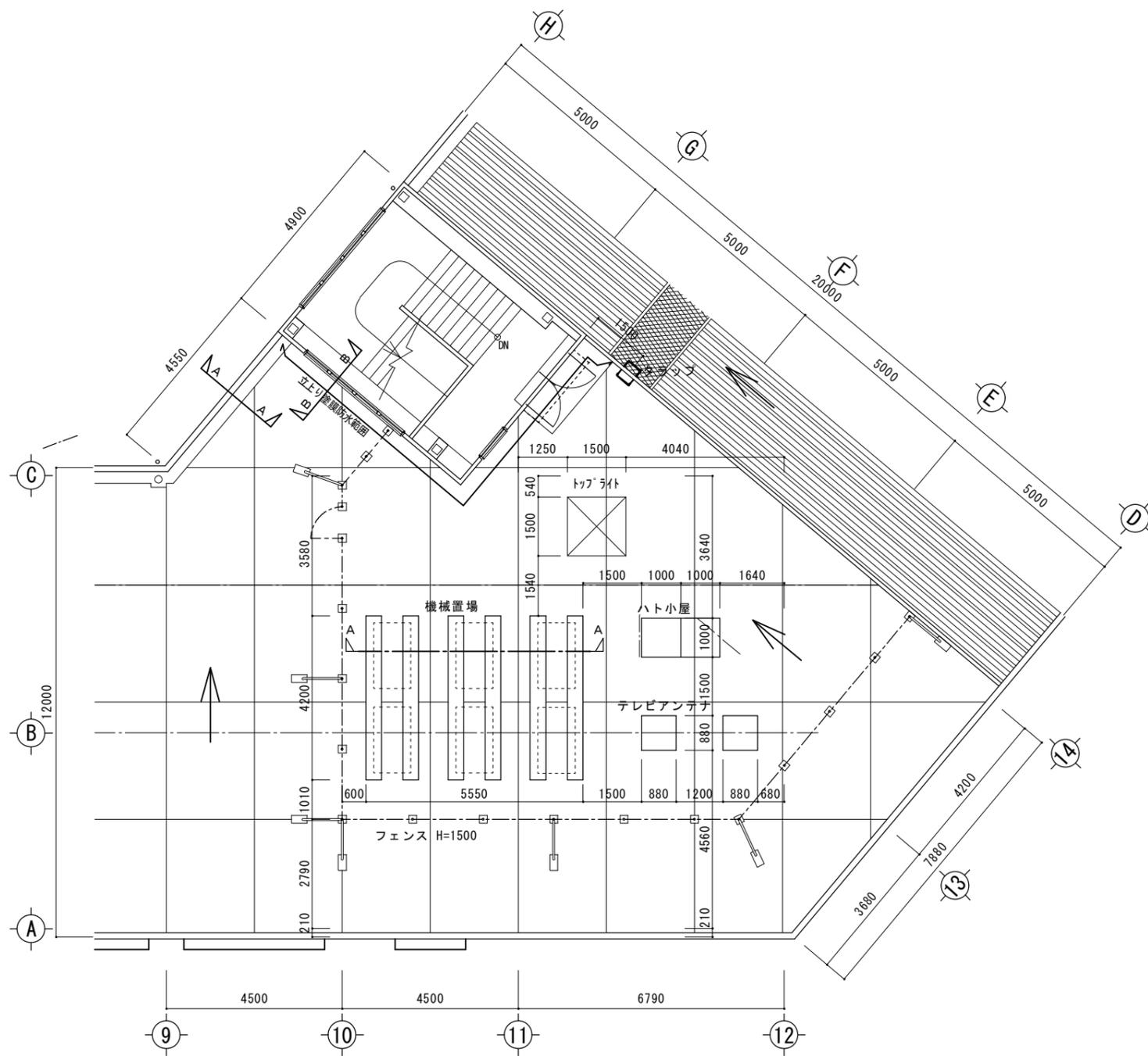
開口閉塞 詳細図 (倉庫 (6) - 会議室) (新設) S=1/10



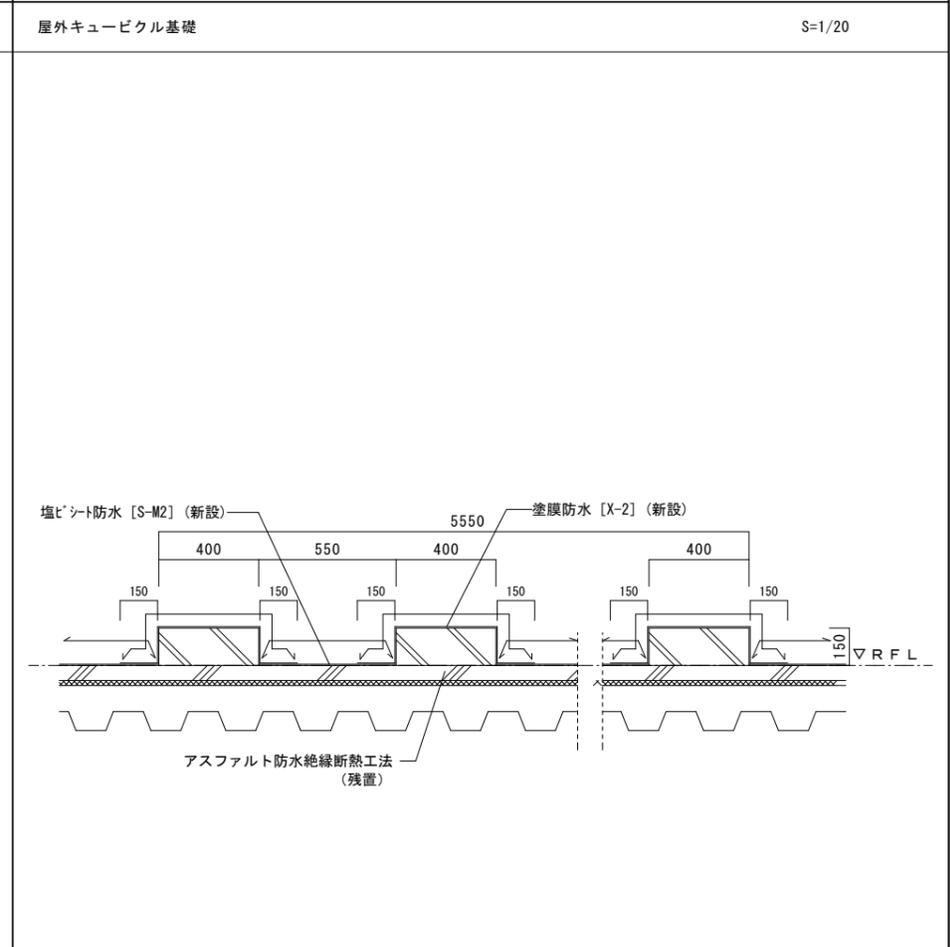
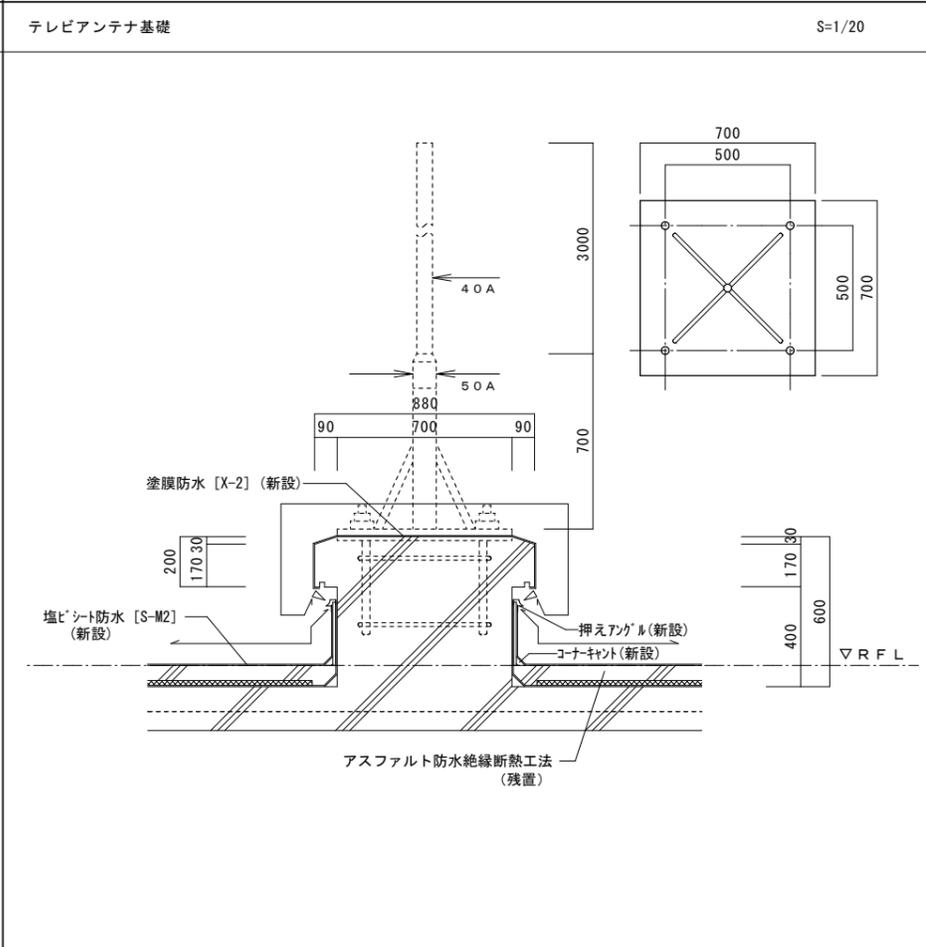
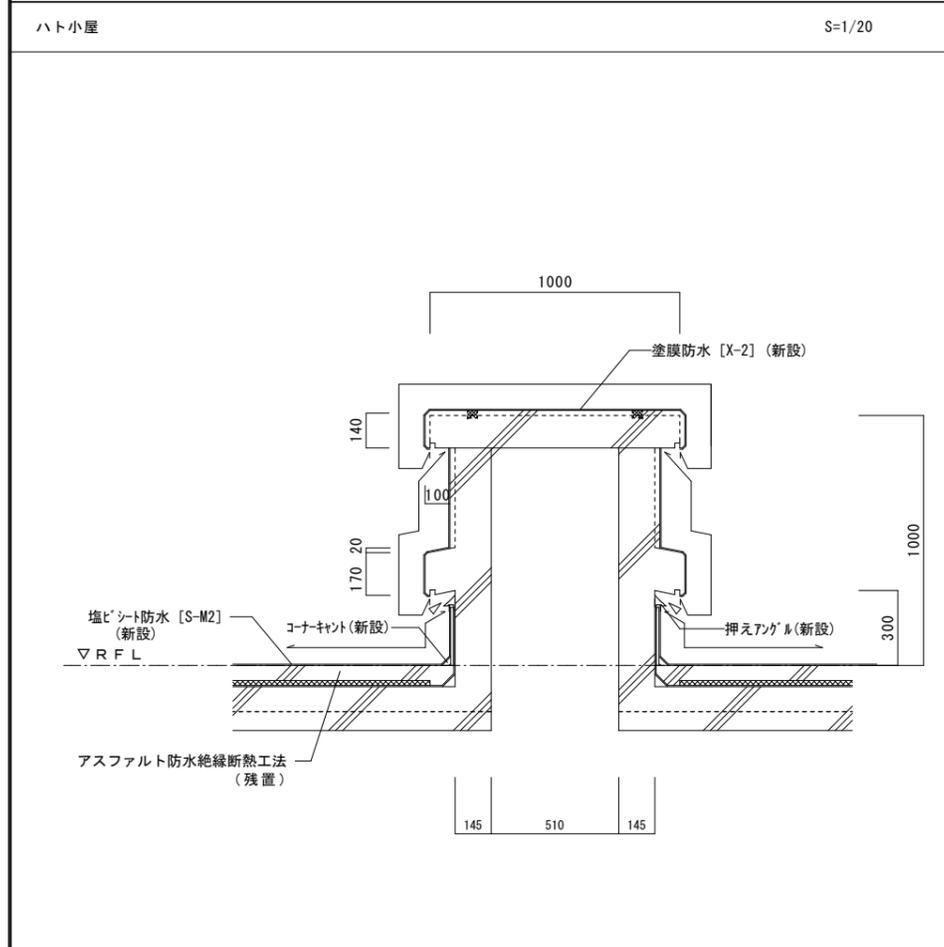
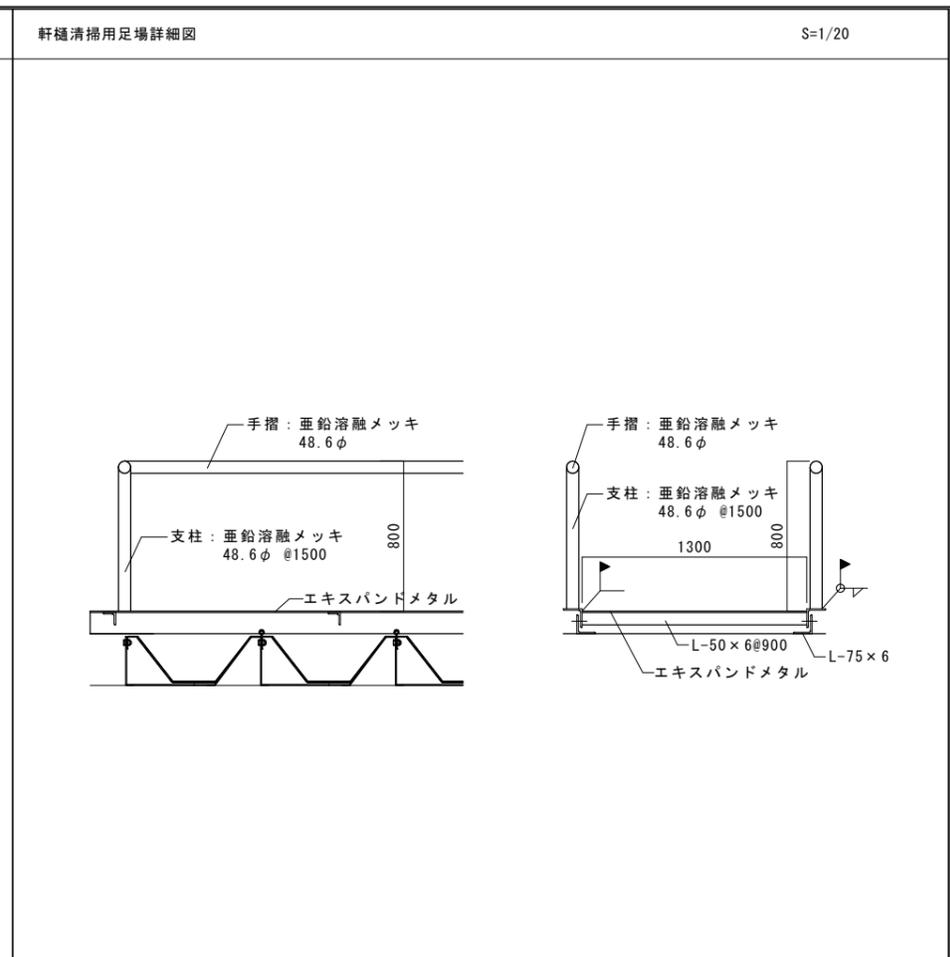
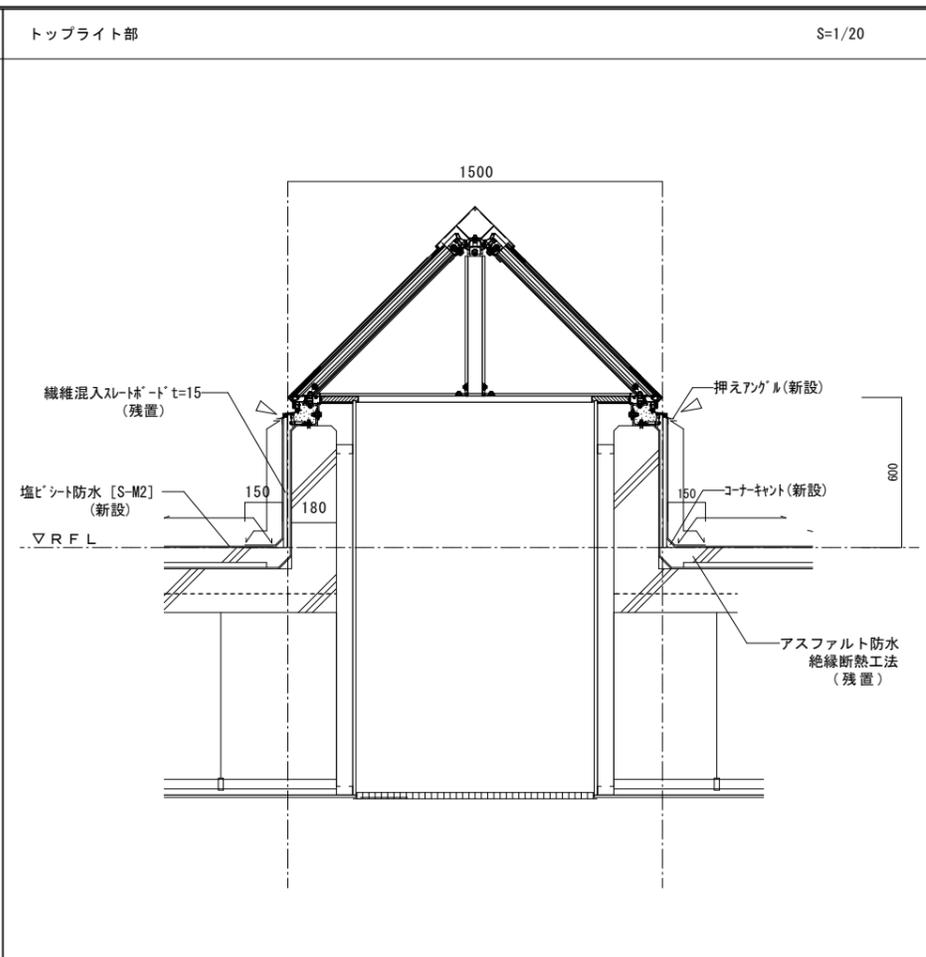
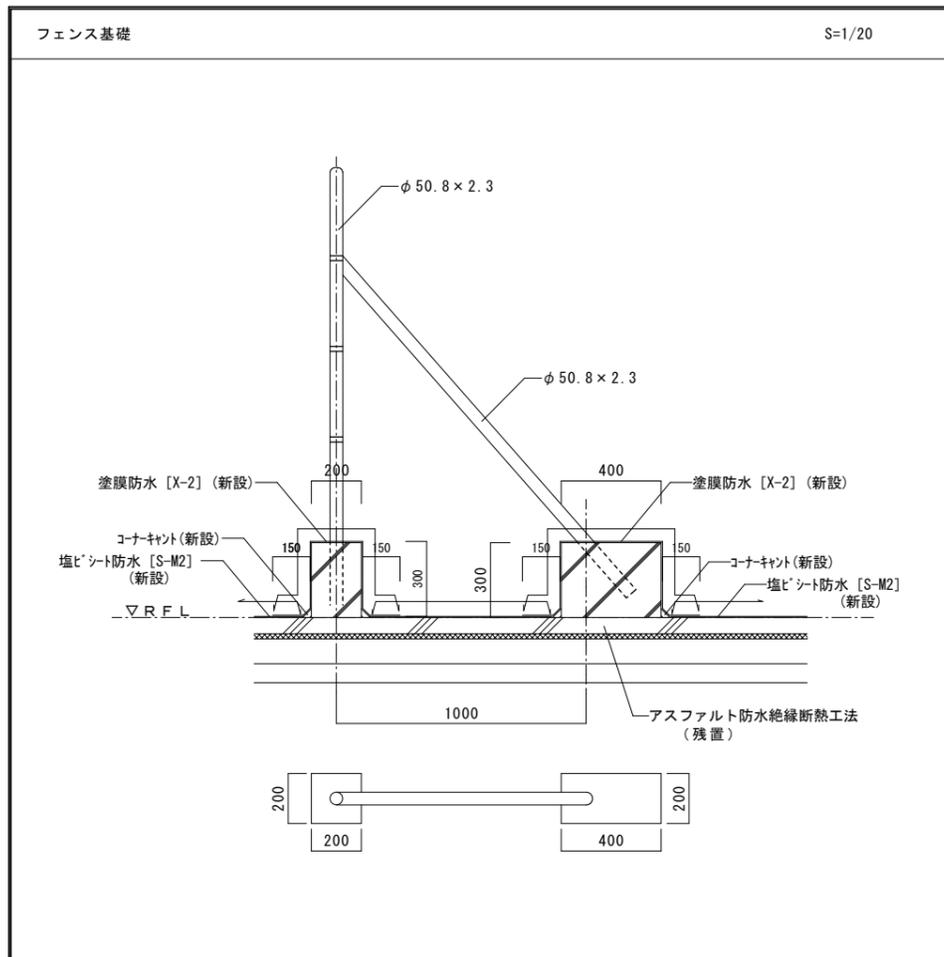
室名札 (新設) S=1/5



事業年度	年度	設計	令和 年月	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	S=1/5・1/10・1/20 (A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度									建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	部分詳細図 (1)		A-87



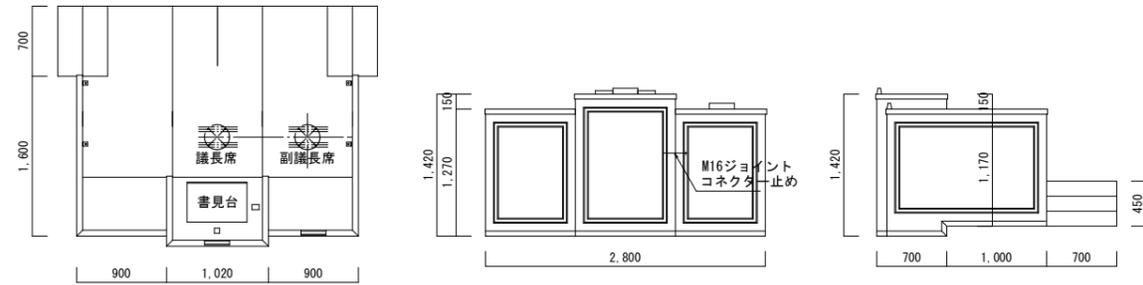
事業年度 令和 年度	設計 令和 年月	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	図面名称・縮尺 S=1/5・1/10・1/20 (A3版-71%縮小)	図番 A-88
工事完成 年度								建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	印	部分詳細図(2)	



事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	S=1/5・1/10・1/20 (A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之 印	部分詳細図(3)		A-89

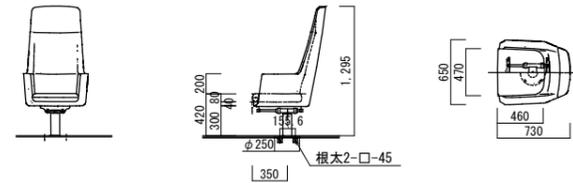
正副議長席姿図 (撤去)

S=1/50



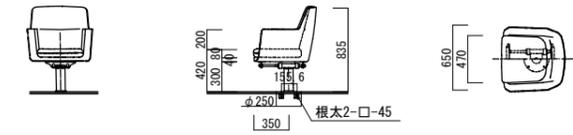
議長イス姿図 (撤去)

S=1/50

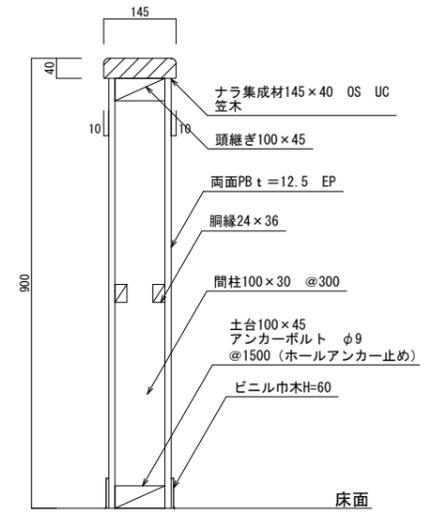


副議長イス姿図 (撤去)

S=1/50

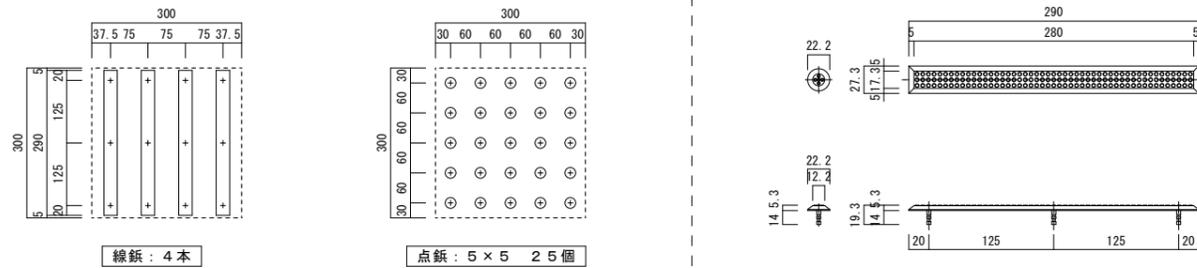


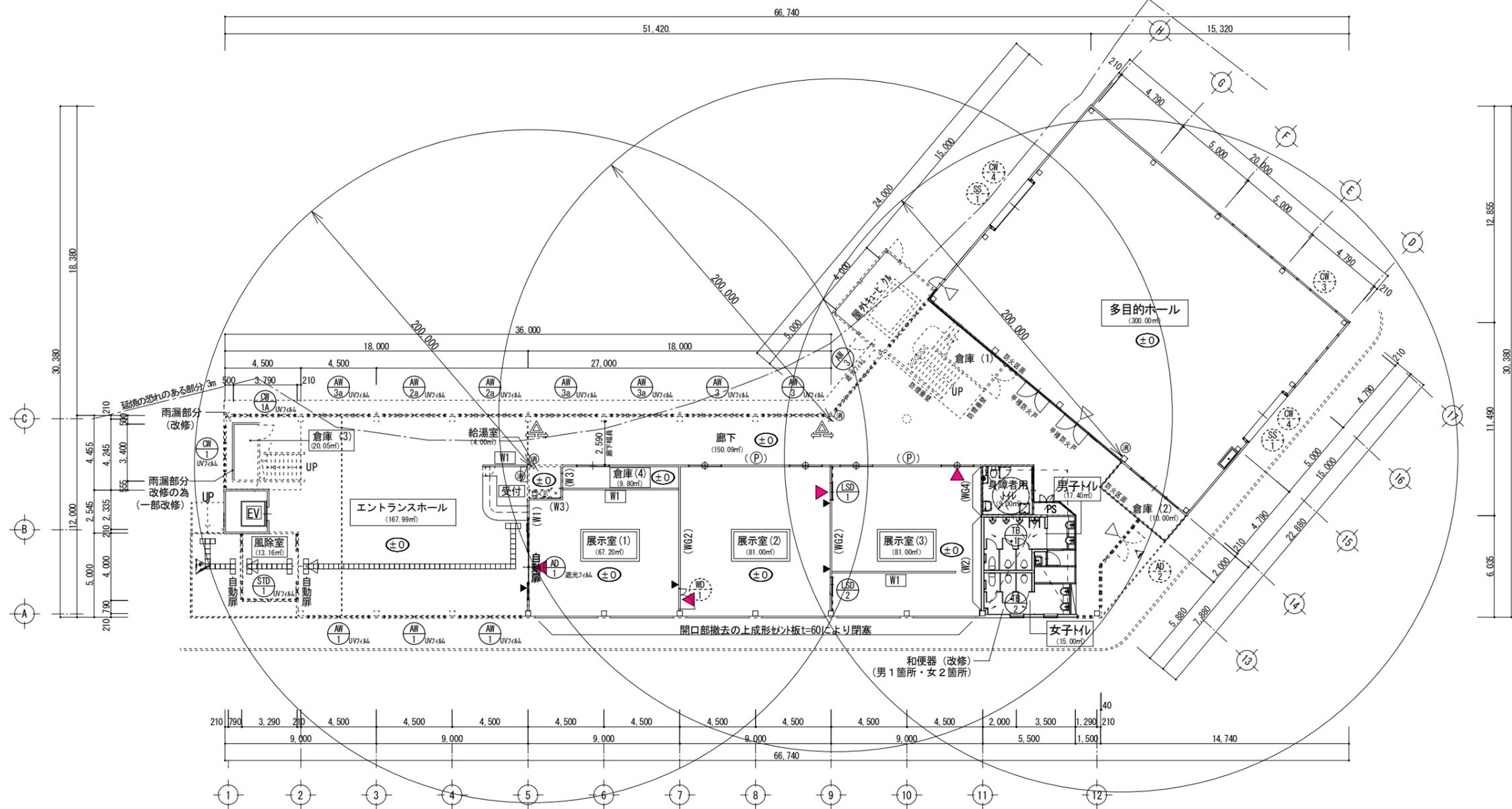
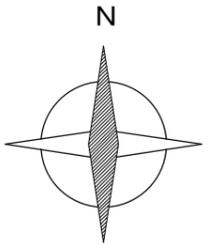
手摺 (撤去)



エントランス点字ブロック 詳細図 (新設)

S=1/5





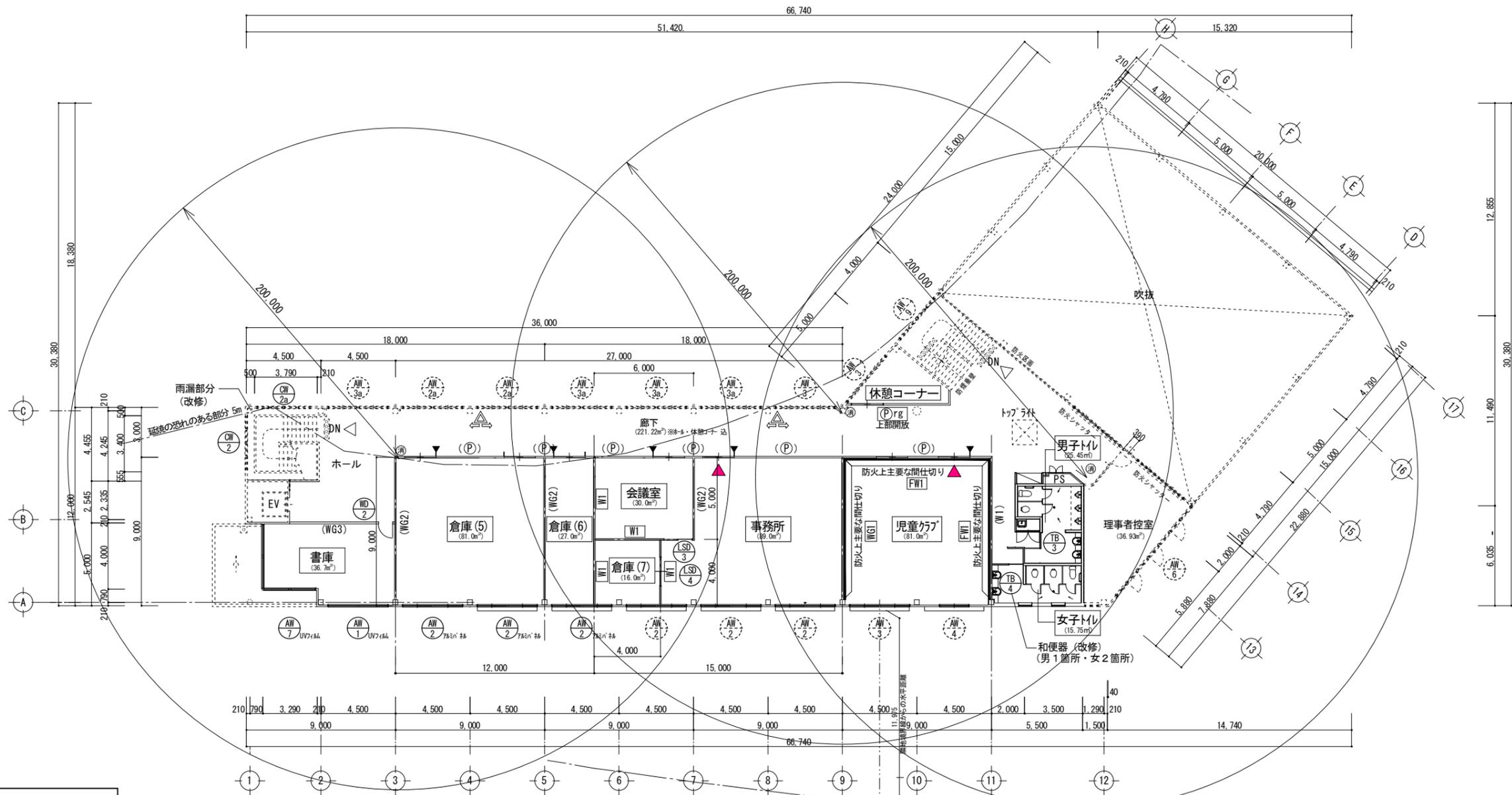
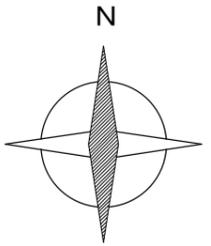
1階 平面図 S=1/200

▲	誘導標識を示す。(新設)
△	避難口誘導灯を示す。(新設)
▲	通路誘導灯を示す。(新設)
⊙	消火器を示す。(新設)

凡例

室名	工事対象室を示す。	室名	工事対象外室を示す。	工事範囲を示す。	工事対象建具を示す。	符号	改修後壁下地を示す。	室名札
室名	工事対象室を示す。 科学物質の濃度測定室を示す。		工事対象外室を示す。		工事対象外建具を示す。	(符号)	既存壁下地を示す。	鍵交換箇所(内:シリンダー、外:シリンダー)

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/200	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	1階消火設備・避難設備配置図		A-91



2階 平面図 S=1/200

▲	誘導標識を示す。(新設)
△	避難口誘導灯を示す。(新設)
▲	通路誘導灯を示す。(新設)
⊙	消火器を示す。(新設)

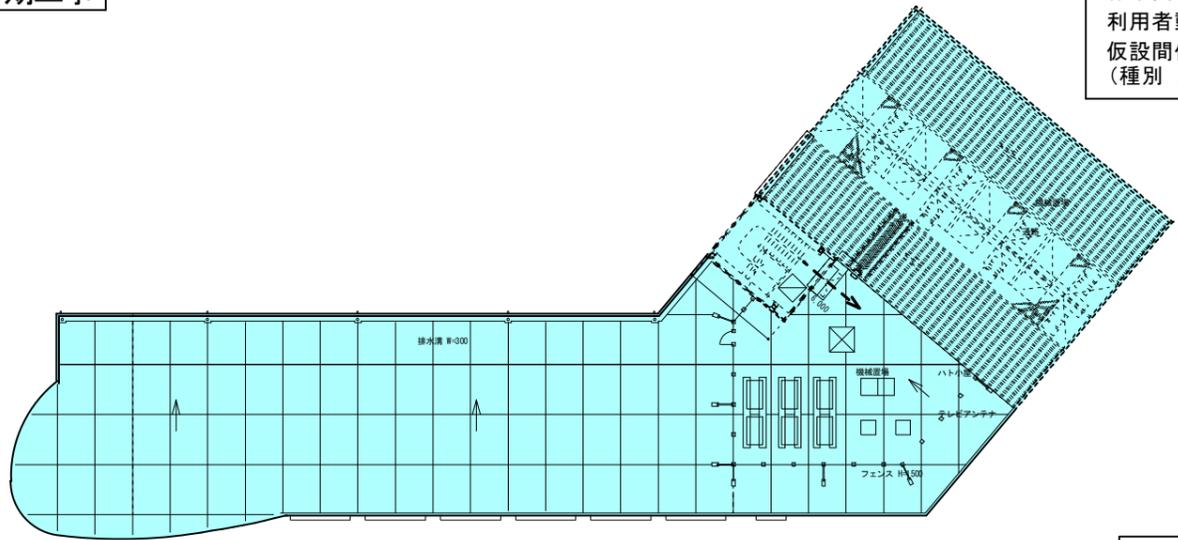
凡例

室名	工事対象室を示す。	工事範囲を示す。	工事対象建具を示す。	符号	工事対象壁を示す。	▼	室名札(持ち出し)
室名	工事対象外室を示す。		工事対象外建具を示す。	(符号)	工事対象外壁を示す。		

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/200	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	元ゆめきやりあセンター改修改修工事(建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松本 靖之	2階消火設備・避難設備配置図		A-92

1期工事

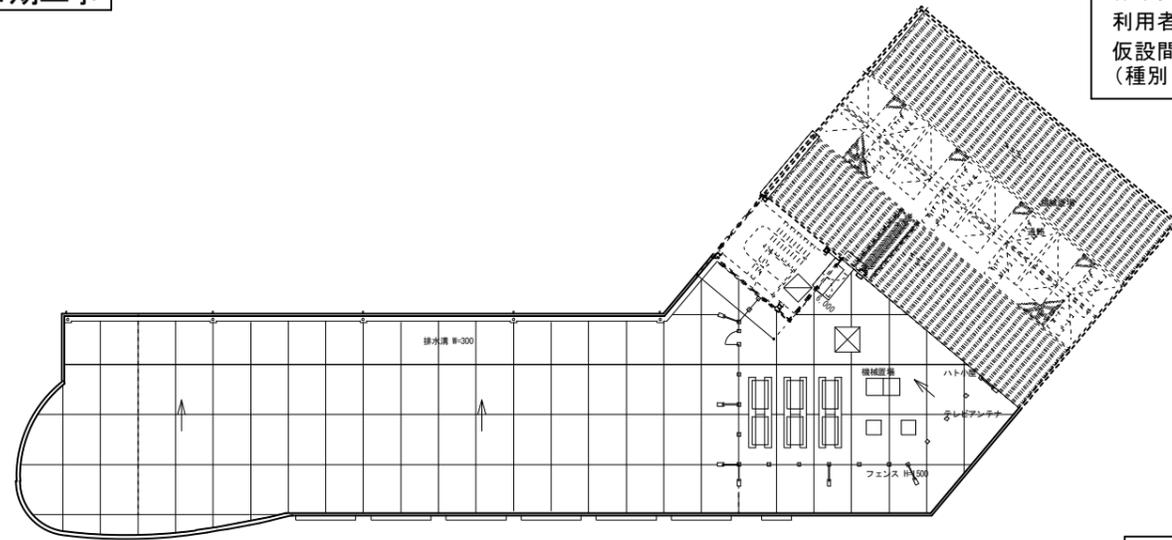
作業員動線 - - - - ->
 利用者動線 - - - - ->
 仮設間仕切 (種別 A種)



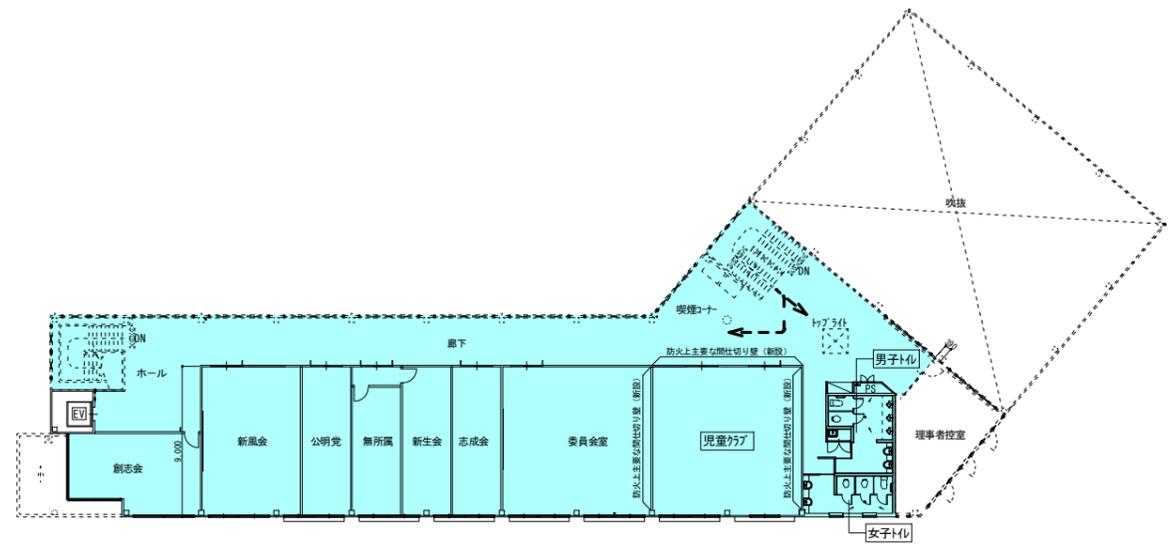
R階平面図

2期工事

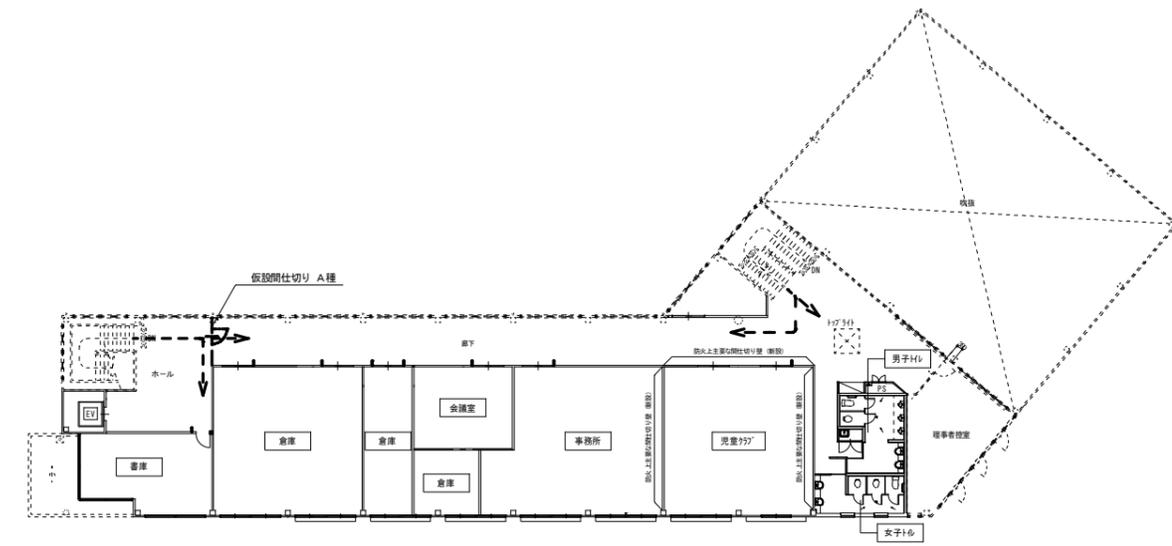
作業員動線 - - - - ->
 利用者動線 - - - - ->
 仮設間仕切 (種別 A種)



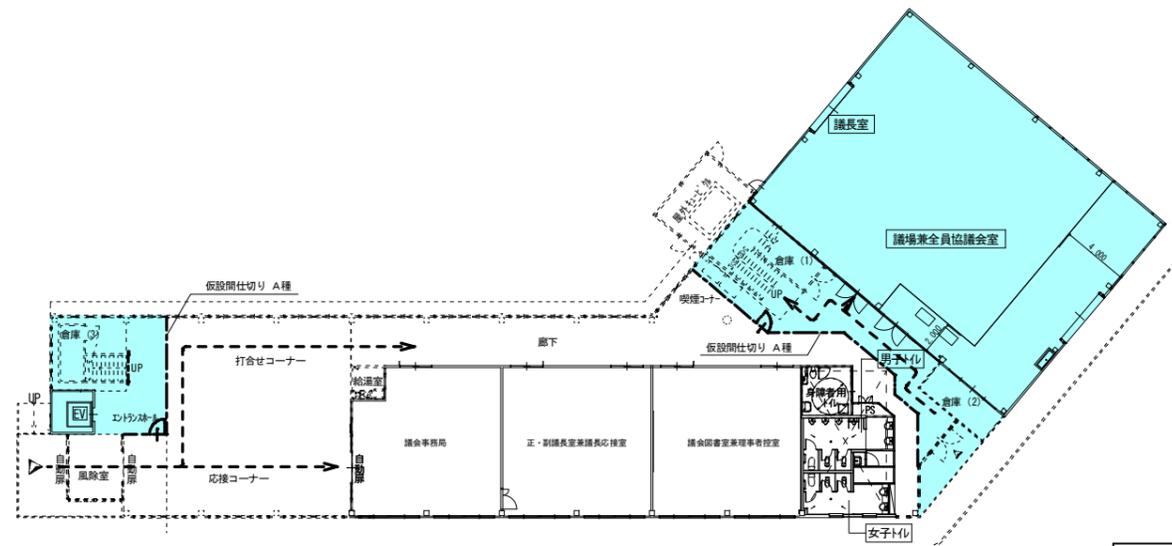
R階平面図



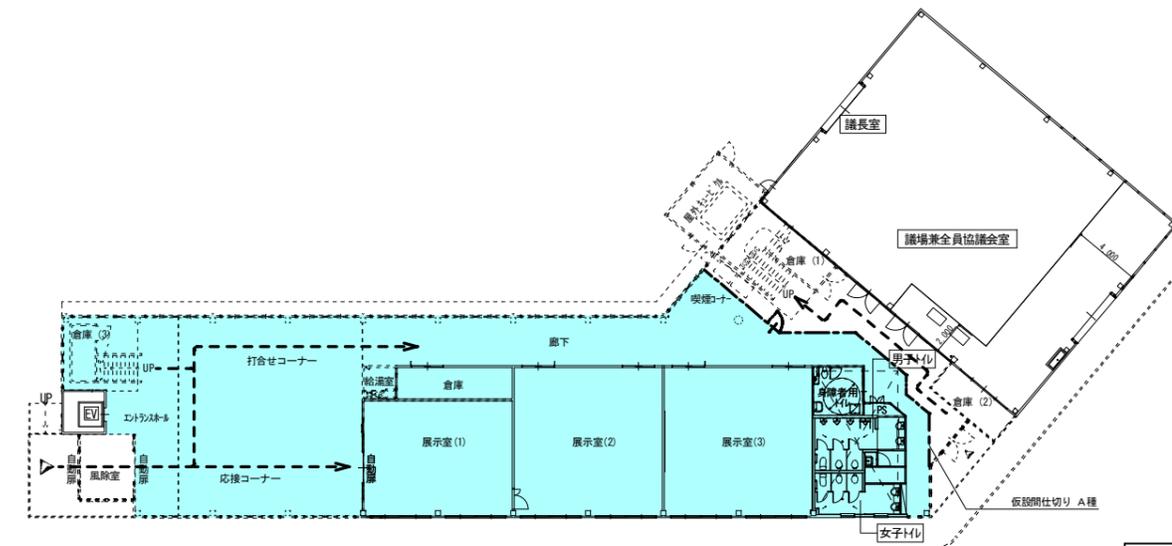
2階平面図



2階平面図

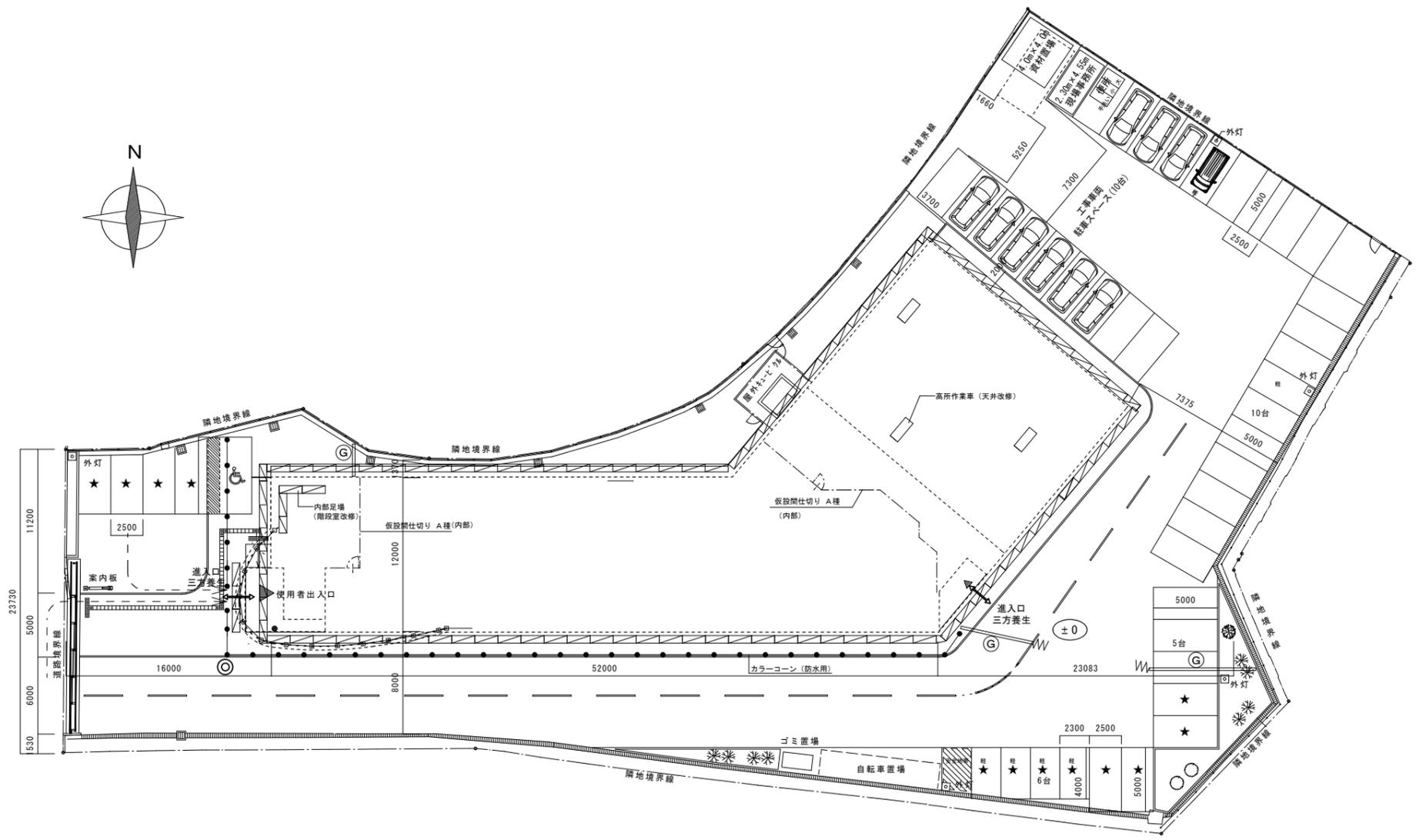


1階平面図



1階平面図

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/300	(A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	元ゆめきやりあセンター改修改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	仮設計画図		A-93

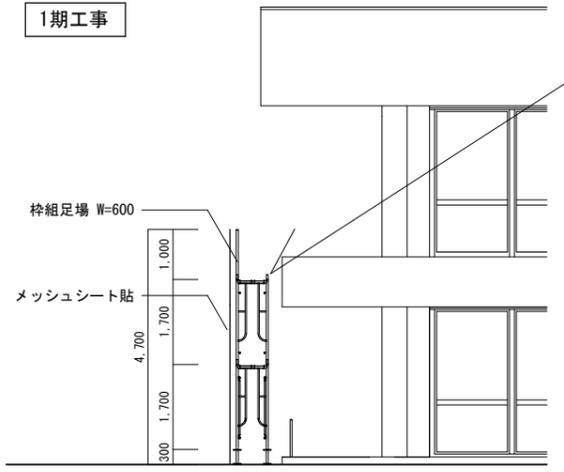


配置図 1/300

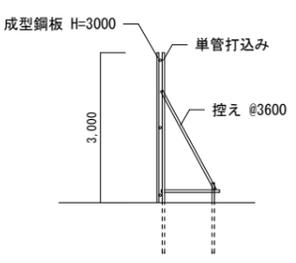
凡例 (指定仮設)

- パネルゲート (硬質塩ビ 複層) W=6300
- 成形鋼板 H=3000
- メッシュシート貼
- 交通誘導員 常時配置すること
- シートゲート
- スタンション (L=2000)
- カラーコーン (L=2000)
- 利用者動線
- 仮設間仕切り (種別 A種)
- 児童クラブ・シルバー 駐車場

※工事車両の入退場は、子どもの登下校時を避けること
 ※工事車両の通行ルートは監督職員と協議のうえ決定すること

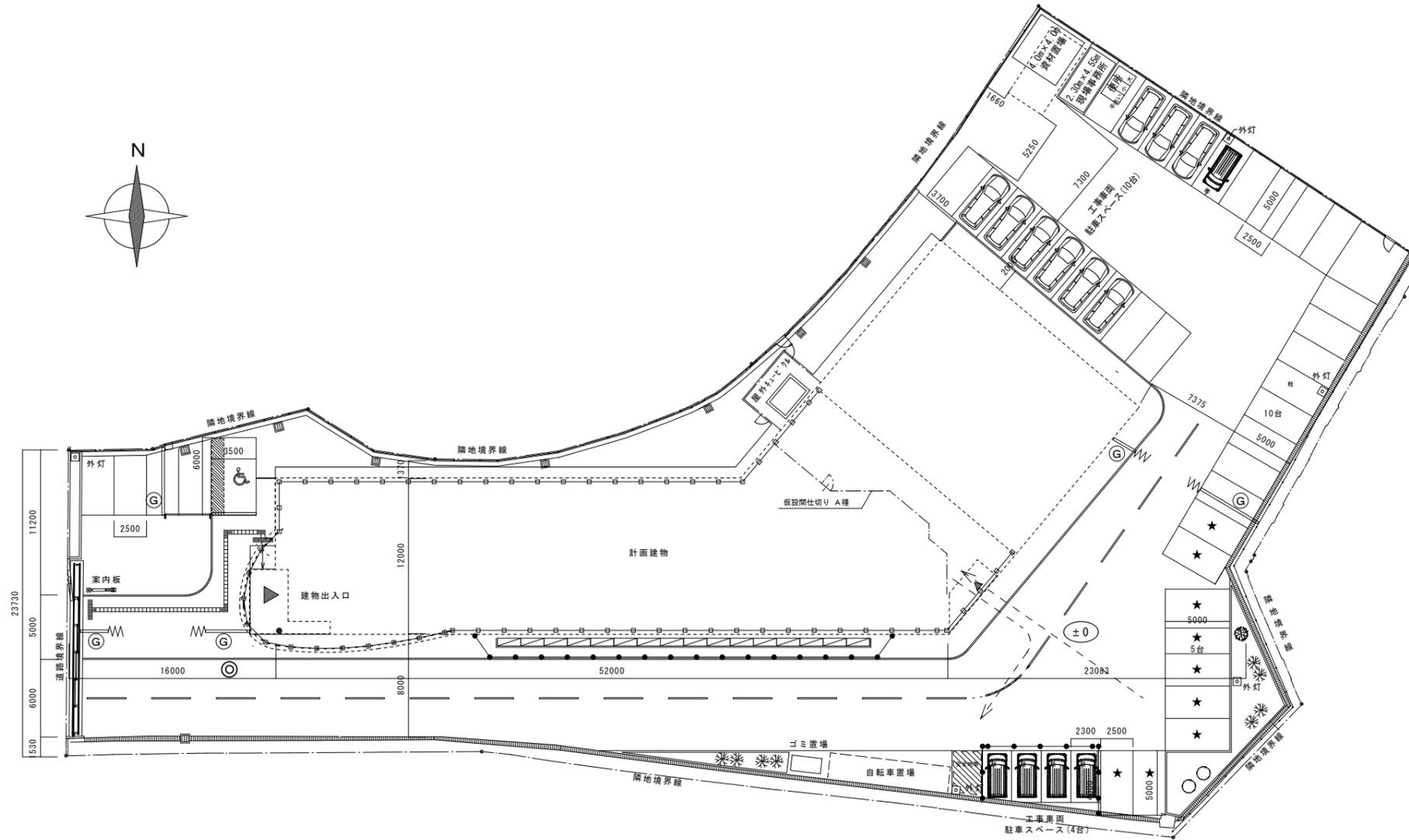


枠組足場図 1/100



仮囲い(成形鋼板) 1/100

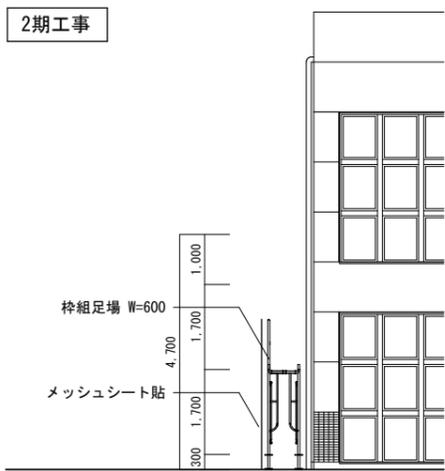
事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/100・300 (A3版-71%縮小)	図番
令和	年月	三原市都市部建築課						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	仮設計画図(1期)	A-94



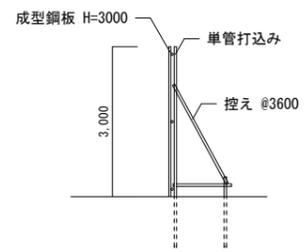
配置図 1/300

- 凡例 (指定仮設)**
- ∩—∩— パネルゲート (硬質塩ビ 複層) W=6300
 - ⊙ 成形鋼板 H=3000
 - — — — — メッシュシート貼
 - ⊙ 交通誘導員 常時配置すること
 - — — — — シートゲート
 - スタクション (L=2000)
 - カラーコーン (L=2000)
 - — — — — 利用者動線
 - — — — — 仮設間仕切り (種別 A種)
 - ★ 児童クラブ・シルバー 駐車場

※工事車両の入退場は、子どもの登下校時を避けること
 ※工事車両の通行ルートは監督職員と協議のうえ決定すること



枠組足場図 1/100



仮囲い(成形鋼板) 1/100

事業年度	年度	設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/100・300 (A3版-71%縮小)	図番
工事完成	年度	令和 年月						建築	元ゆめきやりあセンター改修工事 (建築主体工事)	有限会社 MasMas 一級建築士登録 第325897号 小松木 靖之	仮設計画図(2期)	A-95

参考数量書

工 事 名 称 元ゆめきやりあセンター改修工事（建築主体工事）

工 事 場 所 三原市館町二丁目

[工 事 概 要]

用途, 構造, 面積	歴史民族資料館・放課後児童クラブ・事務所、鉄骨造 2 階建て、床面積1, 689. 55㎡	
工 事 範 囲	改修工事一式（建築主体工事）	
別 途 工 事	元ゆめきやりあセンター改修工事（電気設備工事）、元ゆめきやりあセンター改修工事（機械設備工事）、ゆめきやりあセンター改修工事（外構工事）、歴史民俗資料館展示工事	
工 期	契約締結日の翌日 ～ 令和7年2月27日	
一 般 事 項		
《 工事予算内訳 》	合 計 金 額	
〈内 訳〉		
区 分	金 額	概 要
設 計 金 額		
消 費 税 額		
合 計 金 額		

工事費内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		
調査基準価格	1	式		
調査基準価格の100/110	1	式		

建築工事 中科目別内訳

元ゆめきやりあセンター					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
鉄筋	内部仕上	1	式		
計					
コンクリート	内部仕上	1	式		
計					
型枠	内部仕上	1	式		
計					
金属	外部	1	式		
計					
左官	内部	1	式		
計					
ユニット及びその他	ユニット及びその他	1	式		
計					
防水改修	防水改修	1	式		

建築工事 中科目別内訳

元ゆめきやりあセンター					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
計					
外壁改修	外壁改修	1	式		
計					
建具改修	建具改修	1	式		
計					
内装改修	内装改修	1	式		
計					
塗装改修	塗装改修	1	式		
計					
解体	解体	1	式		
計					
発生材処理	運搬	1	式		
発生材処理	処分	1	式		
計					

建築工事 細目別内訳

元ゆめきやりあセンター		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
養生(内部改修)	複合改修	2,053	m ²			
墨出し(内部改修)	複合改修	2,053	m ²			
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	2,053	m ²			
内部仕上足場	階高4.0m以下	1,359	m ²			
内部階段仕上足場		20.3	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700	1,681	m ²			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 5か月	177	m			
スタンション	単管2本含む 盛り換え1回含む	24	m			
養生シート張り	防災I類 5か月	1,681	m ²			
墨出し(外壁改修)	タイル・モルタル塗替等 一般	150	m ²			
開口部養生 (外壁改修)	合板張り養生	150	m ²			
整理清掃後片付け (外壁改修)		150	m ²			
高所作業車	垂直昇降型自走式 H8-9m 作業床2.3m×0.81m 別途工事の使用を含む	72	日			
計						

建築工事 細目別内訳

元ゆめきやりあセンター		ユニット及びその他		ユニット及びその他		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
流し台	BL型 幅1800 リンジフードメーカー標準品含む	2	台			
受付カウンター	L形2段カウンター 2641*3541*841*950 スイングドア含む	1	台			
ロッカー	900*400*1800	1	台			
児童用ロッカー	1800*500*1300	4	か所			
児童用下足入れ	800*350*1700	1	か所			
収納棚 A	書庫 複式2連 有効6段 1835*870*2600	3	台			
収納棚 B	書庫 単式2連 有効6段 1835*450*2600	1	台			
天ツギ	書庫	14	m			
収納棚 A	倉庫(5) 複式6連 有効6段 5435*870*2600	4	台			
収納棚 B	倉庫(5) 単式5連 有効6段 4535*450*2600	1	台			
収納棚 C	倉庫(5) 単式6連 有効7段 7235*450*2250	1	台			
天ツギ	倉庫(5)	25	m			
収納棚 C	倉庫(6) 単式6連 有効7段 7235*450*2250	2	台			
流し台移設	1F→2F	1	台			
暗幕カーテン新設	多目的+書庫 (124㎡+34㎡) レール共	158	㎡			

建築工事 細目別内訳

元ゆめきやりあセンター		ユニット及びその他		ユニット及びその他		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
流し上部水切り	ステンズ製 -	1.5	m			
誘導標識	250mm×250mm 蓄光通路誘導標識 (消防認定品)	8	か所			
消火器	ABC10型 BOX共 既存処分共	9	本			
館名文字	300角 ステンズ焼付塗装 10文字 下地(ステンズ焼付塗装)共	1	式			
総合案内板	1250mm×950mm 木枠 シート貼り	2	か所			
室名札	平付 250mm×250mm スチール枠	11	か所			
室名札	突出 スイング型 250mm×280mm スチール枠	8	か所			
館内案内板	600×675 フィルム貼り	2	か所			
耐荷重表示板	アクリル板 (耐荷重表示: 書庫ほか) 250mm×250mm	3	か所			
点字標示板	トリ案内図300角 点字対応 (1F×2、2F×1)	3	か所			
VOC測定	1箇所8物質	5	か所			
計						

建築工事 細目別内訳

元ゆめきやりあセンター		防水改修		防水改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
水洗い		17.3	m ²			
フェンス、フェンス基礎 一部撤去、 防水施工後復旧		2	か所			
伸縮目地キャップ撤去		479	m			
全面清掃		697	m ²			
立上り部雑部材撤去	水切り金物・端末シール・保護板	117	m			
サトイッチパネル取付	直線部 (t=35、H1640mm)	92	m			
サトイッチパネル取付	R部 (t=35、H1640mm)	24.5	m			
既設笠木ジョイント処理	補強テープ張り	40	m			
樹脂モルタル平滑処理	鳩小屋・フェンス基礎・設備基礎	14	m ²			
配管基礎浮かし施工後復旧		50	m			
鋳鉄製ルーフトレン	横形ろく屋根用 アスファルト・シート防水用 SGP 80A 張掛け幅 100	5	個			
塩ビシート防水平部	機械式固定 下地調整材C-2	694	m ²			
塩ビシート防水立上り直線部	H1640 機械式固定	151	m ²			
塩ビシート防水立上りR部	H1640 機械式固定	40.2	m ²			
塩ビシート防水天端部等	天端・フェンス基礎・設備基礎 機械式固定	46.9	m ²			

元ゆめきやりあセンター		防水改修			防水改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
塩ビ被覆鋼板設置	立上り入隅直線部 15*50	92.1	m				
塩ビ被覆鋼板設置	立上り入隅曲線部 15*50	24.5	m				
塩ビ被覆鋼板設置	笠木天端直線部 70*50	92.1	m				
塩ビ被覆鋼板設置	笠木天端曲線部 70*50	24.5	m				
脱気筒	ステンレス製	10	か所				
ドレン周り処理	既設ドレン・周囲防水層撤去後 樹脂モルタル補修	5	か所				
塗膜防水(材工共)	Y-2 密着工法 コムアスファルト系 平面 表面塗装なし	2	m ²				
軒樋清掃	折板屋根	10	m				
エキスパントメタル切断	折板屋根の樋 ゴミ受け L=400	8	か所				
外壁シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 15×10	1,983	m				
計							

元ゆめきやりあセンター		建具改修		建具改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(建具)						
LSD1	上吊り引き戸新設	1	か所			
LSD2	上吊り引き戸新設	1	か所			
LSD3	上吊り引き戸新設	1	か所			
LSD4	上吊り引き分け戸新設	1	か所			
鍵取替	SD3	1	か所			
SPD1	上吊り引き分け戸 鍵取替	4	か所			
スチールパーテーション	W7.47*H3.00(上部開口あり)	1	面			
スチールパーテーション 扉	上吊り引き戸 新設	1	か所			
トイレブース1	内開き→外開き改修	1	か所			
トイレブース2	内開き→外開き改修	1	か所			
トイレブース3	内開き→外開き改修	1	か所			
トイレブース4	内開き→外開き改修	1	か所			
木製扉新設	1200*2000	2	か所			
UVフィルム張り	清掃共	138	m ²			

元ゆめきやりあセンター		内装改修		内装改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
クレン	床	1,002	m ²			
ビニル床タイル	t=5.0 木目調	320	m ²			
帯電防止ビニル床タイル	t=5.0 木目調	557	m ²			
床ビニルシート張り	厚2.5 複層ビニルシートFS 一般床 熱溶接工法	166	m ²			
塗膜防水(材工共)	Y-2 密着工法 コムアスファルト系 平面 表面塗装なし	1	m ²			
床タイルカーペット張り	総厚6.5 500角 1種ループパイル 一般事務室用 全面接着工法(粘着はく離形接着剤)	111	m ²			
床タイル張り	一般床タイル張 I類 無ゆう 150mm角 下地モルタル別途	2.2	m ²			
誘導用及び 注意喚起用床材	点字ブロック 塩化ビニル製 300×300	7.4	m ²			
ビニル幅木張り	高さ60	651	m			
カッター入れ	モルタル面 厚さ20~30mm	38.5	m			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りなし @300	233	m ²			
壁撤去部下地補修		12.8	m ²			
壁 せつこうボード 張り (GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 突付けV目地 -	252	m ²			
壁せつこうボード (GB-R)	厚 9.5 準不燃	63	m ²			
壁 強化せつこう ボード張り (GB-F)	厚21.0 不燃 鋼製、木、ボード下地 継目処理 下張GB-F 厚21.0共	179	m ²			

元ゆめきやりあセンター		内装改修		内装改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
押出法 ポリスチレンフォーム 断熱材	JIS A9521 2種 b スキン層無 厚50	79.8	m ²			
壁紙素地ごしらえ	ホート面 工程B種 -	1,537	m ²			
壁紙張り	ホート面	1,537	m ²			
化粧フィルム張り		39.9	m ²			
天井インサート	デッキ用	827	m ²			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @300	827	m ²			
天井 せっこうホート 張り(GB-R)	厚12.5 不燃 突付け	893	m ²			
ロックウール化粧吸音板 (DR)	フラット 内部用 厚 9 不燃 300×600程度	247	m ²			
天井クロス 素地ごしらえ	ホート面 工程B種 -	651	m ²			
天井クロス張り	ホート面 不燃	651	m ²			
天井廻縁	塩化ビニル製	272	m			
けい酸カルシウム板	タイプ2(ノアス)0.8FK 厚 6	6.3	m ²			
天井撤去部下地補 修		8.3	m ²			
OPHスクリーン跡補修	900*3600	3	か所			
プロジェクター跡補修	450*900	2	か所			

元ゆめきやりあセンター		解体			解体		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
タイルベット撤去	集積共	702	m ²				
ビニル床シート撤去	集積共	265	m ²				
カッター入れ	モルタル面 厚さ20～30mm	16.8	m				
床モルタル・床人研ぎ撤去	集積共	2.9	m ²				
ビニル床シート撤去	集積共	34.8	m ²				
ビニル幅木撤去	一般 集積共	226	m				
壁クロス撤去	集積共	681	m ²				
壁合板・ボード撤去	一重張り 一般 集積共	407	m ²				
壁合板・ボード撤去	二重張り 一般 集積共	3.4	m ²				
壁下地撤去	集積共	120	m ²				
カッター入れ	モルタル面 厚さ20～30mm	34.5	m				
アルミ建具撤去	AW2	6	か所				
木製戸撤去	片開き戸 枠共 集積共	8.1	m ²				
既存塗膜除去	木部・ボード面 工程RB種	612	m ²				
天井クロス撤去	集積共	258	m ²				

建築工事 細目別内訳

元ゆめきやりあセンター		解体		解体		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
天井合板・ボード 撤去	一重張り 一般 集積共	258	m ²			
天井合板・ボード 撤去	二重張り 一般 集積共	632	m ²			
天井下地撤去	集積共	827	m ²			
大型ロッカー撤去		2	基			
ホリトボード撤去		4	か所			
手摺り撤去		1	m			
OHPスクリーン撤去	900*3600	3	か所			
プロジェクター撤去	450*900	2	か所			
大型ロッカー撤去		2	基			
繊維混入スレートボード 撤去	一重張り 石綿含有 集積共 屋上立上り壁	66	m ²			
外壁シーリング撤去	集積共	1,983	m			
計						

元ゆめきやりあセンター		発生材処理		運搬		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 無筋コンクリート類 DID区間無し 11.0km以下	34.9	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 木材類 DID区間有り 10.5km以下	0.6	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 無筋コンクリート類 DID区間無し 11.0km以下	3.9	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 無筋コンクリート類 DID区間無し 11.0km以下	0.2	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 無筋コンクリート類 DID区間無し 11.0km以下	3.4	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 石こうボード類 DID区間有り 10.5km以下	18.3	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 無筋コンクリート類 DID区間無し 11.0km以下	2.9	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 無筋コンクリート類 DID区間無し 11.0km以下	5.3	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 石こうボード類 DID区間有り 10.5km以下	7.1	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 石こうボード類 DID区間有り 8.0km以下	1.8	m3			
計						

元ゆめきやりあセンター		発生材処理		処分		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
発生材処分	金属くず	34.9	m3			
発生材処分	木くず	0.6	m3			
発生材処分	廃ﾌﾟﾗｽチック	3.9	m3			
発生材処分	ｶﾞﾗｽ	0.2	m3			
発生材処分	がれき類	3.4	m3			
発生材処分	ﾎｰﾄﾞ類	9.3	m3			
発生材処分	紙くず	2.9	m3			
発生材処分	繊維くず	5.3	m3			
発生材処分	ﾎｰﾄﾞ類	7.1	m3			
発生材処分	ｱｽﾌﾞﾙ含有材 成形版 ｻﾞﾙ3	1.8	m3			
計						

